取扱説明書

形名 WS020SH

基本操作

インターネットやメールの準備

電話

メール

インターネット

ワンセグ

映像と音楽

パソコンとの連携

その他の機能

設定

付録

WILLCOM **03**

は　じ　め　に

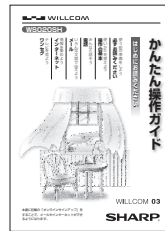
お買いあげいただき、まことにありがとうございました。
この製品は厳重な品質管理と製品検査を経て出荷しておりますが、万一故障または不具合がありましたら、お買いあげの販売店または、ウィルコムサービスセンターまでご連絡ください。
別添の「保証書」の定めるところによって修理を行います。

ご使用前のおことわり

● この製品を正しくお使いいただくために、『取扱説明書』（本書）および『かんたん操作ガイド』をよくお読みになってからご使用ください。また、いつも手元に置いてご使用ください。ご使用中にわからないことや、具合の悪いことがおきたとき、きっとお役にたちます。

各機能の詳しい使いかたを知りたい場合

この『取扱説明書』（本書）をお読みください。

基本的な使いかたを知りたい場合

付属の『かんたん操作ガイド』をお読みください。

● 当社は、この製品の使用誤り、ご使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き一切その責任を負いません。
● 当社は、この製品において内蔵ソフトウェアや追加ソフトウェアを使用された結果に関しては、いかなる保証も致しかねますので、あらかじめご了承のほどお願い申しあげます。
なお、ソフトウェアのご使用に際しては、そのソフトウェアの提供者の使用条件が明示されているときは、必ずそれらの使用条件をご確認ください。
● お客様または第三者がこの製品の使いかたを誤ったときや静電気、電気的ノイズの影響を受けたとき、また、故障･修理のときや電池交換の方法を誤ったときは記憶内容が変化･消失するおそれがあります。
● 次のことを必ずお守りください。
重要な内容は必ず控えを取っておいてください。動作確認済みの市販のmicroSDカードにバックアップ（保管）することができます。
● この製品は付属品を含め、改良のため予告なく変更することがあります。

ご使用前に、「安全にお使いいただくために」（☞0-12ページ）を必ずお読みください。

ウィルコム通信サービスについて

株式会社ウィルコムと契約する必要があります。契約申し込みをされるときは、契約手数料がかかります。また、契約申込後は毎月の基本料金と通話料がかかります。

くわしくは、下記ウィルコムサービスセンターへお問い合わせください。

以下のような内容は、ウィルコムサービスセンターにお問い合わせください。

●ご契約内容（加入、変更、引越等）
●オプションサービス
●この製品の紛失
●基本料金・通話料等
●サービスエリア
●その他、通信サービスについて

ウィルコムサービスセンター

受付時間：9：00 ～ 19：00
（日・祝日を除く）
この製品から…………………………局番なしの 116（無料）
一般加入電話・携帯電話などから… 0120-921-156（無料）
番号をよくお確かめのうえ、おかけください。

ウィルコムのデータ通信に関してのお問い合わせ

受付時間：9：00 ～ 19：00
（日・祝日も受付）
この製品から…………………………局番なしの 157（無料）
一般加入電話・携帯電話などから… 0120-921-157（無料）
番号をよくお確かめのうえ、おかけください。

携帯電話・PHS 端末のリサイクルについて

携帯電話・PHS 事業者は、環境を保護し貴重な資源を再利用するために、お客様が不要となってお持ちになる電話機端末・電池・充電器を、ブランド・メーカー問わず右記マークのあるお店で回収し、リサイクルを行っています。

モバイル・リサイクル・ネットワーク
携帯電話・PHSのリサイクルにご協力を。

ご注意

- 回収した電話機端末・電池・充電器はリサイクルするためご返却できません。
- プライバシー保護のため、電話機端末に記憶されているお客様の情報（電話帳、通信履歴、メールなど）は事前に消去してください。

もくじ

必ずご確認ください

1章　基本操作

11章 付録

この製品には、本書で説明している以外に次のプログラムなどがあります。

- デ辞蔵 Mobile
- 連絡先
- メモ
- Excel Mobile
- OneNote Mobile
- Windows Live/Messenger
- 電卓
- Bubble Breaker
- キーボード入力パネル
- 区点コード一覧
- 予定表
- 仕事
- Word Mobile
- PowerPoint Mobile
- メール（Outlook）
- NAVITIME
- ソリティア
- 文字入力のしかた（Microsoft IME）
- アラーム
- Adobe Reader LE

これら本書に記載していないアプリケーションの説明は、付属の Getting Started CD（本書では、CD-ROM と記載していることもあります）に収録されているアプリケーションマニュアルに記載していますので、併せて、ご覧ください（☞ 0-38 ページ）。

安全にお使いいただくために

この取扱説明書には、安全にお使いいただくためにいろいろな表示をしています。その表示を無視して誤った取り扱いをすることによって生じる内容を、次のように区分しています。内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

危険　人が死亡または重傷を負うおそれが高い内容を示しています。

警告　人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

注意　人がけがをしたり財産に損害を受けるおそれがある内容を示しています。

図表示の意味

△ 記号は、気をつける必要があることを表しています。

記号は、してはいけないことを表しています。

記号は、しなければならないことを表しています。

■ WS020SH本体の取り扱いについて

⚠ 警告

- 万一、発熱していたり、煙が出ている、変な臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災や感電の原因となります。すぐにACアダプターをコンセントから抜き、本体の電源を切り、充電池を外し、お買いあげの販売店にご連絡ください。

- 万一、異物（金属片・水・液体）が製品の内部に入った場合は、まずACアダプターをコンセントから抜き、本体の電源を切り、充電池を外し、お買いあげの販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災や感電の原因となります。

- 指定のACアダプターや充電池をご使用ください。指定以外のACアダプターや充電池などを使用すると、火災・事故の原因となります。

警告

- 屋外で雷が鳴っているときは、使用しないでください。落雷・感電のおそれがあります。

- 交通事故の原因になりますので、自動車・バイク・自転車などを運転中は使用しないでください。自動車・バイク運転中の使用は法律で禁止されています。自動車・バイク・自転車などを安全な場所に止めてからご使用ください。

- 航空機など使用を禁止された区域では電源を切ってください。航空機内での使用は禁止されています。
  ただし、ワイヤレス LAN 装着のある航空機内において、この製品から当該ワイヤレス LAN システムに接続して使用する場合は、離着陸時を除き内蔵ワイヤレス LAN を作動させることができます。

- 通話するときは周囲の安全を確認してから、使用してください。安全を確認せずに通話すると、転倒や交通事故などの原因になります。

- 植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、ペースメーカなどから十分離して携行および使用してください。

- 満員の電車など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、この製品の電源を切ってください。
  電波により、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器が誤動作するなどの影響を与えることがあります。

- 医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。
  - ・手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（CCU）には、この製品を持ち込まないでください。
  - ・医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。

- 自宅療養等医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合は、電波による影響について個別に医用電気機器メーカなどにご確認ください。

- 高精度な電子機器の近くでは電源を切ってください。電子機器に影響を与える場合があります。
  ご注意していただきたい電子機器の例：心臓ペースメーカ、補聴器、その他医療用電子機器、火災報知器、自動ドアなど。心臓ペースメーカやその他医療用電子機器をお使いの場合は、各機器メーカもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

- 心臓の弱い方は、バイブレータや着信音の設定に注意してください。

⚠ 注意

- ぐらついた台の上や、不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因になることがあります。バイブレータを設定しているときも、ご注意ください。

- 自動車内で使用する場合、まれに車載電子機器に影響を与えたり、この製品に影響を受けたりする場合があります。安全走行を損なうおそれがありますので、このようなときは使用しないでください。

- 皮膚に異常を感じたときはすぐに使用を止め医師の治療を受けてください。お客様の体質や体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などが生じる場合があります。

- microSD カードや W-SIM を取り外すときは、指でカードを押し込み、カードが出てきても、すぐに指を離さないようにしてください。また、取り付けるときは、カードがスロットに確実に装着されるまでしっかり押し込み、すぐに指を離さないでください。microSD カードや W-SIM を装着しているカードスロットを顔の方に向けて、取り付けたり、取り外さないでください。急に指を離すと、カードが飛び出し危険です。

- 健康のために、次のことをお守りください。
  - ・連続して使用する場合は、1 時間ごとに 10 分～15 分の休憩を取り、目を休ませてください。
  - ・新聞が楽に読める程度の明るさの場所で使用してください。（操作場所の明るさの目安：500 ルクス）
  - ・明暗の差の大きい所では使用しないでください。
  - ・日光が画面に直接当たる所では使用しないでください。
  - ・この製品を使用しているときに身体に疲労感、痛みなどを感じたときは、すぐに使用を中止してください。使用を中止しても疲労感、痛み等が続く場合は、医師の診察を受けてください。
  - ・お使いになる方によってはごくまれに、強い光の刺激を受けたり点滅を繰り返す画面を見ている際に、一時的に筋肉のけいれんや意識の喪失などの症状を起こす場合があります。このような経験のある方は、この製品を使用される前に必ず医師と相談してください。また、この製品を使用しているときにこのような症状が起きたときは、すぐに使用を中止して医師の診察を受けてください。

■充電池の取り扱いについて

⚠ 危険

● 充電池（リチウムイオン充電池）について、次のことをお守りください。発熱・発火・破裂・液もれの原因となります。

・この製品で使用できる充電池は、EA-BL16 です。これ以外の充電池は使用しないでください。

・装着するとき、充電池の向きが決められています。この製品にうまく装着できないときは、無理をしないで、充電池の向きを確かめてください。

・充電には、付属の AC アダプター（EA-84）以外のものを使用しないでください。また、充電池は指定機器以外の機器には使用しないでください。

・直接日光の当たる所や、炎天下の車内、火やストーブのそばなどの高温の場所（60℃以上）に放置しないでください。

・釘を刺す、ハンマーでたたく、踏みつけるなどの強い衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。

・外傷、変形した充電池は使用しないでください。

・落下させたり衝撃を与えた充電池は使用しないでください。

・分解、改造、ハンダ付けをしないでください。

・水や火の中に投入したり、加熱しないでください。

・端子をショートさせないでください。金属小物（鍵、アクセサリー、ネックレスなど）と一緒に持ち運んだり、保管したりしないでください。

・電源コンセントや自動車のシガレットライターの差し込み口等に直接接続しないでください。

● 充電池からもれた液が眼に入ったときには、きれいな水で洗い、すぐに医師の治療を受けてください。障害を起こすおそれがあります。

⚠ 警告

● 次のことをお守りください。液もれ、発熱、発火、破裂の原因となります。

・電子レンジや高圧容器に入れないでください。

・水や海水に浸けたり、雨滴などでぬらさないでください。万一、ぬれた場合には、直ちに使用を止めてください。

・充電池から液がもれたり異臭がするときには、直ちに火気より遠ざけてください。

・液もれ、変色、変形など今までと異なることに気がついたときは、使用しないでください。

・充電時に所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を止めてください。

注意

● 次のことをお守りください。液もれ、発熱、発火、破裂の原因となることがあります。
  ・小児が使用する際には、保護者が取扱説明書の内容を教え、また、使用の途中においても、取扱説明書どおりに使用しているかどうか注意してください。
  ・乳幼児の手の届かない所に保管してください。また、使用する際にも、乳幼児がこの製品から取り出さないように注意してください。
  ・充電は必ず 5 ～ 35℃の範囲で行ってください。
  ・充電方法については、本取扱説明書をよくお読みください。

● 充電池が漏液して液が皮膚や衣類に付着した場合には、すぐにきれいな水で洗い流してください。皮膚がかぶれたりする原因となることがあります。

● 充電池を本体に装着する際に、サビ、異臭・発熱その他異常と思われたときは、充電池を本体に装着しないでお買いあげの販売店にご持参ください。

■ AC アダプターの取り扱いについて

警告

● WS020SH 本体に接続する AC アダプターは、必ず付属の EA-84 を使用してください。他の AC アダプターは使用しないでください。

● 表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。それ以外の電圧で使用されますと、火災の原因となります。

● 付属の AC アダプターはコンセントに直接接続してください。タコ足配線は過熱し、火災の原因となります。

● ぬれた手で AC アダプターを抜き差ししないでください。感電のおそれがあります。

● 次のことをお守りください。火災や感電の原因となります。
  ・AC アダプターを水やその他の液体につけたり、ぬらしたりしないでください。
  ・AC アダプターおよび本体の上やそばに、液体の入った容器を置かないでください。倒れて内部に水などが入りますと、火災や感電の原因となります。
  ・お客様による改造や分解・修理はしないでください。
  ・AC アダプターに強い衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。

⚠ 警告

・AC アダプターに針金などの金属を差し込んだりしないでください。

・コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また重いものを載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたりするとコードを傷め、火災や感電の原因となります。

● 使用されないときには、安全のため、AC アダプターをコンセントおよび本体から外しておいてください。

● 万一、発熱していたり、煙が出ている、変な臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災や感電の原因となります。すぐに AC アダプターをコンセントから抜き、本体の電源を切り、充電池を外しお買いあげの販売店にご連絡ください。

● 雷が鳴りはじめたら、落雷による感電・火災の防止のため、本体の電源を切り、AC アダプターをコンセントから抜いてください。

● 長期間使用されないときには、安全のため、AC アダプターをコンセントおよび本体から外しておいてください。

⚠ 注意

● AC アダプターを抜くときは、コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。

● 火災や感電の原因となることがあります。次のことをお守りください。

・周囲温度 0 ～ 40 ℃、湿度 35 ～ 85%の範囲でご使用ください。
・直射日光の当たる場所では使用しないでください。
・ほこりの多い場所に置かないでください。
・落下させたり衝撃を与えないでください。
・つけ根部分を無理に曲げないでください。
・重いものを載せないでください。
・電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しないでください。
・布などでくるまないでください。

■付属 CD-ROM の取り扱いについて

⚠ 警告

● 付属の CD-ROM は、一般オーディオ用の CD プレーヤーでは絶対に使用しないでください。大音量によって耳に被害を被ったり、スピーカーを破損するおそれがあります。

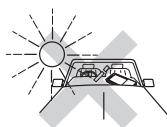
■ microSD カードやスタイラスの取り扱いについて

⚠ 注意

● microSD カードやスタイラスは、小さなお子様があやまって飲み込むことがないように、小さなお子様の手の届かない所に保管してください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、直ちに医師と相談してください。

使用上のご注意とお手入れのしかた

落としたり、ズボンのポケットに入れたり、満員電車の中などで強い衝撃や力を与えたりしないでください。また、ハンドストラップなどをご使用になり、落とさないようにしてください。

故障や破損の原因となります。

日の当たる自動車内・直射日光が当たる場所・暖房器具の近くなどに置かないでください。

高温により、変形や故障の原因となります。

この製品は防水構造にはなっていませんので、水などの液体がかかるところや雨の中での使用や保存は避けてください。また、ジュースやコーヒーなどの液体をこぼしたりしないでください。故障の原因となります。

水しぶき、蒸気、汗なども故障の原因になることがありますので、そのような場所での使用や保存は避けてください。

画面は、ときどき乾いた柔らかい布でふいて、汚れないようにしてください。

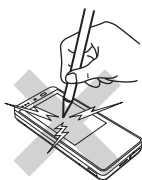
汚れたまま画面をタップすると傷つくことや、スタイラスのすべりが悪くなることがあります。

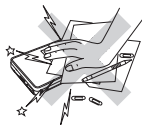
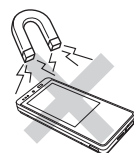
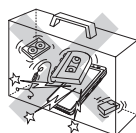
表示部を開いた状態で表示部またはキーボードだけを持って移動したり、振り回したりしないでください。

本体が外れ、落ちて破損したり故障の原因となります。

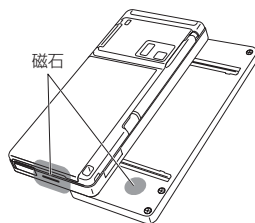
ホコリの多い場所や湿度の高いところに置いたり、使用しないでください。

故障の原因となります。

お手入れは、乾いた柔らかい布などで軽くふいてください。
シンナーやベンジンなど、揮発性の液体やぬれた布は使用しないでください。変質したり色が変わったりすることがあります。

画面を強く押さえたり、先のとがったものや硬いもので操作したりしないでください。
画面などを傷めることがあります。

スタイラスの先や画面の汚れを取って操作してください。
汚れたまま操作すると、画面に傷がついたり、スタイラスのすべりが悪くなることがあります。

本体の上に書類などをのせないでください。
誤って書類などの上から力を加えると、破損の原因となります。
また、液晶画面の上に直接、本や書類などを置いたままにして長時間圧力がかかった状態にしないでください。表示がにじんだり破損の原因になります。

使用中に、強い磁石を近づけないでください。
故障の原因となります。

突起部のある硬いもの（クリップなど）と一緒に入れたり、バッグの底に入れないでください。
入れかたや取り扱いかた（誤って、ぶつけたり落とすなど）によっては、破損の原因となります。

長時間使用した場合に、本体が熱くなることがあります。
長時間肌に触れたまま使用していると、低温やけどになるおそれがあります。
周囲温度が高い場所では、特にご注意ください。
また、紙・布・布団などをかぶせたりしないでください。故障の原因になります。

この製品には磁石が埋め込まれています（右図）。
磁気に弱いカード類（テレフォンカードや定期券など）を磁石の周囲に近づけないようにしてください。
カード類などに記録されているデータが消えてしまうことがありますのでご注意ください。

●内蔵カメラについて

・レンズに直射日光があたらないようにしてください。直射日光があたる状態で放置すると、素子の退色・焼付けを起こすことがあります。
・大切な撮影をするときは、必ず試し撮りをして正しく撮影されることを確認してください。

●AC アダプター端子／ USB 端子／カードスロットについて

・AC アダプター端子／ USB 端子や microSD カードスロットなどにゴミやホコリ・金属片などの異物を絶対に入れないようにしてください。それらが入ると、故障や記憶内容の消失の原因になります。
・AC アダプター端子／ USB 端子や microSD カードスロットなどにはカバーがあります。使用していないときは、カバーを閉じてください。

●液晶表示について

・液晶パネルは非常に精密度の高い技術で作られておりますが、画面の一部に点灯しない画素や常時点灯する画素がある場合があります。また、見る角度によって色むらや明るさむらが見える場合があります。これらは、故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
・画面や本体に強い力を加えたとき、画面の一部が一瞬黒ずむことがありますが、故障ではありません。
・画面をタップするときは、鉛筆やシャープペンシルなど先のとがったものを使わないでください。

●公衆の場で使用するときは、まわりの方の迷惑にならないようにご注意ください。

●ハンドストラップについて

ハンドストラップ取り付け穴には、付属のハンドストラップまたは携帯電話用などに販売されている市販のハンドストラップを取り付けることができます。市販のハンドストラップの種類によっては取り付けられない場合もありますので、店頭で取り付けが可能であることを確認してからご購入ください。なお、ハンドストラップを取り付けた状態でハンドストラップを持って振り回したり、ハンドストラップを強く引っぱるなどハンドストラップ取り付け穴に強い力が加わる行為は行わないでください。故障や破損の原因となります。

●この製品が持つ PHS 電話機能は、日本国内での使用を目的に設計されています。海外では使用しないでください。

著作権等に関するお願い

音楽用 CD 等各種 CD、TV 映像等、インターネットホームページ上の画像等著作権の対象となっている著作物を複製、編集等することは、著作権法上、個人的にまたは家庭内でその複製物や編集物を使用する場合に限って許されています。利用者自身が複製対象物について著作権等を有しているか、あるいは複製等について著作権者等から許諾を受けている等の事情が無いにもかかわらず、この範囲を超えて複製・編集や複製物・編集物を使用した場合には、著作権等を侵害することとなり、著作権者等から損害賠償等を請求されることとなりますので、そのような利用方法は厳重にお控えください。
また、他人の肖像が含まれる画像データを利用する場合、他人の肖像を勝手に使用、改変等すると肖像権を侵害することとなりますので、そのような利用方法も厳重にお控えください。
著作権にかかわる画像やサウンドの伝送は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外は、利用できませんのでご注意ください。
実演や興行、展示物などのなかには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影・録音を制限している場合がありますのでご注意ください。
また、この製品にはデジタルカメラ機能が搭載されていますが、このデジタルカメラ機能を使用して記録したものにつきましても、上記と同様の適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。

Bluetooth およびワイヤレス LAN に関するご注意

・**電波法に基づく適合証明について**

この製品は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線局の無線設備として、技術基準適合証明を受けています。したがって、この製品を使用するときに、無線局の免許は必要ありません。

ただし、下記のことは行わないでください。法律に罰せられることがあります。

・この製品に内蔵の Bluetooth モジュールおよびワイヤレス LAN モジュールを分解、改造する

・この製品の銘板をはがす

・Bluetooth およびワイヤレス LAN 搭載機器が使用する周波数帯は、この製品に記載されています。ラベルの見かたは次のとおりです。

2.4 FH1
■■■

2.4 DS/OF 4
■■■

「2.4」　：使用する周波数帯域を表します（2.4GHz 帯）。
「FH/DS/OF」：変調方式を表します（FH-SS 方式／ DS-SS 方式／ OFDM 方式）。
「1」　：想定される与干渉距離を表します（約 10m）。
「4」　：想定される与干渉距離を表します（約 40m）。
「■■■」：2400MHz ～ 2483.5MHz の全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。

・**電波干渉に関するご注意**

この製品の Bluetooth およびワイヤレス LAN の使用周波数帯は 2.4GHz です。この周波数では電子レンジ等の産業・科学・医療機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局等（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。

1. この製品の使用前に、近くに「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、この製品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、またはこの製品の運用を停止してください。
3. 医療機器（心臓ペースメーカ）などの動作に影響を与える場合がありますので、病院内などにいる時や、混雑した場所（満員電車の中など）では、Bluetooth およびワイヤレス LAN を無効にしてください。

・**使用上のご注意**

この製品は、日本国内での使用を目的に設計されています。海外では使用しないでください。

ご注意

- 本品は、総務省の技術基準に適合しています。
- 本品に付されている表示は、その証明マークです。
- 表示マークの付された製品を総務大臣の許可無しに改造して使用することはできません。
改造すると法律により罰せられます。

Bluetooth についてのお願い

・この製品は、Bluetooth を使用した通信時のセキュリティとして、Bluetooth 標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容などによってセキュリティが十分でない場合があります。Bluetooth を使用した通信を行う際にはご注意ください。

・Bluetooth を使用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しましても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

・この製品で Bluetooth を使う場合、他のワイヤレス LAN 機器と 10m 以上離してください。10m 以内に他のワイヤレス LAN 機器がある場合は、ワイヤレス LAN 機器の電源を切ってください。

ワイヤレス LAN 製品ご使用時におけるセキュリティに関するご注意
（お客様の権利（プライバシー保護）に関する重要な事項です！）

ワイヤレス LAN では、LAN ケーブルを使用する代わりに、電波を利用して、この製品とワイヤレスアクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由に LAN 接続が可能であるという利点があります。
その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁等）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

- **通信内容を盗み見られる**
  悪意のある第三者が、電波を故意に傍受し、
  ・ID やパスワード又はクレジットカード番号等の個人情報
  ・メールの内容
  などの通信内容を盗み見られる可能性があります。
- **不正に侵入される**
  悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、
  ・個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）
  ・特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）
  ・傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）
  ・コンピュータウィルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）
  などの行為をされてしまう可能性があります。

本来、ワイヤレスアクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、ワイヤレス LAN 製品のセキュリティに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。
ワイヤレス LAN 機器は、購入直後の状態においては、セキュリティに関する設定が施されていない場合があります。
従って、お客様がセキュリティ問題発生の可能性を少なくするためには、ワイヤレスアクセスポイントをご使用になる前に、必ずワイヤレス LAN 機器のセキュリティに関する全ての設定をマニュアルにしたがって行ってください。
なお、ワイヤレス LAN の仕様上、特殊な方法によりセキュリティ設定が破られることもあり得ますので、ご理解の上、ご使用ください。
※他社製のワイヤレス LAN 機器をお使いの場合は、各製品のマニュアルを参照してください。
当社では、お客様が、セキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を充分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをお奨めします。
社団法人 電子情報技術産業協会（JEITA）のワイヤレス LAN のセキュリティに関するガイドラインについてはこちらをご参照ください。
http://it.jeita.or.jp/perinfo/committee/pc/wirelessLAN2/index.html

・ Microsoft、ActiveSync、Outlook、Excel Mobile、Windows Live、PowerPoint Mobile、OneNote Mobile、Windows、Windows Media、Windows ロゴ、MSN ロゴ、Office ロゴは、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

・ Bluetooth® is a registered trademark of the Bluetooth SIG, Inc.
The Bluetooth word mark and logos are owned by the Bluetooth SIG, Inc. and any use of such marks by Sharp is under license. Other trademarks and trade names are those of their respective owners.

・ Bluetooth® は米国 Bluetooth SIG, Inc. の登録商標です。

・ この製品では、株式会社アプリックスが Java™ アプリケーションの実行速度が速くなるように設計した JBlend™ が搭載されています。
Powered by JBlend™. Copyright 1997-2008 Aplix Corporation.
All rights reserved.
JBlend および JBlend に関連する商標は、日本およびその他の国における株式会社アプリックスの商標または登録商標です。
Java および Java に関連する商標は、米国およびその他の国における米国 Sun Microsystems, Inc. の商標または登録商標です。

・ microSD ロゴは商標です。

・ Flash、Flash Lite および Macromedia は Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびにその他の国における商標または登録商標です。

・ Powered by Mascot Capsule®/Micro3D Edition™ Mascot Capsule® は株式会社エイチアイの商標です。

・ Opera は、Opera Software ASA の商標または登録商標です。
Opera に関する詳細については、http://jp.opera.com をご覧ください。

・ QR コードは（株）デンソーウェーブの登録商標です。

・ Marvell® は Marvell International Ltd. の登録商標です。

・ StationMobile™ は、株式会社ピクセラの商標です。

・ Copyright 2008 EAST Co.,Ltd. All Reserved.

・ この製品に収録されているデ辞蔵 Mobile のデータは、下記の辞典・事典にもとづいています。
●『新明解国語辞典』第六版
●『エクシード英和辞典』
●『エクシード和英辞典』
Copyright 1998-2008 Sanseido Co., Ltd. All rights reserved.

W-ZERO3 メール、W+Info で使用している「HTML パーサ･ライブラリ」は以下の「変更済み BSD ライセンス」に従います。

- IrSimple™、IrSS™、IrDA®、IrMC™ は、Infrared Data Association® の商標または登録商標です。
- その他の会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。

Windows Mobile 6.1 End User License Agreement

- You have acquired a device ("DEVICE") that includes software licensed by Sharp Corporation from an affiliate of Microsoft Corporation ("MS"). Those installed software products of MS origin, as well as associated media, printed materials, and "online" or electronic documentation ("SOFTWARE") are protected by international intellectual property laws and treaties. The SOFTWARE is licensed, not sold. All rights reserved.
- IF YOU DO NOT AGREE TO THIS END USER LICENSE AGREEMENT ("EULA"), DO NOT USE THE DEVICE OR COPY THE SOFTWARE. INSTEAD, PROMPTLY CONTACT Sharp Corporation FOR INSTRUCTIONS ON RETURN OF THE UNUSED DEVICE(S) FOR A REFUND. **ANY USE OF THE SOFTWARE, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO USE ON THE DEVICE, WILL CONSTITUTE YOUR AGREEMENT TO THIS EULA (OR RATIFICATION OF ANY PREVIOUS CONSENT).**
- SOFTWARE includes software already installed on the DEVICE ("DEVICE Software") and MS software contained on the CD-ROM disk ("Companion CD").

GRANT OF SOFTWARE LICENSE. This EULA grants you the following license:
DEVICE Software. You may use the DEVICE Software as installed on the DEVICE.
Companion CD. A Companion CD is included with your DEVICE, and you may install and use the Microsoft® ActiveSync® component on one (1) or more personal computers to exchange information with one (1) or more computing devices that contain a compatible version of the Microsoft® Windows Mobile® Version 6.1 operating system. For other software component(s) contained on the Companion CD, you may install and use such components only in accordance with the terms of the printed or online end user license agreement(s) provided with such component(s). In the absence of an end user license agreement for particular component(s) of the Companion CD, you may install and use only one (1) copy of such component(s) on the DEVICE or a single personal computer with which you use the DEVICE.
Phone Functionality. If the DEVICE Software includes phone functionality, all or certain portions of the DEVICE Software may be inoperable if you do not have and maintain a service account with an appropriate wireless telecommunication carrier to whom Sharp Corporation may distribute its DEVICES ("Mobile Operator"),or if the Mobile Operator's network facilities are not operating or configured to operate with the DEVICE.
Microsoft® Outlook®. If Microsoft Outlook is included with your Device, the following terms apply to your use of Microsoft Outlook: (i) regardless of the information contained in the "Software Installation and Use" section of the online EULA you may install one (1) copy of Microsoft Outlook on one (1) personal computer to use, exchange data, share data, access and interact with the DEVICE, and (ii) the EULA for Microsoft Outlook is between Sharp Corporation and the end user - not between the PC manufacturer and end user.

DESCRIPTION OF OTHER RIGHTS AND LIMITATIONS.

- **Speech/Handwriting Recognition.** If the DEVICE Software includes speech and/or handwriting recognition component(s), you should understand that speech and handwriting recognition are inherently statistical processes and that errors can occur in the component's recognition of your handwriting, and the final conversion into text. Neither Sharp Corporation nor its suppliers shall be liable for any damages arising out of errors in the speech and handwriting recognition process.
- **Limitations on Reverse Engineering, Decompilation and Disassembly.** You may not reverse engineer, decompile, or disassemble the SOFTWARE, except and only to the extent that such activity is expressly permitted by applicable law notwithstanding this limitation.
- **Single EULA.** The package for the DEVICE may contain multiple versions of this EULA, such as multiple translations and/or multiple media versions (e.g., in the user documentation and in the software). Even if you receive multiple versions of the EULA, you are licensed to use only one (1) copy of the DEVICE Software.
- **NOTICE REGARDING THE MPEG-4 VISUAL STANDARD.** The DEVICE Software may include MPEG-4 visual decoding technology. MPEG LA, L.L.C. requires the following notice:
  - USE OF THIS SOFTWARE IN ANY MANNER THAT COMPLIES WITH THE MPEG-4 VISUAL STANDARD IS PROHIBITED, EXCEPT FOR USE DIRECTLY RELATED TO (A) DATA OR INFORMATION (i) GENERATED BY AND OBTAINED WITHOUT CHARGE FROM A CONSUMER NOT THEREBY ENGAGED IN A BUSINESS ENTERPRISE, AND (ii) FOR PERSONAL USE ONLY; AND (B) OTHER USES SPECIFICALLY AND SEPARATELY LICENSED BY MPEG LA, L.L.C.
    If you have questions regarding this Notice, please contact MPEG LA, L.L.C., 250 Steele Street, Suite 300, Denver, Colorado 80206; Telephone 303 331.1880; FAX 303 331.1879
- **No Rental/Commercial Hosting.** You may not rent, lease, or lend or provide commercial hosting services with the SOFTWARE to others.

- **SOFTWARE as Component of the Device - Software Transfer.** The DEVICE Software is licensed with the DEVICE as a single integrated product. The DEVICE Software installed in read only memory (“ROM”) of the DEVICE may only be used as part of the DEVICE. Its component parts may not be separated for use on more than one Device, unless expressly permitted by this EULA. You may permanently transfer all of your rights under this EULA only as part of a sale or transfer of the DEVICE, provided you retain no copies, you transfer all of the SOFTWARE (including all component parts, the media and printed materials, any upgrades, this EULA and, if applicable, the Certificate(s) of Authenticity), and the recipient agrees to the terms of this EULA. If the SOFTWARE is an upgrade, any transfer must include all prior versions of the SOFTWARE.
  If the DEVICE Software includes phone functionality, you may not permanently transfer any of your rights under this EULA with regard to the DEVICE Software or Companion CD, except as permitted by the applicable Mobile Operator. In the event that the Mobile Operator permits such transfer, you may permanently transfer all of your rights under this EULA only as part of a sale or transfer of the DEVICE, provided you retain no copies, you transfer all of the SOFTWARE (including all component parts, the media and printed materials, any upgrades, this EULA and, if applicable, the Certificate(s) of Authenticity), and the recipient agrees to the terms of this EULA. If the SOFTWARE is an upgrade, any transfer must include all prior versions of the SOFTWARE.
- **Termination.** Without prejudice to any other rights, Sharp Corporation or MS may terminate this EULA if you fail to comply with the terms and conditions of this EULA. In such event, you must destroy all copies of the SOFTWARE and all of its component parts.
- **Security Updates/Digital Rights Management.** Content providers are using the digital rights management technology (“DRM”) contained in your DEVICE to protect the integrity of their content (“Secure Content”) so that their intellectual property, including copyright, in such content is not misappropriated. Portions of the DEVICE Software and third party applications such as media players use DRM to play Secure Content (“DRM Software”). If the DRM Software’s security has been compromised, owners of Secure Content (“Secure Content Owners”) may request that MS block the ability of DRM license servers and personal computers to deliver new licenses that enable an affected DEVICE to play Secure Content. This action does not alter the DRM Software’s ability to play unprotected content. A list of revoked DRM Software is sent to your DEVICE whenever you download a license for Secure Content from the Internet or from your personal computer. You therefore agree that MS may, in conjunction with such license, also download revocation lists onto your DEVICE on behalf of Secure Content Owners. MS will not retrieve any personally identifiable information, or any other information, from your DEVICE by downloading such revocation lists.
- **Consent to Use of Data.** You agree that MS, Microsoft Corporation, their affiliates and/or their designated agent may collect and use technical information gathered in any manner as part of product support services related to the SOFTWARE. MS, Microsoft Corporation, their affiliates and/or their designated agent may use this information solely to improve their products or to provide customized services or technologies to you. MS, Microsoft Corporation, their affiliates and/or their designated agent may disclose this information to others, but not in a form that personally identifies you.
- **Internet Gaming/Update Features.** If the DEVICE Software provides, and you choose to utilize, the Internet gaming or update features within the DEVICE Software, it is necessary to use certain computer system, hardware, and software information to implement the features. By using these features, you explicitly authorize MS, Microsoft Corporation and/or their designated agent to use this information solely to improve their products or to provide customized services or technologies to you. MS or Microsoft Corporation may disclose this information to others, but not in a form that personally identifies you.
- **Internet-Based Services Components.** The DEVICE Software may contain components that enable and facilitate the use of certain Internet-based services. You acknowledge and agree that MS, Microsoft Corporation, their affiliates and/or their designated agent may automatically check the version of the DEVICE Software and/or its components that you are utilizing and may provide upgrades or supplements to the DEVICE Software that may be automatically downloaded to your DEVICE.
- **Additional Software/Services.** The DEVICE Software may permit Sharp Corporation, MS, Microsoft Corporation, their affiliates and/or their designated agent to provide or make available to you SOFTWARE updates, supplements, add-on components, or Internet-based services components of the SOFTWARE after the date you obtain your initial copy of the SOFTWARE (“Supplemental Components”).
  - ･If Sharp Corporation provides or makes available to you Supplemental Components and no other EULA terms are provided along with the Supplemental Components, then the terms of this EULA shall apply.

· If MS, Microsoft Corporation, their affiliates and/or their designated agent make available Supplemental Components, and no other EULA terms are provided, then the terms of this EULA shall apply, except that the MS, Microsoft Corporation or affiliate entity providing the Supplemental Component(s) shall be the licensor of the Supplemental Component(s).

· Sharp Corporation, MS, Microsoft Corporation, their affiliates and/or their designated agent reserve the right to discontinue any Internet-based services provided to you or made available to you through the use of the DEVICE Software.

- **Links to Third Party Sites.** The DEVICE Software may provide you with the ability to link to third party sites through the use of the DEVICE Software. The third party sites are not under the control of MS, Microsoft Corporation, their affiliates and/or their designated agent. Neither MS nor Microsoft Corporation nor their affiliates nor their designated agents are responsible for (i) the contents of any third party sites, any links contained in third party sites, or any changes or updates to third party sites, nor (ii) webcasting or any other form of transmission received from any third party sites. If the DEVICE Software provides links to third party sites, those links are provided to you only as a convenience, and the inclusion of any link does not imply an endorsement of the third party site by MS, Microsoft Corporation, their affiliates and/or their designated agent.

UPGRADES AND RECOVERY MEDIA.

- **DEVICE Software.** If the DEVICE Software is provided by Sharp Corporation separate from the DEVICE on media such as a ROM chip, CD ROM disk(s) or via web download or other means, and is labeled "For Upgrade Purposes Only" you may install one (1) copy of such DEVICE Software onto the DEVICE as a replacement copy for the existing DEVICE Software, and use it in accordance with this EULA, including any additional EULA terms accompanying the upgrade DEVICE Software.
- **COMPANION CD.** If any software component(s) is provided by Sharp Corporation separate from the DEVICE on CD ROM disk(s) or via web download or other means, and labeled "For Upgrade Purposes Only", you may (i) install and use one (1) copy of such component(s) on the computer(s) you use to exchange data with the DEVICE as a replacement copy for the existing Companion CD component(s).
- **RECOVERY MEDIA.** If SOFTWARE is provided by Sharp Corporation on separate media labeled "Recovery Media" you may use the Recovery Media solely to restore or reinstall the SOFTWARE originally installed on your DEVICE.

INTELLECTUAL PROPERTY RIGHTS. All title and intellectual property rights in and to the SOFTWARE (including but not limited to any images, photographs, animations, video, audio, music, text and "applets," incorporated into the SOFTWARE), the accompanying printed materials, and any copies of the SOFTWARE, are owned by MS or its suppliers (including Microsoft Corporation). The SOFTWARE is licensed, not sold. You may not copy the printed materials accompanying the SOFTWARE. All title and intellectual property rights in and to the content which may be accessed through use of the SOFTWARE is the property of the respective content owner and may be protected by applicable copyright or other intellectual property laws and treaties. This EULA grants you no rights to use such content. All rights not specifically granted under this EULA are reserved by MS and its suppliers (including Microsoft Corporation). Use of any on-line services which may be accessed through the SOFTWARE may be governed by the respective terms of use relating to such services. If this SOFTWARE contains documentation that is provided only in electronic form, you may print one copy of such electronic documentation.

TRADEMARKS. This EULA does not grant you any rights in connection with any trademarks or service marks of Sharp Corporation, MS, Microsoft Corporation, their affiliates or suppliers.

EXPORT RESTRICTIONS. You acknowledge that the SOFTWARE is subject to U.S. and European Union export jurisdiction. You agree to comply with all applicable international and national laws that apply to the SOFTWARE, including the U.S. Export Administration Regulations, as well as end-user, end-use and destination restrictions issued by U.S. and other governments. For additional information, see http://www.microsoft.com/exporting/.

PRODUCT SUPPORT. Product support for the SOFTWARE is not provided by MS, Microsoft Corporation, or their affiliates. For product support, please refer to Sharp Corporation support number provided in the documentation for the DEVICE. Should you have any questions concerning this EULA, or if you desire to contact Sharp Corporation for any other reason, please refer to the address provided in the documentation for the DEVICE.

RESTRICTED USE. The SOFTWARE is not designed or intended for use or resale in hazardous environments requiring fail-safe performance, such as in the operation of nuclear facilities, aircraft navigation or communication systems, air traffic control, or other devices or systems in which a malfunction of the SOFTWARE would result in a foreseeable risk of injury or death to the operator of the device or system, or to others.

NO LIABILITY FOR CERTAIN DAMAGES. EXCEPT AS PROHIBITED BY LAW, MS, MICROSOFT CORPORATION AND THEIR AFFILIATES SHALL HAVE NO LIABILITY FOR ANY INDIRECT, SPECIAL, CONSEQUENTIAL OR INCIDENTAL DAMAGES ARISING FROM OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THE SOFTWARE. THIS LIMITATION SHALL APPLY EVEN IF ANY REMEDY FAILS OF ITS ESSENTIAL PURPOSE. **IN NO EVENT SHALL MS BE LIABLE FOR ANY AMOUNT IN EXCESS OF TWO HUNDRED FIFTY U.S. DOLLARS (U.S. $250).**

FOR APPLICABLE LIMITED WARRANTIES (IF ANY) AND SPECIAL PROVISIONS PERTAINING TO YOUR PARTICULAR JURISDICTION, PLEASE REFER TO YOUR WARRANTY BOOKLET (IF ANY) INCLUDED WITH THIS PACKAGE OR PROVIDED WITH THE SOFTWARE PRINTED MATERIALS OR ELECTRONICALLY.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS" AND WITH ALL FAULTS. THE ENTIRE RISK AS TO SATISFACTORY QUALITY, PERFORMANCE, ACCURACY, AND EFFORT (INCLUDING LACK OF NEGLIGENCE) IS WITH YOU. THERE ARE NO WARRANTIES OR CONDITIONS, EITHER EXPRESS, IMPLIED OR STATUTORY, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, ANY (IF ANY) IMPLIED WARRANTIES OR CONDITIONS OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE, LACK OF VIRUSES OR NON-INFRINGEMENT, OR WARRANTY AGAINST INTERFERENCE WITH YOUR ENJOYMENT OF THE SOFTWARE, ANY AND ALL OF WHICH ARE HEREBY EXPRESSLY DISCLAIMED. IF YOU HAVE RECEIVED ANY WARRANTIES REGARDING THE DEVICE OR THE SOFTWARE IN A WARRANTY BOOKLET OR OTHERWISE, THOSE WARRANTIES DO NOT ORIGINATE FROM, AND ARE NOT BINDING ON, MS, MICROSOFT CORPORATION OR THEIR AFFILIATES.

以下は、0-27 ～ 0-30 ページの「Windows Mobile 6.1 End User License Agreement」をシャープ株式会社が日本語に置き換えて、マイクロソフト株式会社の承認を得たものです。

Windows Mobile 6.1 エンドユーザー使用許諾契約書

- お客様は、Microsoft Corporation またはその関連会社（以下「MS」といいます）からシャープ株式会社（以下「弊社」といいます）がライセンスを受けているソフトウェアを含む製品本体（以下「本製品」といいます）をお買い求めいただいております。本製品にインストールされている MS のこれらのソフトウェア製品、ならびに付随するメディア、印刷物、および「オンライン」もしくは電子文書（以下「本ソフトウェア」といいます）は国際的な知的財産権に関する法律および条約によって保護されています。本ソフトウェアは許諾されるもので、販売されるものではありません。無断複写・転載は禁じられています。
- お客様がこのエンドユーザー使用許諾契約書（以下「本契約書」といいます）に同意されない場合には、本製品の使用および本ソフトウェアをコピーすることはできません。その代わり、弊社にご連絡いただき、未使用の本製品の返却についての指示を受けてください。**本製品の使用も含みますが、それだけには限らず、本ソフトウェアを使用した場合、お客様が本契約書に同意（もしくは以前の同意を承認）頂いたものと見なします。**
- 本ソフトウェアは、本製品に既にインストールされているソフトウェア（以下「デバイスソフトウェア」といいます）および CD-ROM ディスクに搭載された MS のソフトウェア（以下「コンパニオン CD」といいます）を含みます。

本ソフトウェアの使用許諾の許可　本契約書により、お客様には下記のライセンスが許可されます。
デバイスソフトウェア　お客様は本製品にインストールされているデバイスソフトウェアを使用することができます。
コンパニオン CD　コンパニオン CD はお客様がお買い求めの本製品に同梱されており、お客様は Microsoft® ActiveSync® component を 1 台もしくは複数台のパーソナルコンピュータ (PC) にインストールして使用することができます。これにより Microsoft® Windows Mobile® Version 6.1 オペレーティングシステムと互換性のあるバージョンを搭載する 1 台もしくは複数台の演算装置と情報を交換することができます。コンパニオン CD に搭載の他のソフトウェアコンポーネントについては、お客様は、そのコンポーネントに添付の印刷されている、あるいはオンラインのエンドユーザー使用許諾契約書の条件を満たした場合のみ、そのコンポーネントをインストールして使用することができます。コンパニオン CD の特定のコンポーネントについて、エンドユーザー使用許諾契約書がない場合、お客様は、本製品あるいは本製品とともに使用する PC1 台のみにそのコンポーネントのコピーを 1 部に限りインストールして使用することができます。
電話機能　デバイスソフトウェアに電話機能が含まれている場合、弊社が本製品を販売できる適切な無線通信キャリア（以下「携帯電話事業者」といいます）にお客様がサービスアカウントをお持ちでない場合、または、携帯電話事業者のネットワーク設備が本製品で機能しないか、本製品で機能するように設定されていない場合、デバイスソフトウェアの全部または特定部分が動作しないことがあります。
Microsoft® Outlook®
お買い求めの本製品に Microsoft Outlook が同梱されている場合、Microsoft Outlook の使用については、次の条件が適用されます。（i）オンライン本契約書の「ソフトウェアのインストールおよび使用」の条項に記載されている情報に関わらず、お客様は 1 台の PC に Microsoft Outlook のコピーを 1 部インストールして本製品を使用し、本製品とデータを交換または、共有し、本製品にアクセスしまたは本製品と相互に動作させることができます。（ii）Microsoft Outlook の本契約書は弊社とエンドユーザーとの間で締結されるものであり、PC 製造者とエンドユーザーとの間で締結されるものではありません。

その他の権利および制限事項

- **音声／手書き認識**　デバイスソフトウェアに音声および／あるいは手書き認識のコンポーネントが含まれている場合、お客様は、音声および手書き認識は本質的に統計的な処理であり、コンポーネントによる手書き認識や、テキストへの最終的な変換において誤りが発生する場合があることを、予め了解するものとします。弊社およびその供給者はいずれもこの音声および手書き認識処理における誤りから生じる損害については一切責任を負わないものとします。
- **リバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルの制限**　お客様は本ソフトウェアをリバースエンジニアリング、逆コンパイル、あるいは逆アセンブルすることはできません。ただし、この制限事項に関わらず、このような行為が適用される法により明確に許可されている範囲内である場合はこの限りではありません。
- **使用許諾契約書**　本製品のパッケージには、各国言語への翻訳および複数のメディアバージョン（例えば、ユーザードキュメンテーションおよびソフトウェア）等、本契約書の複数のバージョンが含まれている場合があります。お客様が本契約書の複数のバージョンを受け取られた場合でも、お客様はデバイスソフトウェアのコピー 1 部のみを使用することが許諾されています。

- **MPEG-4 Visual Standard に関する注意**　デバイスソフトウェアには、MPEG-4 ビジュアルデコーディング技術が含まれている場合があります。MPEG LA, L.L.C. は、以下の通知を要求しています。
  - ・本ソフトウェアを MPEG-4 Visual Standard に従って使用することはいかなる方法であれ禁じられています。ただし、(A) (i) それによって事業を営んでいない消費者によって生成され、そのような消費者から料金を得ることなく取得されたデータまたは情報に直接関連し、(ii) 個人使用のみを目的とした使用、および (B) MPEG LA, L.L.C. によって明確かつ個別に使用許諾されたその他の使用を除きます。
    この通知に関してご不明な点がある場合は、MPEG LA, L.L.C.（250 Steele Street, Suite 300, Denver, Colorado 80206; Telephone 303 331.1880; FAX 303 331.1879）にお問い合わせください。
- **レンタル / 商用ホスティングの禁止**　お客様は、本ソフトウェアを他の人にレンタル、リース、または貸し出すことはできず、また、商用ホスティングサービスを提供することはできません。
- **デバイスのコンポーネントとしての本ソフトウェア － ソフトウェアの譲渡**　本製品のソフトウェアは、本製品とともに単一の統合製品として許諾されています。本製品の読み取り専用メモリ（「ROM」）にインストールされている本製品ソフトウェアは、本製品の一部としてのみ使用することができます。本契約書によって明示的に許可されている場合を除き、本製品の構成部品を 2 台以上の本製品で使用するために切り離すことはできません。お客様は、本契約書に基づいたお客様のすべての権利を、本製品を売却または譲渡する場合にのみ恒久的に譲渡することができます。ただし、この場合、お客様が複製物を保有せず、本ソフトウェアの一切（すべてのコンポーネント、メディアおよび印刷物、アップグレード、本契約書、および、該当する場合には実物証明書を含みます）を譲渡し、且つ受取人が本契約書の条項に同意することを条件とします。本ソフトウェアがアップグレードである場合、譲渡は必ず本ソフトウェアの以前のバージョンを含んだものでなければなりません。
  デバイスソフトウェアに電話機能が含まれる場合、適用される携帯電話事業者によって許可された場合を除き、デバイスソフトウェアまたはコンパニオン CD に関して、本契約書に基づくお客様の権利を恒久的に譲渡することはできません。携帯電話事業者がこのような譲渡を許可した場合、お客様は、本契約書に基づいたお客様のすべての権利を、本製品を売却または譲渡する場合にのみ恒久的に譲渡することができます。ただし、この場合、お客様が複製物を保有せず、本ソフトウェアの一切（すべてのコンポーネント、メディアおよび印刷物、アップグレード、本契約書、および、該当する場合には実物証明書を含みます）を譲渡し、且つ受取人が本契約書の条項に同意することを条件とします。本ソフトウェアがアップグレードである場合、譲渡は必ず本ソフトウェアの以前のバージョンを含んだものでなければなりません。
- **契約の解除**　お客様が本契約書の契約条件に違反した場合、弊社あるいは MS は他のすべての権利を侵害することなく、本契約を解除することができます。このような場合、お客様は必ず本ソフトウェアの複製物およびそのコンポーネントをすべて破棄しなければなりません。
- **セキュリティアップデート／デジタル権利管理**　コンテンツプロバイダーは、コンテンツに係る著作権およびその他の知的財産権が不正に使用されることのないよう、コンテンツ（以下「セキュアコンテンツ」といいます）の同一性を保持するために、本製品に含まれるデジタル権利管理技術（以下「DRM」といいます）を使用しています。デバイスソフトウェアおよび第三者のアプリケーションの一部分、例えばメディア・プレイヤー等は、セキュアコンテンツの再生のために DRM を使用しています（以下これらの部分を「DRM ソフトウェア」といいます）。DRM ソフトウェアのセキュリティが侵害された場合、セキュアコンテンツの所有者（以下「セキュアコンテンツ所有者」といいます）の要求により、MS は DRM ライセンスサーバーおよび PC が、影響を受けた本製品でセキュアコンテンツを再生するための新しいライセンスを配信できないようにするものとします。この処置によって、保護されていないコンテンツを再生する DRM ソフトウェアの機能は影響を受けません。取り消された DRM ソフトウェアのリストは、お客様がセキュアコンテンツのためにインターネットあるいはお客様の PC からライセンスをダウンロードする際、常にお客様の本製品に送信されます。この場合、お客様は MS がセキュアコンテンツ所有者に代わって、セキュアコンテンツのためのライセンスとあわせて取り消しリストをお客様の本製品にダウンロードすることに同意するものとします。MS は、取り消しリストのダウンロードに際して、お客様の本製品から個人を特定できる情報およびその他の情報を取り出すことはありません。
- **データ使用の同意**　お客様は、MS、Microsoft Corporation、その関連会社、および／あるいは指定された代理人が、ソフトウェアに関する製品サポートサービスの一部として、いかなる方法で収集された技術情報でも、収集および使用することに同意するものとします。MS、Microsoft Corporation、その関連会社、および／あるいは指定された代理人は、この情報を製品の改良、またはカスタマイズサービスまたはテクノロジーをお客様に提供することのみを目的として使用することができます。MS、Microsoft Corporation、その関連会社、および／あるいは指定された代理人は、この情報を他者に開示できますが、お客様を個人的に特定できるような形では開示しません。
- **インターネットゲーム／更新機能**　デバイスソフトウェアがデバイスソフトウェア内でインターネットゲームまたは更新機能を提供し、お客様がそれらの機能を利用することを選んだ場合、それらの機能を実装するには、特定のコンピュータシステム、ハードウェア、およびソフトウェア情報を使用する必要があります。これらの機能を使用することによって、お客様は、MS、Microsoft Corporation、および／あるいは指定された代理人が、この情報を製品の改良またはカスタマイズサービスまたはテクノロジーをお客様に提供することのみを目的として使用することを明示的に認めるものとします。MS または Microsoft Corporation は、この情報を他者に開示できますが、お客様を個人的に特定できるような形では開示しません。

- **インターネットベースのサービスコンポーネント**　デバイスソフトウェアには、特定のインターネットベースのサービスの使用を可能および容易にするコンポーネントが含まれていることがあります。お客様は、MS、Microsoft Corporation、その関連会社、および／あるいは指定された代理人がお客様が利用しているデバイスソフトウェアおよび／あるいはそのコンポーネントのバージョンを自動的にチェックし、お客様の本製品に自動的にダウンロードできるデバイスソフトウェアのアップグレードまたは補遺を提供することを認め、同意するものとします。
- **追加ソフトウェア／サービス**　デバイスソフトウェアは、弊社、MS、Microsoft Corporation、その関連会社、および／あるいは指定された代理人が、お客様が本ソフトウェアの最初のコピーを入手した日以後に、本ソフトウェアのソフトウェアアップデート、補遺、アドオンコンポーネント、またはインターネットベースのサービスコンポーネント（以下「補足コンポーネント」といいます）をお客様に提供するか、お客様に対して利用可能にすることを許可することがあります。
  - ・弊社が補足コンポーネントをお客様に提供する場合、またはお客様に対して使用可能にする場合、他の契約条項が補足コンポーネントに同梱されていない場合には、本契約書の条項が適用されるものとします。
  - ・MS、Microsoft Corporation、その関連会社、および／あるいは指定された代理人が補足コンポーネントを使用可能にし、他の契約条項が規定されていない場合には、本契約書の条項が適用されるものとします。ただし、補足コンポーネントを提供するMS、Microsoft Corporationまたは関連団体は、補足コンポーネントのライセンサーであるものとします。
  - ・弊社、MS、Microsoft Corporation、その関連会社、または指定された代理人は、デバイスソフトウェアの使用を通じてお客様に提供され、あるいはお客様に対して使用可能にされるインターネットベースサービスを中止する権利を留保します。
- **第三者のサイトへのリンク**　デバイスソフトウェアは、デバイスソフトウェアの使用を通じて、第三者のサイトへリンクする機能をお客様に提供することがあります。第三者のサイトはMS、Microsoft Corporation、その関連会社、または指定された代理人が管理するものではありません。MS、Microsoft Corporation、その関連会社、または指定された代理人のいずれも、(i) 第三者のサイトの内容、第三者のサイトに含まれるリンク、または第三者のサイトの変更あるいは更新についても、(ii) 第三者のサイトから受信されるWebキャストまたはその他のいかなる形式の送信についても責任を負いません。デバイスソフトウェアが第三者のサイトへのリンクを提供する場合、それらのリンクはお客様の便宜のために提供されるものであり、リンクの含有は、MS、Microsoft Corporation、その関連会社、および／あるいは指定された代理人が第三者のサイトを推奨していることを意味しません。

アップグレードとリカバリメディア
- **デバイスソフトウェア**　デバイスソフトウェアがROMチップあるいはCD-ROMディスクなどのメディアで、またはWebからのダウンロードあるいはその他の手段により、本製品とは別に弊社によって提供され、かつ、「For Upgrade Purposes Only」と明記されている場合、お客様はこのようなデバイスソフトウェアのコピー1部を既存のデバイスソフトウェアの代わりとして本製品にインストールし、アップグレードデバイスソフトウェアに付属の追加の契約書の条項も含め、本契約書に従って使用することができます。
- **コンパニオンCD**　ソフトウェアのコンポーネントが、CD-ROMディスクあるいはWebからのダウンロードやその他の手段により、本製品とは別に、弊社より提供され、且つ「For Upgrade Purposes Only」のラベルが貼られている場合、お客様は、既存のコンパニオンCDの差し替え用コピーとして、本製品とのデータ交換に使用するコンピュータにそのようなコンポーネントを1部インストールし使用することができます。
- **リカバリメディア**　本ソフトウェアが弊社から「Recovery Media」と記載された個別のメディアで提供された場合、お客様は本製品に元々インストールされていた本ソフトウェアを復元または再インストールする目的でのみ、リカバリメディアを使用することができます。

知的財産権　本ソフトウェア（本ソフトウェアに組み込まれたイメージ、写真、アニメーション、ビデオ、音声、音楽、テキスト、「アプレット」を含みますが、これに限りません）、付属の印刷物、および本ソフトウェアの複製物についてのすべての権限および知的財産権は、MSもしくはその供給者（Microsoft Corporationを含みます）が所有しています。本ソフトウェアは許諾されるもので、販売されるものではありません。お客様は、本ソフトウェアに付属の印刷物を複製することはできません。本ソフトウェアを使用してアクセスすることのできるコンテンツについては権限および知的財産権は、各コンテンツ所有者の財産であり、著作権法およびその他の知的財産権に関する法律および条約により保護されている場合があります。本契約書は、お客様にそのようなコンテンツの使用権を許諾するものではありません。本契約書で明確に許諾されていないすべての権利はMSおよびその供給者（Microsoft Corporationを含みます）が留保しています。本ソフトウェアを通じてアクセスできるオンラインサービスの利用は、そのようなサービスに関するそれぞれの使用条件によって規定されることがあります。本ソフトウェアに電子形態でのみ提供される文書が含まれる場合、お客様はそのような電子文書を1部のみ印刷することができます。
商標　本契約書は、お客様に弊社、MS、Microsoft Corporation、それらの関連会社または供給者の商標またはサービスマークに関連するいかなる権利も付与しません。
輸出規制事項　お客様は、本ソフトウェアがアメリカ合衆国および欧州連合の輸出関連法規の対象となるものであることを認識しているものとします。お客様は、本ソフトウェアに適用される全ての国際法及び国内法（アメリカ合衆国輸出管理規制および、米国または他の国の政府によって発行された、エンドユーザー、最終用途、および目的地に関する規制を含む）に従うことに同意するものとします。追加情報に関しては、

http://www.microsoft.com/exporting/ をご参照ください。
製品のサポート　本ソフトウェアの製品サポートは、MS、Microsoft Corporation、またはそれらの関連会社が提供するものではありません。製品のサポートについてお問い合わせの際には、本製品の添付文書に記載の弊社のサポート番号をご利用ください。本契約書についてのご質問、またはその他の理由により、弊社にお問い合わせいただく場合には、本製品の添付文書に記載の連絡先までお願いいたします。
使用の制限　本ソフトウェアは、核施設、航空機のナビゲーションもしくは通信システム、航空管制の運用など、絶対確実な性能を必要とする危険な環境、または本ソフトウェアの誤動作がオペレータの負傷または死亡という予見可能なリスクをもたらすその他のデバイスまたはシステムでの使用または再販を目的とするものではありません。
特定の損害に対する免責　法律により禁じられている場合を除き、MS、Microsoft Corporation およびそれらの関連会社は本ソフトウェアの使用もしくは実行の関連から、あるいは関連して生じる間接的、特殊的、結果的、あるいは偶発的な損害についての責任は負わないものとします。本制限事項はその本質的な目的を修復できなかった場合でも適用するものとします。**いかなる場合も、MS は 250 米ドルを超える金額の賠償責任を負わないものとします。**
お客様に個別に適用される国・地域の法律の下での限定保証（ある場合）ならびに特別条項については、本パッケージに添付あるいは本ソフトウェアの印刷物または電子的に記載の保証条項（ある場合）をご参照ください。本ソフトウェアは現状のまま、あらゆる瑕疵を含んだ状態で提供されます。満足の行く品質、性能、正確さ、および努力（怠慢の欠如を含みます）に関する全リスクは、お客様が負うものとします。本ソフトウェアについては、明示的、暗黙的、または法定を問わず、いかなる保証または条件もありません。これには、本ソフトウェアの商品性、特定目的に対する適合性、ウイルスに感染していないこと、または非侵害に関する暗黙的な保証または条件、もしくはお客様が本ソフトウェアを利用できないことに対する保証が含まれますが、これらに限定されず、その一部またはすべてが本契約書によって明示的に否認されます。お客様が保証書またはその他の形で、本製品または本ソフトウェアに関する何らかの保証を受け取った場合、それらの保証はMS、Microsoft Corporation、またはそれらの関連会社によって発行されたものではなく、これらの会社を拘束するものではありません。

取扱説明書の表記

ボタンやキーの表記

・画面上のメニューやボタンなど.................... ・メニューなどと表記します。
・イルミネーションキー.................................. ・『OKキー』などと表記します。
・カーソルキーは、『カーソルキー』と表記します。
・アクションキーは、『アクションキー』と表記します。
・キーボードのキー ・『Aキー』などと表記します。

操作手順の表記

この製品を操作するには、次の 3 つの方法があります。
・イルミネーションキーをタップして操作する。
・キーボードのキーを押して操作する。
・画面をタップして操作する。
※主に縦表示の場合を説明しています。

マーク

MEMO .... 補足的なことを説明しています。

ご注意 .... 注意していただきたいことを説明しています。

☞ .... 参照する取扱説明書のページを指しています。

表示画面

・ 本書に記載されている画面例は、縦表示のものを掲載しています。
・ 本書に記載されている画面例は、実際の製品で表示される画面と異なる場合があります。
※この取扱説明書に記載しているお問い合せ先の電話番号や時間帯、各種サービスの電話番号などは、2008 年 5 月現在のものです。

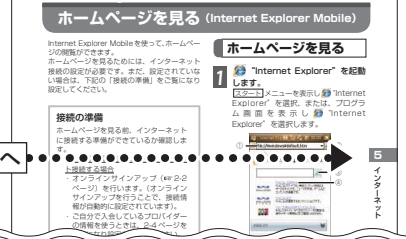
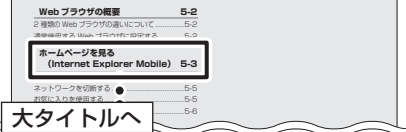
説明が 1 ページ内に収まらない項目

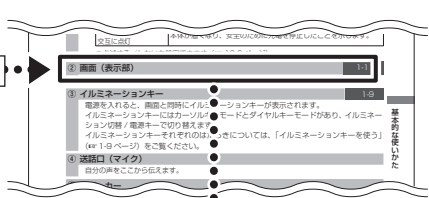
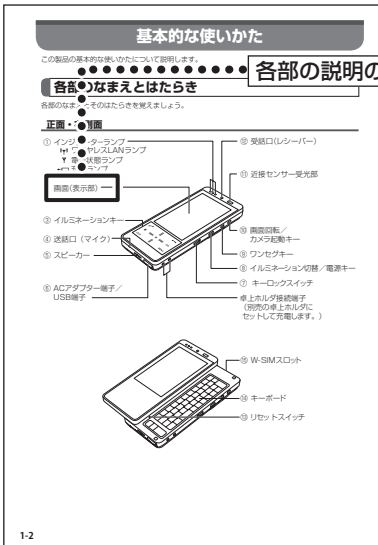
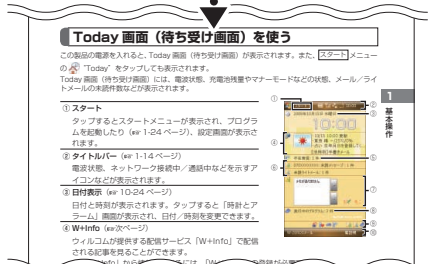
項目によっては、手順が 1 ページ内に収まらず、次のページに続けて説明しています。
次のページに手順がないかを確認しながらお読みください。

本書の引きかた

「もくじ」や「さくいん」以外でも、次の方法で目的の内容を探すことができます。

表紙右端のインデックスを使って探す　表紙

表紙右端のインデックスを使って、目的の機能の章扉や大タイトル、タブなどへ飛ぶことができます。

この製品の各部の名称から探す　1-2～5ページ

この製品の各部のキーや名称から、機能の説明や詳細な使いかたを探すことができます。

プログラムアイコンから探す　1-17～19ページ

プログラム画面に表示されているOperaや名刺リーダなどのアイコンから、機能の説明や詳細な使いかたを探すことができます。

プログラム画面について

スタート メニューの プログラム画面が表示されます。プログラム画面のアイコンをタップすると、それぞれのプログラムを起動できます。

ゲーム（☞付属の CD-ROM に収録のアプリケーションマニュアル）

ActiveSync（☞ 8-2 ページ）

Outlook の仕事や予定表などと同期します。

Adobe Reader LE（☞付属の CD-ROM に収録のマニュアル）

PDF ファイルを表示することができます。

Java（TM）アプリ（☞ 9-12 ページ）

Java アプリケーションを実行するための Java 実行環境です。ゲームなどの Java アプリケーションなどを利用できます。

Messenger（☞付属の CD-ROM に収録のアプリケーションマニュアル）

登録しているメンバーとの間で、チャットができます。

NAVITIME（☞付属の CD-ROM に収録のアプリケーションマニュアル）

地図検索や目的地までの乗換検索、時刻表の検索などができます。

Opera Browser（☞ 5-10 ページ）

パソコンとの連携（ActiveSync/Windows Mobile デバイスセンター）

ActiveSync または Windows Mobile デバイスセンターを使うと、同期やファイルのコピーなど以下のことができます。

・パソコンの Microsoft Outlook とこの製品の予定表や連絡先などのデータを同期します。たとえば、この製品の予定表を外出先で変更してもオフィスのパソコンと同期すると、データを比較し古いデータを新しいデータに更新します。

・この製品とパソコン間でファイルやフォルダをドラッグ＆ドロップでコピーできます（☞ 8-11 ページ）。

・Word Mobile や Excel Mobile のデータとパソコンの Word や Excel のデータを同期します（☞ 8-8、8-9 ページ）。

・パソコンで表示したホームページの URL をこの製品に転送することができます。

ここでは、ActiveSync/Windows Mobile デバイスセンターの基本的な使いかたについて説明します。

設定や使用方法についてくわしくは、ヘルプや、付属の CD-ROM の中にある ActiveSync または Windows Mobile デバイスセンターの Readme.doc をご覧ください。

パソコンの動作環境について

■ ActiveSync をインストールするパソコン

OS（ActiveSync と USB モデムドライバ共通）

・Microsoft Windows XP Professional (Service Pack 2)

・Microsoft Windows XP Home (Service Pack 2)

・Microsoft Windows 2000 Professional (Service Pack 4)

※これ以外の OS については、付属の CD-ROM に収録されている「readme.doc」をご覧ください。

アプリケーション

・Microsoft Outlook XP、Microsoft Outlook 2003、受信トレイ、予定表、連絡先、仕事などと同期するために必要

・Microsoft Internet Explorer 6.0 以降

各種設定アイコンから探す　1-19～23ページ

設定画面に表示されている着信音やバックライトの設定などのアイコンから、詳細な設定方法を探すことができます。

予定表（☞付属の CD-ROM に収録のアプリケーションマニュアル）

打ち合わせや会議などのスケジュールを入力し管理できます。

連絡先（☞付属の CD-ROM に収録のアプリケーションマニュアル）

住所や電話番号、メールアドレスなどを管理します。

設定画面について

"設定" をタップすると、設定画面が表示されます。設定画面には 3 つのタブがあり、以下の項目が設定できます。それぞれの設定について、あわせてヘルプもご覧ください。

◇個人用タブ◇

Today（☞ 10-2 ページ）

待ち受け画面となる Today 画面（☞ 1-11 ページ）を設定します。

デザイン：Today 画面の背景を変更します。

アイテム：Today 画面に表示する情報（仕事、予定表など）と表示順などを設定します。

カーソルキー：Today 画面でカーソルキーをタップしたときの動作を設定します。

オーナー情報（☞ 10-4 ページ）

オーナー情報を入力します。

オーナー情報：名前、住所などを入力します。

メモ：メモなどを入力します。

オプション：電源を入れたときに、オーナー情報やメモを表示する／しないを設定します。

使用環境を設定する（個人用タブ）

着信音や待ち受け画面（Today 画面）など、使いやすいようにこの製品の環境を設定します。スタート メニューの "設定" － 個人用 タブをタップすると、個人用タブの設定画面が表示されます。

それぞれの設定について、あわせてヘルプもご覧ください。

待ち受け画面（Today 画面）を設定する

壁紙などを設定して、自分だけの待ち受け画面（Today 画面）を作成できます。

1 スタート メニューの "設定" をタップして "Today" をタップします。

2 Today 画面に関する設定を行います。

◇デザインタブ◇

◇アイテムタブ◇

① Today 画面に表示するアイテムにチェックを付けます。

② Today 画面に表示するアイテムの順番を変更します（「日付」の順番は変更できません）。

③「時計」または「仕事」、「予定表」にチェックを付けた場合、タップすると表示する内容の詳細を設定できます（☞次ページ）。

Today画面に表示されているアイコンなどから探す　1-11～12、1-14～16ページ

Today画面（待ち受け画面）に表示されているアイコンなどから、機能の説明や詳細な使いかたを探すことができます。

Today 画面

この製品の電源を入れると Today 画面（待ち受け画面）が表示されます。また、スタート メニューの "Today" をタップしても表示されます。

Today 画面（待ち受け画面）には、電波状態、充電池残量やマナーモードなどの状態、メール／ライトメールの未読件数などが表示されます。

① スタート

タップするとスタートメニューが表示され、プログラムを起動したり（☞ 1-14 ページ）、設定画面が表示されます。

② タイトルバー（☞ 1-14 ページ）

イコンなどが表示されます。

③ 日付表示（☞ 10-24 ページ）

日付と時刻が表示されます。タップすると「時計とアラーム」画面が表示され、日付／時刻を変更できます。

④ W+Info（☞次ページ）

ウィルコムが提供する配信サービス「W+Info」で配信される記事を見ることができます。

※「W+Info」から情報を受けるには、「W+Info」への登録が必要です。

⑤ 不在着信件数表示（☞ 2-6 ページ）

タイトルバーに表示されるアイコンについて

入力モードのアイコン

ダイヤルキーの入力モードが表示されます。

文字入力については、1-40 ページをご覧ください。

また、キーボードを出しているとき、入力モードのアイコンは固定になり、0～9、*、#のみ入力できます。

インターネット接続のアイコン

：インターネットに接続している状態を示します。

：インターネットに接続していない状態を示します。

電波状態のアイコン

電波の受信状態をアイコンで表示します。

このアイコンは、電波状態ランプと連動しています（☞ 1-3 ページ）。

※ホームページ閲覧中やメール送信／受信のためにインターネット接続中、このアイコンは消えます。このとき、電波状態は電波状態ランプで示します（☞ 1-3 ページ）。

圏外：エリア外または電波が届いていない場所にいます。

強 ← → 弱

本書以外から探す

本書で説明している以外のプログラムやわからないこと、困ったときの解決策を探すことができます。

アプリケーションマニュアルから探す

アプリケーションマニュアルは、パソコンで見るPDF形式の電子マニュアルです。
以下のマニュアルは、アプリケーションマニュアルとして付属のCD-ROMに収録されています。

アプリケーション

- ・デ辞蔵 Mobile
- ・連絡先
- ・メモ
- ・Word Mobile
- ・OneNote Mobile
- ・Windows Live / Messenger
- ・電卓
- ・Bubble Breaker
- ・アラーム
- ・区点コード一覧
- ・予定表
- ・仕事
- ・Excel Mobile
- ・PowerPoint Mobile
- ・メール（Outlook）
- ・NAVITIME
- ・ソリティア
- ・キーボード入力パネル
- ・文字入力のしかた

Adobe Reader LE

アプリケーションマニュアルをお読みになるには、パソコンにAdobe Acrobat ReaderまたはAdobe Readerがインストールされている必要があります（Adobe Acrobat Reader5.0以上を推奨)。
Adobe Readerは付属のCD-ROMからインストールできます。以下手順の**1**と**2**を行い、表示された画面で「Adobe Reader」をクリックします。

1 **パソコンに付属のCD-ROMをセットします。**
画面にメニューが表示されます。

2 **画面内の「Windows Mobile デバイスハンドブック」をクリックし、さらに、「ユーザーマニュアル」をクリックして、画面左側の「オンラインマニュアル」をクリックします。**

3 **ご覧になるマニュアルをクリックします。**
アプリケーションマニュアルが表示されます。

4 **次のような方法などで、見たいページを表示します。**

プログラムなどの説明全体を見るとき　：しおりを使うと便利です。
調べたい言葉があるとき　：検索を使うと便利です。
ページを順番に見るとき　：ページ移動のアイコンを使うと便利です。

検索
クリックして検索したい言葉を入力します。検索した言葉が含まれるページ（またはその一覧）が表示されます。

手のひらツール（移動）
クリックしてページをドラッグするとスクロールバーを使わずにページの移動ができます。斜め方向の移動に便利です。

拡大縮小
特定の部分を拡大するときは、をクリックしてから拡大したい部分をドラッグして囲みます。

しおり
見出しをクリックすると、そのページへジャンプします。
⊞をクリックするとしおりに詳細な見出しが表示されます。

ページ移動
ページ番号を入力しパソコンの「Enter」キーを押すとそのページへジャンプします。
- :最初のページへ
- :最後のページへ
- :前のページへ
- :次のページへ

表示レイアウト
単一ページ表示、連続表示、見開き表示など、ページの表示レイアウトを変更できます。

MEMO

- お使いの Adobe Acrobat Reader または Adobe Reader のバージョンによって、アイコンの形状や表示位置が異なります。アイコンにカーソルを合わせると、そのアイコンの機能が表示されます。
- くわしい使いかたは、Adobe Acrobat Reader または Adobe Reader のヘルプをご覧ください。

この製品の使いかた（ヘルプ）から探す

この製品に内蔵されているプログラムの操作方法はヘルプで確認できます。

1 **スタート メニューの “ヘルプ” をタップします。**

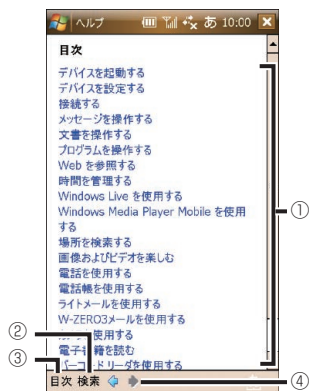
そのときに表示されているプログラムのヘルプ画面が表示されます。

2 **見たい項目をタップします。**

① タップするとその項目のヘルプが表示されます。

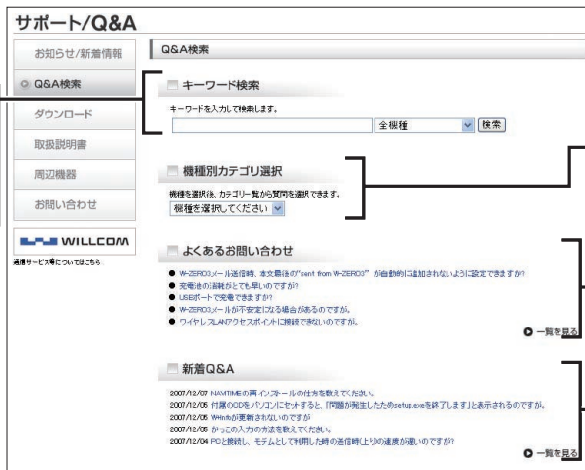
② タップすると検索画面が表示され、検索したい語句を入力して検索できます(☞1-50ページ)。

③ タップするとヘルプの全目次が表示されます。

④ をタップすると、これまで表示したヘルプ画面をさかのぼって表示します。
をタップすると、さかのぼったヘルプ画面を元の画面に戻します。

インターネットから探す

この製品のホームページから探すことができます。

1 **この製品のホームページ (http://wssupport.sharp.co.jp/qa/) を表示します。**

2 **次のような方法でわからないことや困ったことを探します。**

記載されている画面例は、実際の製品で表示される画面と異なります。

1 章　基本操作

基本的な使いかた

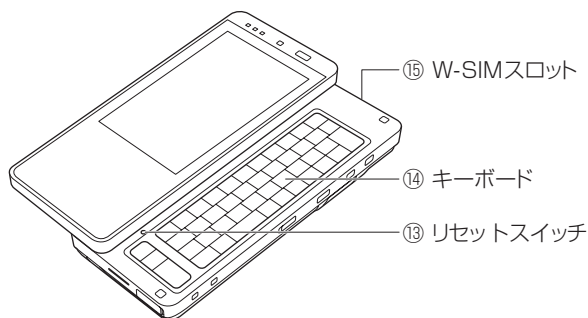
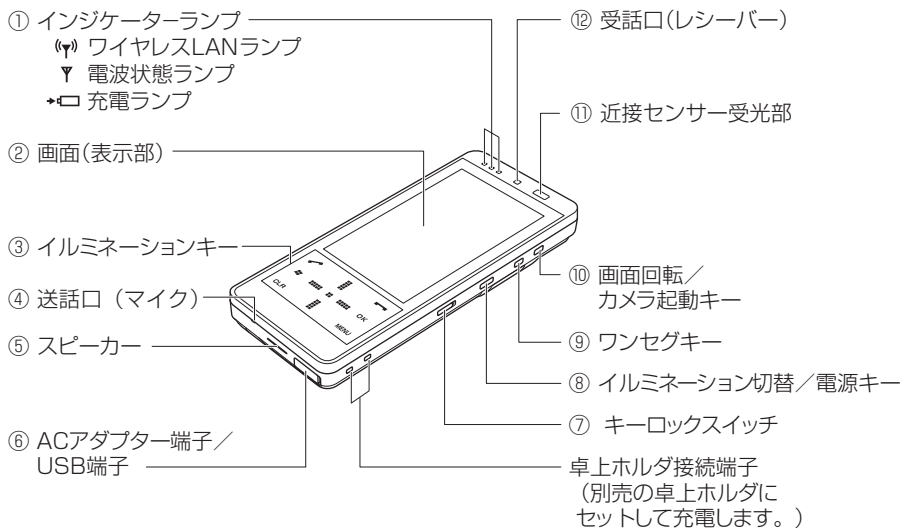
この製品の基本的な使いかたについて説明します。

各部のなまえとはたらき

各部のなまえとそのはたらきを覚えましょう。

正面・右側面

① インジケーターランプ
ワイヤレスLANランプ
電波状態ランプ
充電ランプ
② 画面(表示部)
③ イルミネーションキー
④ 送話口（マイク）
⑤ スピーカー
⑥ ACアダプター端子／USB端子
⑫ 受話口(レシーバー)
⑪ 近接センサー受光部
⑩ 画面回転／カメラ起動キー
⑨ ワンセグキー
⑧ イルミネーション切替／電源キー
⑦ キーロックスイッチ
卓上ホルダ接続端子（別売の卓上ホルダにセットして充電します。）

なまえとはたらき	参照ページ

① インジケーターランプ

この製品の状態をランプの光りかたで表します。

ワイヤレス LAN ランプ　2-12

ワイヤレス LAN をオン（有効）にすると黄緑色点灯します。

電波状態ランプ

電話の電波強度や電話着信などを表します。

緑色に点灯※ 1	(アイコン)
オレンジ色に点灯※ 1	(アイコン)
赤色に点灯※ 1	(アイコン)
消灯	圏外（エリア外であることを示します。）
青色に点滅	電話着信時、メール／ライトメール受信時であることを示します。※ 2
青色に点灯	不在着信、未読のメール／ライトメールがあることを示します。※ 2

※ 1：・電波状態アイコンと連動します。
　　　・ホームページ閲覧中やメール送信／受信を行うと、電波強度は電波状態ランプ（緑色、オレンジ色、赤色）で示します。
※ 2：点滅や点灯する／しないを設定できます（☞ 3-21 ページ）。

充電ランプ　1-7

オレンジ色に点灯	充電中であることを示します。
黄緑色に点灯	満充電であることを示します。
黄緑色に点滅	アラームを知らせます。※
オレンジ色に点滅	充電中に異常が発生したことを示します。
オレンジ色と黄緑色が交互に点灯	本体が温くなり、安全のため一時的に充電を停止したことを示します。

※点滅する／しないを設定できます（☞ 10-25 ページ）。

② 画面（表示部）　1-11

各種のデータが表示されます。

③ イルミネーションキー　1-9

電源を入れると、画面と同時にイルミネーションキーが表示されます。
イルミネーションキーにはカーソルキーモードとダイヤルキーモードがあり、イルミネーション切替 / 電源キーで切り替えます。
イルミネーションキーそれぞれのはたらきについては、「イルミネーションキーを使う」（☞ 1-9 ページ）をご覧ください。

④ 送話口（マイク）

自分の声をここから伝えます。

⑤ スピーカー

着信音や“予定表”のアラーム、再生している音楽が鳴ります。
※イヤホンマイクを接続しているときは、イヤホンから聞こえます。
　音量を上げる（最大にする）と音割れする場合があります。

⑥ AC アダプター端子／ USB 端子　8-4

付属の AC アダプター（EA-84）または付属の USB ケーブルを接続します。
他の AC アダプターは接続しないでください。故障の原因になります。
通常はカバーで覆われています。使用時はカバーを開き使用します。

⑦ キーロックスイッチ 1-6

スイッチを下側にするとキーロックがかかります。キーロック中は、キーを押したり画面をタップしても動作しません（☞ 1-6 ページ）。キーロックを解除するには、スイッチを反対側にします。

⑧ イルミネーション切替／電源キー 1-8

・イルミネーションキーのカーソルキーモードとダイヤルキーモードを切り替えます。
・キーを長く（約 2 ～ 3 秒）押すと、電源の入／切ができます。
※キーロック中（☞ 1-6 ページ）、節電状態または画面の電源が切れている状態でこのキーを押すと画面が表示されます。ただし、キーロックがかかっていますので、他のキーを押しても動作しません（キーロックを解除してください）。

⑨ ワンセグキー 6-2

ワンセグアプリケーションを起動します。

⑩ 画面回転／カメラ起動キー 7-2

・画面を縦表示から横表示へ切り替えたり、横表示から縦表示に切り替えます。
・キーを長く（約 2 ～ 3 秒）押すと、“カメラ”（☞ 7-2 ページ）を起動します。

⑪ 近接センサー受光部

通話中、近接センサー受光部に顔の一部が近づくと画面／イルミネーションキーへのタップ（入力）を禁止します（通話中に誤った入力を防ぐためのものです）。
近接センサー受光部から離すと、通話中でも画面やイルミネーションキーへのタップ（入力）が可能になります。この設定は変更することができます（☞ 10-23 ページ）。

⑫ 受話口（レシーバー）

通話中に相手の声が聞こえます。
※イヤホンマイク接続時はイヤホンから聞こえます。

⑬ リセットスイッチ 11-2

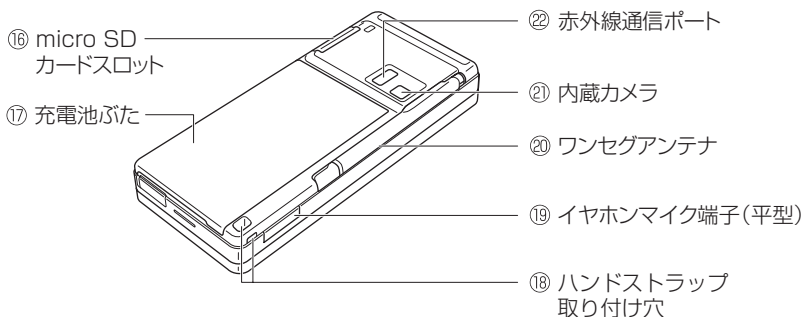
画面タップやキー操作が正しくはたらかないときに付属のスタイラスで押すと、リセット（再起動）をすることができます。
リセットを行っても正常に動作しないときは、フルリセット（☞ 11-3 ページ）を行います。

⑭ キーボード 1-27

キーボードを引き出して、文字を入力できます。

⑮ W-SIM スロット 11-11

W-SIM を装着します。
通常はカバーで覆われています。交換時はカバーを開きます。

背面・左側面

⑯ microSD カードスロット　1-46

動作確認済みの microSD カードを装着します。
通常はカバーで覆われています。装着時はカバーを開きます。

⑰ 充電池ぶた　11-3

このふたを外し、充電池の取り外しやフルリセットをします。

⑱ ハンドストラップ取り付け穴

付属のハンドストラップを取り付けます。
くわしくは別冊の「かんたん操作ガイド」をご覧ください。

⑲ イヤホンマイク端子（平型）

イヤホンマイクなどを接続します。
通常はカバーで覆われています。使用時はカバーを開き使用します。

⑳ ワンセグアンテナ　6-3

ワンセグを見るときに使用します。

㉑ 内蔵カメラ　7-3

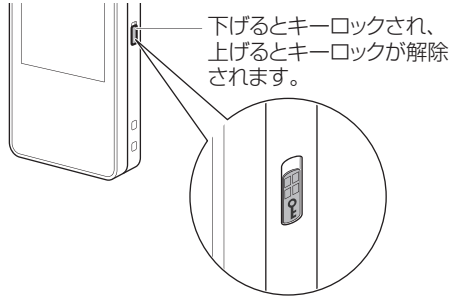
写真を撮影します。

㉒ 赤外線通信ポート　8-31

赤外線でデータをやり取りするとき、ほかの機器の赤外線通信ポートと向きを合わせます。

キーロックする

誤って画面をタップしたりキーが押されても動作しないようにできます。

1 **キーロックスイッチを下側にします。**
節電状態になり画面が消えます。
キーロック中は、キーを押したり画面をタップしても動作しません。
キーロック中でも電話がかかってきたときは、電話に出ることができます。

MEMO

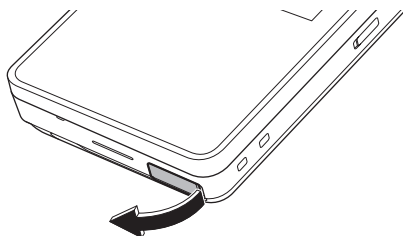
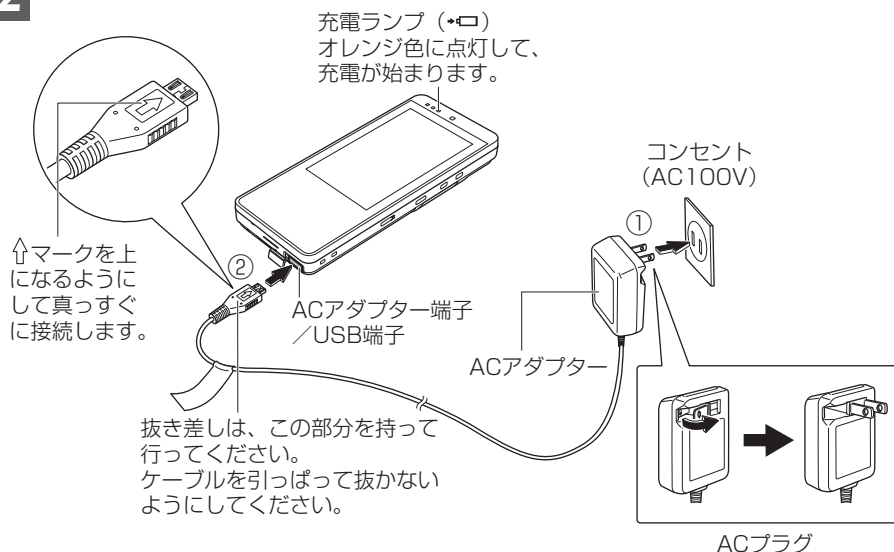
- **キーロック中（節電状態になり画面が消えたとき）、画面を点灯する方法として、以下の 2 つの方法があります。**
  ・キーロックを解除する（☞下記）。
  ・イルミネーション切替／電源キーを押す。
  ※イルミネーション切替／電源キーを押したときは、画面は点灯しますが、キーロック中のままです。
- ワイヤレス LAN をオン（有効）にしているときやパソコンと接続している状態などでは、画面の電源がオフになりイルミネーションキーが点滅します（節電状態になりません）。
- キーロック時に「節電状態にしない」（☞ 10-20 ページ）にすると、キーロックにしても節電状態にはならずタイトルバーに 🔒 が表示されます。

キーロックを解除する

1 **キーロックスイッチを反対側（上側）にします。**
キーロックが解除されます。キーを押したり、画面タップが行えます。

充電する

この製品を使用中に充電池が消耗したときは、すぐにこの製品の専用充電器である付属の AC アダプター（EA-84）を使って充電池を充電してください（他の AC アダプターは使用しないでください）。

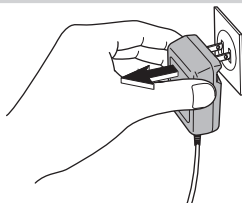
1 **AC アダプターのカバーを開きます。**

2 **下図のように①、②の順で、AC アダプターを接続します。**

3 **満充電になると、充電ランプが黄緑色になり、充電が完了します。**

電源を切った状態や節電状態で満充電になるまでに、通常、常温 25℃で約 3.5 時間かかります（充電池の残量や周囲温度によって変わります）。

また、この製品を使用しながら充電を行うと、満充電になるまでには長い時間がかかります。使用状態（データ通信や通話、ワンセグ視聴など）によっては、消費電力が多いため充電されないことや発熱によって本体が温かくなることがあります。本体が温かくなってくると安全のため一時的に充電を停止することがあります（このような場合は、充電ランプがオレンジ色と黄緑色とが交互に点灯します）。

4 **AC アダプターをこの製品の端子から抜き、コンセントから取り外します。**

● ACアダプターをコンセントから抜くときは

・ACアダプターの上部を持って図の矢印方向に抜いてください。

● ACアダプターについて

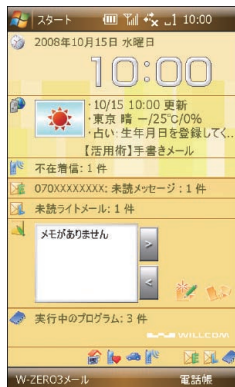
・必ずこの製品に付属のACアダプター（EA-84）を使用してください。
・ACアダプターを、市販されている「電子変圧器」などに接続しないでください。ACアダプターおよび本体が故障することがあります。

MEMO

● 充電は、周りの温度が５～35℃の場所で行ってください。温度が変わると充電時間が長くなることがあります。また、充電は満充電になるまで行ってください。
● 長時間使用しなかった充電池の充電には、通常より多くの時間がかかります。
● 充電池については、11-7ページをご覧ください。
● 充電中にこの製品やACアダプターが温かくなることがありますが、故障ではありません。

電源を入れる／切る

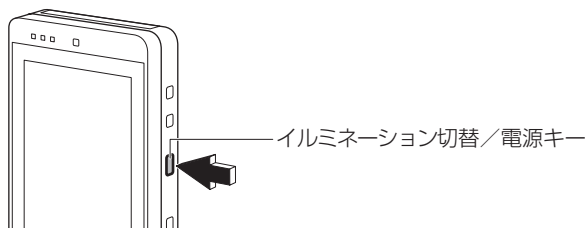
1 イルミネーション切替／電源キーを長く（約２～３秒）押します。

2 電源が入り、Today画面（待ち受け画面）が表示されます。

3 電源を切るときは、イルミネーション切替／電源キーを長く（約２～３秒）押します。

MEMO

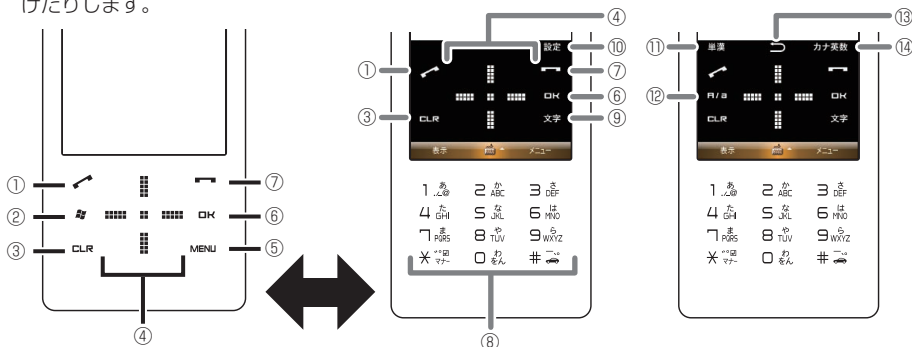
- 充電池が消耗して電源が切れた後に、付属の AC アダプターを接続しても電源が入らないことがあります。このような場合は、しばらく充電してから使用してください。
- （充電池を交換したときなど）電源が入らないときは、フルリセットしてみてください（☞ 11-3 ページ）。

イルミネーションキーを使う

イルミネーションキーには、２種類のモード（カーソルキーモードとダイヤルキーモード）があり、イルミネーション切替／電源キーを押して切り替えます。

■カーソルキーモード

- カーソルを上下左右に移動させたり、プログラム画面や設定画面などでアイコンを選択します。
- 電話をかけたり、電話を受けたりします。

■ダイヤルキーモード

- 文字を入力します。また、画面上の（カーソル）キーを使ってカーソルの移動ができます。
- 電話番号を入力します。
- ダイヤルキーモードで文字を入力中は、下記の表示になります。

※ Today 画面など（カーソル）キーの部分が表示されない画面もあります。

① （通話）キー
電話をかけるときや電話を受けるときに使います。
Today 画面や文字入力中にこのキーをタップすると、“電話”が起動し電話番号の入力ができます。

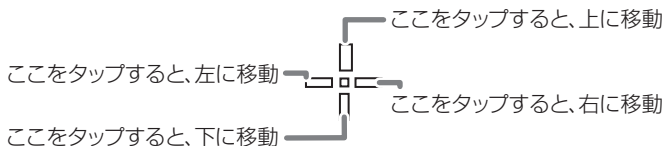
② （スタート）キー
スタートメニューを表示し、プログラムを起動したり設定画面を表示したりします。

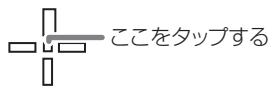
③ CLR（クリア）キー

電話番号や文字を入力中にこのキーをタップすると、カーソルの前（左側）の文字を削除します。また漢字変換中は、変換を取り消します。

④ (カーソル)キー（(アクション)キー）

カーソルを上下左右に動かします。

ここをタップすると、上に移動
ここをタップすると、左に移動
ここをタップすると、右に移動
ここをタップすると、下に移動

(アクション)キー

・内蔵カメラ使用時、写真を撮影します。
・選択しているメニューやプログラムを実行します。
・文字入力時、キーボードの Enter キーと同じ働きをします。

⑤ MENU（MENU）キー

ホームメニューを表示します。

⑥ OK（OK）キー

ok または ✕ をタップするのと同じはたらきをします。

⑦ （終話）キー

通話中の電話を切ったり、インターネット接続を切断します。

⑧ ダイヤルキー

電話番号や文字を入力できます。ダイヤルキーの割り当てについては、1-39 ページをご覧ください。

⑨ 文字（文字）キー

ダイヤルキーの文字入力モードを切り替えます。
このキーをタップして、表示された画面で文字入力モードを選択します。

⑩ 設定（設定）キー

ケータイ Shoin の設定を行います。

⑪ 単漢（単漢）キー

入力した文字を単漢変換します。タップすると候補が表示されますので、目的の漢字を選択します。

⑫ A/a（A/a）キー

入力した文字を大文字 / 小文字に変換します。文字によっては、切り替えることはできません。

⑬ ⊃ キー

タップして入力した文字のダイヤルキーに割り当てられている、文字や記号を逆順に表示します。

⑭ カナ英数（カナ英数）キー

タップして入力した文字のダイヤルキーに割り当てられている、カナ英数字の変換候補を表示します。

ご注意

● **直射日光が当たる屋外で使用するときは**

イルミネーションキーが見えにくくなります。

● **イルミネーションキーに手が触れたままになっていると（タップしたままになっていると）、画面をタップしても動作しませんのでご注意ください。**

Today 画面（待ち受け画面）を使う

この製品の電源を入れると、Today 画面（待ち受け画面）が表示されます。また、スタート メニューの “Today” をタップしても表示されます。
Today 画面（待ち受け画面）には、電波状態、充電池残量やマナーモードなどの状態、メール／ライトメールの未読件数などが表示されます。

① **スタート**
タップするとスタートメニューが表示され、プログラムを起動したり（☞ 1-24 ページ）、設定画面が表示されます。

② **タイトルバー**（☞ 1-14 ページ）
電波状態、ネットワーク接続中／通話中などを示すアイコンなどが表示されます。

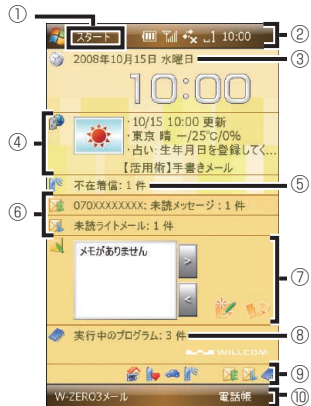
③ **日付表示**（☞ 10-24 ページ）
日付と時刻が表示されます。タップすると「時計とアラーム」画面が表示され、日付／時刻を変更できます。

④ **W+Info**（☞次ページ）
ウィルコムが提供する配信サービス「W+Info」で配信される記事を見ることができます。
※「W+Info」から情報を受けるには、「W+Info」への登録が必要です。

⑤ **不在着信件数表示**（☞ 3-6 ページ）
不在着信の件数が表示されます。ここをタップすると、着信履歴画面が表示され不在着信を確認できます。

⑥ **メール、ライトメールの未読件数表示**
メール、ライトメールの未読件数が表示されます。メールの場合は、オンラインサインアップを行い取得したウィルコムのメールアドレス（☞ 2-3 ページ）へ送られてきたメールと、ご自分で設定したメールアドレスへ送られてきたメールを別々に表示します。
アイコンに表示されている未読件数はウィルコムのメールアドレスの未読メール件数です。Today 画面（アイテム タブ）（☞ 10-2 ページ）で表示するようにした場合、ご自分で設定したメールアドレスの未読メール件数も表示できます。
ここをタップすると、“W-ZERO3 メール”または“メール（Outlook）”画面や“ライトメール”画面が表示されます。

⑦ **クイックメモ**（☞ 1-44 ページ）
通話中に入力したメモやクイックメモから作成した内容をプレビュー表示します。タップすると 1 件表示します。
新規のクイックメモを作成したり、削除します。

⑧ **実行中のプログラム数表示**
現在実行（起動）しているプログラム数が表示されます。使っていないプログラムを終了するときは、ここをタップするか、画面下の アイコンをタップし表示されたタスクマネージャ画面でプログラムを終了します。

⑨ **各種アイコン表示**（☞ 1-16 ページ）

キーロック設定中などを示すアイコンが表示されます。

⑩ **メニューバー**

左端と右端にボタンが表示されます。連絡先では、［新規作成］、［メニュー］などが表示されそれぞれをタップすると連絡先の新規作成画面が表示されたり、メニューが表示されます。プログラムによって、表示されるメニューは異なります。

MEMO

- Today 画面の背景を、お好みの画像に変更できます（☞ 10-3 ページ）。
- （カーソル）キーの左右をタップすると、着信履歴画面／発信履歴画面が表示されます。

■ 文字サイズを調整する

Today 画面（待ち受け画面）やプログラムで表示される文字などのサイズを変更することができます。［スタート］メニュー－ “設定” －［システム］タブ－ “画面” －［文字サイズ］タブをタップして変更できます（☞ 10-26 ページ）。

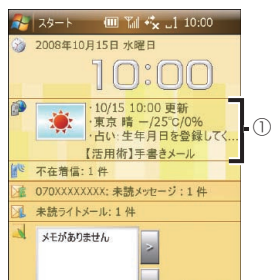
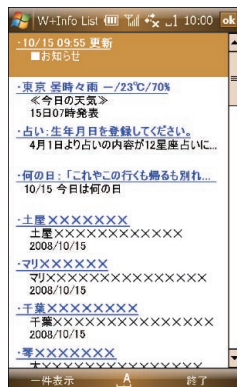
W+Info を使って配信された情報（記事）を見る

ウィルコムが提供する「W+Info」という配信サービスを利用して、この製品で記事を見ることができます。

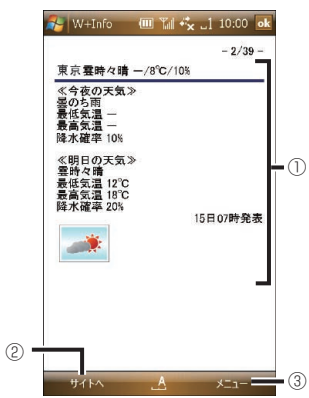
このサービスを利用するには、オンラインサインアップした後、再起動を行い自動的に表示される登録画面で登録を行ってください。くわしくは、別冊の「かんたん操作ガイド」をご覧ください。

登録を行うと、定期的に配信された情報が自動的に Today 画面に表示されます。

1 **Today 画面を表示し、配信された情報（記事）の見出しをタップします。**

① 画像、配信情報（記事）の見出しが表示されます。配信情報（記事）を 1 行表示と 3 行表示の切り替えができます（☞次ページ）。

2 **配信情報の一覧表示画面になります。**

3 見たい配信情報をタップします。

4 配信情報の 1 件表示画面になります。

① 内容を表示します。		
② サイトへ	：	Web ブラウザを起動し記事の内容を表示します。 ※このメニューは、表示している情報によって変わることがあります。
③ メニュー	：	各種メニューを表示します（☞次ページ）。

5 (カーソル)キーの左右をタップして、前や次の情報（記事）を表示します。

(カーソル)キーの左：前の記事を表示します。
(カーソル)キーの右：次の記事を表示します。

6 ok をタップすると、一覧表示画面に戻ります。

7 一覧表示画面で ok をタップすると、Today 画面に戻ります。

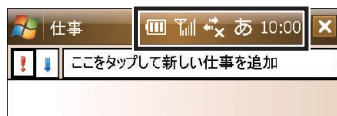
■ メニュー

Today 画面で配信情報（記事）をタップしたままにして表示されるメニュー

最新ニュースに更新	最新の情報に更新する。
一覧表示	配信情報(記事)を一覧表示する。
ウィルコム公式サイトへ	Webブラウザが起動しウィルコム公式サイトへ接続する。
記事の表示の切替を停止	配信情報(記事)の表示切替を止める。
記事の表示の切替を再開	停止した表示切替を再開する。
表示設定	Today画面に表示される配信情報(記事)の表示方法や切り替え時間を設定する。
W+Info 配信設定	サーバーに接続し、情報配信の設定をする。

■ 1 件表示画面のメニュー

サイトへ	Webブラウザが起動し記事の内容を表示する。
次の記事へ	次の配信情報（記事）を表示する。
前の記事へ	前の配信情報（記事）を表示する。
一覧表示	配信情報（記事）を一覧表示する。
コピー	範囲指定している部分をコピーする。
表示設定	Today画面に表示される配信情報（記事）の表示方法や切り替え時間を設定する。
W+Info 配信設定	サーバーに接続し、情報配信の設定をする。

タイトルバーに表示されるアイコンについて

入力モードのアイコン あ

ダイヤルキーの入力モードが表示されます。

文字入力については、1-40 ページをご覧ください。

また、キーボードを出しているとき、入力モードのアイコンは ① 固定になり、0 ～ 9、＊、＃のみ入力できます。

インターネット接続のアイコン

：インターネットに接続している状態を示します。

：インターネットに接続していない状態を示します。

電波状態のアイコン

電波の受信状態をアイコンで表示します。

このアイコンは、電波状態ランプと連動しています（☞ 1-3 ページ）。

※ホームページ閲覧中やメール送信／受信のためにインターネット接続中、このアイコンは消えます。このとき、電波状態は電波状態ランプで示します（☞ 1-3 ページ）。

圏外：エリア外または電波が届いていない場所にいます。

強 ←――――→ 弱

OFF：通信／電話機能（W-SIM（PHS））の停止状態を示します（☞ 3-32 ページ）。

PIN：W-SIM をロックしている状態を示します（☞ 3-24 ページ）。

：W-SIM がこの製品に装着されていません。

：リモートロック中を示します（☞ 3-25 ページ）。

MEMO
- タイトルバーに表示されるアイコンの数は４つです。この数を越えると が表示されます。 をタップすると隠れているアイコンが表示されます。

スタート 10:00

充電池残量のアイコン

充電池の残量が表示されます。

：ある程度残っています。

：少なくなっています。

：あまり残っていません。充電してください。

：ほとんど残っていません。充電してください。

充電池の残量は、パワーマネージメント画面（バッテリ タブ）（☞10-18 ページ）でも確認できます。

：充電中を示します。

：USB 充電中を示します。USB 充電については、10-19 ページをご覧ください。

内蔵ワイヤレス LAN のアイコン

：内蔵ワイヤレス LAN がオン（有効）になっていることを示します（☞2-12 ページ）。

：アクセスポイントを介してネットワークに接続しています（☞2-15 ページ）。
内蔵ワイヤレス LAN を使用しないときは、電池残量の消耗を防ぐためオフ（無効）にすることをおすすめします（☞2-16 ページ）。

通話中／通信中のアイコン ／PT

：通話中であることを示します。

32PF、64BE、64GR、PT、FC：通信中、通信方式が表示されます。

それぞれのアイコンについては、8-21 ページをご覧ください。

アラームのアイコン

予定にアラームを設定しているとき、アラーム時刻になると表示されます。また画面下部にその予定の内容が表示されます。画面下部に表示された予定の内容を消すには、画面左下の アラームを消す をタップします。

メールのアイコン

：E メール（ウィルコム）の自動受信中または自動受信終了時に表示されます。
また画面下部に状態が表示されます。画面下部の表示を消すには、画面左下の OK をタップします。

：この製品で受信していない E メール（ウィルコム）がセンターに有る場合に表示されます。
また画面下部に状態が表示されます。画面下部の表示を消すには、画面左下の OK をタップします。

1 基本操作

基本的な使いかた

画面下部のアイコンについて

Today 画面（待ち受け画面）の下部には、以下のアイコンが表示されます。

：キーロックがオン（有効）になっています。（☞ 1-6 ページ）

：通話／通信機能が制限されています。（☞ 3-23 ページ）

：バイブレータがオン（有効）になっています。（☞ 3-18 ページ）

：伝言メモがオン（有効）になっています。（☞ 3-10 ページ）

：マナーモードがオン（有効）になっています。（☞ 3-22 ページ）
ダイヤルキーの［＊ マナー］キーを長くタップするとマナーモードになります。

：安全運転モードがオン（有効）になっています。（☞ 3-22 ページ）
ダイヤルキーの［＃］キーを長くタップすると安全運転モードになります。

：不在着信があったことを示します。
1-11 ページの⑤で不在着信の件数が表示されると、このアイコンが表示されます。

：伝言メモ（メッセージ）があることを示します。（☞ 3-10 ～ 11 ページ）
伝言メモが５件になると になります。

：未読のメールがあることを示します。
1-11 ページの⑥で未読のメールがあると、このアイコンが表示されます。

：未読のライトメールがあることを示します。
1-11 ページの⑥で未読のライトメールがあると、このアイコンが表示されます。

：実行（起動）中のプログラムがあることを示します。

アイコン色	実行中のプログラム
青色	：1 ～ 5
黄色	：6 ～ 10
赤色	：11 以上

実行中のプログラムが多くなるとメモリ不足になり、全体の動作が遅くなります。
メモリ不足を解消するには、このアイコンをタップし表示されたタスクマネージャ画面でプログラムを終了します。

：パソコンと接続し同期していることを示します。
ただし、USB 接続画面（［ActiveSync］タブ）で、「高度なネットワーク機能を有効にする」のチェックを外しているときのみこのアイコンは表示されます。

※安全運転モードをオン（有効）にしていると、バイブレータはオン（有効）になりません。

プログラム画面について

スタート メニューの “プログラム” をタップすると、プログラム画面が表示されます。
プログラム画面のアイコンをタップすると、それぞれのプログラムを起動できます。
※ここでは、オンラインサインアップ前の画面例で説明しています。

ゲーム（☞付属のCD-ROMに収録のアプリケーションマニュアル）

ゲームソフトが２つ入っています。

ActiveSync（☞ 8-2 ページ）

ActiveSync を使ってパソコンの Microsoft Outlook の仕事や予定表などと同期します。

Adobe Reader LE（☞付属の CD-ROM に収録のマニュアル）

PDF ファイルを表示することができます。

Java（TM）アプリ（☞ 9-12 ページ）

Java アプリケーションを実行するための Java 実行環境です。ゲームなどの Java アプリケーションなどを利用できます。

Messenger（☞付属の CD-ROM に収録のアプリケーションマニュアル）

登録しているメンバーとの間で、チャットができます。

NAVITIME（☞付属の CD-ROM に収録のアプリケーションマニュアル）

地図検索や目的地までの乗換検索、時刻表の検索などができます。

Opera Browser（☞ 5-10 ページ）

ホームページの閲覧ができます。

Sprite Backup（☞ 9-2 ページ）

この製品に保存しているデータなどを microSD カードにバックアップ（保管）したり、保管したデータをこの製品にリストア（復元）します。

Windows Live（☞付属の CD-ROM に収録のアプリケーションマニュアル）

Windows Live メールを確認できます。

Windows Media（☞ 7-22 ページ）

ビデオファイルやオーディオファイルを再生できます。

W-ZERO3 メール（☞ 4-3 ページ）

インターネットを経由して、パソコンやウィルコムの電話機などとメールの送受信ができます。“メール” との違いについては、4-2 ページをご覧ください。

カメラ（☞ 7-2 ページ）

静止画（画像）やビデオ（動画）の撮影ができます。

コミック＆ブンコビューア

XMDF 形式の電子書籍やコミックを読むためのビューアです。
コミック＆ブンコビューアについてくわしくは、コミック＆ブンコビューアのヘルプをご覧ください。
あらかじめ、サンプルのデータが入っています。

コラム リーダ（☞ 7-19 ページ）
内蔵カメラを使って、原稿を撮影すると文字を読み取ることができます。

タスクマネージャ
起動中のプログラムを終了します。

データ交換（☞ 8-34 ページ）
他の WS020SH や WS011SH と自分の名前や電話番号などを交換できます。

デ辞蔵 Mobile（☞付属の CD-ROM に収録のアプリケーションマニュアル）
「新明解国語辞典　第六版」、「エクシード英和辞典」や「エクシード和英辞典」やインターネットに接続して wikipedia から、言葉の意味や英単語の意味などを調べます。

バーコード リーダ（☞ 7-13 ページ）
内蔵カメラを使って QR コードなどを読み取ることができます。

ファイル エクスプローラ（☞ 9-9 ページ）
本体メモリや取り付けたメモリカード内のフォルダやファイルを表示できます。また、新規のフォルダを作成したり、ファイルの削除やコピーなどができます（ファイルをタップしたままにして表示されるメニューから「コピー」などを選択します）。

ホームメニュー（☞ 1-45 ページ）
よく使うプログラムや設定を集めた画面です。この画面からプログラムや各種設定画面を起動します。

メモ（☞付属の CD-ROM に収録のアプリケーションマニュアル）
スタイラスを使って画面に手書きしたり、文字を入力することができます。
また、自分の声などを録音しメモに貼り付けることもできます。

リモートデスクトップモバイル（☞ 8-36 ページ）
外出先から、会社などのパソコンに接続して、データを閲覧したり編集したりすることができます。

ワンセグ（☞ 6-2 ページ）
ワンセグを視聴できます。

画像とビデオ（☞ 7-7 ページ）
静止画の表示や編集、動画を表示することができます。

検索（☞ 1-50 ページ）
「My Documents」フォルダとそのサブフォルダ内のファイルなどを検索することができます。

仕事（☞付属の CD-ROM に収録のアプリケーションマニュアル）
期限を決めて仕事の管理ができます。

初期設定ツール
この製品を使う上で基本的な設定を行います。

電卓（☞付属の CD-ROM に収録のアプリケーションマニュアル）
10 桁の四則計算ができます。

電話（☞ 3-2 ページ）
電話をかけることができます。

名刺リーダ（☞ 7-16 ページ）
内蔵カメラを使って、名刺を撮影すると名前や住所などの文字を読み取って“電話帳”に登録することができます。

予定表（☞付属の CD-ROM に収録のアプリケーションマニュアル）

打ち合わせや会議などのスケジュールを入力し管理できます。

連絡先（☞付属の CD-ROM に収録のアプリケーションマニュアル）

住所や電話番号、メールアドレスなどを管理します。

設定画面について

着信音や待ち受け画面など、使いやすいようにこの製品の環境を設定します。［スタート］メニューの“設定”をタップすると、設定画面が表示されます。設定画面には 3 つのタブがあり、以下の項目が設定できます。それぞれの設定について、あわせてヘルプもご覧ください。

◇［個人用］タブ◇

Today（☞ 10-2 ページ）

待ち受け画面となる Today 画面（☞ 1-11 ページ）を設定します。

［デザイン］：Today 画面の背景を変更します。

［アイテム］：Today 画面に表示する情報（仕事、予定表など）と表示順などを設定します。

［カーソルキー］：Today 画面で（カーソル）キーをタップしたときの動作を設定します。

オーナー情報（☞ 10-4 ページ）

オーナー情報を入力します。

［オーナー情報］： 名前、住所などを入力します。

［メモ］： メモなどを入力します。

［オプション］： 電源を入れたときに、オーナー情報やメモを表示する／しないを設定します。

ボタン（☞ 10-5 ページ）

画面回転キーなどに割り当てる機能や（カーソル）キーをタップしたときの動作開始などの設定をします。

［プログラムボタン］：画面回転キーなどに対して、割り当てる操作を設定します。

［上／下コントロール］：（カーソル）キーをタップしたとき、スクロールを開始するまでの時間や移動速度などを変更します。

メニュー（☞ 10-6 ページ）

スタートメニューに表示するプログラムを設定します。

ロック（☞ 10-6 ページ）

パスワードを設定して、この製品を他人が使えないようにします。

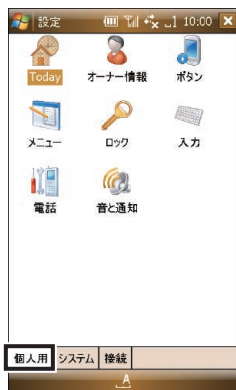
［パスワード］：パスワードなどを設定します。

［ヒント］：パスワードを忘れたときに、思い出すヒントになる文章などを入力します。

入力（☞ 10-7 ページ）

よく使う単語の登録や手書き入力の詳細設定などをします。

［入力方法］：文字の入力方法の設定や単語の登録をします。

［オプション］：録音形式や手書き入力の詳細などを設定します。

電話 ー 基本 タブ

		参照ページ
自番号	： この製品の電話番号やオンラインサインアップで登録されたメールアドレスなどが表示されます。	3-13
発着信／通話	： 発信者番号通知、圏外警告音などの設定ができます。	3-23
データ通信	： 通信中着信の ON ／ OFF や通話中着信の ON/OFF、通信方式の設定ができます。	3-19 ～ 20
受話音量	： 受話音量の音量調整ができます。	3-10

電話 ー 呼出 タブ

		参照ページ
着信音量	： 着信音の音量設定ができます。	3-16
メロディ	： 電話着信音／メール受信音を設定できます。	3-17
バイブ	： バイブレータの設定ができます。	3-18
照明	： 電話着信時やメール受信時、バックライトを点灯したりキーのバックライトを点灯するようにできます。	3-20
ランプ	： 電話着信時やメール受信時、電波状態ランプを点滅／点灯する設定ができます。	1-2 3-21
呼出時間	： メールやライトメール受信時、音／メロディ／バイブレータ／照明による呼び出し時間が設定できます。	3-21

電話 ー マナー タブ

		参照ページ
マナーモード	： マナーモードの設定ができます。	3-22
安全運転	： 安全運転モードの設定ができます。	3-22
伝言メモ	： 伝言メモの設定ができます。	3-10

電話 ー セキュリティ タブ

		参照ページ
通話通信制限	： 通話や通信機能を制限（ロック）します。	3-23
W-SIM ロック	： PIN コードを設定して、PHS 電話機能を使えないようにします。	3-24
リモートロック	： 遠隔操作でこの製品にロックをかけ個人情報などの流出を防ぐ設定ができます。	3-25
着信拒否	： 非通知拒否や指定番号拒否の設定ができます	3-28 ～ 29
位置情報	： 位置情報機能の設定ができます。	3-30
暗証番号変更	： W-SIM の暗証番号（4 桁数字）の変更ができます。	3-25

電話 ー その他 タブ

		参照ページ
電話帳転送	： W-SIM に保存されている電話帳データを連絡先に登録したり、連絡先のデータを W-SIM に書き込みます。	3-31
W-SIM 情報	： この製品に装着している W-SIM のバージョン情報を確認できます。	3-32

音と通知（☞ 10-9 ページ）

音や通知の方法を設定します。

サウンド ：アラームや画面のタップ音を鳴らす／鳴らさないなどを設定します。

通知 ：ActiveSync 開始など各種イベントの通知方法を設定します。

◇ システム タブ◇

システム タブをタップして表示します。

Windows Update
重要なセキュリティの問題が発生したときにのみ使用します。

WS020SH 情報（☞ 10-11 ページ）
ファームウェアのバージョン情報を確認できます。

エラー報告（☞ 10-11 ページ）
エラーが発生したときに、マイクロソフト社に内容を報告する／しないを設定します。

カスタマ フィードバック
ソフトウェアの改善のためにマイクロソフト社に情報を提供する／しないを設定します。

ケータイ Shoin（☞ 10-12 ページ）
ケータイ Shoin の設定を行います。

タスク マネージャ（☞ 10-16 ページ）
起動中のプログラム名やそのプログラムの CPU 占有率を表示します。
また、表示しているプログラムを終了したり、そのプログラムに切り替えることができます。

バックライト（☞ 10-16 ページ）
バックライトの明るさや減光するまでの時間などを設定します。
- バッテリ ：充電池を使っている（AC アダプターを接続していない）ときのバックライトを設定します。
- 外部電源 ：AC アダプターを接続しているときのバックライトを設定します。
- 明るさ ：バックライトの明るさを調節できます。

バージョン情報（☞ 10-18 ページ）
- バージョン ：この製品のバージョン情報などを確認できます。
- デバイス ID ：この製品の名前を設定します。
- 著作権 ：この製品の著作権について確認できます。

パワーマネージメント（☞ 10-18 ページ）
- バッテリ ：充電池（バッテリ）の残量を確認できます。
- 詳細設定 ：最後の操作から一定時間が経過すると、この製品を節電状態にする設定をします。
- USB 充電 ：付属の USB ケーブルでパソコンと接続しているとき、パソコン側から充電する／しないを設定します。
- キー点灯 ：キーボードのキーのバックライトの設定ができます。
- 電波状態ランプ ：電波状態ランプを点灯する／しないを設定します。
- キーロック ：キーロック時に節電状態（画面の電源をオフ）にする／しないを設定します。

プログラムの削除（☞ 10-21 ページ）

追加したプログラムを削除します。

ボリューム（☞ 10-21 ページ）

基本設定 ：システム音量を設定します。

詳細設定 ：スピーカー音量、イヤホンマイク音量、録音音量など個別に設定します。

メモリ（☞ 10-22 ページ）

メイン ：この製品のメモリの使用状況が確認できます。

メモリカード ：装着しているメモリカードの使用状況が確認できます。

ユーティリティ（☞ 10-23 ページ）

スライド ：キーボード開閉時に画面向きの切り替え有／無や、音の有／無などを設定します。

近接センサー ：近接センサーの有効／無効を設定します。

カーソル入力方向 ：（カーソル）キーの動作を設定します。

キータッチ振動 ：イルミネーションキーなどをタップしたときの動作設定を行います。

地域（☞ 10-24 ページ）

地域、数値、通貨、時刻、日付の各タブで、表示される数値の形式を変更できます。

外部 GPS

専用のプログラムを使ってこの製品で緯度や経度などの情報を表示するとき、外部 GPS 端末から緯度や経度などの情報を取得するための通信ポートや、この製品で動作する専用プログラムの通信ポートなどを設定します。

時計とアラーム（☞ 10-24 ページ）

時刻 ：現在地と訪問先の日付や時刻を設定します。

アラーム ：毎週決まった時刻に表示するアラームを設定します。

その他 ：プログラムのタイトルバーに時計を表示する／しないを設定します。

暗号化（☞ 10-26 ページ）

microSD カードに保存するときにファイルを暗号化して保存します。

暗号化したファイルは、別の WS020SH やパソコンなど別の機器で開いたり編集などはできません。また、同じ WS020SH でも、本体を完全消去（フォーマット）（☞ 11-6 ページ）した場合、開いたり編集などはできなくなります。

この機能をお使いになるときは、十分ご注意ください。

画面（☞ 10-26 ページ）

全般 ： 表示方向（縦画面／横画面）の設定や、画面の補正をします。

文字サイズ ：文字のサイズを設定します。

証明書（☞ 10-27 ページ）

個人証明、中間証明、ルート証明が表示されます。

◇[接続]タブ◇

[接続]タブをタップして表示します。

Bluetooth（☞ 8-22 ページ）

- [デバイス]：他の Bluetooth 機器を検索します。
- [モード]：この製品を他の Bluetooth 機器から検出できるようにします。
- [COM ポート]：他の Bluetooth 機器と接続するポートを設定します。

USB 接続（☞ 8-3、8-17 ページ）

- [USB 接続]：パソコンと接続して同期するか、モデムとして使用するかを設定します。
- [ActiveSync]：同期する場合、接続の方式を設定します。

ネットワークカード（☞ 2-10 ページ）

内蔵ワイヤレス LAN の設定を行います。

ビーム（☞ 8-32 ページ）

赤外線通信対応機器からのデータを受信する／しないを設定します。

接続（☞ 2-4 ページ）

[設定]や[詳細設定]タブから、インターネットなどのネットワークに接続する設定をします。

無線 ON ／ OFF（☞ 2-12、2-16 ページ）

W-SIM、内蔵ワイヤレス LAN や Bluetooth の通信機能を ON（有効）／ OFF（停止）にします。

アプリケーションプログラムを起動／終了する

アプリケーションプログラムの起動は、次のようにします。
・スタートメニューから起動します。
・プログラム画面のアイコンをタップして起動します。

スタートメニューから起動する

1 画面左上の［スタート］メニューをタップ、または［⊞］キーをタップします。

2 “ライトメール”などをタップします。

① 最近使ったプログラムが表示されます。

② 最近使ったプログラムのアイコンが表示されます。タップすると起動します。

MEMO

● スタートメニューに表示される内容を変更できます。
変更のしかたについて、くわしくは 10-6 ページをご覧ください。

プログラム画面から起動する

1 画面左上の［スタート］メニューをタップ、または［⊞］キーをタップします。

2 “プログラム”をタップします。
プログラム画面が表示されます（☞ 1-17 ページ）。

3 プログラム画面で起動したいプログラム（ “画像とビデオ”など）をタップします。

アプリケーションプログラムを終了する

プログラム表示中に ✕ や ok をタップして画面が消えてもそのプログラムは終了していません。プログラムを終了するために、以下のどちらかの操作を行ってください。

■タスクマネージャ画面でプログラムを選択して終了します。

操作方法は、以下をご覧ください。

1 以下のどちらかの方法でタスクマネージャ画面を表示します。

- Today 画面（待ち受け画面）で、 アイコンをタップします。
- スタート メニューの “設定” － システム タブ－ “タスク マネージャ”をタップします。

2 実行中のプログラム一覧から終了したいプログラム名を選び、画面左下の タスクの終了 をタップします。

ご注意

● 「このプログラムはビジー状態にあるか・・・」と表示されたときは

プログラムの状態によっては、「このプログラムはビジー状態にあるか、ユーザーからの応答を待っている…」というメッセージ（画面）が表示されることがあります。このようなとき、終了してもよければ、 タスクの終了 をタップします。ただし、このプログラムで保存していないデータは削除されますのでご注意ください。

■ 通話していない状態で キーをタップします。

“予定表”や“Windows Media Player”などのプログラムが終了します。ただし、“メール”、“W-ZERO3 メール”、“ライトメール”、“Sprite Backup”、“ActiveSync”、“コミック&ブンコビューア”、“ファイルエクスプローラ”、“Bubble Breaker”、“ご購入後に追加したプログラム”などは終了しません。
またインターネット接続中は、回線を切断します。
※内蔵ワイヤレス LAN やこの製品をモデムとして使用しているときは切断しません。

メモリ不足を解消する

動作が遅くなったりデータ記憶用メモリが少なくなっているときは、以下の内容をご覧になりデータ記憶用メモリやプログラム実行用メモリの不足を解消してください。

■データ記憶用メモリの不足を解消する

Web ブラウザを使っていろいろなホームページを閲覧していると画像データなどをキャッシュファイルとして一時保存します。キャッシュファイルがデータ記憶用メモリを使っていることが考えられます。プログラムをインストールしたり、大きなファイルを保存していないのにデータ記憶用メモリが少なくなっているときは、5-8 ページに記載している方法でキャッシュを削除してください。また、このメモリが不足すると縦表示と横表示の切り替えが遅くなることがあります。

■プログラム実行用メモリの不足を解消する

動作が遅くなったり、“Adobe Reader LE”を使って PDF ファイルを正しく開けなかったり、縦表示と横表示の切り替えが遅くなったときなどは「プログラム実行用のメモリ」が不足していることが考えられます。
このようなときは、上記の「アプリケーションプログラムを終了する」をご覧になり、終了するプログラム名をタップし、画面左下の タスクの終了 をタップします。

節電状態で着信する

ご購入時の状態では、最後の操作から一定時間が経過すると節電状態になり画面の電源が切れるように設定されています（☞ 10-19 ページ）。

節電状態になっているとき、次の場合は自動的に電源が入ります。
・ 電話がかかってきたとき
・ ライトメールを受信したとき
・ E メール（ウィルコム）を自動受信したとき
・ 予定表などで設定しているアラーム時刻になったとき

また、以下の操作を行うと電源が入ります。
・ イルミネーション切替／電源キーやキーボードのキーを押したとき
・ パソコンに接続している USB ケーブルを接続したとき

MEMO

- キーロック中は、キーロックスイッチを解除（☞ 1-6 ページ）すると電源が入ります。
  ※イルミネーション切替／電源キーを押したときは、画面は点灯しますが、キーロック中のままです。
- 節電状態の設定は変更できます（☞ 10-19 ページ）。
- インターネットに接続しているときや付属の USB ケーブルでパソコンと接続しているとき、Windows Media Player10 で再生中などは、節電状態になりません。

本体の電源を切ったときは

イルミネーション切替／電源キーを長く押して電源を切ったときは、電話着信やメールなどの受信はできません。予定表などで設定しているアラーム時刻になっても自動的に電源は入りません。本体の電源を切ったときは、イルミネーション切替／電源キーを長く押して電源を入れてください。パソコンに接続している USB ケーブルを接続しても電源が入ります。

減光したバックライトを点灯する

設定によってバックライトが最小輝度（☞ 10-16 ～ 17 ページ）になったとき、最小輝度になった画面のバックライトを点灯（元の明るさ）します。

1 画面をタップしたりキーボードのキーを押します。
ライトが点灯します。

MEMO

- しばらく操作しないと自動的にライトが最小輝度になります。この設定は変えることができます（☞ 10-16 ～ 17 ページ）。
- ライトを点灯して使用すると、使用時間が短くなります。
  必要なとき以外は、ライトを消したり、明るさを調整して使用することをおすすめします（☞ 10-16 ～ 17 ページ）。
- 「ボタンを押したときまたは画面をタップしたときにバックライトをつける」設定のチェックを外しているときは、点灯しません（☞ 10-16 ～ 17 ページ）。
- ライトの特性上、ライト点灯時には濃淡のラインが見えますが、故障ではありません。

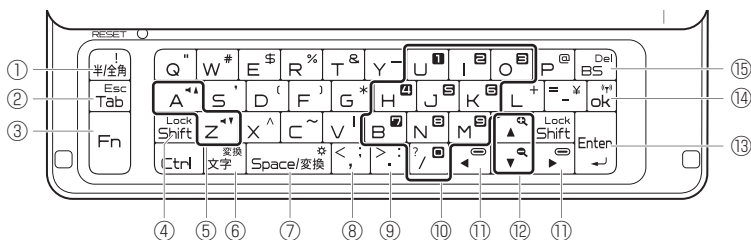
文字入力のしかた

文字を入力するには、次の3つの方法があります。

- キーボードを使って文字を入力する
  - ・予測変換を使って文字を入力する（☞ 1-29 ページ）
- 文字入力パネルを使って入力する
  - ・キーボード入力パネルを使って文字を入力する（☞付属の CD-ROM に収録のアプリケーションマニュアル）
  - ・手書き入力パネルを使って文字を入力する（☞ 1-35 ページ）
- ダイヤルキーを使って文字を入力する（☞ 1-40 ページ）

また、この製品には、「ケータイ Shoin」と「Microsoft IME」が搭載されており、「ケータイ Shoin」と「Microsoft IME」は切り替えができます（切り替え方法は、10-12 ページをご覧ください）。ご購入時は、「ケータイ Shoin」が設定されており、本書では「ケータイ Shoin」の入力について説明しています。

キーボードの基本操作について

文字入力に必要なキーボードの基本的な役割について説明します。

① 半/全角 **キー**

・日本語入力システムのオン／オフを切り替えます。
Fn キーを押したまま、半/全角 キーを押すと「！」が入力されます。

② Tab **キー**

・新規作成や編集画面では、次の項目にカーソルやフォーカスが移動します。
・Fn キーを押したまま、Tab キーを押すと、確定前の文字を削除します。

③ Fn **キー**

・キーの右上側に書かれている記号（！､”､#など）を入力したり、機能を実行します。
Fn キーを押したまま、該当するキーを押します。

④ Shift **キー**

・Shift キーを押したまま、-¥ キーや / キーを押すとキーの左上側の記号（<、>、?、=）が入力されます。
・英字入力時にはたらきます。Shift キーを押したまま、文字のキーを押すと、大文字が入力されます（大文字入力状態のときは、小文字が入力されます）。
・Fn キーを押したまま、Shift キーを押すと、英字を大文字で入力できる状態（Caps Lock）と、小文字で入力できる状態を交互に切り替えます。

⑤ A **キー、** Z **キー**

・Fn キーを押したまま、A キー、Z キーを押すと、この製品のスピーカーの音量を変更できます。
A キー ：音量が大きくなります。
Z キー ：音量が小さくなります。

⑥ [変換/文字]キー（☞次ページ）

・キーボードの文字入力モードが切り替わります。
・[Fn]キーを押したまま、このキーを押すと、入力中のひらがな／カタカナが漢字などに変換されます。もう一度[Fn]キーを押したまま、このキーを押すと、別の候補が表示されます。

⑦ [Space/変換]キー

・入力中の文字がないとき、スペースを入力します。
・ケータイ Shoin 使用時、入力中のひらがな／カタカナの候補を選択します。
・Microsoft IME 使用時、入力中のひらがな／カタカナを漢字に変換します。また、漢字変換中にこのキーを押すと別の候補が表示されます。
・[Fn]キーを押したまま[Space/変換]キーを押すと、バックライトの明るさが 1 段階上がります。最大になった後は暗くなり、再度明るさが上がります。

⑧ [<,;]キー

・ひらがな／カタカナ入力時は「、」、英字入力時は「,」が入力されます。
・[Fn]キーを押したまま、このキーを押すと、「；」が入力されます。
・[Shift]キーを押したまま、[<,;]キーを押すと「<」が入力されます。

⑨ [>.:]キー

・ひらがな／カタカナ入力時は「。」、英字入力時は「.」が入力されます。
・[Fn]キーを押したまま、このキーを押すと、「：」が入力されます。
・[Shift]キーを押したまま、[>.:]キーを押すと「>」が入力されます。

⑩ 数字キー

・[Fn]キーを押したまま、数字キーを押して数字を入力します。

⑪ [◀]キー、[▶]キー

・カーソルを左右に移動します。
・[Fn]キーを押したまま[◀]キーや[▶]キーを押すと、メニューバーに表示されている機能を実行します。例えば、“連絡先”の一覧画面（メニューバーに[新規作成]、[メニュー]が表示）で[Fn]キーを押したまま[◀]キーを押すと新規作成画面が表示され／[▶]キーを押すとメニューが表示されます。

⑫ [▼]キー、[▲]キー

・カーソルを上下に移動します。
・[Fn]キーを押したまま、[▼]キー、[▲]キーを押すと、Excel Mobile や Word Mobile などで文字サイズを変更できます。

⑬ [Enter]キー

・変換中の文字があるときは、その文字を確定します。
・変換中の文字がないときは、改行します。

⑭ [ok]キー

・[ok]または[×]をタップするのと同じはたらきをします。
・[Fn]キーを押したまま[ok]キーを押すと、ワイヤレス LAN のオン／オフを切り替えることができます。

⑮ [BS/Del]キー

・カーソルの前（左側）の文字が削除されます。
・[Fn]キーを押したままこのキーを押すと、カーソルの後ろ（右側）の文字が削除されます。
・漢字変換中は、変換を取り消します。

MEMO

● **アンダーバーを入力するときは**
[Fn]キーを押したまま[Y_]キーを押します。

キーボードを使って文字を入力する

ここでは、キーボードを使ってローマ字でひらがなを入力し（☞「ローマ字→かな変換表」11-15 ～ 16 ページ）、漢字に変換する方法について説明します。
まずは、文字を入力する前に入力モードを確認します。

入力モードの確認と切り替え

キーボードで文字を入力するときの入力モードは、画面下に表示されます。
入力モードの切り替えは、キーボードの［変換文字］キーを押します。

① 入力モードが表示されます。

あ ：「ひらがな」の入力になります。
カ ：「全角カタカナ」の入力になります。
ｶ ：「半角カタカナ」の入力になります。
Ａ ：「全角英字」の入力になります。
A ：「半角英字」の入力になります。

予測変換を使って文字を入力する

予測変換を使って文字を入力すると、入力した文字から予測される語の候補を予測変換ウィンドウに表示します。
表示された変換候補から目的の語を選択して入力することができ、キーを押す回数が少なくなるので便利です。
ご購入時は予測変換が使える状態になっています。無効にする場合は、10-13 ページをご覧ください。

1 Word Mobile の新規作成画面を表示します（☞付属の CD-ROM に収録の『アプリケーションマニュアル .pdf』「Word Mobile」）。

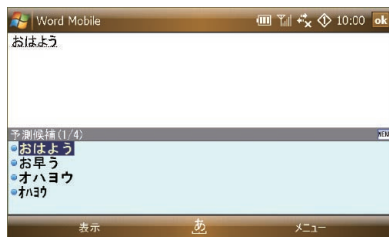
2 入力モードが あ になっていることを確認します。

3 文字を入力します。

① 予測変換ウィンドウが表示されます。

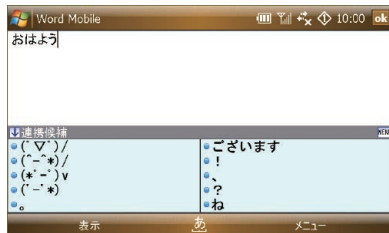
1 文字ずつ文字を入力するごとに、変換候補が絞り込まれます。

4 **文字を入力していき、変換したい語が予測変換ウィンドウに表示されたら、［予測］キーを押します。**

予測変換ウィンドウの変換候補を選択できるようになります。

MEMO

- ケータイ Shoin（予測 タブ）で「近似予測変換辞書を有効にする」のチェックを外している場合（☞ 10-13 ページ）、文字を入力してから［予測］キーを押すと文字が変換されます。

5 **（カーソル）キーで入力したい語を選択し、［Enter］キーを押します。**

選択した変換候補が確定されます。
「おはよう」と入力して確定すると、予測変換ウィンドウに「ございます」などが表示されます。
続けて、予測変換ウィンドウに表示されている変換候補を選択していくだけで、「おはようございます。」などの文章を入力することができます。

MEMO

- 予測変換ウィンドウに表示されている変換候補を直接タップしても入力できます。
- 一度変換すると変換した語句が学習され、予測変換ウィンドウに優先して表示されるようになります。

  学習結果を消去するときは、下記の手順でリセットしてください。

  1 予測変換ウィンドウの MENU をタップし、設定 をタップします。

  2 ケータイ Shoin（全般 タブ）の 学習リセット をタップします。

  3 確認画面で はい をタップします。

  4 ok をタップします。

  5 ok をタップします。
- 予測変換を使っているときも、文章を入力してから、変換中の漢字を別の漢字にすることができます。くわしくは、次ページの「変換中の漢字を別の漢字にする」をご覧ください。

予測変換を使わずに文字を入力する

ここでは、予測変換を使わずに文字を入力する方法を説明しています。
予測変換を使う／使わないの設定は 10-13 ページをご覧ください。

（例）Word Mobile で「はいしゃ」と入力して、「配車」に変換します。

1 キーボードから「はいしゃ」と入力します。
H A I S Y A キーを順に押します。

2 Space/変換 キーを押します。
変換候補が表示され、先頭の候補が選択されます。

3 別の候補を選択するときは、上下左右の（カーソル）キーを使って選択します。

4 Enter キーを押します。
選択した変換候補が確定されます。

MEMO
- 入力したい漢字が表示されないときは、手書き入力で入力してみてください（☞ 1-35 ページ）。

変換中の漢字を別の漢字にする

複数の文節の読みを入力して変換します。

（例）「新しい企画を提案する」を「新しい規格を提案する」に変換します。

1 「あたらしいきかくをていあんする」を入力します。

2 Space/変換 キーを押します。

3 Lock Shift キーを押したまま、▶ キーを押します。
カーソルが次の文節に移ります。

MEMO
- Lock Shift キーを押したまま、◀ キーを押すと、カーソルが前の文節に移ります。

4 **上下左右の(カーソル)キーを使って、入力したい語を選択します。**

5 **[Lock Shift]キーを押したまま、[ ]キーを押します。**

手順 **4** で選択した変換候補が入り、カーソルが次の文節に移ります。

MEMO

- 続けて文字を変換する場合は手順 **4** ～ **5** を繰り返します。

6 **[Enter]キーを押します。**

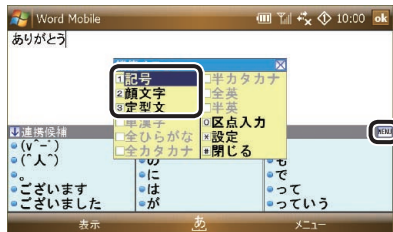
「記号」・「顔文字」・「定型文」を入力する

予測変換を使って「記号」・「顔文字」・「定型文」を入力することができます。

ご注意

- 「記号」・「顔文字」・「定型文」を入力するには、予測変換ウィンドウに表示された変換候補から目的の語句を選択（確定）しておいてください（ひらがなを1文字入力して Enter キーを一回押した状態です）。
  入力中の文字が確定していないと入力することはできません。

「記号」、「顔文字」、「定型文」を入力する

1 **予測変換ウィンドウの MENU をタップし、表示された機能メニューから 記号 、 顔文字 または 定型文 をタップします。**
ここでは 記号 を選択します。

2 **キーまたは キーで目的の記号を選択します。**
記号一覧画面の ← ・ → をタップしても選択できます。

3 **目的の記号が表示されたら を押します。**
記号一覧画面の ↓ をタップしても記号を選択できるようになります。

4 **上下左右の（カーソル）キーを使って入力したい記号を選択し、 Enter キーを押します。**

MEMO

- 記号一覧画面に表示されている記号を直接タップしても入力できます。

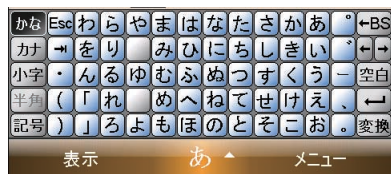
1 基本操作

文字入力

文字入力パネルについて

文字入力パネルには、画面に表示されるキーをタップして文字を入力する「キーボード入力パネル」と手書き文字を入力する「手書き入力パネル」があります。
ここでは手書き入力パネルの使い方について説明しています。キーボード入力パネルの使い方は、アプリケーションマニュアル.pdf をご覧ください。

■ キーボード入力パネル

「ひらがな／カタカナ」入力パネル

「ローマ字／かな」入力パネル

■ 手書き入力パネル

「手書き検索」入力パネル

「手書き入力」入力パネル

文字入力パネルを表示する

1 **画面下の あ などをタップします。**
文字入力パネルが表示されます。

① 文字入力パネルの表示／非表示を切り替えます。
表示している文字入力パネルによって、次のアイコンが表示されます。
あ：「ひらがな／カタカナ」入力パネル
A：「ローマ字／かな」入力パネル
：「手書き検索」入力パネル
：「手書き入力」入力パネル

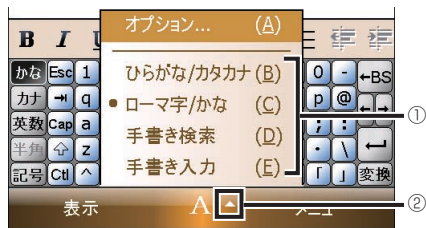
表示している文字入力パネルを消す

1 **画面下の A などをタップするか、キーボードの各キーなどを押します。**
表示している文字入力パネルが消えます。

文字入力パネルを切り替える

1 画面下の A などの右横の ▲ をタップし、表示されたメニューから使用したい文字入力パネルをタップします。

① 使用したい文字入力パネルを選びます。

② 使用可能な文字入力パネルのリストが表示されます。

手書き入力パネルを使って文字を入力する

付属のスタイラスを使って、手書きでひらがな・カタカナ・漢字・英字・数字・記号などを入力します。

「手書き検索」入力パネルで文字を入力する

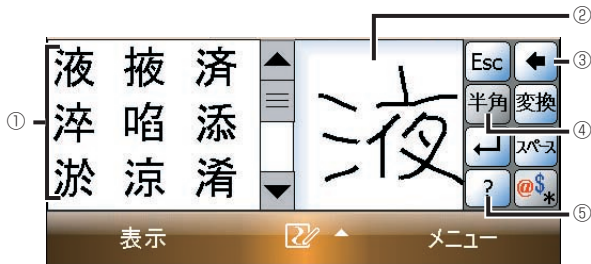
「手書き検索」入力パネルで文字を入力します。

（例）「液」と手書きして変換します。

1 **「手書き検索」入力パネルを表示します（☞前ページ）。**

2 **手書き入力枠に「液」と手書き入力します。**
手書きした文字の候補が入力パネルの左側に表示されます。

3 **認識候補から「液」をタップすると、「液」が入力されます。**

4 **↵ をタップすると、「液」の文字が確定されます。**

① **認識候補**	手書き入力枠に手書きした文字の候補が表示されます。入力したい文字をタップします。
② **手書き入力枠**	手書き入力します。
③ ←	手書き中にタップすると、最後の 1 画が消去されます。手書き入力枠に何もないときは、カーソルの前（左側）の文字を削除します。
④ **半角**	タップして反転した状態でカタカナや英数字などを手書きし認識候補から選択すると、半角のカタカナや英数字を入力できます。
⑤ **?**	タップすると、ヘルプ画面が表示されます。

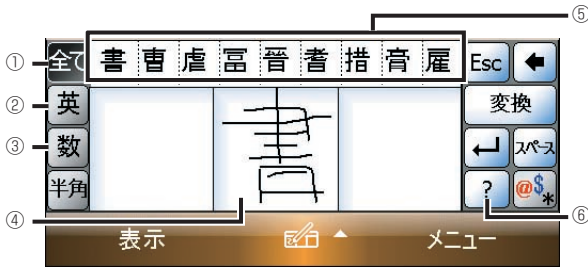
「手書き入力」入力パネルで文字を入力する

1 「手書き入力」入力パネルを表示します（☞ 1-34 ページ）。

2 枠に 1 文字ずつ手書きします。

- 枠に文字を手書きすると認識されて、すぐに候補欄に認識候補が表示されます。
- 別の枠に次の文字を書き始めると、候補欄の左端の候補が自動的に選択されます。
- 別の枠に文字を書かないときは、しばらくしたあと候補欄の左端の候補が自動的に選択されます（選択される前に別の候補をタップすると、その文字が選択されます）。
- どの枠から書いてもかまいません。先に手書きした文字から認識します。

3 ひらがなを手書きし漢字に変換するときは、変換 をタップします。

4 ↵ をタップすると、文字が確定されます。

① 全て	手書きした文字を認識するとき、ひらがな、漢字などすべての種類を候補にします。
② 英	手書きした文字を認識するとき、英字および記号を候補にします。
③ 数	手書きした文字を認識するとき、数字および記号を候補にします。
④ 手書き入力枠	付属のスタイラスで 1 枠に 1 文字ずつ手書きします。
⑤ 候補欄	認識された文字の候補が表示されます。入力したい文字を選択します。
⑥ ？	タップすると、ヘルプ画面が表示されます。

■ 手書き認識の入力枠の数や、選択されるまでの時間を変更する

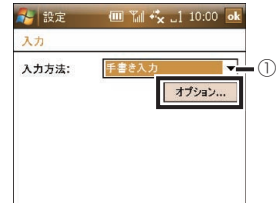
手書き認識の入力枠の数を変更したり、認識された文字が認識候補の中から自動的に選択されるまでの時間を変更できます。

1 **スタート メニューの “設定” をタップします。**

2 **設定画面で 個人用 タブをタップし、 “入力” をタップします。**

3 **入力方法 タブで、「入力方法」の右横の▼をタップして「手書き入力」を選択し、 オプション をタップします。**

「手書き入力のオプション」設定画面が表示されます。

①「手書き入力」を選びます。

4 **設定を変更します。**

①チェックを外すと、入力枠は 2 つになります。

②選択されるまでの時間を変更します。
この数値の単位は、「秒」です。

5 **設定の変更が終わったら ok をタップします。**

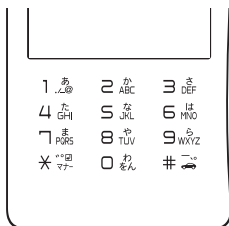
MEMO

- 「タイムアウトを使用」のチェックを外すと、自動的に選択されなくなります。
このときは、候補の中から目的の文字をタップします。

1 基本操作

文字入力

ダイヤルキーの基本操作について

文字入力に必要なダイヤルキー（画面（表示部）下のキー）の基本的な役割について説明します。
カーソルキーモードとダイヤルキーモードの切り替えは、イルミネーション切替／電源キーを押してください（☞ 1-9 ページ）。

MEMO

- キーボードを引き出しているとき、ダイヤルキーは数字入力（固定）になります。
  このときタイトルバーの文字入力モードのアイコンは ① になります。

ご注意

- **Microsoft IME で文字入力中、ダイヤルキーは数字入力（固定）になります。**
  Microsoft IME で文字入力しているときは、ダイヤルキーからひらがななどは入力できません。

ダイヤルキーの入力モードの確認と切り替え

ダイヤルキーで文字を入力するときの入力モードは、画面上に表示されます。

① 選択中の入力モード

あ ：「ひらがな」の入力	カ ：「全角カタカナ」の入力
␣ｶ ：「半角カタカナ」の入力	A ：「全角英字（大文字）」の入力
a ：「全角英字（小文字）」の入力	␣A ：「半角英字（大文字）」の入力
␣a ：「半角英字（小文字）」の入力	␣1 ：「半角数字」の入力

入力モードの切り替えは、イルミネーション切替／電源キーを数回押し、ダイヤルキーモードにした状態で画面（表示部）の［文字］キーをタップします。

定型文	顔文字	記号	区点	②
あ	ABC	abc		③
ア	ABC	abc		
ｱ	123	戻る		

② 定型文や顔文字などを入力するときにタップします

［定型文］：登録されている定型文の候補ウインドウが表示されます。
　定型文の登録方法については、10-14 ページをご覧ください。
［顔文字］：顔文字の候補ウインドウが表示されます。
［記号］：記号の候補ウインドウが表示されます。
［区点］：区点コード入力ウインドウが表示され、区点コードを入力して文字や記号を入力できます。

③ 入力モードを切り替えるときにタップします。

- あ ：「ひらがな」の入力になります。
- ア ：「全角カタカナ」の入力になります。
- ｱ ：「半角カタカナ」の入力になります。
- ＡＢＣ ：「全角英字（大文字）」の入力になります。
- ABC ：「半角英字（大文字）」の入力になります。
- 123 ：「半角数字」の入力になります。
- ａｂｃ ：「全角英字（小文字）」の入力になります。
- abc ：「半角英字（小文字）」の入力になります。
- 戻る ：文字キーをタップする前の表示に戻ります。

ダイヤルキーの割り当てについて

ダイヤルキーには複数の文字や記号が割り当てられており、タップする回数によって表示が切り替わります。

<table>
<tr><th>キー</th><th>かな漢字変換</th><th>カナ
[全角／半角]※1</th><th>英大文字
[全角／半角]※1</th><th>英小文字
[全角／半角]※1</th><th>半角数字※5</th></tr>
<tr><td>1</td><td>あいうえお
ぁぃぅぇぉ</td><td>アイウエオ
ァィゥェォ</td><td>.／_@1</td><td>.／_@1</td><td>1</td></tr>
<tr><td>2</td><td>かきくけこ</td><td>カキクケコ</td><td>ABCabc2</td><td>abc2</td><td>2</td></tr>
<tr><td>3</td><td>さしすせそ</td><td>サシスセソ</td><td>DEFdef3</td><td>def3</td><td>3</td></tr>
<tr><td>4</td><td>たちつてとっ</td><td>タチツテトッ</td><td>GHIghi4</td><td>ghi4</td><td>4</td></tr>
<tr><td>5</td><td>なにぬねの</td><td>ナニヌネノ</td><td>JKLjkl5</td><td>jkl5</td><td>5</td></tr>
<tr><td>6</td><td>はひふへほ</td><td>ハヒフヘホ</td><td>MNOmno6</td><td>mno6</td><td>6</td></tr>
<tr><td>7</td><td>まみむめも</td><td>マミムメモ</td><td>PQRSpqrs7</td><td>pqrs7</td><td>7</td></tr>
<tr><td>8</td><td>やゆよゃゅょ</td><td>ヤユヨャュョ</td><td>TUVtuv8</td><td>tuv8</td><td>8</td></tr>
<tr><td>9</td><td>らりるれろ</td><td>ラリルレロ</td><td>WXYZwxyz9</td><td>wxyz9</td><td>9</td></tr>
<tr><td>0</td><td>わをん□（スペース）</td><td>ワヲン□（スペース）</td><td colspan="2">□（スペース）$%+<=>[]^'{|}0</td><td>0</td></tr>
<tr><td>*</td><td colspan="2">゛゜※2 ※3
↵（改行）※4</td><td colspan="2">↵（改行）</td><td>*</td></tr>
<tr><td>#</td><td>ー 、。！？・</td><td>[全角]ー、。!?･
[半角]-､｡!?･˜()'"':;¥&</td><td colspan="2">[全角]ー,.!?／
[半角]-,.!?˜()'"':;¥&</td><td>#</td></tr>
</table>

※1: 全角モードの場合は全角、半角モードの場合は半角の文字が入力されます。
全角と半角で入力が違うキーについては、[全角]または[半角]で違いを記載しています。
※2: か／さ／た行の入力中の文字がある場合は、濁音（濁点）の文字が表示されます。また、は行の場合は次にキーをタップすると、濁音（濁点）／半濁音（半濁点）の文字が表示されます。
※3: か／さ／た／は行以外で未確定の文字があるときは、「゛」「゜」を単独文字として入力します。
※4: 未確定文字がない場合に改行します。
※5: キーボードを出しているとき、ダイヤルキーをタップすると、0～9、*、#のみ入力できます。

ダイヤルキーを使って文字を入力する

ここでは、ダイヤルキーを使った文字の入力方法について説明します。まずは、文字を入力する前にダイヤルキーの入力モードを確認します。

候補の語句を表示して文字を入力する（予測変換機能）

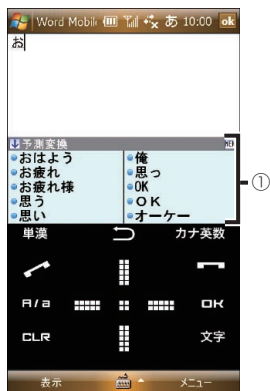
文字を入力すると、入力した文字から予測される語の候補を表示します。
表示された変換候補から目的の語を選択（タップ）して文字入力することができます。（予測変換を有効にしている場合 ☞ 10-13 ページ）。
文字入力のしかたは、「キーボードを使って文字を入力する」と同じようにできます。

ご注意

- **Microsoft IME で文字入力中、ダイヤルキーは数字入力（固定）になります。**
  Microsoft IME で文字入力しているときは、ダイヤルキーからひらがななどは入力できません。

1 **ダイヤルキーを使って文字を入力します。**
ダイヤルキーの文字割り当ては前ページをご覧ください。

①予測変換ウィンドウが表示されます。

1 文字ずつ文字を入力するごとに、変換候補が絞り込まれます。

MEMO

- 同じ文字や同じ行の文字などを続けて入力する場合は、（カーソル）キーの右をタップしてから入力します。

  （例）「あいかぎ」と入力する。
  [1] （カーソル）キーの右 [1] [1] [2] （カーソル）キーの右
  [2] [2] [＊] キーを順にタップします。

2 **文字を入力していき、変換したい語が予測変換候補ウィンドウに表示されたら、(カーソル)キーの下をタップします。**

予測変換ウィンドウの変換候補を選択できるようになります。

3 **(カーソル)キーの上下左右で入力したい語を選択し、(アクション)キーをタップします。**

選択した変換候補が確定されます。

---

①入力した文字が確定されると、その後に続く変換候補が表示されます。

■ ダイヤルキーに割り当てを利用して文字を入力する（ワンタッチ変換）

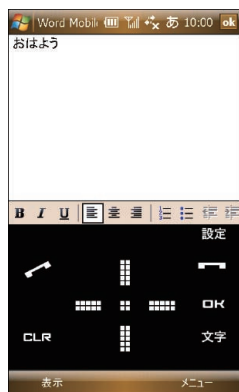
ダイヤルキーに割り当てられているすべてのひらがなの組み合わせを利用し、文字を入力することができます。

（例）「あはやあ」を「おはよう」に変換します。

1 **「あはやあ」を入力します。**

2 (カーソル)キーの上をタップします。

①ワンタッチ変換ウィンドウが表示されます。

3 (カーソル)キーを使って入力したい語を選択し、(アクション)キーをタップします。

文字を編集する

文字を追加する

1 追加したい場所にカーソルを移動させます。

[▲] [▼] [◀] [▶] キーまたは (カーソル) キーの上下左右でカーソルを移動させるか、文字を追加したい場所をタップします。

2 文字を入力します。

カーソルの位置に文字が追加されます。

文字を削除する

1 削除したい文字の直後にカーソルを移動させます。

複数の文字を削除したい場合は、画面をなぞって文字列を反転させます。キーボードを使っているときは、[Lock Shift] キーを押しながら [▶] キーまたは [◀] キーを押すと複数の文字を選択できます。

2 キーボードの [Del BS] キーを押します。
ダイヤルキーを使って文字を入力しているときは、[CLR] キーをタップします。

・複数文字削除の場合は、反転していた範囲がすべて削除されます。
・1 文字削除の場合は、カーソルの直前の文字が削除されます。

MEMO

- キーボード入力パネルのときは、[← BS] をタップします。
  手書き入力パネルでは、[←] をタップします。

1 基本操作

文字入力

クイックメモ（メモ）を使う

Today 画面からクイックメモ（メモ）を入力することができます。書いたクイックメモ（メモ）はプレビューとして Today 画面に表示され、詳細の確認（1 件表示）ができます。また、通話中に入力したメモも表示されます。通話中にクイックメモ（メモ）を入力する方法は、3-4 ページをご覧ください。ここでは、Today 画面からクイックメモ（メモ）を入力したり、1 件表示する方法を記載しています。

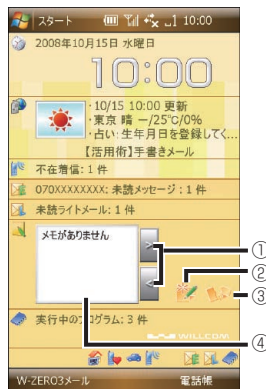
クイックメモ（メモ）を入力する

1 **Today 画面を表示します。**

①次のメモ、前のメモを表示します。
表示されるメモの件数は、最大 20 件です。

②新規のメモを書きます。
21 件目を作成すると、一番古いメモから「古いメモ」フォルダに入りプレビュー画面に表示されなくなります（「古いメモ」フォルダは「My Documents」フォルダ内の「クイックメモ」フォルダの中にあります。ファイルエクスプローラを起動してフォルダを見ることができます）。

③表示しているメモを削除します。
※この製品から削除されますので、ご注意ください。

④タップすると 1 件表示画面になります。画面右上の ok をタップすると Today 画面に戻ります。

2 **をタップします。**
新規入力画面が表示されます。

3 **メモを入力します。**
・付属のスタイラスを使って画面に文字やイラストを手書きできます。
・キーボードから文字を入力できます。

MEMO
- 新規入力画面を表示中、イルミネーション切替／電源キーを押してダイヤルキーを表示すると手書きができなくなります。手書きを行うときは、メニュー − 描画 をタップして 描画 の左にチェックを付けてください。

4 **画面右上の ok をタップします。**
手順 **3** で入力した内容が保存され、Today 画面のプレビューに表示されます。
ファイル名は YYYYMMDD_HHMMSS（たとえば、「20081120_153021」）になり、「My Documents」フォルダ内の「クイックメモ」フォルダの中に保存されます。

MEMO

- クイックメモ（メモ）を入力した場合、Today 画面のプレビューで見ると改行位置が違います。また、手書きした場合、文字が分かれる（たとえば、漢字がへんとつくりに分かれる）ことがあります。１件表示画面に切り替えると、入力時と同じように表示できます。
- クイックメモ（メモ）は、“メモ”プログラムが起動して新規入力画面や１件表示画面を表示しています。メモの入力方法については、付属の CD-ROM に収録のアプリケーションマニュアルをご覧ください。
- プログラム画面から“メモ”を起動しメモを作った場合、ファイル名は「メモ 1」「メモ 2」などになり、保存先は一覧画面で表示しているフォルダに入ります（「すべてのフォルダ」を選択している場合は、「My Documents」フォルダの中に入ります）。また、Today 画面のプレビューには表示されません。

ホームメニューを使う

ホームメニューは、よく使うプログラムや設定を集めた画面です。この画面からプログラムや各種設定画面を起動できます。

ホームメニューの使いかた

1 Today 画面（待ち受け画面）で MENU キーをタップします。

ホームメニュー画面が表示されます。

①タップすると、W-ZERO3 メールなどのプログラム内の画面を表示するためのアイコンが表示されたり、プログラムなどを起動します。

2 各アイコンをタップします。
その中のアイコンが表示されたり、プログラムなどが起動します。

3 表示されたアイコンをタップします。
タップしたプログラムなどが表示されます。

メモリカードを使ったりUSBホストとして使う

この製品には、市販のmicroSDカードを取り付けることができます。

MEMO

- 動作確認済みのmicroSDカードについては、ホームページ（URL http://www.sharp.co.jp/ws/）をご覧ください。
- この製品ではメモリカードをフォーマットできません。
  パソコンを使い、FATでフォーマットしてください（FAT32、NTFSではフォーマットしないでください）。
- メモリカードにファイルとして以下のものが保存できます。
  ・画像／音楽ファイル　・Word Mobile ／ Excel Mobileなどで作成したファイル
  ・ボイスメモ　・メールに添付されているファイル
  ・メモ　・バックアップファイル（☞9-2ページ）　など
- “予定表”、“連絡先”、メール本文、ライトメールは、メモリカードに保存できません。
- microSDカードに保存するときに暗号化（☞10-26ページ）したファイルは、他の機器（別のWS020SHやパソコンなど）では表示されません。
- メモリカードやUSBホスト機能を使用する機器を使用中は消費電力が大きくなります。内蔵ワイヤレスLANを使用可能な状態にしていたり、赤外線通信と同時に使用すると、充電池残量の警告メッセージが表示されずに電源オフになることがあります。

カードを取り付ける

1 **この製品の電源を切ります（☞1-8ページ）。**

2 **下図のように①、②の順でmicroSDカードスロットのカバーを開きます。**

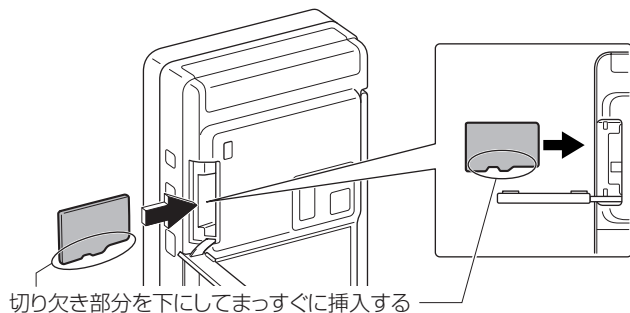
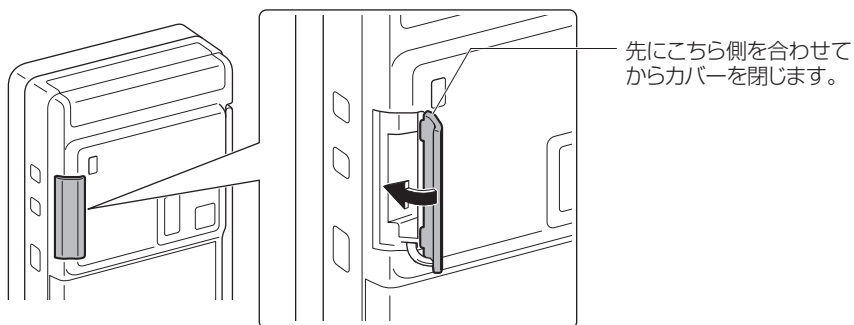
MEMO

- カバーは、①側からのみ開きます。②側からは開きませんので、ご注意ください。また、カバーは開いたのち水平方向に保ち、ひねったりしないようにしてください。

3 カードの切り欠き部分が下を向くようにして、端子側から奥まで確実に挿入します。

切り欠き部分を下にしてまっすぐに挿入する

4 下図のようにカバーを閉じます。

先にこちら側を合わせてからカバーを閉じます。

5 イルミネーション切替／電源キーを長く（約２～３秒）押し、電源を入れます。

ご注意

● microSD カードのご使用について

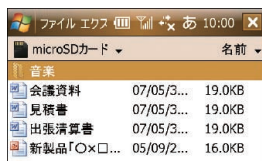
・カードの端子部を指などで触れないでください。
・表裏をまちがえると、故障したり、カードが取り出せなくなります。
・カードに強い力を加えないでください。
・カードは、スロットに確実に挿入してください。
・カードは必ず上図のようにして、まっすぐ挿入してください。斜めに傾けたまま無理やり挿入すると、破損の原因になります。
・動作確認済みのカード以外は、使用しないでください。
・この製品を落とさないでください。破損したり故障の原因となります。

MEMO

● カードを取り付けているときは、取り付けていないときと比べて起動時間が長くなります。これは、起動時に、システムがカードをチェックするためです。

microSD カードのファイルを確認する

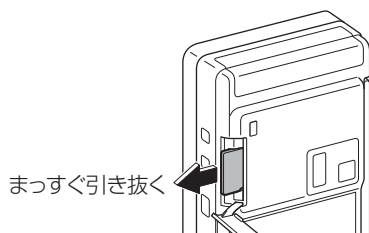
1 ファイルエクスプローラ画面（☞ 9-9 ページ）を表示し、画面左上の「My Documents ▼」などをタップします。

2 表示されたメニューから「 microSD カード」をタップします。
microSD カード内のフォルダやファイルが表示されます。

カードを取り外す

1 この製品の電源を切ります（☞ 1-8 ページ）。

2 microSD カードスロットのカバーを開きます（☞ 1-46 ページ）。

3 カードの端を指で押し込みます。

4 スロットから外れたカードを抜き取り、カバーを閉じます。

5 イルミネーション切替／電源キーを長く（約２～３秒）押し、電源を入れます。

ご注意

- **カードを取り外すときは**

カードスロットからカードを取り外すときは、カードが飛び出さないように、指で軽く押さえながら出してください。

ファイルやフォルダをコピーする

1 **microSD カードを取り付け、ファイル エクスプローラ画面（☞ 9-9 ページ）を表示して、「My Documents ▼」などをタップし「 microSD カード」をタップします。**
microSD カード内のフォルダやファイルが表示されます。

2 **目的のファイルをタップしたままにして、表示されたメニューをタップします。**
・コピーするときは コピー をタップします。
・移動するときは 切り取り をタップします。

3 **画面左上の「 microSD カード▼」をタップし、マイデバイス をタップします。**
本体側のファイルやフォルダなどが表示されます。

4 **貼り付け先または移動先のフォルダを開いた後、画面右下の メニュー ー 編集 ー 貼り付け をタップします。**
手順 **2** でコピー／切り取りしたファイルが貼り付け／移動されます。

MEMO

- 手順**2**で、目的のファイルを選択して画面右下の メニュー ー 編集 ー コピー ／ 切り取り をタップしてもコピー／移動できます。
- 手順 **4** で、画面をタップしたままにして表示されたメニューから 貼り付け をタップしても貼り付け／移動ができます。ただし、ファイルやフォルダが表示されている場所で画面をタップしたままにするとそのファイルやフォルダが対象となりますので、ご注意ください。
- フォルダを移動すると、フォルダ内のファイルは、すべて移動されます。
- 「切り取り」したフォルダやファイルを貼り付けず、別のフォルダやファイルを「切り取り」すると、前の「切り取り」は解除されます。
- 本体に保存しているファイルやフォルダを別の階層にコピー／移動するときなどは、「My Documents ▼」をタップして、フォルダを選んでください。
- コピー元と同じ階層に「貼り付け」するとファイルやフォルダ名に「コピー～」が追加されます。
- コピーをやめるときは、画面右下の メニュー ー 編集 ー 元に戻す コピー をタップして、元に戻します。

本体のファイルやフォルダを microSD カードにコピー／移動する

1 **上記と同様にファイル エクスプローラ画面（☞ 9-9 ページ）で本体メモリを開きます。**

2 **目的のファイルをタップしたままにして、表示されたメニューの コピー または 切り取り をタップします。**

3 **microSD カード側に切り替え、画面右下の メニュー ー 編集 ー 貼り付け をタップします。**
手順 **2** でコピー／切り取りしたファイルが貼り付け／移動されます。

この製品を USB ホストとして使う

この製品は、USB ホスト機能を持っています。
USB メモリやキーボードなどと接続し、利用することができます。
この製品に接続可能な機器については、ホームページ（URL http://www.sharp.co.jp/ws/）をご覧ください。また、USB 周辺機器を接続する場合は、別途 USB ホストケーブルが必要です。

保存しているファイルや情報を検索する

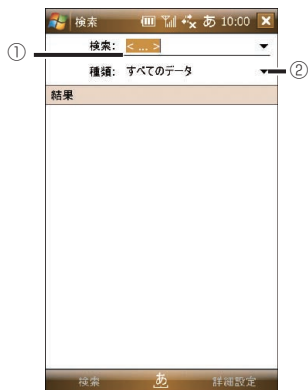
目的の情報をすばやく見付け出せます。
My Documents フォルダや microSD カード内のファイルや予定表、連絡先、仕事、メモに含まれている文字を検索します。

1 **スタート メニューの “プログラム”をタップします。**

2 **プログラム画面で “検索”をタップします。**
検索画面が表示されます。

3 **「検索」欄に検索したい語句を入力します。**

①ファイル名や連絡先などのデータ内に含まれる文字列を入力します。
▼をタップすると、以前に検索した文字列が表示されます。再度同じ文字列で検索する場合に利用します。

②データの種類を選択して検索するときは、▼をタップして表示された一覧から種類を選びます。

4 **画面左下の 検索 をタップします。**
検索が開始され検索結果が表示されます。

5 **見たいファイルやデータをタップします。**
ファイルやデータが表示されます。

MEMO

- microSD カードに保存されたファイルには、microSD カードの記号“ ”が表示されます。

6 **検索をやめるときは、 をタップします。**

ご注意

- ファイルやデータによっては、その内に含まれる文字列が検索されないものもあります。

2章　インターネットやメールの準備

ネットワークに接続する方法

この製品でインターネットに接続するには、「PHS 電話機能を使って接続する方法」と「ワイヤレス LAN を使って接続する方法」の2つがあります。

■ PHS 電話機能を使って接続する方法

「オンラインサインアップで設定を行う」と「加入しているプロバイダーの接続設定を行う」の2つの接続設定があり、お使いの環境に合わせて設定いただけます。

オンラインサインアップで設定を行う	自動的に接続する設定が保存され、すぐにメールの送受信やホームページの閲覧を行うことができます。	下記
加入しているプロバイダーの接続設定を行う	加入しているプロバイダーの情報（サーバーに接続する設定等）をご覧になり設定します。	2-4 ページ

■ ワイヤレス LAN を使って接続する方法

お使いの環境により設定する内容が異なります。お使いの環境に合わせて設定してください。

・「ワイヤレス LAN の接続設定をする」（☞ 2-10 ページ）

ワイヤレス LAN を使用しないときは、電池残量の消耗を防ぐためオフ（無効）にすることをおすすめします（☞ 2-16 ページ）。

MEMO

- **ホームページの閲覧やメールの送受信を行うときは**
  ホームページの閲覧　：Opera Browser（☞ 5-10 ページ）／ Internet Explorer（☞ 5-3 ページ）をご覧ください。
  メールの送受信　：W-ZERO3 メール（☞ 4-3 ページ）／メール（Outlook）（☞付属の CD-ROM に収録のアプリケーションマニュアル）をご覧ください。
- **ネットワークに接続できないときは**
  2-17 ページや「困ったときは」（☞ 11-33 ～ 36 ページ）をご覧ください。

オンラインサインアップで設定を行う

オンラインサインアップでは、次のようなことができます。

・E メール（ウィルコム）のメールアドレスを取得します。

・インターネットに接続する設定やメールを送受信する設定（メールサーバーの設定）が自動的にこの製品に保存されます。

オンラインサインアップをする場合､あらかじめワイヤレス LAN をオフ(無効)にしておいてください。

1 **スタート メニューの “オンラインサインアップ” をタップします。**

「接続中」のメッセージが表示され、センターに接続します。

ご注意

- **再度オンラインサインアップを行うときは**
  一度オンラインサインアップを行うと、スタートメニューにオンラインサインアップが表示されなくなります。再度オンラインサインアップを行うときは、スタート メニュー－ “プログラム” － “オンラインサインアップ” をタップし、オンラインサインアップを行ってください。

2 **表示された画面の指示にしたがって設定を行います。**

■ メールアドレスについて

「詳細設定へ」－「6. メールアドレス変更」を選択してお好みのメールアドレスを入力します。ここではユーザーネームのみを入力します。ドメインは自動的に設定されます。

ユーザーネームは、以下の制限の中でお客様がご自由に設定できます。

・ 文字数：4 文字以上 20 文字以下
・ 文字種：半角英数字、「-」（ハイフン）、「_」（アンダーバー）
・ 1 文字目は英字のみ使用できます。
・ 英字は、すべて小文字として扱われます。

MEMO

- **同じユーザーネームが既に登録されている場合**
  設定したユーザーネームはご利用いただけません。別のユーザーネームを指定してください。

3 **オンラインサインアップを完了します。**

4 **再起動の確認画面で OK をタップします。**

MEMO

- **ライト E メールの設定は利用しないでください。**
  この製品はライト E メールに対応していないため、オンラインサインアップの「詳細設定へ」-「9. その他の設定」で「◆ライト E メール」の項目はかならず「利用しない」にチェックを付けてください。
  ※ライト E メールを着信すると「未対応着信あり」と表示されたり、E メール（ウィルコム）の自動受信ができなくなります。
- **お知らせメール受付の選択について**
  ウィルコムからのお知らせを付けるか、付けないかを選択することができます。
- **メールの自動受信をしないようにするには**
  オンラインサインアップで「自動受信しない」または「新着メール通知」に設定します（「新着メール通知」に設定すると E メールが届いたことを通知するライトメールを受信します）。
  この製品の設定で「自動受信する」（☞ 4-6 ページ）のチェックを付けていても、オンラインサインアップで「自動受信しない」や「新着メール通知」にすると自動受信はしません。
- **W+Info とは**
  ウィルコムから配信される最新のニュースなどを自動的に受信し、Today 画面（待ち受け画面）に表示します。

5 **登録する場合は、OK をタップし、利用規約をよくお読みの上、登録してください。**
登録が終わったら、画面左下の 切 をタップします。登録しないときは、キャンセル をタップします。

オンラインサインアップを完了すると設定される内容

オンラインサインアップを完了すると自動的に以下の情報が設定されます。

●インターネットに接続するための情報
「センタ名称設定」（☞ 2-5 ページ）という名称とその中に接続設定「CLUB AIR-EDGE」が保存されます。
「センタ名称設定」は「CLUB AIR-EDGE」などの接続設定を管理するための名称です。
「CLUB AIR-EDGE」にはアクセスポイントの電話番号、ユーザー名、パスワードが保存されます。

●メールを送受信するための情報
“W-ZERO3 メール”に情報が設定されます。
メールアカウントが保存されます（メールアカウント内には次の情報が保存されます）。メールアカウントは、お客様の電話番号（070XX……）になります。
・ メールアドレス　・ユーザー名　・パスワード
・ サーバー情報（受信メールサーバー、送信メールサーバー）

ご注意

- **設定された内容は、変更／削除しないでください。**
  オンラインサインアップを完了して設定された「センタ名称設定」の名称や「CLUB AIR-EDGE」の内容、メールアカウントの内容は変更／削除しないでください。
  「センタ名称設定」の名称や「CLUB AIR-EDGE」の内容、メールアカウントの内容を変更／削除すると、インターネットへの接続やメールの送受信ができなくなります。

MEMO

- **インターネットへの接続方法の設定を確認するときは**
  ネットワーク管理画面（☞ 2-8 ページ）を表示して、「インターネットに自動的に接続するプログラムの接続方法」を確認してください。オンラインサインアップを行ったあとは、「センタ名称設定」が選択されています。
- **ウィルコムのサーバーに接続するための設定を確認するときは**
  「インターネット接続設定を変更する／削除する」（☞ 2-9 ページ）をご覧になり各項目を表示して確認してください。

オンラインサインアップで設定した内容を確認／変更する

・オンラインサインアップで設定した内容を変更するときは、スタート メニュー－ “プログラム”－ “オンラインサインアップ”をタップし、確認画面で 詳細設定 をタップしてセンターに接続します。センターに接続して表示された画面で確認や変更したい項目をタップします。設定を変更したあとは、画面下方にある この内容で登録する をタップしてください。

・メールアドレスを変更する場合はセンターに接続して表示された画面から「6. メールアドレス変更」をタップしてメールアドレスを変更してください。メールアドレスを変更した場合、変更前のアドレス宛のメールは届かなくなります。

加入しているプロバイダーの接続設定を行う

既に加入しているインターネットプロバイダーを使用して、インターネットに接続するための設定について説明します。
ここでは、基本的な設定のしかたについて説明します。あわせてヘルプもご覧ください。

MEMO

- 各項目に入力するときは、大文字・小文字・全角・半角は区別されますので、英数字や記号を入力する際は注意してください。
  また、数字の「0」（ゼロ）と英語の「O」（オー）、数字の「1」と英字の「l」などの区別も確認してください。

この製品に設定するプロバイダー情報を確認する

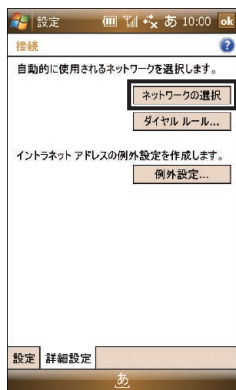
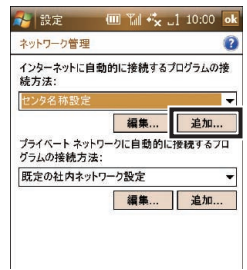
以下にこの製品に設定する項目を記載します。プロバイダーからの資料をお手元にご用意して、各項目に設定する情報を確認してください。

・接続先アクセスポイントの電話番号
・ユーザー名
・パスワード
・プライマリ DNS
・セカンダリ DNS

※ 項目の名称はプロバイダーによって異なるため、各手順にプロバイダーで使われている代表的な用語を記載しています。

1 **スタート メニューの “設定”をタップします。**
設定画面が表示されます。

2 **設定画面で 接続 タブの “接続”をタップし、詳細設定 タブをタップします。**
接続画面が表示されます。

3 **ネットワークの選択 をタップします。**

4 インターネットに自動的に接続するプログラムの接続方法の 追加 をタップします。

5 表示された画面で接続方法の名前を入力し ok をタップします。

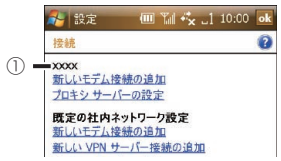
MEMO

- すでに作っている接続方法の中に複数の接続設定を作る場合は、「インターネットに自動的に接続するプログラムの接続方法」の▼をタップして「既定のインターネット設定」などを選びます。
- オンラインサインアップ（☞2-2 ページ）を行った後、ご自分でご入会しているプロバイダーの情報を設定するときは、「既定のインターネット設定」ではなく「センタ名称設定」になっています。

6 ok をタップします。

接続画面に戻ります。

7 設定 タブをタップし「新しいモデム接続の追加」をタップします。

新しい接続画面が表示されます。

① 手順 **5** で入力した名称が表示されます。

8 接続名を入力し、さらに「モデムの選択」欄を「W-SIM」にして、次へ をタップします。

① タップするとヘルプが表示されます。

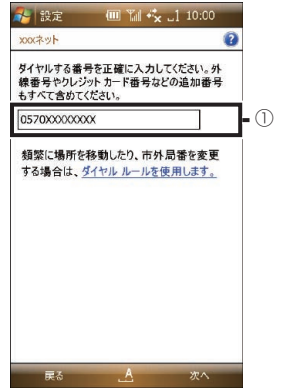
② この接続設定の内容がわかるような名前（プロバイダー名など）を入力します。

③「W-SIM」を選択します。

ご注意

- **「モデムの選択」欄は、「W-SIM」を選択してください**

「W-SIM」以外のものを選択しても接続できません。

9 接続先のアクセスポイントの電話番号を入力し、次へ をタップします。

① 接続先プロバイダーのアクセスポイントの電話番号を入力します。

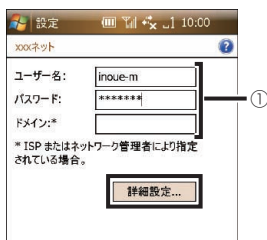
ご注意

- **ダイヤルルールの設定はしないでください**

上記画面で「ダイヤルルールを使用します」をタップして「ダイヤルルールを使用する」にチェックを付けて設定しないでください。この製品ではダイヤルルールは使用しません。設定を行うと通信ができなくなります。

MEMO

- ご利用の通信速度、通信手段により、アクセスポイントの電話番号の後に記号（##64や##7など）の入力が必要となります。詳しくは、ご利用のプロバイダーにご確認ください。
- インターネット接続時に分計発信を行う場合は、アクセスポイントの電話番号＋記号（##64や##7など）の後に追加します。
  例）通常発信の場合：
  03-5204-XXXX##64
  分計発信の場合：
  03-5204-XXXX##64,01

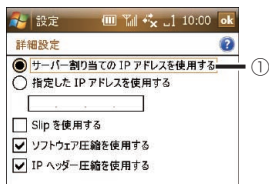
10 「ユーザー名」、「パスワード」を入力し、詳細設定 をタップします。

①「ユーザー名」、「パスワード」を入力しておくと、接続のたびに「ユーザー名」、「パスワード」を入力する手間が省けます。

MEMO

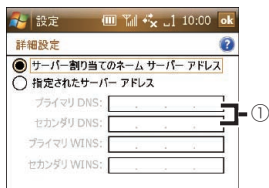
- 「ユーザー名」、「パスワード」を入力しておくと便利ですが、この製品を紛失した場合、他人にメールを読まれたり、通信料金を請求されたりするおそれがあります。
  接続するたびに「ユーザー名」、「パスワード」を入力したいときは、「ユーザー名」、「パスワード」欄を空欄にしておきます。
- 「ユーザー名」や「パスワード」をまちがえて入力すると、プロバイダーに接続できません。よく確かめて入力してください。
- 「ユーザー名」、「パスワード」は各プロバイダーによって呼びかたが異なります。次の表の用語例を参考にしてください。

画面で使われている用語	プロバイダーで使われている代表的な用語例
ユーザー名	PPPログイン名、 ログイン名、ユーザー名、 アカウント、 アカウントID、接続ID、 ID番号、接続アカウント、 ユーザーID、 ダイヤルアップログイン名、 認証ID
パスワード	PPPパスワード、 パスワード、 接続パスワード、 認証パスワード、 ダイヤルアップパスワード、 初期パスワード、 IDパスワード

11 TCP／IP タブをタップします。

「サーバー割り当てのIPアドレスを使用する」にチェックが付いていることを確認します。

①「サーバー割り当てのIPアドレスを使用する」が選択されていることを確認します。

12 サーバー タブをタップし、サーバーの設定を行います。

・DNSサーバーを自動的に取得する場合は「サーバー割り当てのネームサーバーアドレス」を選択します。
・DNSサーバーを入力する場合は「指定されたサーバーアドレス」を選択し、プライマリDNS、セカンダリDNSを入力します。

① 半角の数字で入力します。

MEMO

- セカンダリ DNS サーバーがないプロバイダーの場合は、「セカンダリ DNS」の欄は空欄にします。
- 「プライマリ DNS」、「セカンダリ DNS」は各プロバイダーによって呼びかたが異なります。下表の用語例を参考にしてください。

画面で使われている用語	プロバイダーで使われている代表的な用語例
プライマリ DNS	ネームサーバー 1、Domain Name Server (1)、ドメインネームサーバー、DNS サーバー、DNS、プライマリ DNS サーバー
セカンダリ DNS	ネームサーバー 2、Domain Name Server (2)、セカンダリ DNS サーバー

13 をタップします。

手順 **10** の「ユーザー名／パスワードの入力」画面に戻ります。

14 画面右下の 完了 をタップします。

- **2-5 ページの手順 4 で 追加 をタップし、ご自分で接続方法を作りその中に 1 つの接続設定を作った場合**

  この手順で終了です。

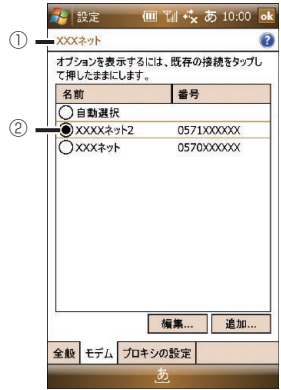
- **2-5 ページの手順 4 で複数の接続設定を作った場合**

  以下の手順 **15** ～ **17** を行ってください（接続設定の選択を行ってください）。

15 「既存の接続を管理」をタップします。

作成した設定が表示されます。

16 作成した設定のラジオボタンにチェックを付けます。

チェックが付いている設定に接続します。

① 接続方法の名称が表示されます。

② チェックが付いている設定に接続します。

MEMO

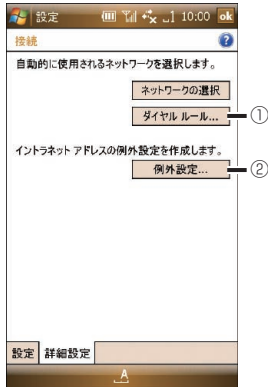
- 加入しているプロバイダーの設定をしたあとＥメール（ウィルコム）アカウントのメールを受信するときは、接続（設定 タブ）画面で表示される名称を「センタ名称設定」に変更する必要があります。変更方法は、次ページの手順 **2** で「センタ名称設定」を選択します。

17 ok をタップします。

インターネットへの接続方法を切り替える

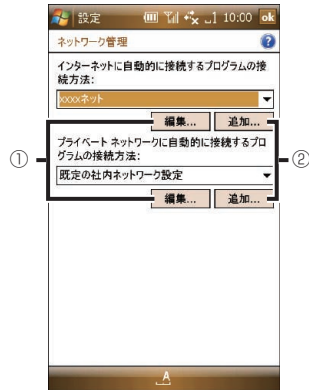
新しいネットワークを作成したり、イントラネットアドレスの例外設定ができます。

1 **設定画面で 接続 タブの “接続” をタップし、詳細設定 タブをタップします。**

詳細設定画面が表示されます。

① この製品ではダイヤルルールは使用しません。ダイヤルルール画面に移り設定をしないでください。
※このダイヤルルール画面は、新規の接続作成画面（☞2-5 ページ）で「ダイヤルルールを使用します」をタップしたときと同じ画面です。

② イントラネットアドレスでピリオド（.）が使用されている例外アドレスを設定します。

2 **ネットワークの選択 をタップします。**

ネットワーク管理画面が表示されます。
オンラインサインアップを行うと「センタ名称設定」が自動的に作成されて表示されます。
オンラインサインアップで取得した情報を使ってインターネットに接続する場合、この設定は変更しないでください。変更するとインターネットに接続できなくなり、ホームページの閲覧やメールの送受信ができなくなります。この設定を削除した場合などは、もう一度オンラインサインアップをしてください。

① 表示されている接続名称の中に作成した接続設定の編集ができます。

② 新しい接続設定を作成します。

3 **ok をタップします。**

インターネット接続設定を変更する／削除する

インターネット接続設定を変更する

1 設定画面で 接続 タブの “接続” をタップし、 詳細設定 タブをタップします。

2 ネットワークの選択 をタップします。

3 変更したい接続方法の名前（「既定のインターネット設定」や「センタ名称設定」など）を選択し、 編集 をタップします。

4 変更する接続名を選択し、 編集 をタップします。

接続名やモデムを選択する画面（☞ 2-5 ページの手順 **8**）が表示されます。

5 次へ をタップして画面を切り替えて設定内容を変更します。

2-5 ページ以降の画面が表示されますので、くわしくは 2-5 ～ 7 ページの手順 **8** ～ **14** をご覧になり内容を変更します。

MEMO

- 「パスワード」の項目は「＊」が表示されており、実際に設定したパスワードとは違う文字数になっています。

インターネット接続設定を削除する

1 設定画面で 接続 タブの “接続” をタップし、 詳細設定 タブをタップします。

2 ネットワークの選択 をタップします。

3 変更したい接続方法の名前（「既定のインターネット設定」や「センタ名称設定」など）を選択し、 編集 をタップします。

4 削除する接続名をタップしたままにし、表示されたメニューから 削除 をタップします。

ご注意

- **削除の取り消しはできません**

よく確認してから削除してください。

ワイヤレス LAN の接続設定をする

内蔵のワイヤレス LAN を利用する場合はお使いの環境により設定する内容が異なります。
お使いの環境に合わせて必要な設定を行ってください。

①自宅のワイヤレス LAN アクセスポイントに接続するときは

以下の設定をしてください。

- 「内蔵ワイヤレス LAN をオン（有効）にする」（☞ 2-12 ページ）
- 「アクセスポイントの設定をする」（☞ 2-12 ページ）
- 「ネットワークに接続する」（☞ 2-15 ページ）

②公衆ワイヤレス LAN に接続するときは

ワイヤレス LAN サービスを提供している店舗などから、インターネットに接続することができます。
公衆ワイヤレス LAN を利用するための申し込みが必要な場合があります。
申し込みや接続に必要な情報など、お使いの公衆ワイヤレス LAN サービスについてあらかじめ確認したあと、以下の設定をしてください。

- 「内蔵ワイヤレス LAN をオン（有効）にする」（☞ 2-12 ページ）
- 「アクセスポイントの設定をする」（☞ 2-12 ページ）
- 「ネットワークに接続する」（☞ 2-15 ページ）

③社内のワイヤレス LAN に接続する

社内のワイヤレス LAN に接続するときは、IP アドレスが決められていたり、ネームサーバーやプロキシサーバーが設定されている場合がほとんどです。これらの情報をネットワーク管理者に確認したあと、以下の設定をしてください。

- 「IP アドレスやネームサーバーの設定、プロキシサーバーの設定を行う」
- 「内蔵ワイヤレス LAN をオン（有効）にする」（☞ 2-12 ページ）
- 「アクセスポイントの設定をする」（☞ 2-12 ページ）
- 「ネットワークに接続する」（☞ 2-15 ページ）

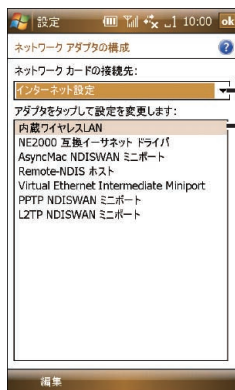
MEMO

- **IP アドレスやネームサーバーを設定するときは**
  「IP アドレスやネームサーバーの設定、プロキシサーバーの設定を行う」をご覧になり設定してください（☞下記）。

IP アドレスやネームサーバーの設定、プロキシサーバーの設定を行う

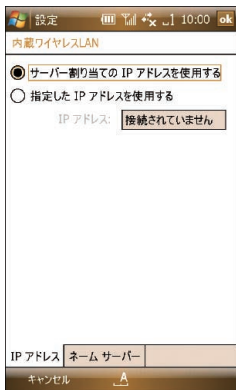
社内のネットワークに接続する場合などでは、IP アドレス、ネームサーバー、プロキシサーバーの設定が必要になることが多くあります。
ここでは、IP アドレス、ネームサーバー、プロキシサーバーの設定を行います。

1 設定画面（接続 タブ）で、“ネットワークカード”をタップします。

2 ネットワークアダプタの構成画面で、次の操作を行います。

1「ネットワークカードの接続先」を選択します。

社内のネットワークに接続する場合は、「社内ネットワーク設定」を選択し、自宅などからプロバイダーに接続する場合は、「インターネット設定」を選択します。

2「内蔵ワイヤレス LAN」をタップします。

3 表示された画面で、IPアドレスの設定を行います。

・DHCPサーバーを使用する場合は、「サーバー割り当てのIPアドレスを使用する」にチェックを付けます。
・固定のIPアドレスを使用する場合は、「指定したIPアドレスを使用する」にチェックを付け、IPアドレスやサブネットマスクなどを入力します。
IPアドレスなどを入力するときは、社内のネットワーク管理者におたずねください。

4 ネームサーバー タブをタップし、DNSサーバーアドレスおよびWINSサーバーアドレスの情報を入力します。

サーバーアドレスについても、社内のネットワーク管理者におたずねください。

5 ok をタップします。

「ネットワークアダプタの構成」画面に戻ります。

6 ok をタップします。

設定画面（接続 タブ）に戻ります。
社内のネットワークに接続するとき、プロキシの設定が必要な場合があります。
手順 **7** 以降をご覧になりプロキシの設定を行ってください。
プロキシの設定が不要な場合は「内蔵ワイヤレスLANをオン（有効）にする」（☞次ページ）に進みます。

7 設定画面（接続 タブ）で、“接続”をタップします。

8 接続画面（設定 タブ）で、既定の社内ネットワーク設定の「プロキシサーバーの設定」をタップします。

9 表示された画面で、「このネットワークをインターネットに接続する」にチェックを付けます。

10 さらに「プロキシサーバーを使用してインターネットに接続する」にチェックを付け、プロキシサーバーを入力します。
必要に応じて、詳細設定 をタップし、HTTPプロキシサーバーのポートやユーザー名、パスワードを入力します。

プロキシサーバーなどについては、社内のネットワーク管理者におたずねください。

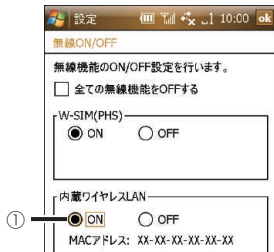
11 ok を数回タップし、設定画面（接続 タブ）に戻ります。

「内蔵ワイヤレスLANをオン（有効）にする」（☞次ページ）に進みます。

内蔵ワイヤレス LAN をオン（有効）にする

1 スタート メニューの "設定" をタップします。

2 設定画面で 接続 タブをタップし、"無線 ON ／ OFF" をタップします。

3 無線 ON ／ OFF 画面で、内蔵ワイヤレス LAN の ON にチェックを付けます。

① しばらくすると MAC アドレスが表示されます。

MEMO

- Bluetooth が有効（オン）の場合、内蔵ワイヤレス LAN を有効（オン）にすることはできません。あらかじめ、Bluetooth を無効（オフ）にしてください。
- **MAC アドレスについて**
  「内蔵ワイヤレス LAN」の ON にチェックを付けてしばらくすると、MAC アドレスが表示されます。
  ワイヤレス LAN アクセスポイントの設定で、MAC アドレスを登録している機器のみ接続できるように設定しているときは、上記画面の MAC アドレスをワイヤレス LAN アクセスポイントに設定してください。
- キーボードの Fn キーを押しながら、ok キーを押しても ON/OFF を切り替えることができます。
- 内蔵ワイヤレス LAN 使用中は消費電力が大きくなります。赤外線通信を使用したり、USB、microSD などの接続機器によっては、充電池残量の警告メッセージが表示されずに電源オフになることがあります。

4 ok をタップします。

ワイヤレス LAN ランプが点灯します。また、タイトルバーに が表示され、近くのアクセスポイントを自動的に検出します。

接続したいアクセスポイントを自動的に検出した場合

「ネットワークに接続する」
(☞ 2-15 ページ) に進んでください。

接続したいアクセスポイントを自動的に検出しなかった場合

「アクセスポイントの設定をする」
(☞下記）に進んでください。

アクセスポイントの設定をする

ワイヤレス LAN アクセスポイントに接続するための情報を設定します。

ご注意

- **自動設定機能を持つワイヤレス LAN アクセスポイントに接続するときは**
  この製品は、一部のワイヤレス LAN アクセスポイントが持つ自動設定機能には対応していません。お使いのワイヤレス LAN アクセスポイントがワイヤレス LAN の設定を自動で行うように設定している場合、この設定を無効にして、手動で設定しておいてください。

MEMO

- **アクセスポイントの情報を確認しておく**
  「ネットワーク名（SSID)」、「データ暗号化」、「ネットワークキー（WEP キー)」など、ワイヤレス LAN アクセスポイントの情報が必要になることがあります。お使いのワイヤレス LAN アクセスポイントの説明書も併せてお読みください。パソコンからアクセスポイントの設定ページなどを表示して調べることもできます。

1 設定画面（接続タブ）で、“ネットワークカード”をタップします。

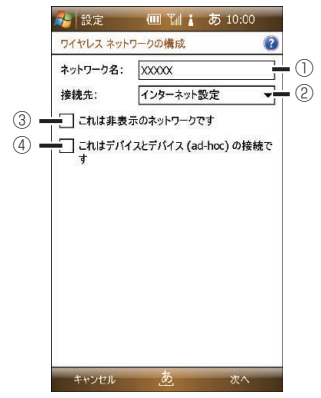
2 ワイヤレスタブが選択されていることを確認して、「新しい設定の追加」をタップします。

近くにワイヤレス LAN アクセスポイントを検出した場合は、ネットワーク名（SSID）が表示されます。

① 検出されたネットワーク名や設定を追加したネットワーク名が表示されます。

MEMO

- ワイヤレスタブは、内蔵ワイヤレス LAN をオン（有効）（☞前ページ）にしていないと表示されません。
- 内蔵ワイヤレス LAN をオン（有効）にしている状態で電源を切った場合は、電源を入れて約 5 秒以内には電源を切らないようにしてください。

3 ネットワーク名の入力、接続先の選択をし、次へをタップします。

① アクセスポイントに設定されているネットワーク名を入力します。

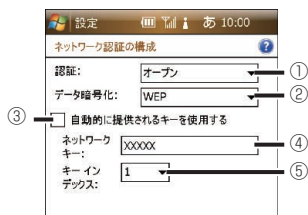
② 自宅などからプロバイダーに接続する場合は、「インターネット設定」を選択します。社内のネットワークに接続する場合は、「社内ネットワーク設定」を選択します。

③ ネットワーク名（SSID）を表示しないようにしているアクセスポイントに接続する場合、チェックを付けます。

④ チェックがないことを確認します（インフラストラクチャ通信）。
アクセスポイントを使用しないアドホック通信を利用する場合は、チェックを付けます。

MEMO

- **ワイヤレス LAN の通信形態について**
  ワイヤレス LAN の通信形態には、次の 2 つがあります。
  - **インフラストラクチャ通信**
    ワイヤレス LAN アクセスポイントを介して通信します。
  - **アドホック通信**
    ワイヤレス LAN アクセスポイントを介さず、ワイヤレスで接続できる機器同士で直接通信を行います。
- ワイヤレスネットワークの構成画面（☞前ページ）では、「これはデバイスとデバイス（ad-hoc）の接続です」にチェックを付けないようにしてください。
  チェックを付けるとアドホック通信になります。この製品ではアクセスポイントを介して（インフラストラクチャ通信）、インターネットに接続します。

4 セキュリティ関連の設定を行い、次へをタップします。

① ワイヤレス LAN アクセスポイントの設定に合わせて認証方式を選択します。

② ワイヤレス LAN アクセスポイントの設定に合わせて暗号化方式を選択します。暗号化方式が異なると接続できません。
ワイヤレス LAN アクセスポイント側でネットワークキー（WEP キー）が設定されている場合は、「WEP」を選択します。また、ネットワークキーが設定されていない場合は、「無効」を選択します。
※①認証で「WPA」または「WPA-PSK」、「WPA2」、「WPA2-PSK」を選択している場合は、「TKIP」または、「AES」を選択します。

③ ネットワークキーを入力するときなどは、チェックを外し④のネットワークキーを入力します。

④ ワイヤレス LAN アクセスポイントと同じネットワークキーを設定してください。
暗号化キーに使用可能な文字種および文字数は、以下のとおりです。

・暗号化方式で「WEP」を選んだ場合
ASCII 文字 ：5 文字または 13 文字
16 進数 ：10 桁または 26 桁

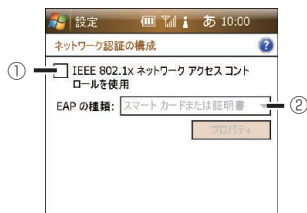
・認証方式で「WPA-PSK」／「WPA2-PSK」を選び、データ暗号化方式で「TKIP」／「AES」を選んだ場合
ASCII 文字 ：8 文字～ 63 文字
16 進数 ：64 桁（ワイヤレス LAN アクセスポイントによっては対応していません。）

※ ASCII 文字で入力できる文字種は 0 ～ 9、a ～ z、A ～ Z の英数字です。（大文字と小文字は別の文字として区別されます。）
※ 16進数で入力できる文字種は0～9、a ～ f、A ～ F の英数字です。（大文字と小文字は同一文字として認識されます。）

⑤ ワイヤレス LAN アクセスポイントの設定に合わせて「キーインデックス」を選択します。必要に応じてキーのインデックスを変更します。
この製品は、1 ～ 4 までの間でキーのインデックスを設定します。

ご注意

- **通信データを暗号化することを強く推奨します**
  通信データを暗号化することを強く推奨します。
  データ通信の暗号化を設定していない場合、ワイヤレス LAN 機能を搭載した装置からこの製品を検索できるため、データを盗まれたり、データを破壊されたりする危険性があります。

5 アクセスポイントの設定に合わせて、IEEE802.1X 認証を使用する場合は、暗号化の方法などを設定します。

① IEEE802.1X 認証を使用しない場合は、チェックが付いていないことを確認してください。

② 暗号化の方法を選択します。

6 完了 をタップします。

「ワイヤレスネットワークの構成」画面に戻ります。
アクセスポイントを自動的に検出し、接続されます。
自動的に接続されない場合は「アクセスポイントを指定して接続する」（☞2-16 ページ）をご覧になり接続してください。

内蔵ワイヤレス LAN の接続設定を変更する

1 ワイヤレスネットワークの構成画面（ ワイヤレス タブ）で変更するネットワーク名をタップしたままにして、表示されたメニューから 編集 をタップします。

2 設定内容を変更します。

画面の内容についてくわしくは 2-12 〜このページの手順 **5** をご覧ください。

内蔵ワイヤレス LAN の接続設定を削除する

1 ワイヤレスネットワークの構成画面（ ワイヤレス タブ）で削除するネットワーク名をタップしたままにし、表示されたメニューから 設定の削除 をタップします。

ご注意

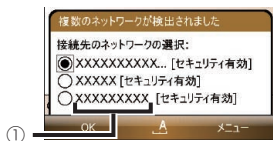
● **削除の取り消しはできません**

接続設定を削除すると、取り消しはできません。よく確認してから削除してください。

ネットワークに接続する

内蔵ワイヤレス LAN を有効にしてアクセスポイントを検出したときや、アクセスポイントの設定をしたあと手動でネットワークに接続する方法を説明します。
公衆ワイヤレス LAN のアクセスポイントに接続するときは以下の方法で接続を行ったあと Internet Explorer Mobile を起動して認証操作を行う必要がある場合があります。くわしくはお使いのワイヤレス LAN サービスを提供している会社におたずねください。

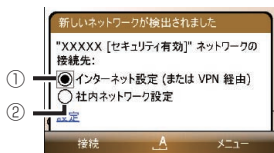
アクセスポイントを自動的に検出したとき

近くにアクセスポイントがあるときは、タイトルバーに が表示され、画面下部に「ネットワークが検出されました」のメッセージが表示されます。

①「XXXX」はネットワーク名が表示されます。

表示が消えた場合は、タイトルバーの をタップし、さらに をタップすると再度表示されます。以下の手順でネットワークに接続してください。

MEMO

● **複数のアクセスポイントを検出したときは**
アクセスポイントを選択して、画面左下の OK をタップします。

1 ネットワークの接続先を選択する画面で接続先を選択します。

①「インターネット設定」:
自宅などからプロバイダーに接続するときや、公衆ワイヤレス LAN に接続するときに選びます。

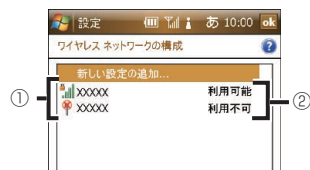
②「社内ネットワーク設定」:
社内のネットワークに接続するときに選びます。

2 画面左下の[接続]をタップします。

ネットワークキーが必要な場合は、ネットワークキーの入力画面が表示されますので、アクセスポイントに設定されているネットワークキーを入力してください。
タイトルバーのアイコンが になり、ネットワークに接続されます。

アクセスポイントを指定して接続する

目的のアクセスポイントに接続できないときなど、アクセスポイントを指定してネットワークに接続します。

1 設定画面（[接続]タブ）で、 “ネットワークカード”をタップします。

① 検出されたネットワーク名や設定を追加したネットワーク名が表示されます。

② 接続状態が表示されます。

MEMO

- 接続状態の表示について
  - 利用可能
    接続して利用できるネットワークがあるとき表示されます。
  - 利用不可
    設定したネットワークに接続を試みたが接続できなかったときに表示されます。
  - 接続中
    利用可能なネットワークに接続を試みているときに表示されます。
  - 接続済み
    利用可能なネットワークへの接続が確立されているときに表示されます。

2 ネットワーク名をタップしたままにして表示されたメニューから[接続]をタップします。

タイトルバーのアイコンが になり、ネットワークに接続されます。

内蔵ワイヤレス LAN の接続を切る

ワイヤレス LAN を使用しない場合は、内蔵ワイヤレス LAN 機能をオフ（無効）にすることをおすすめします。
内蔵ワイヤレス LAN 機能がオン（有効）の場合は、通常より充電池を消耗し、この製品の使用時間が非常に短くなります。

1 [スタート]ー[設定]ー[接続]タブをタップし、 “無線 ON ／ OFF”をタップます。

2 「内蔵ワイヤレス LAN」の OFF にチェックを付け、[ok]をタップします。

ワイヤレス LAN ランプが消灯し、タイトルバーの が消えます。

MEMO

- [Fn]キーを押しながら[ok]キーを押しても ON ／ OFF を切り替えることができます。

メールの送受信やインターネットへの接続がうまくいかないときは

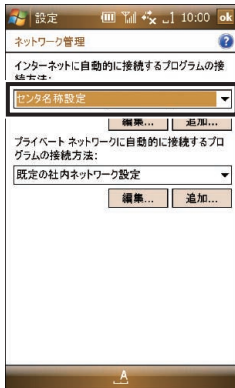
メールの送受信やインターネットに接続できない場合、インターネットに接続する方法が正しく設定されていないことが考えられます。
以下の画面で、設定されている接続方法を確認してください。

MEMO

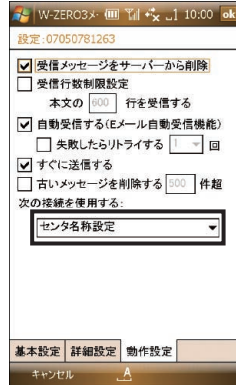
- ウィルコムのメールを自動受信するときは、インターネットに接続する方法を「センタ名称設定」に設定する必要があります。

■ ネットワーク設定

◇ ネットワーク管理画面 ◇

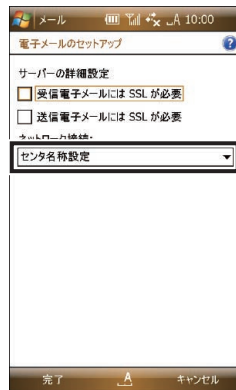
「インターネットに自動的に接続するプログラムの接続方法」欄に表示されている設定を確認してください（☞ 2-5 ページ）。

■ メールソフトの設定

◇ W-ZERO3 メール ◇

「次の接続を使用する」欄に表示されている設定を確認してください（☞ 4-6 ページ）。

◇ メール（Outlook）◇

サーバーの詳細設定画面「ネットワーク接続」欄に表示されている設定を確認してください（☞付属の CD-ROM に収録のアプリケーションマニュアル）。

2 インターネットやメールの準備

困ったときは ワイヤレスLAN

■ タップして表示されるメニューについて

・「センタ名称設定」はオンラインサインアップを完了したときの設定でメールを送受信するときに選択します。

・「インターネット設定」や「社内ネットワーク設定」の中に設定を作成した場合は、これらを選択します。

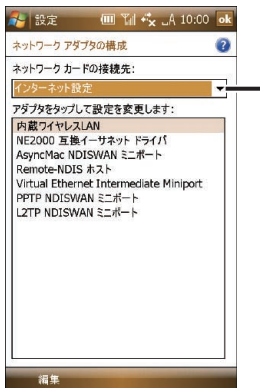
・ご自分で新規に接続／接続設定を作成した場合は、新規に作成した接続を選択します。

※この取扱説明書では、「インターネット設定」の中に自宅などからプロバイダーに接続する設定を作成し、「社内ネットワーク設定」の中に社内のネットワークに接続する設定を作成するように説明していますので、自宅などからプロバイダーに接続しメールを送受信するときは「インターネット設定」を選択し、社内のネットワークに接続してメールを送受信するときは「社内ネットワーク設定」を選択してください。

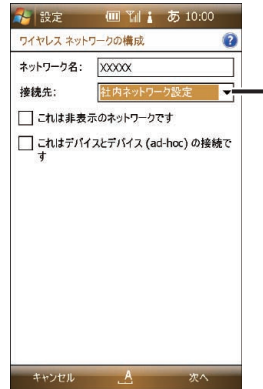
内蔵ワイヤレス LAN をお使いの場合は

以下の画面も確認してください。

◇ ネットワークアダプタの構成画面 ◇

「ネットワークカードの接続先」欄に表示されている設定を確認してください（☞ 2-10 ページ）。

タップして接続を切り替えます。
表示されたメニューから選択します。メニューについては右記をご覧ください。

◇ ワイヤレスネットワークの構成画面 ◇

「接続先」欄に表示されている設定を確認してください（☞ 2-13 ページ）。

タップして接続を切り替えます。
表示されたメニューから選択します。メニューについては下記をご覧ください。

■ 表示されるメニューについて

・「インターネット設定」：
自宅などからプロバイダーに接続するときや、公衆ワイヤレス LAN に接続するときに選びます。

・「社内ネットワーク設定」：
社内のネットワークに接続するときに選びます。

3章　電話

電話

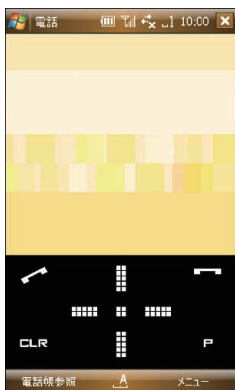
電話のかけかた、受けかたなどについて説明します。

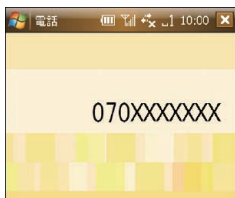
電話をかける

ダイヤルキーをタップして電話番号を入力し、電話をかけます。

1 この製品の電源を入れます。

2 キーをタップします。

"電話" が起動し、ダイヤル画面が表示されます。

3 ダイヤルキーをタップして、電話番号を入力します。

タップした電話番号が画面上に表示されます。

4 キーをタップします。または画面左下の 発信 をタップします。

電話番号が点滅して相手に電話がかかります。相手がでたら、話しをします。

MEMO

- 通話中、バックライトはあらかじめ設定している時間（☞ 10-16 ページ）で最小輝度になり、そのあと約 10 秒後に液晶表示とバックライトが消灯します（通話は継続します）。

5 通話を終えるときは、 キーをタップします。

画面表示が消えているときは、画面をタップしてください。
しばらくすると、Today 画面（待ち受け画面）に移ります。再度、電話をかけるときは キーをタップします。

ご注意

- **電話を切るときは**

  キーをタップしてください。 をタップしても（画面を閉じても）電話は切れません。

MEMO

- 入力できる番号の桁数は 32 桁までです。
- 一般電話に電話をかけるときは、必ず市外局番から入力してください。市外局番を入力せずに電話をかけても、電話はかかりません。
- PHS／携帯電話に電話をかけるときは、「0」から始まる 11 桁の電話番号を入力してください。
- ご購入時、自分の電話番号は相手に通知するように設定されています。
  この設定を変えたり（通知しないようにしたり）、その通話だけ通知しないようにできます。設定の変更については 3-23 ページ、ある相手だけ通知しないようにする方法は 3-11 ページをご覧ください。
- 入力途中で番号を間違えたときは、 キーをタップすると、最後の番号（右端の番号）を削除します。
- 入力途中の番号を最初から入力したいときは、 キーをタップし、一度、Today 画面(待ち受け画面)に戻った後、ダイヤルキーをタップします。
- Today 画面(待ち受け画面) でダイヤルキーをタップしても番号の入力はできます。
- 通話中、画面左下の キー表示 をタップすると (カーソル) キーが表示されます。また、画面右下に メニュー が表示されます。

● ご購入時は、通話中に誤ってキーを押したりタップしても動作しないように近接センサーがはたらき、通話中（耳に押し当てているとき）にはキー操作はできません。耳から離すとキー操作ができるようになります。常にキー操作ができるように設定を変更することもできます（☞ 10-23 ページ）。

電話を受ける

かかってきた電話に出ます。

1 電話がかかってきたら、着信音が鳴り、青色の着信ランプが点滅します。

① "連絡先"（☞付属のアプリケーションマニュアル）に登録しているときは、名前／顔写真も表示されます。

② 相手が発信者番号を通知しているときは電話番号が表示されます。
発信者番号を通知していないときは、以下の内容で表示されます。
「ユーザ非通知」：
相手が電話番号を通知していません。
「通知不可能」：
相手が通知できないエリアや電話機からの電話です。
「公衆電話発信」：
公衆電話からの電話です。

MEMO

● 設定によっては音は鳴らず、バイブレータによって電話がかかってきたことを知らせます。
また、青色のランプを点滅する／しないを設定できます（☞ 3-21 ページ）。
● 着信中に着信音の音量を変えられます。音量の変更は、3-16 ページをご覧ください。
● 着信中、［マナーモード解除中］をタップするとマナーモードに切り替えることができます。

2 [通話]キーをタップし、相手と話しをします。

・エニーキーアンサー（☞ 3-23 ページ）の設定をオンにしていると、[通話]キー以外のキーを押したりタップしても電話を取ることができ、相手と話しができます。画面をタップしても電話を取ることができます（ただし、タイトルバーとメニューバーをタップしても電話は取れません）。
・通話中に相手の声の大きさを変えるには、（カーソル）キーの上、または下をタップします。（カーソル）キー（上）で大きくなり、（カーソル）キー（下）で小さくなります。くわしくは、3-10 ページをご覧ください。

3 相手と話しが終わったら、[終話]キーをタップします。

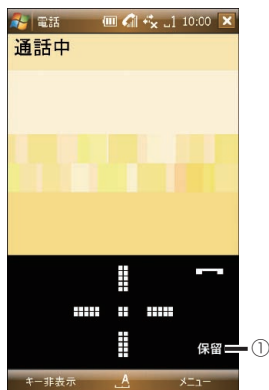
MEMO

● かかってきた電話にすぐに出られないときは、[終話]キーをタップすると保留応答の状態にできます。この場合、「ただいま電話に出ることができません。そのままお待ちになるか、しばらくたってからおかけ直しください。」の応答メッセージが流れ、電話はつながった状態のまま保留されます。
保留応答中に電話に出るときは[通話]キーをタップします。
エニーキーアンサーの設定をオンにしているときは、[終話]キーをタップしても保留応答の状態にならず、電話に出ることになります。
● 電話がかかってきたときに画面回転キーを押すと、伝言メモ機能がはたらきメッセージが流れます（相手のメッセージを録音する／しないは、伝言メモの設定（☞ 3-10 ページ）にしたがいます）。
● **電話に出ることができなかったときは**
Today 画面（待ち受け画面）に「不在着信：X件」と表示されます。この文字をタップすると、着信履歴画面が表示されます。また、ダイヤル画面で（カーソル）キーの左をタップすると着信履歴画面が表示されます。
● この製品では、電話を切ったときに自動的にウィルコムの留守番電話サービスにメッセージがあるか確認をします。ウィルコムの留守番電話サービスに登録している場合、メッセージがあるときは、画面に「センター留守電あり」と表示されます（☞ 3-33 ページ）。

通話中に保留する

通話中、話しを保留できます。保留中は、お互いの声は聞こえません。
保留中はメロディが流れます。

1 **画面左下の キー表示 をタップし、保留 をタップします。**

保留中はメロディが流れます。

① 保留中は、 保留解除 に変わります。

2 **保留を解除するときは、 保留解除 をタップします。**

相手と通話できます。

通話中にメモする

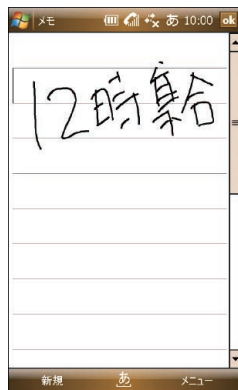
通話中にメモに文字やイラストを手書きしたり、キーボードから文字を入力することができます。

1 **通話中、画面右下の メモ をタップします。**

メモの新規入力画面が表示されます。

2 **メモ（文字やイラスト）を入力します。**

メモを入力中でも相手と通話できます。

- 付属のスタイラスを使って画面に文字やイラストを手書きできます。
- キーボードから文字を入力できます。

3 **メモの入力が終わったら、画面右上の ok をタップします。**

通話中画面に戻ります。
入力したメモは、Today 画面（待ち受け画面）に表示されます（☞ 1-11 ページ）。

4 **通話を終えるときは、 キーをタップします。**

電話が切れます。
しばらくすると、Today 画面（待ち受け画面）に移ります。入力したメモが表示されます。

MEMO

- メモの入力途中に前ページ手順 **3** を行い通話中画面に戻った場合は、入力途中のメモは保存されます。
  再度 通話中に画面右下の メモ をタップするとメモの新規入力画面が表示されます。
- 手順 **1** で表示されるメモの新規入力画面は、“メモ”プログラムの新規入力画面と同じです。メモの新規入力画面についてくわしくは、付属の CD-ROM に収録のアプリケーションマニュアルをご覧ください（アプリケーションマニュアルの見かたについては、0-38 ページをご覧ください）。

入力したメモを確認する

入力したメモのプレビューは、Today 画面（待ち受け画面）のクイックメモ（メモ）に表示されます。入力したメモの確認方法については、1-44 ページをご覧ください。

一度かけた番号に電話をかける（リダイヤル・発信履歴を利用する）

一度かけた電話番号に再度、電話をかけます。

1 **“電話”のダイヤル画面で、(カーソル) キーの右をタップします。**

発信履歴画面が表示されます。履歴画面は最後にかけた番号から表示されます。
(カーソル) キーの上下を使って、発信履歴を選択します。

2 **履歴画面で相手を選択し、[発信キー] キーをタップします。または画面左下の 発信 をタップします。**

発信画面になり電話番号が点滅し、相手に電話がかかります。
履歴画面から電話をかけずにダイヤル画面に戻るには ok をタップします。

MEMO

- 発信履歴は最大 20 件まで保存し、それ以上になると古い履歴から自動的に削除されます（同一の相手（電話番号）への発信の場合は、20 件以下のときでも一番新しい履歴だけが表示されます）。
- 発信履歴画面では、履歴の削除ができます。削除する履歴を選択し、画面右下の メニュー − 1 件削除 をタップします。
  全件削除 をタップすると、発信履歴すべてを削除します。
- 発信履歴を利用して電話をかけるときも、自分の電話番号の通知／非通知は、発信者番号通知（☞ 3-23 ページ）の設定にしたがいます。
- Today 画面（待ち受け画面）で、(カーソル) キーの右をタップしても発信履歴画面が表示されます。(設定によっては表示されないことがあります（☞ 10-2 ページ））。

かかってきた番号に電話をかける（着信履歴を利用する）

かかってきた電話番号に電話をかけます。

1 **“電話”のダイヤル画面で、(カーソル)キーの左をタップします。**

着信履歴画面が表示されます。履歴画面は最後にかかってきた番号から表示されます。

2 **履歴画面で相手を選択し、[発信]キーをタップします。または画面左下の[発信]をタップします。**

発信画面になり電話番号が点滅し、相手に電話がかかります。

履歴画面から電話をかけずにダイヤル画面に戻るには[ok]をタップします。

MEMO

- 着信履歴は最大 20 件まで保存し、それ以上になると古い履歴から自動的に削除されます。
- 着信履歴画面では、履歴の削除ができます。削除する履歴を選択し、画面右下の[メニュー]－[1 件削除]をタップします。[全件削除]をタップすると、着信履歴すべてを削除します。
- 着信履歴を利用するときも、自分の電話番号の通知／非通知は、発信者番号通知（☞ 3-23 ページ）の設定にしたがいます。
- Today 画面（待ち受け画面）で、(カーソル)キーの左をタップしても着信履歴画面が表示されます（設定によっては表示されないことがあります（☞ 10-2 ページ））。

“電話帳”の電話番号を使って電話をかける

電話帳を利用して電話をかけます。
電話帳は、“連絡先”のデータを利用しています。あらかじめ、連絡先に必要な情報を登録してください。

1 **Today 画面右下の[電話帳]をタップします。**

電話帳の一覧画面が表示されます。

① ５０音タブのタップや(カーソル)キーを使って、相手を探します。

MEMO

- 一覧画面には、電話番号は表示されません。

2 **電話をかける相手をタップ、または電話をかける相手を選択（反転）し、[発信]キーをタップします。**

電話番号を選択する画面が表示されたときは、電話をかける番号をタップします。確認画面が表示されたときは[OK]をタップします。

発信画面になり電話番号が点滅し、相手に電話がかかります。

MEMO

- 電話帳を利用するときも、自分の電話番号の通知／非通知は、発信者番号通知（☞ 3-23 ページ）の設定にしたがいます。

ライトメールの送信履歴／受信履歴から電話をかける

ライトメールを使って送信した宛先（電話番号）や受信したライトメールの送信者に電話をかけます。

1 "電話"のダイヤル画面で、(カーソル)キーの上、または下をタップします。

(カーソル)キーの上：
送信履歴画面が表示されます。履歴画面は最後に送信した番号から表示されます。

(カーソル)キーの下：
受信履歴画面が表示されます。履歴画面は最後に受信した番号から表示されます。

■ 送信履歴画面

■ 受信履歴画面

2 履歴画面で電話番号を選択し、[発信]キーをタップします。または画面左下の[発信]をタップします。

発信画面になり電話番号が点滅し、相手に電話がかかります。

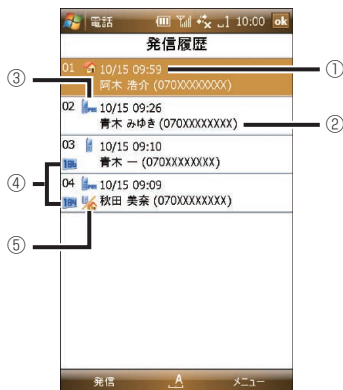
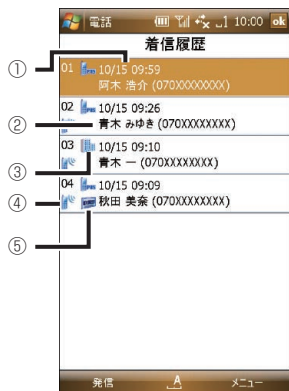
MEMO

- 送信履歴、受信履歴共に最大20件まで保存し、それ以上になると古い履歴から自動的に削除されます（同一の相手（電話番号）への送信の場合は、20件以下のときでも一番新しい履歴だけが表示されます）。
- 送信履歴、受信履歴共に履歴の削除ができます。
  削除する履歴を選択し、画面右下の[メニュー]－[1件削除]をタップします。
  [全件削除]をタップすると、履歴すべてを削除します。
- この履歴を利用するときも、自分の電話番号の通知／非通知は、発信者番号通知（☞3-23ページ）の設定にしたがいます。

発信／着信履歴画面、送信／受信履歴画面について

ここでは、発信履歴／着信履歴画面、送信履歴／受信履歴画面について説明します。

発信／着信履歴画面について

■ 発信履歴画面

■ 着信履歴画面

① 発信履歴画面では発信した日時、着信履歴画面では着信した日時が表示されます。

② 発信履歴画面では発信した相手（電話番号）、着信履歴画面では着信した相手（電話番号）が表示されます。
“連絡先”に電話番号を登録しているときは、その名前が表示されます。
着信時、3-3 ページの手順 **1** に記載しているように、相手によって「ユーザ非通知」、「通知不可能」、「公衆電話発信」が表示されることがあります。

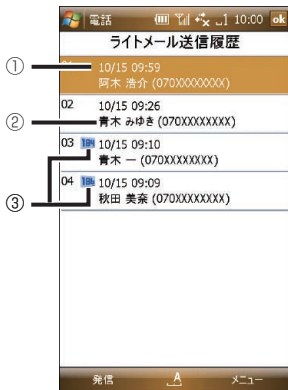
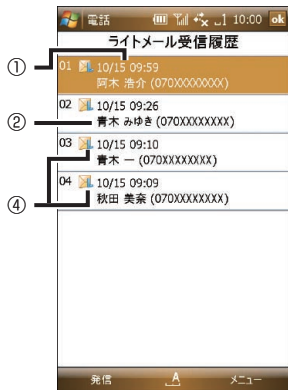
③ “連絡先”にその電話番号を登録しているときは、その番号に対応したアイコンが表示されます。
：携帯電話　：勤務先電話
：自宅電話　：PHS
：連絡先に登録していない相手と非通知の相手

④ 発信履歴画面では、非通知発信／通知発信をしたことを示すアイコン（／）が表示されます。
着信履歴画面では、不在着信の相手であることを示すアイコン（）が表示されます。

⑤ 発信履歴画面では、分計発信したことを示すアイコン（）が表示されます。
着信履歴画面では、伝言メモで対応した相手であることを示すアイコン（）が表示されます。

※ 発信／着信履歴画面で メニュー － 電話番号のコピー をタップすると、選択している電話番号をコピーできます。
コピーした電話番号は着信拒否設定画面（ 拒否番号 タブ）（☞ 3-29 ページ）で、メニュー － 貼り付け をタップして利用できます。

ライトメール送信／受信履歴画面について

■ 送信履歴画面

■ 受信履歴画面

① 送信履歴画面では送信した日時、受信履歴画面では受信した日時が表示されます。

② 送信履歴画面では送信した相手（電話番号）、受信履歴画面では受信した相手（電話番号）が表示されます。
“連絡先”に電話番号を登録しているときは、その名前が表示されます。
受信時、相手によって「ユーザ非通知」、「通知不可能」、「公衆電話発信」が表示されることがあります。

③ 184：非通知発信したことを示すアイコンです。
186：通知発信したことを示すアイコンです。

④ アイコンあり：未読メールを示します。
アイコンなし：既読メールを示します。

メニューは、発信履歴画面や着信履歴画面と同様です。3-15 ページをご覧ください。

発信中、ポーズを使う

電話番号の後ろに「P」（ポーズの略）とサービスの番号を入力すると、各種プッシュホンサービスを利用することができます。
入力の例：03XXXXXXXXP12XX （12XX がサービスの番号）
連絡先に例のように登録してもサービスを利用することができます。

ダイヤル画面で利用する

1 ダイヤル画面で「電話番号」、P、「サービス番号」などを入力します。

2 キーをタップします。
「P」の前の番号までが発信され、電話がかかります。

3 相手先とつながった後、再度キーをタップします。
「P」より右の番号がトーン信号で発信されます。

MEMO

- ポーズ（「P」）は複数入力できます。複数のポーズ（「P」）が入っているとき、最初のポーズまでを発信して止まります。キーをタップすると次のポーズまでを発信し２つ目のポーズで止まります。再度、キーをタップすると次のポーズまでを発信します。以降同様に動作します。

相手の声の大きさ（受話音量）を変える

●通話中に、(カーソル)キーの上、または下をタップする。

通話中、相手の声の大きさを5段階に調節できます。

・(カーソル)キーの上：音が大きくなります。
・(カーソル)キーの下：音が小さくなります。

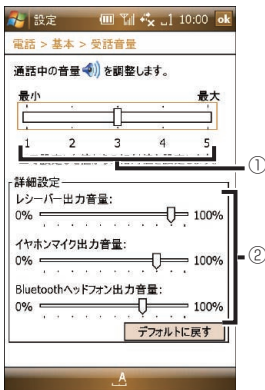
ご注意

● **音量変更に注意してください**

音量を上げるときは、1段階ずつ上げてください。

● **相手に話す自分の声の大きさは変えられません。**

●電話画面（基本タブ）の受話音量で変える。

電話画面（基本タブ）の受話音量で、受話音量を調節します。
電話画面（基本タブ）の受話音量は、スタートメニューの“設定”をタップし、個人用タブの“電話”をタップして基本タブの“受話音量”をタップすると表示されます。

① 音量のレベルに直接タップして調節します。
② ①で設定した音量を最大音量として、個別に音量を設定します。

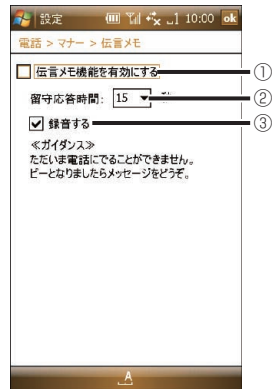
伝言メモ

電話に出られないときなどに相手からのメッセージをこの製品に録音してあとで聞けるように設定できます。

伝言メモを設定する

1 **スタートメニューの“設定”をタップし、個人用タブの“電話”のマナータブをタップします。**

2 **“伝言メモ”をタップします。**

伝言メモ画面が表示されます。

① チェックを付けると、伝言メモ機能が有効になります。
② 電話がかかってきて呼び出しが始まり伝言メモ機能に切り替わるまでの時間を設定します。
③ チェックを付けると「ただいま電話にでることができません。ピーと鳴りましたらメッセージをどうぞ。」のアナウンスが流れ、メッセージを録音できます。
チェックを外すと、「ただいま電話にでることができません。しばらくたってからおかけ直し下さい。」のアナウンスが流れます（メッセージの録音はありません）。

3 **okをタップします。**

MEMO

- 伝言メモの録音件数、録音時間
  ・録音件数：5 件
  ・録音時間：1 件につき最大約 15 秒
  録音件数が 5 件のとき伝言メモ機能がはたらくと、相手にはアナウンスのみ流れます。録音はできません。
- この伝言メモは、ウィルコムが提供している留守番電話サービスとは異なります。この製品の伝言メモとウィルコムの留守番電話サービスの両方を利用しているときは、呼び出し時間が短い方が優先されます。伝言メモの呼び出し時間の設定は前ページ手順 **2** の画面を、ウィルコムの留守番電話サービスの呼び出しの設定は 3-33 ページをご覧ください。
- **伝言メモを解除するには**
  伝言メモ画面で、「伝言メモ機能を有効にする」のチェックを外します。

伝言メモを聞く

伝言メモで録音メッセージを受けたときは、Today 画面（待ち受け画面）の下に アイコンが表示されます（ アイコンは、伝言メモ画面に録音メッセージがあるときに表示されます）。

1 **キーをタップし電話のダイヤル画面を表示します。**

2 **画面右下の メニュー － 伝言メモ をタップします。**

伝言メモ画面が表示されます。

① 録音メッセージがあることを示します。

MEMO

- Today 画面（待ち受け画面）で、画面下部に アイコンが表示されているときは、 アイコンをタップしても伝言メモ画面が表示されます。

3 **再生したいメッセージがあるものを選択し、画面左下の 再生 または画面右下の メニュー － 再生 をタップします。**

録音されたメッセージが受話口から流れます。

MEMO

- 録音されたメッセージを消去するときは、消去するメッセージを選択して メニュー － 消去 をタップします。表示された確認画面で はい をタップします。

相手に自分の電話番号を通知する／通知しない

電話をかけるとき、自分の電話番号を通知したり、非通知にできます。
ご購入時は電話番号を通知する設定になっていますので、3-2 ページの手順にしたがって操作したときは、自分の電話番号は通知されます。
ここでの操作は、通常、通知になっている状態を一度だけ非通知にするためのものです（非通知になっている状態を一度だけ通知にするときも同様）。常に通知から非通知に変更するときは、3-23 ページをご覧ください。

1 **ダイヤルキーをタップして電話番号を入力します。**

2 **画面右下の メニュー － 通話 － 184 発信 をタップします。**

この場合、自分の電話番号を通知せずに電話をかけます。
分計発信するときは、 184 分計発信 をタップします。

3 **通話を終えるときは、 キーをタップします。**

電話が切れます。

MEMO

- 通常、自分の電話番号を通知しない状態のときに一度だけ通知するときは、上記の手順で メニュー － 通話 － 186 発信 をタップすると、自分の電話番号を通知します。
  また、分計発信するときは、 186 分計発信 をタップします。

パワーサーチを行う

待ち受け中や通話中、一番電波の強い基地局を選択できます。

1 **ダイヤル画面で、画面右下の［メニュー］－［パワーサーチ］をタップします。**

2 **パワーサーチが始まります。**
パワーサーチ終了後、元の画面に戻ります。

MEMO
- パワーサーチを行っても、場所によっては電波状態が変わらないことがあります。
- 通話中のパワーサーチの回数は、一度の通話で3回までです（通話中のパワーサーチの操作は、画面左下の［キー表示］をタップしてから、画面右下の［メニュー］－［パワーサーチ］をタップします）。

ご注意
- **パワーサーチ実行中のときは**
  キーを押したりタップしないでください。

通話中にトーン信号（プッシュ信号）を送る

ダイヤルキーを使って、トーン信号（プッシュ信号）を送ることができます。
銀行の残高照会などのプッシュホンサービスを利用できます。

1 **相手先に電話をかけます。**

2 **通話中に、画面左下の［キー表示］をタップします。**

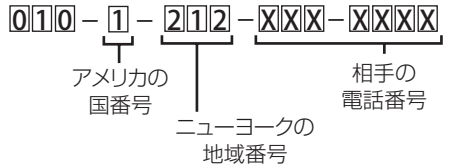
3 **ダイヤルキーをタップすると、数字が画面上に表示され同時にその数字のトーン信号（プッシュ信号）が送られます。**

国際電話をかける

ウィルコムの国際電話サービスをご利用いただくことにより、国際電話をかけられます（事前のお申し込みは不要です）。

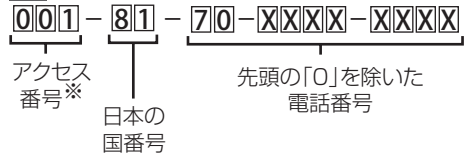
この製品から海外へかける

例）アメリカの「212-XXX-XXXX」へかける場合

1 **［0］［1］［0］と国番号に続いて相手の電話番号をタップします。**

MEMO
- 通話料については、ウィルコムサービスセンターにお問い合わせください。
- 申込手数料、月額料金は不要です。

海外からこの製品へかける

例）アメリカからこの製品（070-XXXX-XXXX）へかける場合

1 **以下の電話番号をタップします。**

※アクセス番号は、国によって違います。

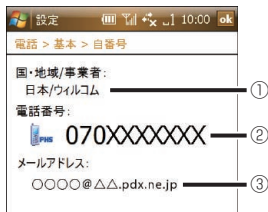
自分の電話番号を見る

この製品に設定されている電話番号を表示します。

1 **ダイヤル画面で、画面右下の メニュー － 自局番号表示 をタップします。**

MEMO

- 通話中は、画面左下の キー表示 をタップし、画面右下の メニュー － 自局番号表示 をタップしても表示されます。
- 画面右下の メニュー － 設定 － "自番号" をタップしても表示されます。
- ダイヤル画面または通話中の画面で、(アクション)キー（(カーソル)キーの中央のキー☞ 1-10 ページ）をタップしても表示されます。

2 **画面に自分の電話番号とオンラインサインアップで登録したメールアドレスが表示されます。**

① 国・地域／事業者が表示されます。

② **この製品の電話番号**

③ **オンラインサインアップで登録したメールアドレス**
オンラインサインアップをしていないときは、表示されません。

MEMO

- 画面右下の メニュー をタップし、電話番号をコピー を選択すると自分の電話番号をコピーし、メールアドレスをコピー を選択するとメールアドレスをコピーします。
  コピーした内容は別のプログラムで貼り付けることができます。

3 **ok をタップすると、元の画面に戻ります。**

かかってきた番号／かけた番号を“連絡先”に登録する

かかってきた電話番号やかけた電話番号は、着信履歴や発信履歴として新しいものからそれぞれ 20 件ずつ残っています。この着信履歴や発信履歴の電話番号を“連絡先”に登録し活用できます。

1 **ダイヤル画面で、(カーソル)キーの左、または右をタップします。**
着信履歴画面または発信履歴画面が表示されます。

MEMO

- Today 画面（待ち受け画面）で、(カーソル)キーの左右をタップしても着信履歴画面／発信履歴画面が表示されます。

2 **着信履歴画面または発信履歴画面で、登録する電話番号を(カーソル)キーの上下を使って選択（反転）します。**

3 **画面右下の メニュー － 電話帳に登録 をタップし、新規登録 または 追加登録 をタップします。**
※ 追加登録 をタップした場合は、電話番号を追加したい“連絡先”をタップし、手順 **4** に移ります。

MEMO

- 電話帳に登録する操作は、実際には“連絡先”に登録されます。

4 **電話番号の種別（PHS や携帯電話、勤務先電話など）を選択し、ok または画面右下の 決定 をタップします。**
選択した種別に電話番号が登録されます。たとえば、PHS を選択すると、PHS の項目に電話番号が入ります。

ご注意

- **追加登録のとき、「電話番号の種別」の選択に注意してください**

手順 **3** で 追加登録 をタップした場合、すでに電話番号が入っている「電話番号の種別」を選択すると、手順 **2** で選択した電話番号に置き換わります。追加登録するときは「電話番号の種別」の選択に注意してください。

5 “連絡先”の新規入力画面または編集画面になりますので、各項目をタップして、情報を入力（☞付属のアプリケーションマニュアル）します。

6 入力が終わったら、ok をタップします。

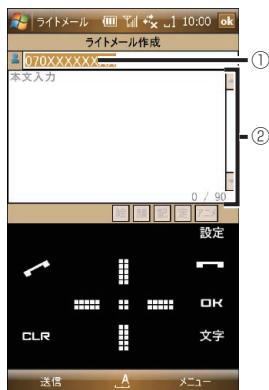
手順 **2** で選択した電話番号が入った連絡先のデータが保存されます。

発信履歴や着信履歴を使ってライトメールを作る

電話をかけた相手や電話をうけた相手の電話番号を使って、ライトメールを作成できます。
ここでは、発信履歴画面を使って、ライトメールを作成する方法を説明します。
着信履歴画面を使った場合も同じようにできます。

1 3-5 ページと同様にして、発信履歴画面を表示します。

2 送信する相手を選択（反転）し、画面右下の メニュー － ライトメール作成 をタップします。

選択した相手の電話番号が入った“ライトメール”の新規作成画面が表示されます。

① 選択した相手の電話番号

② 本文入力欄

3 本文入力欄をタップし、本文を入力します。

4 画面左下の 送信 をタップまたは をタップします。

ライトメールが送信されます。

MEMO

- ライトメール送信履歴画面や受信履歴画面からもライトメールを作成できます。ライトメール送信履歴画面／受信履歴画面で、画面右下の メニュー － ライトメール作成 をタップします。以降、上記の手順 **3** ～ **4** を行いライトメールを送信します。
- “ライトメール”を起動し、ライトメールの作成もできます。くわしくは、4-37 ページをご覧ください。
- “電話帳”や“連絡先”からもライトメールを作成できます。

電話のメニュー

ダイヤル画面／通話画面のメニュー

項目		説明
連絡先参照		連絡先を表示する。
電話帳に登録	新規登録	表示している番号を新たに"連絡先"に登録する。
	追加登録	表示している番号を登録している"連絡先"のデータに追加で登録する。
ライトメール作成		入力された電話番号を宛先としてライトメールを作成する(☞4-34ページ)。
通話	発信	電話をかける。
	184発信	自分の電話番号を通知しないで電話をかける。
	186発信	非通知にしているとき、相手に自分の電話番号を通知して電話をかける。
	分計発信	料金分計サービスを利用して電話をかける。料金分計サービスについてくわしくは、3-34ページをご覧ください。
	184分計発信	相手に自分の電話番号を通知せず、料金分計サービスを利用して電話をかける(☞3-34ページ)。
	186分計発信	相手に自分の電話番号を通知して、料金分計サービスを利用して電話をかける(☞3-34ページ)。
クリア		最後に入力した番号(右端の番号)を削除する。
保留		通話を保留する(☞3-4ページ)。保留中は、保留解除になる。
パワーサーチ		一番電波の強い基地局を選択する(☞3-12ページ)。
自局番号表示		この製品に設定されている電話番号を表示する(☞3-13ページ)。
伝言メモ		録音している伝言メモをリスト表示する(☞3-10ページ)。
設定		電話設定画面を表示する(☞3-16ページ)。

発信／着信履歴画面、送信／受信履歴画面のメニュー

項目		説明
メール作成		選択している相手を宛先としてメールを作成する。
ライトメール作成		選択している電話番号を宛先としてライトメールを作成する(☞4-37ページ)。
通話	発信	電話をかける。
	184発信	自分の電話番号を通知しないで電話をかける。
	186発信	非通知にしているとき、相手に自分の電話番号を通知して電話をかける。
	分計発信	料金分計サービスを利用して電話をかける。料金分計サービスについてくわしくは、3-34ページをご覧ください。
	184分計発信	相手に自分の電話番号を通知せず、料金分計サービス(☞3-34ページ)を利用して電話をかける。
	186分計発信	相手に自分の電話番号を通知して、料金分計サービス(☞3-34ページ)を利用して電話をかける。
電話帳に登録	新規登録	選択している電話番号を新たに"連絡先"に登録する(☞3-13ページ)。
	追加登録	選択している電話番号を登録している"連絡先"のデータに追加で登録する(☞3-13ページ)。
伝言メモ再生		着信履歴画面で選択している電話番号に伝言メモが録音されている場合に、その伝言メモを聞ける。
1件削除		選択している履歴を削除する。
全件削除		各履歴画面で表示されている履歴をすべて削除する。
電話番号のコピー		選択している履歴の電話番号をコピーする。

電話／メールの着信音やマナーモードなどの設定をする

着信音の音量を調節する

電話／ライトメール／メールを着信したとき着信音の音量を変えるには、以下のような方法があります。

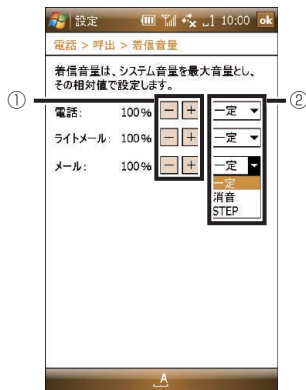
●着信音が鳴っているときは、(カーソル)キーの上、または下をタップする。

・(カーソル)キーの上：音が大きくなります。
・(カーソル)キーの下：音が小さくなります。

音量の調節は、5 段階です。

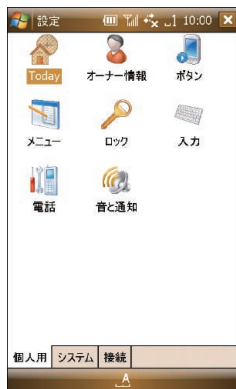
MEMO
- 通話中に(カーソル)キーの上、または下をタップすると、相手の声の大きさが変わります。

●着信音が鳴っていないときは、着信音量画面で変える。

着信音量画面の表示方法は、右記のメモをご覧ください。

① [+]または[−]をタップしてレベルを調節します。

② 音量を一定にしたり、時間経過とともに音量を大きくできます。音を鳴らさないときは「消音」を選択します。少しずつ音を大きくして一定の音量にしたいときは「STEP」を選択します。

MEMO
- 呼出やバイブ設定画面の表示方法について

1 [スタート]メニューの “設定” をタップし、設定画面で[個人用]タブをタップします。

2 “電話” をタップし、[呼出]タブをタップします。

① 着信音量画面を表示するときにタップします。

3 各アイコンをタップすると、画面が表示されます。

4 設定が終われば、[ok]をタップします。

着信音のメロディを変える

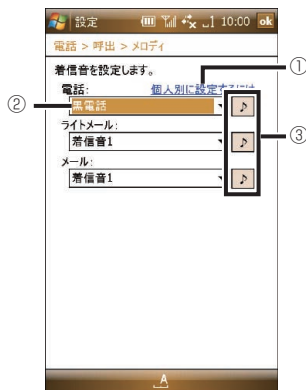
着信音のメロディを変更できます。また、この製品に保存している音楽ファイル（WAVE ファイル、MIDI ファイル）を着信音にできます（☞右記）。

メロディを変える

1 **スタート メニューの “設定” をタップし、“電話” をタップします。**

電話設定画面が表示されます。

2 **呼出 タブをタップし、“メロディ” をタップします。**

電話、ライトメール、メールそれぞれに着信音のメロディを設定します。

① タップすると個別着信音の設定に関するヘルプが表示されます。

② 着信音のメロディを選択します。
「黒電話」、「着信音 1」などは、この製品に入っているメロディです。
「《ファイル参照》」を選択するとこの製品に保存している音楽ファイル（WAVE ファイル、MIDI ファイル）を着信音として選択できます（☞右記）。

③ メロディを再生します。再生中は ■ になりますので、■ をタップすると停止します。

3 **設定が終われば、ok をタップします。**

MEMO

- “連絡先” に登録しているデータを使って個別の着信音を設定できます。くわしくは次ページをご覧ください。

音楽ファイルを選択する

前述手順 **2** の②で、「《ファイル参照》」を選択すると、この製品に保存している音楽ファイル（WAVE ファイル、MIDI ファイル）を着信音として選択できます。

① フォルダを指定します。
保存しているファイルが②に表示されないときは、そのファイルが入っているフォルダを確認してください。

② ①で指定されたフォルダ内の音楽ファイルがリスト表示されます。
このリストから、着信音にしたいファイルをタップします。
※ microSD カードに保存している音楽ファイルを選択した場合、確認画面が表示され、はい をタップします。選択した音楽ファイルが本体メモリにコピーされ、その音楽ファイルが選択されます。

ご注意

- **着信音として選択できるファイルは**

着信音として選択できるのは WAVE ファイル、MIDI ファイルです。
MP3 や WMA は選択できません。
また、MIDI ファイルによっては、再生できないものもあります。

MEMO

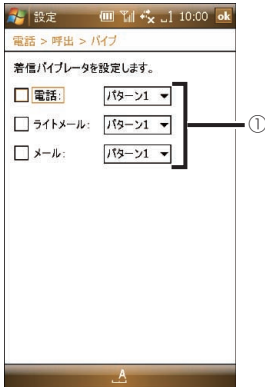
- 音楽ファイルを選択して、再生回数（☞3-21 ページ）を指定した場合、メール受信時には選択した音楽が指定した回数だけ鳴り続けます。
1 分の音楽を選択して、再生回数を 3 回にすると、3 分間鳴ります。

バイブレータの設定をする

バイブレータの設定ができます。

1 **スタート メニューの “設定”をタップし、 “電話”をタップします。**

電話設定画面が表示されます。

2 **呼出 タブをタップし、 “バイブ”をタップします。**

① 電話着信時、ライトメール受信時、メール受信時それぞれに、バイブレータのオン／オフを設定します。
チェックを付けるとバイブレータはオンになり、チェックを外すとオフになります。▼をタップしてバイブレータのパターンを設定します。

3 **設定が終われば、ok をタップします。**

個別着信音を設定する

連絡先に登録しているデータに個別の着信音を設定できます。電話帳からも同様の操作で設定できます。

個別着信音を設定する

1 **“連絡先”を起動し、着信音を設定したい相手のデータを表示（詳細表示）します。**

2 **メニュー － 個別着信音の設定 をタップします。**

個別着信音の設定画面が表示されます。

3 **リストから着信音を選択します。**

MEMO

- リストに表示されている以外の着信音を選択するときは、ファイル選択 をタップしフォルダを切り替えて選択します。microSD カードの音楽ファイルを選択すると、その音楽ファイルが本体メモリにコピーされ、選択されます。
- 一人のデータに複数の電話番号があっても、電話番号ごとには設定できません。
個別着信音は、一人につき一つだけ設定できます。

4 **設定が終われば、ok をタップします。**

設定している個別着信音を解除する

1 **“連絡先”を起動し、着信音を設定しているデータを表示（詳細表示）します。**

2 **メニュー － 個別着信音の設定 をタップします。**

個別着信音の設定画面が表示されます。

3 **リストから 個別着信音設定なし を選択し、ok をタップします。**

詳細画面に戻り、個別着信音が解除されます。
この場合、着信時には、“メロディ”（☞前ページ）で設定している着信音が鳴ります。

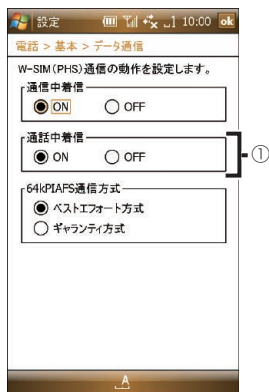
通話中の着信を通知する

通話中に、着信があったときやEメール（ウィルコム）のアカウントにメールを受信したことを音とメッセージの表示で通知することができます。
ただし、通話中に着信があっても、通話を切り替えることはできません。

1 **スタート メニューの "設定" をタップし、"電話" をタップします。**

電話設定画面が表示されます。

2 **基本 タブで "データ通信" をタップします。**

通話中着信のON／OFFを設定します。

① ONにすると、通話中に電話などがかかってきたとき通知音が鳴りメッセージが画面に表示されます。

※通信中に着信したときの設定は、右記をご覧ください。

3 **設定が終われば、ok をタップします。**

インターネット接続中などデータ通信中に着信する

データ通信中に、通信を切断して電話を受けるようにできます。
パケット方式で通信しているときのみ有効です。

MEMO

- データ通信は、「インターネットに接続しているとき」「メールを送受信しているとき」「パソコンのモデムとして使用しているとき」です。
- パケット方式は、4X／2X／1Xパケット方式、またはフレックスチェンジ方式でパケット方式になっているときです。
  この設定が利用できるか、ご加入のサービスをご確認ください。

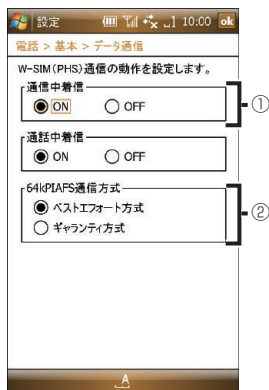
ご注意

- **ファイルのダウンロード中でも着信します。**
  ダウンロードしている途中でも回線を切断して着信します。ご利用の際には注意してください。

1 スタート メニューの “設定” をタップし、 “電話” をタップします。

電話設定画面が表示されます。

2 基本 タブで “データ通信” をタップします。

通信中着信の ON ／ OFF を設定します。

① ON にすると自動的に回線を切断して着信します。OFF にすると着信しません（回線はつながったままです）

② 64kPIAFS で接続するとき、ベストエフォート方式で通信するのかギャランティ方式で通信するのかを設定します。

- **ベストエフォート方式**
  基地局の利用状況や電波の状況により、64Kbps と 32Kbps をフレキシブルに選択し、切れにくい通信環境を実現する方式です。
- **ギャランティ方式**
  64Kbps 固定の通信方式です。
  64Kbps の通信が確保できないときは回線を切断します。

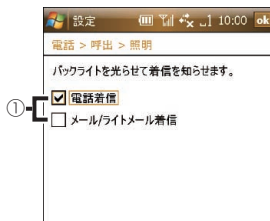
3 設定が終われば、 ok をタップします。

着信時、照明（バックライト、キーボード）を点灯する

電話着信時やメール／ライトメール受信時、画面のバックライトを点灯したりキーボードのバックライトを点灯するようにします。

1 スタート メニューの “設定” をタップし、 “電話” をタップします。

電話設定画面が表示されます。

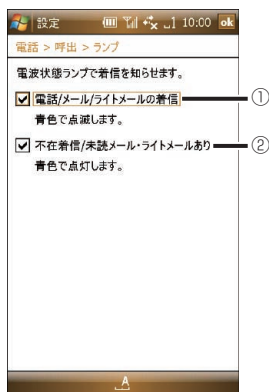
2 呼出 タブをタップし、 “照明” をタップします。

①チェックをつけるとバックライトを点灯します。キーボードも同時に点灯します。
電話着信時、メール／ライトメール受信時にバックライトを点灯したくないときは、チェックを外します。

3 設定が終われば、 ok をタップします。

電話着信／メール受信時、ランプを点灯する

電話着信時やメール／ライトメール受信時、不在着信／未読メールがあったときに電波状態ランプ（☞ 1-2 ページ）を青色に点滅または点灯します。
この設定をすると、電波強度の状態を示しているランプが一時的に電話着信／メール受信や不在着信／未読メールありを示すランプになります。

1 スタート メニューの “設定” をタップし、 “電話” をタップします。
電話設定画面が表示されます。

2 呼出 タブをタップし、 “ランプ” をタップします。

① 電話着信時やメール／ライトメール受信時、電波状態ランプを青色に点滅する／しないを設定します。

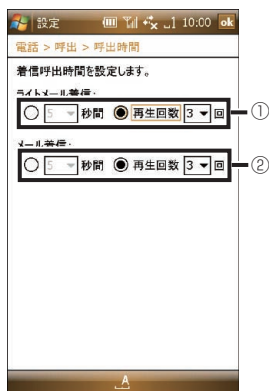
② 不在着信があったときや未読のメール／ライトメールがあるとき、電波状態ランプを青色に点灯する／しないを設定します。

3 設定が終われば、ok をタップします。

メール受信時の呼び出し時間を設定する

メールやライトメール受信時に、受信したことを知らせる着信音やバイブレータなどの時間を設定します。
ここで設定した時間、または回数まで呼び出しを行います。

1 スタート メニューの “設定” をタップし、 “電話” をタップします。
電話設定画面が表示されます。

2 呼出 タブをタップし、 “呼出時間” をタップします。

① ライトメール受信時、呼び出し時間を設定するのか、 “メロディ”（☞ 3-17 ページ）で設定した音を何回再生するのかを設定します。

② ①と同様にメール受信時の呼び出し時間または再生回数を設定します。

3 設定が終われば、ok をタップします。

3 電話

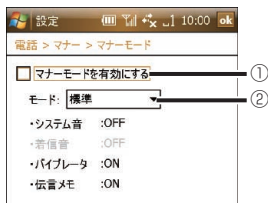
着信音などの設定

マナーモードを設定する

マナーモードの設定を行います。

1 **スタート メニューの “設定” をタップし、 “電話” をタップします。**

電話設定画面が表示されます。

2 **マナー タブをタップし、 “マナーモード” をタップします。**

① マナーモードにする／しないを設定します。

② マナーモードにしたときのモードの種類を選択します。

標準	システム音※1 ：OFF 着信音 ：OFF バイブレータ ：ON 伝言メモ ：ON
サイレント	システム音※1 ：OFF 着信音 ：OFF バイブレータ ：OFF 伝言メモ ：ON
おやすみ	システム音※1 ：ON 着信音 ：OFF バイブレータ ：OFF 伝言メモ ：ON
オリジナル	システム音※1、着信音※2、バイブレータ、伝言メモ※3の設定ができます。

※1 システム音とは、画面タップやアラーム、音楽、ワンセグなどスピーカーから出力する再生音です。

※2 システム音がONのときのみ、着信音の設定（ON/OFF）ができます。

※3 伝言メモがONのときは、伝言メモの設定（☞3-10ページ）にしたがいます。

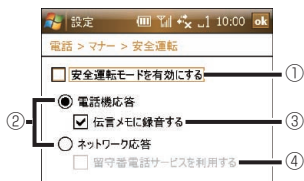
3 **設定が終われば、 ok をタップします。**

安全運転モードの設定をする

車を運転中などで電話にでることができない場合、安全運転モードにできます。

1 **スタート メニューの “設定” をタップし、 “電話” をタップします。**

電話設定画面が表示されます。

2 **マナー タブをタップし、 “安全運転” をタップします。**

① 安全運転モードにする／しないを設定します。

② ①にチェックを付けた場合に、電話機応答、ネットワーク応答のどちらかを選択します。

- **電話機応答**
  この製品が応答します。
- **ネットワーク応答**
  ウィルコムのネットワークが応答します。
  ウィルコムの留守番電話サービスへの申し込みが必要です。

③「伝言メモに録音する」にチェックを付けると、相手にアナウンスが流れ、メッセージを録音できます。

チェックを付けない場合、アナウンスだけ流れます。

④「留守番電話サービスを利用する」にチェックを付けると、留守番電話サービスのアナウンスが流れ、メッセージを録音できます。

チェックを付けない場合、アナウンスだけ流れます。

※ネットワーク応答を利用するときはウィルコムの留守番電話サービスに申し込む必要があります。

3 **設定が終われば、 ok をタップします。**

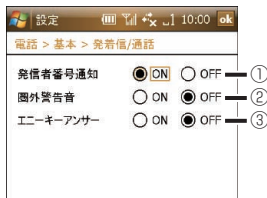
発信者番号通知などを設定する

発信者番号の通知、圏外警告音、エニーキーアンサーの設定をします。

発信者番号通知：電話をかけたとき、自分の電話番号を相手に通知します。
圏外警告音：圏外に移動したときに警告音を鳴らします。
エニーキーアンサー：着信した電話を[通話キー]以外のキーでも取ることができます。

1 **スタート メニューの “設定” をタップし、“電話” をタップします。**

電話設定画面が表示されます。

2 **基本 タブをタップし、“発着信／通話” をタップします。**

①「ON」	：相手に自分の番号を通知します。
「OFF」	：相手には「非通知」と表示されます。
②「ON」	：警告音が鳴ります。
「OFF」	：警告音は鳴りません。
③「ON」	：[通話キー]以外のキーでも電話を取れます。
「OFF」	：電話を取るときは、[通話キー]キーをタップします。

3 **設定が終われば、ok をタップします。**

セキュリティをかける

万一のため、通話や通信に制限をつけたり、W-SIM をロックすることができます。

通話通信機能の制限

次のことができなくなります。

- 電話をかける
- インターネット接続
- ライトメールの送信
- USB 接続
- メールの送受信
- 内蔵ワイヤレス LAN
- Bluetooth

W-SIM ロック

次のことができなくなります。

- 通話
- ライトメール送受信
- インターネット接続

PIN コードを設定することで W-SIM（PHS 電話機能）をロックします。
PIN コードを入力すると、上記機能が使えるようになります。

通話／通信機能を制限する

1 **スタート メニューの “設定” をタップし、“電話” をタップします。**

電話設定画面が表示されます。

2 **セキュリティ タブをタップし、“通話通信制限” をタップします。**

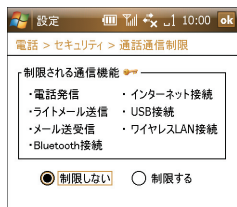
3 **暗証番号入力画面が表示されますので、暗証番号を入力します。**

ご購入時、暗証番号は「0000」（半角数字 0（ゼロ）が 4 つ）になっています。この暗証番号は変更することができます （☞ 3-25 ページ）。

MEMO

- 暗証番号を一定回数以上間違えると、次に正しい暗証番号を入力しても「暗証番号が違います。」と表示されます。
このようなときは、いったん電源を切った後、再度電源を入れて、暗証番号を入力してください。

4 表示された画面で、「制限する」にチェックを付け、ok をタップします。

これでロックがかかり、Today 画面（待ち受け画面）に🔑が表示されます
（☞ 1-16 ページ）。

■ 通話／通信機能の制限を解除する

1 前ページの手順 1 〜 3 を行い表示された画面で「制限しない」にチェックを付けます。

2 ok をタップします。

ロックが解除されます。

W-SIM をロックする

1 スタート メニューの "設定" をタップし、"電話" をタップして、セキュリティ タブをタップします。

2 "W-SIM ロック" をタップし、表示された暗証番号画面で暗証番号を入力します。

ご購入時、暗証番号は「0000」（半角数字 0（ゼロ）が 4 つ）になっています。この暗証番号は変更することができます。（☞次ページ）。

3 W-SIM ロック設定画面で、PIN コードを入力します。入力できる PIN コードは 4 桁〜 16 桁の数字です。確認のために、「確認」欄に同じ PIN コードを入力します。

4 設定 をタップし、表示された画面で ok をタップします。

5 表示された W-SIM ロック設定画面で、ok をタップします。さらに、セキュリティ設定画面で ok をタップします。

6 電源を切ります。

■ W-SIM をロックした状態で電源を入れた場合

PIN コード入力画面が表示されます。

① PIN コードを入力して、画面右下の 入力完了 をタップします。

W-SIM のロックが一時的に解除され、通話／通信機能が使えるようになります。
電源を切ると、再度 W-SIM がロックされます。

MEMO

- 上記手順①で、画面左下の キャンセル をタップした場合、通話／通信機能以外の機能が使えます。
  この状態で通話機能を使おうとすると、PIN コード入力画面が表示されます。また、通信機能を使おうとすると、使用できない旨のメッセージが表示されます。

ご注意

- **PIN コードは絶対に忘れないでください**

PIN コードは、盗難などによって他人にこの製品の電話／ライトメールなどを使われないようにするために、W-SIM をロックする暗証番号です。
PIN コードを忘れると通信／電話機能が使えなくなりますので、絶対に忘れないようにしてください。
PIN コードを忘れたときは、PUK コードを入力します（☞次ページ）。

■ ロックを解除する（完全解除）

電源を切っても、W-SIMがロックされないようにします。

1 **前ページの「W-SIMをロックする」の手順1〜2と同様にして、W-SIMロック設定画面を表示します。**

2 **表示された画面で、PINコードを入力し[解除]をタップします。**
ロックが解除され、通信／電話機能を使えます。

■ PINコードを変更する

PINコードの変更は、PINコードが設定されているときにできます。

1 **前ページの「W-SIMをロックする」の手順1〜2と同様にして、W-SIMロック設定画面を表示します。**

2 **[PINコード変更]をタップします。**

3 **「現在のPINコード」欄に現在のPINコードを入力します。そして、「新しいPINコード」欄に新しいPINコードを入力し、さらに「確認」欄に新しいPINコードを再度入力します。**

4 **[変更]をタップします。**
PINコードが変更されます。

ご注意

- **PINコードを間違って入力すると**
  ロックを解除するときなど、間違ったPINコードを10回入力するとP UKコードの入力が必要となりますので、PINコードを忘れないようにしてください。このPUKコードの入手方法は、W-SIMの箱に付属の取扱説明書に記載していますので、そちらをご覧になりPUKコードを入手し入力してください。

暗証番号を変更する

ご購入時に設定されている暗証番号（「0000」（半角数字0（ゼロ）4つ））を別の暗証番号に変更できます。

ご注意

- **暗証番号は絶対に忘れないでください**
  この暗証番号を忘れると、W-SIMを使った機能（電話、メール、ライトメール、インターネット、データ通信など）ができなくなります。
  万一のために、暗証番号は控えておいてください。

1 **電話設定画面（[セキュリティ]タブ）を表示し、[暗証番号変更]をタップします。**

2 **「暗証番号変更」画面で「現在の暗証番号」に現在の暗証番号を入力します。**
ご購入時、暗証番号は「0000」（半角数字0（ゼロ）4つ）になっています。

3 **「新しい暗証番号」の欄に新しい暗証番号を入力し、さらに「確認」欄に同じ暗証番号を入力します。**

4 **確認メッセージが表示され、[OK]をタップすると暗証番号が変わります。**

リモートロックを利用する

この製品を紛失した場合に、個人情報の漏洩や悪用を防ぐため、他の機器から遠隔操作してこの製品を使用できないようにロックすることができます。
リモートロック中は、以下の操作だけできます。
・電話を受ける
・電話を切る
・電源を入れる／切る
リモートロックするには、以下の方法があります。
・電話をかける。
・ライトメールを送信する。
・ウィルコムのホームページから行う。
・ウィルコムの各種設定変更メニューや代行サービスを利用する。

MEMO

- 遠隔操作のための機器には、別のウィルコムの電話機や、サブアドレス通知可能なPHS 電話機・ISDN 対応電話機などが必要です。
  サブアドレス通知とは、電話番号のあとに続けて入力できる「＊数字」のことです。
- ウィルコムのメニューやサービスについてくわしくは、ウィルコムのホームページをご覧いただくか、ウィルコムサービスセンターへお問い合わせください。

リモートロックを設定する

リモートロックを起動するには、準備として次の３つの設定が必要です。

・許可パスワード(４～８桁の数字)を登録する。
・リモートロック起動設定を「ON」に設定する。
・この製品を遠隔操作する機器の電話番号を登録する。

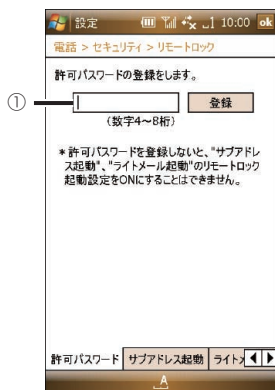
1 **スタートメニューの “設定” をタップし、“電話” をタップします。**

電話設定画面が表示されます。

2 **セキュリティタブをタップし、“リモートロック” をタップします。**

3 **表示された画面で W-SIM の暗証番号を入力します。**

ご購入時、暗証番号は「0000」(半角数字０(ゼロ) が４つ) になっています。この暗証番号は変更することができます（☞前ページ）。

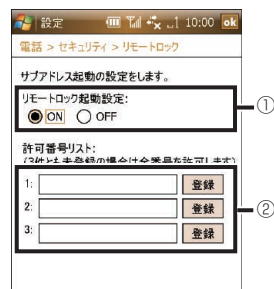
4 **許可パスワードを入力し、登録をタップします。**

①４～８桁の半角数字を入力します。

5 **リモートロック起動設定をします。**

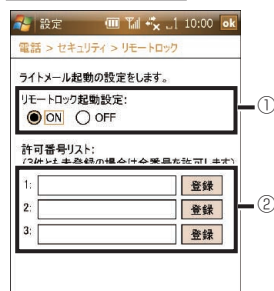
・**電話（※）をかけてリモートロックを起動するときは**

※ サブアドレス通知可能な PHS 電話機

サブアドレス起動タブをタップし、リモートロック起動設定を「ON」にし、リモートロック許可番号（電話番号）を入力します。

サブアドレス起動タブ

・**ライトメールを送信してリモートロックを起動するときは**

ライトメール起動タブをタップし、リモートロック起動設定を「ON」にし、リモートロック許可番号（電話番号）を入力します。

ライトメール起動タブ

① リモートロック起動設定の ON ／ OFF を設定します。

② この製品のリモートロックを起動することを許可する電話番号を設定します。
３つの入力欄すべてに何も入っていないときは、どの電話番号からでもリモートロックを起動できます。

6 **登録をタップします。**

7 設定が終われば、ok をタップします。

MEMO

- 許可番号を削除するときは、保存している許可番号の右横の クリア をタップします。変更するときも、いったん クリア をタップし削除したのち、新しい番号を入力します。

リモートロックを起動する

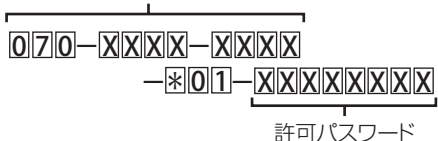
リモートロック許可番号に登録した機器から、この製品に電話をかける、またはライトメールを送信してリモートロックを起動します。

■ 電話をかけてリモートロックを起動する

1 他の電話機からこの製品に電話をかけます。

この製品の電話番号→「＊ 01」→許可パスワードの順にダイヤルキーをタップして発信します。

この製品の電話番号

070-XXXX-XXXX
-＊01-XXXXXXXX

許可パスワード

■ ライトメールを送信してリモートロックを起動する

1 他の電話機からこの製品にライトメールを送信します。

ライトメール本文に「ソウサ1XXXXXXXX」と入力し、この製品に送信します。
「ソウサ」はカタカナ、「1」は数字、「XXXXXXXX」は許可パスワードを入力します。

リモートロックを解除する

リモートロック起動許可番号に登録した機器からこの製品に電話をかける、またはライトメールを送信してリモートロックを解除します。

MEMO

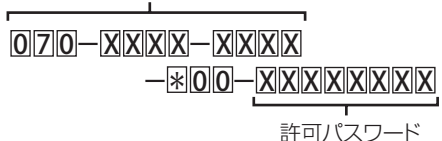
- リモートロック解除後、自動的に再起動が行われます。
- リセットや完全消去（フォーマット）を行ってもリモートロックは解除されません。

■ 電話をかけてリモートロックを解除する

1 他の電話機からこの製品に電話をかけます。

この製品の電話番号→「＊ 00」→許可パスワードの順にダイヤルキーをタップして発信します。

この製品の電話番号

070-XXXX-XXXX
-＊00-XXXXXXXX

許可パスワード

■ ライトメールを送信してリモートロックを解除する

1 他の電話機からこの製品にライトメールを送信します。

ライトメール本文に「ソウサ0XXXXXXXX」と入力し、この製品に送信します。
「ソウサ」はカタカナ、「0」は数字、「XXXXXXXX」は許可パスワードを入力します。

リモートロックを起動し完全消去（フォーマット）を行う

ご注意

- この操作を行うと、保存データはすべて削除されます

この操作を行うとき、十分注意してキー入力をしてください。

■ 電話をかけてリモートロック起動と完全消去（フォーマット）を行う

1 **他の電話機からこの製品に電話をかけます。**

この製品の電話番号→「＊ 03」→許可パスワードの順にダイヤルキーをタップして発信します。

この製品の電話番号

070−XXXX−XXXX
−＊03−XXXXXXXX

許可パスワード

■ ライトメールを送信してリモートロック起動と完全消去（フォーマット）を行う

1 **他の電話機からこの製品にライトメールを送信します。**

ライトメール本文に「ソウサ3XXXXXXXX」（「XXXXXXXX」は許可パスワード）と入力し、この製品に送信します。
「ソウサ」はカタカナ、「3」は数字、「XXXXXXXX」は半角数字を入力します。

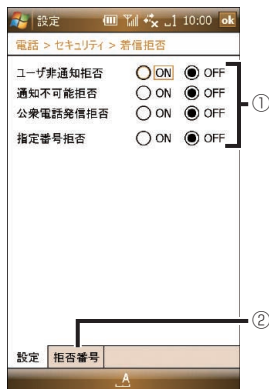
着信制限をする

非通知の番号や指定した電話番号からの着信を拒否する設定をします。

1 **スタートメニューの “設定” をタップし、“電話” をタップして、セキュリティタブをタップします。**

2 **“着信拒否” をタップします。**

3 **表示された画面で W-SIM の暗証番号を入力します。**

ご購入時、暗証番号は「0000」（半角数字 0（ゼロ）が 4 つ）になっています。この暗証番号は変更することができます（☞ 3-25 ページ）。

① 着信拒否を設定します。それぞれの項目を「ON」にすると着信拒否します。
・ユーザ非通知拒否：
電話番号を非通知にしている電話
・通知不可能拒否：
相手が通知できないエリアや電話機
・公衆電話発信拒否：
公衆電話からの電話
・指定番号拒否：
②で指定した電話番号からの電話

② ①の指定番号拒否を「ON」にしたときに、着信拒否する電話番号を設定します（☞次ページ）。

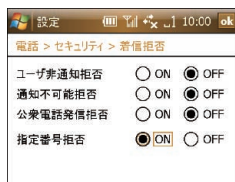
4 **設定が終われば、ok をタップします。**

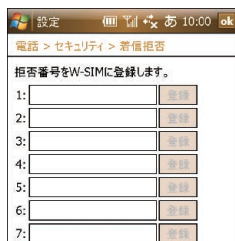
着信拒否をする／着信拒否を解除する

特定の電話番号に対して、着信拒否を設定できます。着信拒否した電話番号の相手は話し中になります。
登録できる電話番号は 10 件です。

着信拒否をする

1 **前ページと同様にして、着信拒否設定画面（設定タブ）を表示します。**

2 **指定番号拒否の「ON」にチェックを付けます。**

3 **拒否番号タブをタップします。**
着信拒否設定画面（拒否番号タブ）が表示されます。

設定 あ 10:00 ok
電話 > セキュリティ > 着信拒否
拒否番号をW-SIMに登録します。
1: 登録
2: 登録
3: 登録
4: 登録
5: 登録
6: 登録
7: 登録

4 **いずれかの方法で着信拒否したい電話番号を入力します。**
- 直接、入力項目に電話番号を入力します。
- 着信／発信履歴画面で電話番号をコピーしているときは、画面右下の メニュー － 貼り付け をタップし、電話番号を入力します。

5 **登録をタップします。**
手順 **4** で入力した電話番号が着信拒否電話番号として登録されます。

6 **設定が終われば、ok をタップします。**

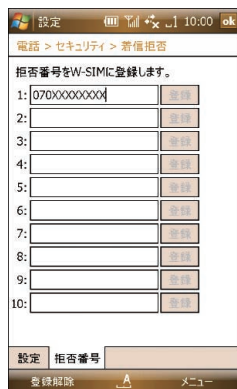
着信拒否を解除する

■ 一時的に着信拒否を解除する

一時的に着信拒否を解除するときは、着信拒否設定画面（設定タブ）で「指定番号拒否」を「OFF」にします。

■ 設定している着信拒否の電話番号を削除し、着信拒否を解除する

1 **着信拒否設定画面（拒否番号タブ）を表示します。**

2 **着信拒否を解除する電話番号の欄にカーソルを移します。**

3 **画面左下の登録解除をタップします。**

4 **表示された画面で OK をタップします。**

5 **カーソル位置の電話番号が消え、着信拒否を解除します。**

MEMO

- **別の方法で着信拒否を解除する**
  1. 解除する電話番号を削除します。
  2. 電話番号欄の右に 解除 ボタンが表示されますので、 解除 ボタンをタップします。
  3. 表示された画面で OK をタップします。
     削除した電話番号の着信拒否が解除されます。

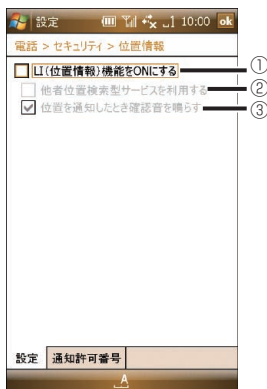
位置情報を通知する

位置情報通知機能とは、この製品が受信している複数の基地局の基地局情報をセンターに通知する機能です。
ウィルコム位置検索サービスなどの位置情報通知サービスへ申し込む（有料）と、この機能を利用して位置情報サービスなどを受けることができます。

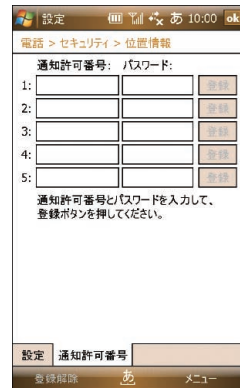
1 **スタート メニューの "設定" をタップし、"電話" をタップして、セキュリティ タブをタップします。**

2 **"位置情報" をタップし、表示された暗証番号画面で W-SIM の暗証番号を入力します。**

ご購入時、暗証番号は「0000」（半角数字 0（ゼロ）が 4 つ）になっています。この暗証番号は変更することができます（☞ 3-25 ページ）。

3 **位置情報設定画面（設定 タブ）で、位置情報の通知などを設定します。**

①	LI（位置情報通知）機能のオン／オフを設定します。 チェックを付けると、LI 機能がオンになります。
②	登録した通知許可番号（☞下記）から位置情報送出の要求があったときに、位置情報を通知する／しないを設定します。 チェックを付けると位置情報を通知します。
③	位置情報を通知したときに、確認音を鳴らす／鳴らさないを設定します。 チェックを付けると確認音が鳴ります。

通知許可番号とパスワードを登録する

上記の手順 **3** の画面で 通知許可番号 タブをタップし、この製品から送出した位置情報を受け取る番号（通知許可番号）とパスワードを設定します（5 つまで設定できます）。
それぞれの入力欄に通知許可番号と通知許可パスワードを入力し 登録 をタップします。
※通知許可パスワードは 8 桁までです。

MEMO

- **登録した通知許可番号を削除するときは、以下のどちらかの方法で削除します。**
  - 削除する通知許可番号の欄にカーソルを移し、画面左下の 登録解除 をタップして、表示された確認画面で OK をタップします。
  - 通知許可番号を消去し、 解除 をタップして、表示された確認画面で OK をタップします。

電話帳のデータを読み込む／書き込む

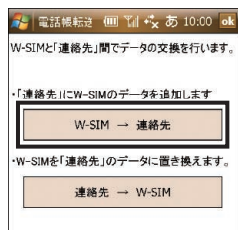
他の商品で W-SIM に保存した電話帳のデータをこの製品に読み込みます。
また、この製品の“連絡先”に保存しているデータを W-SIM に書き込みます。

1 **電話帳のデータが入った W-SIM を取り付けます（☞ 11-11 ページ）。**

2 **スタート メニューの “設定” をタップし、“電話” をタップして、その他 タブをタップします。**

3 **“電話帳転送” をタップし、転送ツールを起動 をタップします。**

■ W-SIM のデータを読み込む

1 **W-SIM →連絡先 をタップします。**
W-SIM の電話帳のデータが、この製品の“連絡先”に読み込まれます。

■ 連絡先のデータを W-SIM に書き込む

1 **連絡先→ W-SIM をタップします。**
W-SIM に書き込むときは、W-SIM に保存していた電話帳のデータをすべて消去してから“連絡先”のデータを書き込みます。
書き込めるデータ件数は最大 700 件です。ただし、1 件のデータ内容が多い場合は 700 件を書き込めないこともあります。
700 件以上ある場合は、“連絡先”のリストでフリガナに入力している文字の順（※）で先頭から 700 件までを書き込みます。
※数字→アルファベット→カナ（50 音）の順

4 **確認画面で OK をタップします。**
データの読み込みまたは書き込みが行われます。

5 **表示された画面で ok をタップします。**

MEMO

- **W-SIM に書き込める“連絡先”の項目**
W-SIM にデータを書き込むとき、書き込める“連絡先”の項目は以下の項目です。
※ 1 フリガナの項目は必要です。フリガナがないデータは W-SIM に書き込むことができません。
※ 2 書き込める電話番号の項目（PHS、携帯電話、自宅電話など）は、最大 3 項目です。
次ページの 1 つ目のご注意もご覧ください。

・名前	・フリガナ
・自宅住所	・Web ページ
・電子メール	・電子メール 2
・電子メール 3	・誕生日
・PHS	・携帯電話
・自宅電話	・勤務先電話
・自宅 FAX	・自宅電話 2
・メモ	

また、PHS や携帯電話などの電話番号の項目は、“連絡先”と W-SIM との間で以下の関係になっています（最大 3 項目まで書き込み／読み込みができます）。

“連絡先”		W-SIM の種別
① PHS	⟷	PHS
②携帯電話	⟷	携帯
③自宅電話	⟷	自宅
④勤務先電話	⟷	会社
⑤自宅 FAX	⟷	FAX
⑥自宅電話 2	⟷	種別無し

ご注意

- **W-SIM に書き込める電話番号の項目は、最大３項目です**

  PHS ／携帯電話／自宅電話／勤務先電話／自宅 FAX ／自宅電話２の項目に番号を入力していても４つ目以降は書き込むことはできません。書き込むときの優先順位は、前ページ①②③・・・の順になります。

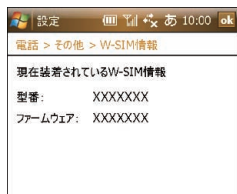
- **他の電話機で使っている W-SIM の電話番号を読み込むとき**

  他の電話機で電話番号１～３を同じ種別にして電話番号を登録していると、最初の１つ目しか読み込めません。
  例えば、電話番号１／２／３の種別を「PHS」にして電話番号を登録していると、１つ目の PHS 番号しか“連絡先”に読み込めません。

W-SIM のバージョン情報を表示する

この製品に挿入されている W-SIM のバージョン情報を確認できます。

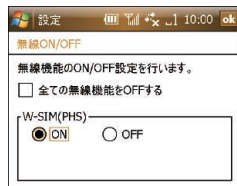
1 **スタート メニューの “設定” をタップし、“電話” をタップして、その他 タブをタップします。**

2 **“W-SIM 情報” をタップします。**
W-SIM バージョン情報確認画面が表示されます。

3 **確認が終われば、ok をタップします。**

無線機能（W-SIM）をオン／オフする

この製品に装着されている W-SIM 機能のオン／オフを設定します。

1 **スタート メニューの “設定” をタップし、接続 タブをタップして、“無線 ON/OFF” をタップします。**
無線 ON/OFF 画面が表示されます。

2 **W-SIM（PHS）の項目で、「OFF」または「ON」にチェックを付けます。**
OFF にチェックを付けると W-SIM 機能がオフになり、電話やメール送受信などができなくなります。

3 **確認が終われば、ok をタップします。**

ウィルコムのサービスを利用する

次のウィルコムのサービスを利用できます。

留守番電話サービス
・ メッセージを確認する
・ メッセージを聞く
・ 留守番電話サービスの設定を変更する

着信転送サービス

料金分計サービス
・ 料金分計で電話をかける

留守番電話サービスを使う

この製品の電源をオフにしているときやすぐに電話に出られないとき、エリア外にいるときなどにウィルコムの「留守番電話センター」がメッセージを預かります。
このサービスをご利用いただくには、あらかじめお申し込みが必要です。

留守番電話サービスについて
・ メッセージの最大録音時間 ：1 件 につ き 約 60 秒
・ メッセージの最大保存件数 ：20 件
・ メッセージの保存期間 ：約 73 時間

このサービスについてくわしくは、ウィルコムサービスセンターへお問い合わせください。

・ 申込 ：必要
・ 月額料 ：有料

メッセージを確認する

留守番電話サービスにメッセージがあるか確認します。
この製品では、電話を切ったときに自動的に留守番電話サービスにメッセージがあるか確認します。メッセージがあるときは、「センター留守電あり」と表示されます。

MEMO
● 以下の方法でも確認できます。
1 “電話”を起動します。
2 [1] [4] [1] [通話] をタップします。
3 数秒後、「ツー」という音を確認し、[終話] キーをタップします。
メッセージがあるときは、画面に「センター留守電あり」と表示されます。

メッセージを聞く

メッセージを聞きます。

1 **[＊] [9] [3] [1] [通話] をタップします。**
留守番電話サービスにつながります。
ガイダンスにしたがって操作します。

MEMO
● **プッシュ信号が出せる一般電話や公衆電話からメッセージを聞くとき**
0077-780-931 に電話をかけ、ガイダンスにしたがって操作します。このときお使いのこの製品の電話番号と留守番電話サービスの暗証番号が必要です。
● 手順 **1** で [＊] [9] [3] [1] の代わりに [＊] [9] [3] [1] [1] をタップしてもメッセージを聞くことができます。このときは、録音されたメッセージを聞く前に、発信者の電話番号をガイダンスで聞くことができます。ただし、発信者の電話機によっては電話番号を聞くことができない場合もあります。

ご注意
● **留守番電話サービスについて**
留守番電話サービスでは、ライトメールを受け取ることはできません。

留守番電話サービスの設定を変更する

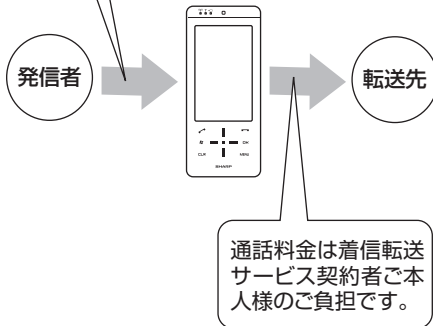
留守番電話サービスの設定を変更できます。
・ 受付時間 ： 5:00 ～ 24:00（年中無休）

1 **[1] [4] [3] [通話] をタップします。**
留守番電話サービスにつながります。
ガイダンスにしたがって操作します。

MEMO
● 一般電話や公衆電話からも「0077-776」に電話をかけ、設定の変更ができます。

着信転送サービスを使う

着信転送サービスは、この製品の電源をオフにしているときやエリア外にいるときなどに、かかってきた電話を指定した他の電話に転送するサービスです。
転送先は他のウィルコムの電話や一般電話、携帯電話などから選択できます。
「留守番電話サービスの設定を変更する」（☞前ページ）と同じ番号に電話をかけ、設定を変更できます。
このサービスについてくわしくは、ウィルコムサービスセンターへお問い合わせください。

・申込　：不要
・月額料　：無料

MEMO

- このサービスは、留守番電話サービスと同時に利用できません。
- 海外への転送は対応していません。
- 一部、転送先に指定できない電話機があります。

料金分計サービスを使う

料金分計サービスは、通話料金の請求先を2箇所に分けるサービスです。ビジネス関係とプライベート関係などの使い分けができます。
料金分計サービスを使わないときはご契約者（主計先）へ通話料金の請求、料金分計サービスを使うときはあらかじめ登録した分計先へ通話料金の請求となります。
このサービスは有料です。また、このサービスを使うにはあらかじめ契約が必要です。くわしくは、ウィルコムサービスセンターへお問い合わせください。

・申込　：必要
・月額料　：有料

料金分計で電話をかける

1 **“電話”を起動します。**

2 **電話番号を入力します。**

3 **画面右下の［メニュー］－［通話］－［分計発信］をタップします。**
電話がかかります。

4 **通話を終えるときは、［終話］キーをタップします。**
電話が切れます。
この通話にかかった料金は登録した分計先へ請求されます。

MEMO

- 料金分計は、上記の手順を毎回行います（連絡先に分計発信を登録することはできません）。
- 手順**3**で、電話番号の通知／非通知の設定によって、184分計発信または186分計発信を選択できます。
たとえば、自分の電話番号を通知する設定にしている場合、手順**3**での［メニュー］－［通話］－［184分計発信］をタップすると、自分の電話番号を通知せず、さらに料金分計されます。
- 各パケット方式での料金分計サービスはご利用になれません。

電話帳

“連絡先”の電話番号やメールアドレスなど一部の項目を“電話帳”として表示します。
連絡先と同じように、電話帳を使って電話をかけたりメールを送ったりすることができます。

MEMO

- 電話帳は、連絡先のデータを利用しているため、データの追加や編集をするときは連絡先の編集画面になります。

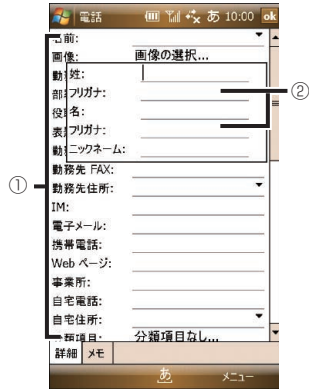
電話帳を登録する（新規作成）

1 **Today 画面右下の 電話帳 をタップします。**

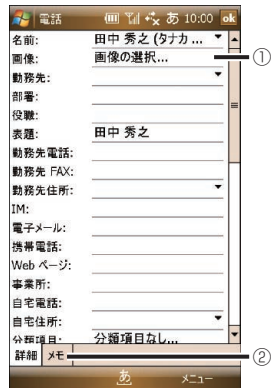
電話帳の一覧画面が表示されます。

2 **画面右下の メニュー － 新規作成 をタップします。**

電話帳の入力画面が表示されます。

3 **名前から入力します。**

①「部署」や「勤務先」など、他の項目をタップすると、タップした項目の入力に移ります。

②「フリガナ」欄には「姓」や「名」を入力して変換などをすると、自動的に入力されます。
入力されたフリガナは、一覧画面に表示される並び順となります。

4 **入力したい項目をタップし、その他の情報を入力していきます。**

① タップすると画像を設定できます。

② タップすると、入力項目以外のメモなどを入力できます。

MEMO

- 「名前」、「勤務先」、「勤務先住所」、「自宅住所」、「その他の住所」は、項目をタップすると入力画面がポップアップ表示されます。
- 設定した画像は、電話帳の一覧画面などで表示されます。

5 入力が終わったら、ok をタップします。

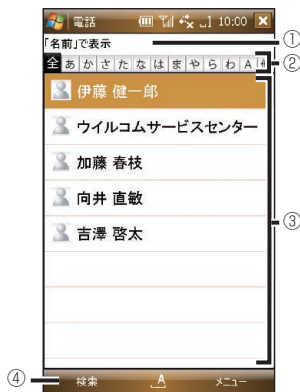
入力した電話帳が追加されます。

MEMO

- 電話番号に「P」（アルファベットのP、全角半角／大文字小文字いずれも可）を入力すると、ポーズを使うことができます。
  たとえば、電話番号に03XXXXXXXXP12XXと入力し保存したのち、「電話帳から電話をかける」（☞3-38ページ）を行うと、Pの前の「03XXXXXXXX」までを発信して止まります。キーをタップすると、残りの「12XX」を発信します。
  ポーズについてくわしくは、3-9ページをご覧ください。

電話帳を表示する

1 Today画面右下の 電話帳 をタップします。

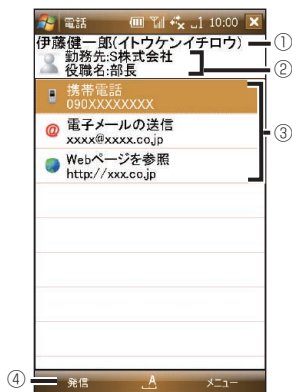
電話帳の一覧画面が表示されます。

① 一覧の表示方法（名前または勤務先）が表示されます。

② 表示する行（あ行やか行など）をタップします。また、カーソルキーの左右で前または次の行へ移動します。

③ 連絡先に登録されている名前（または勤務先）が一覧で表示されます。

④ 電話番号やメールアドレスなどから検索することができます（☞ 3-38ページ）。

2 **名前をタップします。**

タップした名前の電話番号、メールアドレスなどの情報（1 件表示画面）が表示されます。

① 登録されている名前が表示されます。
② 登録されている勤務先と役職が表示されます。
③ 登録されている、電話番号、メールアドレス、URL が表示されます。
④ ③で選択している項目により、[発信]、[送信]、[接続]が切り替わります。

MEMO

- [×] をタップすると、一覧画面に戻ります。
- 手順 **2** で画面右下の [メニュー] − [詳細表示] をタップすると、住所や部署などの情報も表示されます（この画面は“連絡先”の詳細表示画面（☞付属の CD-ROM に収録のアプリケーションマニュアル）です）。

一覧表示を勤務先に変更する

名前順で表示されている連絡先を、勤務先別に一覧表示できます。

1 **一覧画面で画面右下の [メニュー] − [表示方法] − [勤務先] をタップします。**

勤務先別に一覧表示されます。

MEMO

- 名前順に戻すときは、画面右下の [メニュー] − [表示方法] − [名前] をタップします。

一覧画面に画像を表示しない

一覧画面で表示されている連絡先の画像を、表示しないようにできます。

1 **一覧画面で画面右下の [メニュー] − [表示方法] − [画像表示] をタップしてチェックを外します。**

一覧画面に画像が表示されなくなります。

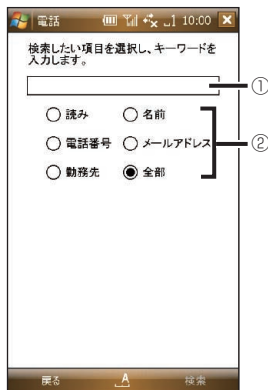
MEMO

- 画像の表示を戻すときは、画面右下の [メニュー] − [表示方法] − [画像表示] をタップしてチェックを付けます。

連絡先を検索して電話帳に表示する

連絡先のデータを、名前や電話番号から検索して一覧画面に表示します。

1 **一覧画面で画面左下の 検索 をタップします。**
検索画面が表示されます。

2 **検索したい項目を選択し、キーワードを入力します。**

① ②で選択した項目に対するキーワードを入力します。

② 検索したい項目にチェックを付けます。

MEMO

- 画面左下の 戻る をタップすると、一覧画面に戻ります。

3 **画面右下の 検索 をタップします。**
手順 **2** で入力した条件に合う連絡先が、一覧画面に表示されます。

電話帳から電話をかける

1 **1 件表示画面（☞前ページ）で電話をかける番号を選択して画面左下の 発信 をタップします。**
発信画面で電話番号が点滅し、相手に電話がかかります。

MEMO

- 1 件表示画面で、画面右下の メニュー − 通話 から、 184 発信 や 186 発信 などを選択できます。

電話帳から メールを作成する

1 **メールを送りたい相手の 1 件表示画面で、メールアドレスを選択し、画面左下の 送信 をタップします。**
選択した相手のメールアドレスが入ったメールの新規作成画面が表示されます。

MEMO

- 複数のアカウントが登録されているときは、アカウントを選択する画面が表示されますので、メールを送るアカウントをタップします。
- メールについてくわしくは 4-2 ページをご覧ください。

電話帳から ライトメールを作成する

1 １件表示画面で、ライトメールを送る電話番号を選択し、画面右下の メニュー － ライトメール作成 をタップします。

“ライトメール”の新規作成画面が表示されます。

MEMO

- ライトメールについてくわしくは 4-37 ページをご覧ください。

ご注意

- ライトメールに対応していない電話機へライトメールを送信したときは、相手に電話がかかります。
  また、電話帳の PHS の項目に入っている番号が携帯電話などの場合も相手に電話がかかります。

電話帳から ホームページを開く

1 １件表示画面で、ホームページを表示したい URL を選択し、画面左下の 接続 をタップします。

選択した URL のホームページが表示されます。

電話帳を 修正／削除する

ご注意

- 電話帳を修正 / 削除すると、連絡先のデータも修正 / 削除されます。

連絡先を修正する

1 一覧画面などで、画面右下の メニュー － 編集 をタップします。

連絡先の概要が表示されます。

MEMO

- 連絡先についてくわしくは、付属の CD-ROM に収録のアプリケーションマニュアルをご覧ください。

連絡先を削除する

1 一覧画面で削除したい連絡先を選択し、画面右下の メニュー － 削除 － １件削除 、または 全件削除 をタップします。

2 確認画面で、 はい をタップします。

MEMO

- １件表示画面で、画面右下の メニュー － 削除 をタップしても、削除することができます。

電話帳のメニュー

一覧画面のメニュー

発信		登録されている電話番号が 1 つのときは電話をかける。 登録されている電話番号が複数のときは、電話をかける番号を選び、電話をかける。
新規作成		連絡先の新規作成画面を開く。
編集		選択されている項目の連絡先の編集画面を開く。
コピー		選択されている項目をコピーする。
削除	**1 件削除**	選択されている項目を連絡先から削除する。
	全件削除	全ての項目を削除する。
赤外線通信	**1 件送信**	選択している連絡先を赤外線通信で別の WS020SH などへ送信する。
	全件送信	すべての連絡先を赤外線通信で別の WS020SH などへ送信する。
表示方法	**画像表示**	一覧画面に画像を表示する。
	名前	名前順に表示する。
	勤務先	会社ごとに表示する。

1 件表示のメニュー

通話	**184 発信**	選択している電話番号に自分の電話番号を通知しないで電話をかける。
	186 発信	選択している電話番号に非通知にしているとき、相手に自分の電話番号を通知して電話をかける。
	分計発信	選択している電話番号に料金分計サービスを利用して電話をかける。料金分計サービスについてくわしくは、3-34 ページをご覧ください。
	184 分計発信	選択している相手の電話番号に自分の電話番号を通知せず、料金分計サービスを利用して電話をかける。
	186 分計発信	選択している相手の電話番号に自分の電話番号を通知して、料金分計サービスを利用して電話をかける。
ライトメール作成		選択している電話番号を宛先としてライトメールを作成する。
詳細表示		表示しているデータの詳細表示画面（☞ 3-37 ページ）を表示する。この画面は“連絡先”の詳細表示画面です。
編集		選択している連絡先を編集する。
削除		選択している連絡先を削除する。
ビーム		選択している連絡先を赤外線通信または Bluetooth で別の WS020SH へ送信する。
個別着信音の設定		表示している人に対する電話の着信音を設定する。

4章　メール

メールの概要

この製品には､いくつかのメールソフトがあります。メールの種類やそれぞれのメールの違いなどは､『かんたん操作ガイド』をご覧ください。

2 種類のメールの違いについて

W-ZERO3 メールとメール（Outlook）は、以下の仕様が異なります。

		W-ZERO3 メール	メール (Outlook)
オンラインサインアップで取得したメールアカウントの自動設定		○	×[※1]
送信	すぐに送信する	○	○[※2]
	送信後､自動切断する	○[※3]	×
受信	定期的に受信する	○	○[※4]
	自動的に受信する	○[※5]	×
	サーバーからメールを削除する設定	○	○
その他	ゴミ箱（「削除済みアイテム」フォルダ）へ移動する	×	○
	メールの保護	○	×
	フォルダの構造(多階層)	×	○
	自動振り分け設定	○	×
	ActiveSyncでのパソコンのOutlookと同期する	×	○
絵文字		○	×
HTMLメールの送受信		△[※6]	○

※ 1 ご自分で情報を入力すると設定できます。
※ 2 設定によりすぐに送信できます（☞付属の CD-ROM に収録のアプリケーションマニュアル）。
※ 3 PHS 電話機能で接続している場合。
※ 4 一度サーバーのチェックを行うと、チェックのあと回線は自動的に切断されずインターネットに接続したままになります。回線切断忘れを防止するためにも、この設定は手動設定にすることをおすすめします（☞付属の CD-ROM に収録のアプリケーションマニュアル）。
※ 5 オンラインサインアップで取得したアカウント（E メール（ウィルコム））のみ。
※ 6 デコラティブメールで使用できるタグに対応しています。また、受信した HTML メールをブラウザで表示する機能があります。

ご注意

- **絵文字が含まれるメールを受信したときは**

  絵文字が他の記号などに置き換わる場合があります。受信したメールの種類によっては、本文ではなく添付ファイルとして受信します（添付ファイルの内容は表示できません）。

- **通話中に PHS 電話機能を使ってメールの送受信をすることはできません。**

- **メール（Outlook）の場合、メール送受信後は回線を切断してください。**

  メール（Outlook）で、PHS 電話機能を使ってメール送受信をすると、インターネットに接続した状態になっています。

- **内蔵ワイヤレス LAN 機能を使ってメールの送受信を行う場合**

  アクセスポイントに接続できる設定／環境が必要です。

Eメール（ウィルコム）とプロバイダーのメールアカウントの違いについて

この製品では、複数のアカウントを保持（設定）して、どのアカウントでメールの送受信をするか選択することができます。使用するアカウントにより設定や仕様が異なりますので、アカウントを使い分けるときなどの参考にしてください。
使用されるメールアカウントによって、以下の設定や仕様が異なります。

アカウント	Eメール(ウィルコム)アカウント	プロバイダーのメールアカウント
接続先	ウィルコム	ウィルコム プロバイダー(☞2-4ページ)
サーバー	ウィルコム	加入のプロバイダー (☞2-4ページ)
接続の設定	オンラインサインアップ (☞2-2ページ)	ワイヤレスLANや プロバイダーの設定 (☞2-4、2-10ページ)
メールの自動受信	サーバーにメールが届くと、 自動的に受信される※1 (☞4-18ページ)	無
サーバーから削除する／しないの設定	有 (☞4-6ページ)	有
ワイヤレスLAN接続での送受信	×	○
送受信の容量制限	1MBまで(添付ファイル含む)	3MBまで(添付ファイル含む) ※3
アカウントの表示	電話番号※2	任意で設定可能 (☞付属のCD-ROMに収録のアプリケーションマニュアル)

※ 1 以下の状態では、自動受信されない場合があります。
- ・インターネットに接続中
- ・ActiveSync による同期中
- ・通話中や、電波状態が弱い場合またはエリア外など

※ 2 オンラインサインアップを行うとアカウント名には電話番号が設定されますが、変更することができます。
アカウントを削除してしまったときなどは、再度オンラインサインアップを行うと同じメールアドレスなどの情報を再設定することができます。

※ 3 加入しているプロバイダーのメールサーバーの設定が 3MB 未満のときは、プロバイダーの設定に準じます。

送受信するための アカウントを設定する

オンラインサインアップを行いウィルコムのアカウントを使ってメールの送信や受信をする場合は、ここを読みとばし 4-9 ページをご覧ください。

すでにご入会されているインターネットプロバイダーのメールに関する情報を設定する方法を説明します。この設定を行うと、すでにご入会されているメールアドレスへ送られてきたメールを受信できます。

アカウントは 10 個まで設定できます。

MEMO

- プロバイダーによっては、プロバイダーへの接続情報の設定が必要です（☞ 2-4 ページ）。設定が必要かどうかは、プロバイダーにお問い合わせください。

以下にこの製品に設定する項目を記載します。プロバイダーからの資料をお手元にご用意して、各項目に設定する情報を確認してください。

・電子メールアドレス　・ユーザー名
・パスワード　・受信メールサーバー
・送信メールサーバー
※項目の名称はプロバイダーによって異なるため、各手順にプロバイダーで使われている代表的な用語を記載しています。
・“メール（Outlook）”の設定を行うときは、付属の CD-ROM に収録のアプリケーションマニュアルをご覧になり設定してください。

1 **スタート メニューの “W-ZERO3 メール”をタップします。**

初期画面が表示されます。

オンラインサインアップを行う前に、“W-ZERO3 メール”を起動するとお知らせ画面面が表示されますので、ok をタップします。

2 **設定 － アカウント設定 をタップします。**

アカウント設定（アカウント一覧）画面が表示されます。

① オンラインサインアップを行って自動的に設定されたアカウント

3 **追加 をタップします。**

アカウント入力画面が表示されます。

4 **設定するアカウントの名前を入力し、次へ または ok をタップします。**

① 加入しているプロバイダー名などを入力します（半角文字、全角文字いずれの場合でも、最大 10 文字）。

5 基本設定を入力し、詳細設定タブをタップします。

① メールの送信者として相手に表示する名前を入力します。
② メールアドレスを入力します。
③ 自分の名前やメールアドレスなどを登録しておくと、送信メールの本文に追加できます。くわしくは、4-7 ページをご覧ください。
④ メールを受信したり送信するためのサーバー情報を入力します。
⑤ メールサーバーに接続するための情報を入力します。定期受信するときなどパスワードを保存しておくときは、「パスワードの保存」にチェックを付けます。

※受信（POP3）、送信（SMTP）、ユーザー名、パスワードについて、代表的な用語例を記載していますので、参考にしてください。

画面で使われている用語	プロバイダーで使われている代表的な用語例
ユーザー名	Mail アカウント名、メールアカウント、メールボックス名、メールボックスアカウント名、Mail アカウント
パスワード	Mail パスワード、メールパスワード、初期パスワード
受信（POP3）	POP サーバー、受信メールサーバー、メールサーバー
送信（SMTP）	SMTP サーバー、送信メールサーバー

ご注意

- **定期受信を行うときは、パスワードを保存します**

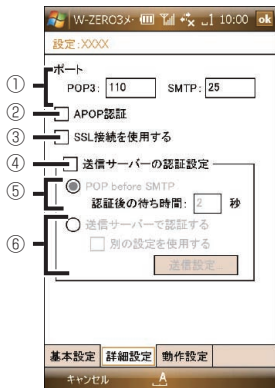
  パスワードを保存しない場合、定期受信するときにパスワード入力待ちの状態となります。

MEMO

- **受信（POP3）サーバーと送信（SMTP）サーバーについて**

  入会しているプロバイダーによっては、受信（POP3）サーバーと送信（SMTP）サーバーがそれぞれ別になっているプロバイダーと、同じになっているプロバイダーがあります。
  - ・別々になっているプロバイダーは、受信（POP3）サーバーと送信（SMTP）サーバーの両方を入力します。
  - ・メールサーバーが同じになっている（1 つになっている）ときは、両方に同じものを入力します。

6 詳細設定を入力し、動作設定 タブをタップします。

設定画面の 動作設定 タブが表示されます。

① メールサーバーのポート番号を入力します。通常は変更する必要はありません。

② APOP 認証を行うときは、チェックを付けます。

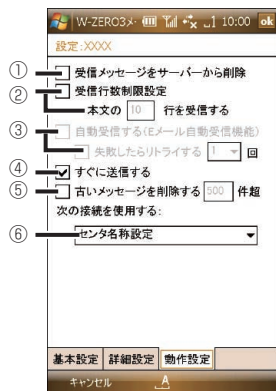
③ メール送受信時、プロバイダーによってSSL 認証が必要な場合にチェックを付けます。
この設定が必要かどうかは、加入しているプロバイダーにお尋ねください。

④ ⑤または⑥の設定を行う場合、チェックを付けます。

⑤ POP before SMTP を行うときは、チェックを付け、認証後の待ち時間を入力します。

⑥ 加入しているプロバイダーによってはメール送信時にユーザー名（ユーザー ID）とパスワードが必要な場合があります。このような場合にチェックを付けます。
ユーザー名とパスワードが前ページ手順 **5** の⑤と同じ場合は、「送信サーバーで認証する」にだけチェックを付けます。
ユーザー名とパスワードが違う場合は、「別の設定を使用する」にもチェックを付け、 送信設定 をタップしてユーザー名とパスワードを入力します。
この設定が必要かどうかは、加入しているプロバイダーにお尋ねください。

7 動作設定を入力し、ok をタップします。

メールの送受信は、「次の接続を使用する」欄（⑥）に表示されている名称に保存されている接続先の設定を使ってインターネットに接続します。この接続先の設定が異なっているとメールの送受信はできませんのでご注意ください。

① この製品で受信したメールをサーバーから削除するときは、チェックを付けます。
②を指定するときは、チェックを外してください。

② 受信するメールを、本文の指定した行数のみ受信（部分受信）するときはチェックを付け、行数を入力します（☞ 4-22 ページ）。

※ 送信側のメールソフトによっては、指定した行数どおり受信できないことがあります。

③ E メール（ウィルコム）アカウントの場合に有効になります。
E メール（ウィルコム）を自動受信するときはチェックを付け、自動受信できなかったときに再度自動受信を行う回数を指定します。

④ メールを作成し、送信 をタップしてすぐに送信するときはチェックを付けます。
チェックを外した状態で、送信 をタップすると送信待ちボックスに入ります。送信待ちボックスに入ったメールはまだ送信されていません。送信待ちボックスに入ったメールを送信するには、初期画面で メニュー － 送受信 － 送信 または 送受信 をタップします。

⑤ メールの保存件数が指定した件数を超えたときに、古いメールから自動的に削除するにはチェックを付けます。

⑥ 接続を切り替えます。下記のメモをご覧になり、選択します。

ご注意

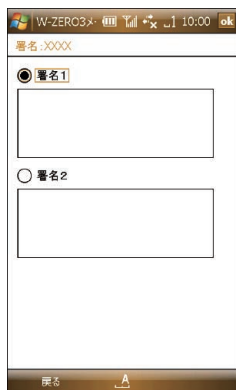
- **受信行数制限設定（前ページ②）でメールを受信するとき**
  「受信メッセージをサーバーから削除」（前ページ①）のチェックを外してください。
  ②①どちらにもチェックを付けると、②で指定した行数を受信したあと、サーバーから削除されて全文が受信できなくなります。

MEMO

- **接続を選択する**
  お使いの状態にあわせて接続を選択してください。
  ※「センタ名称設定」はオンラインサインアップを完了したときの設定でメールを送受信するときに選択します。

■ 署名を作成する

メール作成時、メール本文に自分の名前やメールアドレスなどの文章（署名）を自動的に入れることができます。

1 **4-5 ページの手順 5 で③の「署名を使用する」にチェックを付け、署名 をタップします。**
署名の設定画面が表示されます。

2 **署名 1 または署名 2 を選択します。**
選択した署名の内容が、メール本文に入ります。

3 **署名を入力し、ok をタップします。**
設定画面のタブが表示されます。

4
メール

W-ZERO3 メール

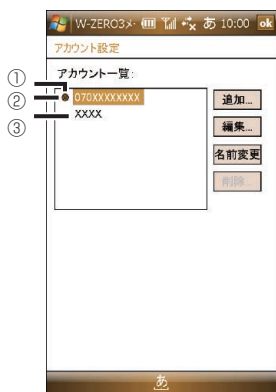
アカウントを修正／削除する

アカウントを修正する

1 **スタート メニューの “W-ZERO3 メール” をタップします。**

初期画面が表示されます。

2 **設定 － アカウント設定 をタップします。**

アカウント設定画面が表示されます。

① オンラインサインアップを行って自動的に設定されたアカウント

② 現在選択されているアカウントには「●」が付きます。「●」が付いているアカウントは削除できません。

③ ご自分で設定したアカウント

3 **修正するアカウントを選択し、編集 をタップします。**

4 **4-5 ～ 7 ページの各タブで修正します。**

5 **修正を終えた後、ok をタップします。**

MEMO

- **アカウント名を変更するときは**
  1. 変更するアカウント名を選択し、名前変更 をタップします。
  2. アカウント名を入力し、ok をタップします。
  3. 表示された確認画面で はい をタップします。アカウント名が変更されます。いいえ をタップすると、変更されず元の画面に戻ります。

アカウントを削除する

作成したアカウントを削除するときは、（☞左記）「アカウントを修正する／削除する」の手順 **2** の画面でアカウントを選択し、削除 をタップし、確認画面で はい をタップします。

ご注意

- **アカウントを削除すると**

そのアカウント内のメールはすべて削除されます。

メールを作って送る（テキストメール）

メールを作って送信します。

1 **スタート メニューの “W-ZERO3 メール”をタップします。**

初期画面が表示されます。

オンラインサインアップを行う前に、W-ZERO3 メールを起動すると、お知らせ画面が表示されますので、ok をタップします。オンラインサインアップを行う場合は、2-2 ページをご覧ください。加入しているプロバイダーのアカウントを設定する場合は、4-4 ページをご覧ください。

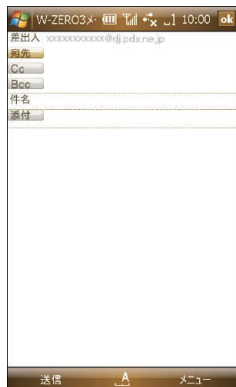
2 **アカウント名をタップして、メールを送りたいアカウントを選択します。**

画面右下の メニュー － アカウント切替 をタップしてもアカウントを切り替えることができます。

アカウントを複数設定している場合にこの操作を行います。

① アカウント名が表示されます。

3 **新規作成 をタップします。**

新規メールの作成画面が表示されます。

4 **宛先を入力します。**

宛先欄にカーソルがあることを確認し、以下のいずれかの方法で宛先を入力します。

- ・宛先に直接、ダイヤルキーやキーボードを使って入力します。
- ・この製品の“電話帳”に登録しているメールアドレスを利用して、宛先を入力します（あらかじめ“電話帳”に相手の名前やメールアドレスを登録しておきます）。くわしくは、次ページの「宛先入力時、“電話帳”に登録しているメールアドレスを利用する」をご覧ください。

※“電話帳”は“連絡先”に登録しているデータを利用しますので、“連絡先”にデータを登録しておいてください。

※メールアドレスを複数入力するときは、半角のセミコロン（;）または半角のコンマ(,)で区切って入力します。

MEMO

- 「CC：」や「BCC：」には、参考に送信したい人の電子メールアドレスを入力します。「BCC：」に入れたアドレスは、BCC：で受信した人以外から見えないように配信されます。

5 「件名」欄をタップし、件名を入力します。

6 「本文」欄をタップし、本文を入力します。

MEMO

- アカウント設定時、設定画面（基本設定タブ）で署名を作成し、「署名を使用する」にチェックを付けていると、新規作成画面で自動的に署名が入力されます。チェックを付けていないときは、画面右下の メニュー － その他 － 署名挿入 をタップすると署名を入力することができます。
署名についてくわしくは、4-7 ページをご覧ください。

7 画面左下の 送信 をタップします。

インターネットに接続し、メールを送信します。
正しく送信されるとメッセージが表示されますので ok をタップします。
送信が終わると自動的に回線を切断します。

内蔵ワイヤレス LAN を使ってインターネットに接続した場合

2-16 ページをご覧になり、回線を切断してください。

MEMO

- 送信したメールは、「送信フォルダ」に保存されます。
- サーバーへの接続中や送信中に 中止 をタップするとメールの送信が中止されます。送信を中止したメールは、「送信待ちボックス」に保存されます。
- メールの作成中に、画面右下の メニュー － 切り替え － デコラティブメールへ または、手書きメールへ をタップし、確認画面で はい をタップすると、デコラティブメールまたは手書きメールの作成画面に切り替わります。

宛先入力時、“電話帳”に登録しているメールアドレスを利用する

1 新規メールの作成画面で宛先にカーソルがあることを確認します。

2 画面右下の メニュー － アドレス入力 － 電話帳 をタップします。または､｢宛先｣をタップます。

3 メールアドレスを入力している“電話帳”が一覧表示されますので、宛先にしたいデータをタップします。

MEMO

- メールアドレスの利用をやめてメールの作成画面に戻るときは、画面右上の ✕ をタップします。

4 メールを送信するメールアドレスをタップします。

メール本文の最後に「sent from WILLCOM 03」を追加せずに送信する

メール送信時、メール本文の最後に文章（"sent from WILLCOM 03"）が自動的に追加されます（ご購入時の設定）。
※テキストメールを送信するとき追加されます（ファイルを添付したときは追加されません）。
この文章を外してメールを送信するには次のようにします。

1 ファイルエクスプローラを起動し、Windows フォルダの中を表示します（☞ 9-9 ページ）。

2 画面を下方に送っていき、「STMailToggleMsg」を表示し、この「STMailToggleMsg」をタップします。

3 画面が表示されますので ok をタップします。

次に送信するメールから "sent from WILLCOM 03" が追加されなくなります。

MEMO

- "sent from WILLCOM 03" をメール本文に追加するには、再度、上記手順 **2** の「STMailToggleMsg」をタップします。

画像ファイルなどを添付してメールを送る

メールに画像ファイルなどを添付して送信できます。

1 **4-9 ～ 10 ページの手順 1 ～ 6 の方法で、メールを作成します。**

2 **画面右下の［メニュー］－［その他］－［添付ファイル挿入］をタップし、表示された画面でフォルダを切り替え、添付するファイルをタップします。**

① リストから選択したファイルが表示されます。

② ファイルやフォルダが表示されます。

③ 画面切り替えなどを行います。

④ 現在表示中のフォルダ階層より 1 つ上のフォルダ階層へ移動します。

3 **［ok］をタップします。**
メールの新規作成画面に戻り、添付欄に XXXX.jpg など添付したファイルが表示されます。
続けて添付ファイルを追加するときは、手順 **2** ～ **3** を繰り返します。

4 **画面左下の［送信］をタップします。**
インターネットに接続し、メールを送信します。
正しく送信されるとメッセージが表示されますので［ok］をタップします。
送信が終わると自動的に回線を切断します。

内蔵ワイヤレス LAN を使ってインターネットに接続した場合
2-16 ページをご覧になり、回線を切断してください。

MEMO

- 添付ファイルをやめるときは、添付をやめるファイルをタップし、［添付ファイル削除］をタップします。
- microSD カードに保存されているファイルを添付して送信するときは、microSD カードを取り付けたまま送信してください。
- 送信したメールは、「送信フォルダ」に保存されます。

Web 用絵文字／絵文字／顔文字を入力する

この製品に入っている Web 用絵文字や絵文字を入力できます。

1 **新規作成画面で本文にカーソルがあることを確認し、画面右下の［メニュー］－［絵文字］、［顔文字］をタップします。**
［絵文字］をタップした場合は、Web 用絵文字入力パッドが表示されます。画面右下の［絵文字］をタップすると、絵文字入力パッドが表示されます。

2 **絵文字などを入力します。**
- 絵文字／ Web 用絵文字を入力するときは、入力パッドから文字を2回タップします。
- 顔文字を入力するときは、1 回タップします。

MEMO

- 絵文字を携帯電話に送ると他の記号などに置き換わります。携帯電話に送るときは、web 用絵文字を使うことをおすすめします（ただし、携帯電話に Web 用絵文字を送ったときも他の記号などに置き換わることがあります）。

デコラティブメールを送る

メール本文の文字色や大きさを変更したり背景の色を変更したり、装飾をして送ることができます。

デコラティブメールを作成する

他の携帯電話などにデコラティブメールを送る場合、本文サイズは 10KB（※）までです。本文とは別に、挿入できる画像は最大 20 個、合計 100KB までです。
※本文を装飾すると、装飾情報も本文に含まれます。

1 **初期画面で、新規作成をタップします。**

2 **新規作成画面で、画面右下のメニュー－切り替え－デコラティブメールへをタップし、さらにはいをタップします。**

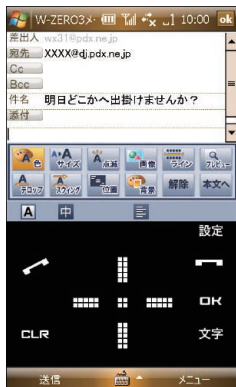
3 **宛先を入力します。**
宛先の入力方法は、4-9 ページをご覧ください。

4 **「件名」欄をタップし、件名を入力します。**

5 **「本文」欄をタップします。**

6 **メニュー－装飾パレットをタップまたは、装飾設定（☞下記①）をタップします。**
装飾パレットが表示されます。

① タップすると装飾パレットが表示されます。

7 **装飾パレットから装飾したい設定を選びます。**

装飾したい設定を選ぶと、装飾パレットが消えます。
装飾するアイコンについては、次ページ「装飾パレットについて」をご覧ください。

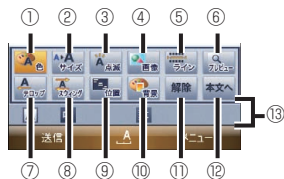
MEMO
- 本文へ をタップすると装飾パレットが消えます。

8 **文字を入力します。**

9 **別の装飾を行うときは、手順 6 ～ 8 を行います。**

10 **装飾パレットの プレビュー をタップすると、いままで入力した装飾を見ることができます。**

11 **本文を入力した後、画面左下の送信をタップします。**
正しく送信されるとメッセージが表示されますので ok をタップします。
送信が終わると自動的に回線を切断します。

装飾パレットについて

① 文字色を選択します。
タップすると文字色を選択する画面が表示されますので、色を選択します。選択した色の文字を入力できます。
文字列を選択（反転）したのち文字色を選択すると、選択した文字列の色が変わります。

② 文字サイズ（大、中、小）を選択します。
文字列を選択（反転）したのち文字サイズを変更すると、選択した文字列の文字サイズが変わります。

③ 文字を点滅させます。
タップしたあとに入力する文字が点滅します。
文字列を選択（反転）したのち点滅の設定をすると、選択した文字列が点滅します。
この装飾を解除するときは、付属のスタイラスを使って解除する文字（文字列）を選択（反転）してから 解除 をタップし 部分解除 をタップします。

④ 画像を挿入します。
タップすると、挿入する画像を選択する画面が表示されます。画像を選択して ok をタップします。
入れた画像を消すときは、画像の右側にカーソルを移し、CLR キーをタップ、または Del/BS キーを押します。

⑤ 行間にライン（罫線）を入れます。
入れたラインを消すときは、次の行にカーソルを移し、CLR キーをタップ、または Del/BS キーを押します。

⑥ プレビューを表示します。
タップすると、設定している装飾を見ることができます。画面左下の 戻る をタップすると元の画面に戻ります。

⑦ 文字を右から左に流して表示（テロップ）します。
テロップ をタップし 設定 をタップします。カーソルがある行の左端に アイコンが表示されます。 アイコンの右側に文字を入力すると、その文字が流れて表示されます。
この装飾を解除するときは、カーソルを解除したい行に移して テロップ をタップし 解除 をタップします。複数行まとめて解除するときは、付属のスタイラスを使って複数行を選択（反転）してから テロップ をタップし 解除 をタップします。

⑧ 文字を左右にスウィングさせます。
スウィング をタップし 設定 をタップします。カーソルがある行の左端に アイコンが表示されます。 アイコンの右側に文字を入力すると、その文字がスウィングされます。
この装飾を解除するときは、カーソルを解除したい行に移して スウィング をタップし 解除 をタップします。複数行まとめて解除するときは、付属のスタイラスを使って複数行を選択（反転）してから スウィング をタップし 解除 をタップします。

⑨ 文字の配置（左揃え、中央揃え、右揃え）を決めます。

⑩ 背景に色を付けます。

⑪ 設定した装飾（文字色、文字サイズ、点滅）を部分解除したり、すべての装飾を解除します。
・部分解除：付属のスタイラスを使って複数行を選択（反転）してから 解除 をタップし 部分解除 をタップします。この操作を行っても、テロップ、スウィング、配置は解除されません。
・全解除　：設定しているすべての装飾を解除します。 解除 をタップし 全解除 をタップします。表示された確認画面で はい をタップします。ただし、全解除を行っても挿入した画像やラインはそのまま残ります。

⑫ タップすると装飾パレットが消えます。

⑬ カーソルがある位置の装飾設定を表示します。

テンプレートとして保存する

装飾したメール本文をひな形として保存しておき、別のときに使うことができます。

1 装飾したメール本文を作ります。

2 [メニュー] – [テンプレート] をタップし、[保存] をタップします。

テンプレート保存画面が表示されます。

3 名前欄にテンプレートの名前を入力し、画面右上の ok をタップします。

テンプレートが保存されます。

MEMO

- **保存できるテンプレートのサイズ**
  本文サイズは 10KB までです。本文とは別に、挿入できる画像は最大 20 個、合計 90KB までです。ただし、前述の条件に合っていても、テンプレートに付属情報などが付いていてテンプレートの合計サイズが 150KB を超える場合は保存できません。

4 ok をタップします。

保存したテンプレートを呼び出す

1 4-12 ページの手順 **1** と **2** を行いデコラティブメールの新規作成画面を表示します。

2 [メニュー] – [テンプレート] をタップし、[呼出] をタップします。

テンプレート選択画面が表示されます。

3 一覧から呼び出したいテンプレートを選択し、画面右上の ok をタップします。

4 テンプレートが表示されます。

- このテンプレートを使う場合は、画面右下の [決定] をタップします。
- 別のテンプレートを使う場合は、画面左下の [戻る] をタップし、再度、手順 **3** を行います。

5 選択したテンプレートが本文に入ります。

6 本文の追加や修正などを行います。

MEMO

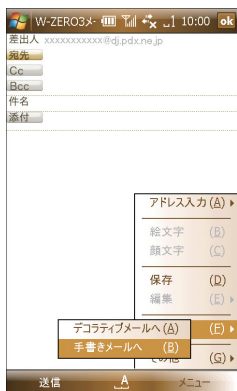
- **装飾を行ったのちにテンプレートを呼び出す**
  本文の装飾を行ったのち上記手順 **2** を行うと、確認画面が表示されます。テンプレートを呼び出すときは、確認画面の [はい] をタップします。テンプレートを呼び出すと、呼び出す前の本文はテンプレートに置き換わります。
- **呼び出すことができるテンプレートのサイズ**
  本文サイズは 10KB までです。本文とは別に、挿入画像は最大 20 個、合計 90KB までです。ただし、前述の条件に合っていても、テンプレートに付属情報などが付いていてテンプレートの合計サイズが 150KB を超える場合は呼び出すことができません。

手書きのメールを送る

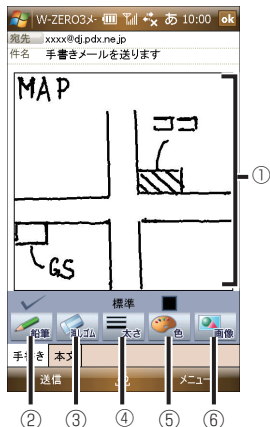
スタイラスで手書きしたメールを送ったり、写真にスタイラスで手書きのコメントなどをつけたメールを送ることができます。

手書きのメールを作成する

1 **初期画面で、新規作成をタップします。**

2 **新規作成画面で、画面右下のメニュー－切り替え－手書きメールへをタップし、さらにはいをタップします。**

3 **宛先を入力します。**
宛先の入力方法は、4-9ページをご覧ください。

4 **「件名」欄をタップし、件名を入力します。**

5 **鉛筆をタップします。**
付属のスタイラスを使って「画像編集」エリアに手書きします。

①「画像編集」エリア
② 鉛筆を選択します。
③ 消しゴムを選択します。
④ 鉛筆や消しゴムの太さを選択します。
⑤ 鉛筆の色を選択します。
⑥ この製品に保存している画像ファイルを貼り込みます。貼り込み時、画像回転が可能です。

MEMO

- 画像ファイルを貼り込んだ場合、次のようになります。
  - ・「画像編集」エリアより大きいサイズの画像ファイルは、エリア内に収まるように縮小されます。
  - ・すでに画面に手書きした内容があるときは内容が消去され、貼り込んだ画像ファイルに置き換わります。

6 **テキスト（文章）も入力するときは、本文タブをタップし本文を入力します。**
あらかじめ、既定のテキスト（文章）が入力されています。
署名（☞4-7ページ）を作成している場合、既定のテキストは入力されません。

7 画面左下の 送信 をタップします。

正しく送信されるとメッセージが表示されますので ok をタップします。
送信が終わると自動的に回線を切断します。

内蔵ワイヤレス LAN を使ってインターネットに接続した場合

2-16 ページをご覧になり、回線を切断してください。

MEMO

- メールの作成中に、メニュー ‐ テキストメールへ をタップし、確認画面で はい をタップすると、テキストメールの作成画面に切り替わります。ただし、「画像編集」エリアの内容はすべて消えます。

画像にコメントなどを付けたメールを送る

この製品に保存している画像に手書きのコメントなどをつけてメールを送信することができます。

1 プログラム画面で “画像とビデオ” をタップします。

2 手書きのコメントなどを付けて送信したい画像を選択し、メニュー ‐ 送信 をタップします。

フォルダを切り替えるときは、「マイピクチャ」をタップし、表示されたメニューから別のフォルダをタップします。

3 アカウントの選択画面で、「手書きメールを送信(XXXXXXXXXXX)」をタップします。

必ず、「手書きメールを送信(XXXXXXXXXXX)」をタップしてください。「W-ZERO3 メールで送信(XXXXXXXXX)」をタップすると、テキストメールの送信画面になります。
※（XXXXXXXXX）にはアカウントが表示されます。

4 表示された画面で、画像の向きをタップして選び、OK をタップします。

5 「宛先」欄に宛先を入力し、「件名」欄に件名を入力します。

6 画像にコメントなどを手書きします。

手書きのパレットについては、前ページをご覧ください。

7 テキスト（文章）も入力するときは、本文 タブをタップし本文を入力します。

あらかじめ既定のテキスト（文章）が入力されています。

8 画面左下の 送信 をタップします。

正しく送信されるとメッセージが表示されますので ok をタップします。
送信が終わると自動的に回線を切断します。

内蔵ワイヤレス LAN を使ってインターネットに接続した場合

2-16 ページをご覧になり、回線を切断してください。

まとめてメールを送る

送信待ちボックスに未送信メールを保存しておき、あとでまとめて送信できます。

※あらかじめ、アカウントの設定で「すぐに送信する」のチェックを外しておいてください。アカウントの設定についてくわしくは 4-4 ～ 7 ページをご覧ください。

1 **4-9 ～ 10 ページの手順 1 ～ 6 の方法などでメールを作成し、画面左下の 送信 をタップします。**

アカウント設定画面の「すぐに送信する」のチェックを外しているので、送信されずに「送信待ちボックス」に保存されます。

2 **引き続き別のメールを作成し、画面左下の 送信 をタップします。**

作成したメールは、「送信待ちボックス」に保存されていきます。

3 **初期画面で画面右下の メニュー － 送受信 － 送信、または 送受信 をタップします。**

インターネットに接続し、「送信待ちボックス」に入っているメールをすべて送信します。

送受信 をタップしたときは、引き続いて、自動的にサーバーにある未読メールを受信します。

正しく送信されるとメッセージが表示されますので ok をタップします。

送信が終わると自動的に回線を切断します。

内蔵ワイヤレス LAN を使ってインターネットに接続した場合

2-16 ページをご覧になり、回線を切断してください。

メールを「下書き」に保存する

メールを途中まで作成してあとで追加／修正したいときなどは、いったん「下書き」に保存してあとで追加／修正し送信することができます。

1 **4-9 ～ 10 ページの手順 1 ～ 6 の方法などでメールを作成します。**

2 **ok をタップし、確認画面で はい をタップします。**

作成したメールは、「下書き」に保存されます。

あとで追加／修正するときは、このメールを表示し内容を変更します。そして、送信操作（☞左記）を行うと送信できます。

画面右下の メニュー － 保存 をタップしても「下書き」に保存できます。

メールを受信する

自分宛のメールを受信します。

メール受信には、自動受信と手動受信があります。設定しているアカウントによって受信方法が異なりますので、以下をご覧になりメールを受信してください。

<u>E メール（ウィルコム）アカウント</u>

・自動受信

☞次ページ（「自動受信【E メール（ウィルコム）アカウントのみ】」）

・手動受信

☞次ページ（「手動受信【プロバイダー／ E メール（ウィルコム）アカウント】」）

<u>プロバイダーのアカウント</u>

・手動受信

☞次ページ（「手動受信【プロバイダー／ E メール（ウィルコム）アカウント】」）

MEMO

- メールを受信時、メールの一部を受信／全部（全体）を受信する 2 つの設定があります（☞ 4-22 ページ）。

  ご購入時の設定は、メール全部（全体）を受信するようになっています。一部を受信した後、メール全体を受信するときは 4-22 ページをご覧ください。

自動受信【E メール（ウィルコム）アカウントのみ】

E メール（ウィルコム）アカウントは、メールがサーバーに届くと自動的にインターネットに接続してメールを受信し、受信が終わると自動的に切断します。メールを受信すると着信音が鳴り、Today 画面（待ち受け画面）に「未読メッセージ：○件」と表示されます。
受信したメールは、「受信フォルダ」の中に入ります。

MEMO

- **自動的にメールを受信しないようにするには**
  E メール（ウィルコム）アカウント設定画面（動作設定タブ）（☞ 4-6 ページ）で「自動受信する」のチェックを外します。
  「自動受信する」にチェックを付けていても、オンラインサインアップで「E メール自動受信／新着メール通知」を「しない」または「新着メール通知」に設定（「新着メール通知」に設定すると E メールが届いたことを通知するライトメールを受信します）すると自動受信はしません。
- 受信したメールは、サーバーから削除されます（ご購入時の設定）。
  受信後にサーバーからメールを削除しない設定（☞ 4-6 ページ）へ変更できますが、サーバーから削除する設定にすることをおすすめします。

ご注意

- **以下の状態では、自動受信されない場合があります**
  - ・インターネットに接続中
  - ・ActiveSync による同期中
  - ・通話中や、電波状態が弱い場合またはエリア外など
    ※上記のような場合でも、Today 画面（待ち受け画面）に、「センターに E メールが有ります」というメッセージが表示される場合があります。この場合、手動で受信してください（☞右記）。

手動受信【プロバイダー／ E メール（ウィルコム）アカウント】

手動でインターネットに接続して、受信後に自動で回線を切断します。
プロバイダーのメールアカウントと E メール（ウィルコム）アカウントのどちらもこの方法で受信できます。
受信したメールは「受信フォルダ」に入ります。

1 **初期画面を表示します。**

2 **画面右下の メニュー － アカウント切替 をタップし、メールを受信したいアカウントを選択します。**

3 **メニュー － 送受信 － 受信、または 送受信 をタップします。**
ネットワークに接続し、サーバーにある未受信のメールを受信します。受信が終わると自動的に回線を切断します。
受信したメールは「受信フォルダ」に入ります。

内蔵ワイヤレス LAN を使ってインターネットに接続した場合
2-16 ページをご覧になり、回線を切断してください。

MEMO

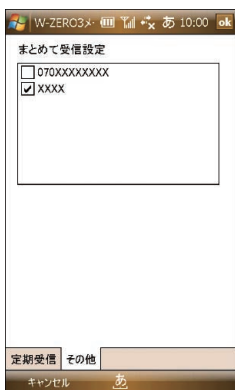
- 複数のアカウントを設定しているとき、一度のメール受信で複数のアカウントのメールを受信することができます（☞次ページ）。
- 受信後にサーバーからメールを削除する設定（☞ 4-6 ページ）にされることをおすすめします。
- 受信中に 中止 をタップするとメールの受信が中止されます。

複数のアカウントのメールを一度に手動受信する

複数のアカウントを設定しているとき、一度にそれらのアカウントのメールを受信(手動)することができます。

1 **初期画面で、設定 − オプション設定 − その他 タブをタップします。**

メールを受信するアカウントの選択設定画面が表示されます。

2 **メールを受信するアカウントにチェックを付け、ok をタップします。**

3 **設定画面で まとめて受信 をタップします。**

インターネットに接続し、手順 **2** でチェックを付けたアカウントのメールを受信します。

受信したメールは各アカウントの「受信フォルダ」に入ります。

受信が終わると自動的に回線を切断し、まとめて受信結果画面が表示されます。

内蔵ワイヤレス LAN を使ってインターネットに接続した場合

2-16 ページをご覧になり、回線を切断してください。

4 **ok をタップします。**

定期受信する

一定間隔で自動的に“W-ZERO3 メール”が起動してネットワークに接続し、未受信のメールを受信します。受信が終わると自動的に回線を切断します(PHS 電話機能でインターネットに接続する場合)。

ご注意

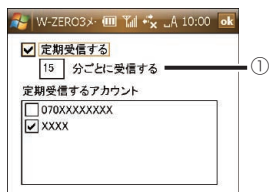
- **定期受信を行うときは、パスワードを保存します**

  定期受信でメールを受信するときは、パスワードを入力し、「パスワードの保存」にチェックを付けておいてください(☞ 4-5 ページ)。チェックを外していると、定期受信できません。

定期受信するアカウントを設定する

1 **初期画面で、設定 − オプション設定 − 定期受信 タブをタップします。**

定期受信の設定画面が表示されます。

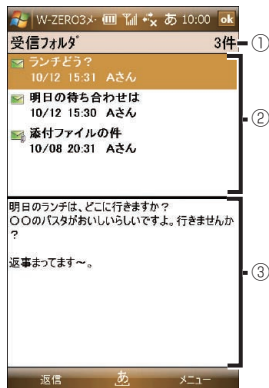
2 **「定期受信する」と「定期受信するアカウント」にチェックを付けます。**

① 10 〜 99 の数字を入力できます。

3 **ok をタップします。**

受信メールを見る

受信したメールは「受信フォルダ」に入ります。

1 初期画面で、受信ボックスをタップします。

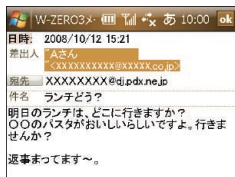
2 受信フォルダや作成したフォルダをタップします。

① 選択したフォルダの中のメール件数が表示されます。

② 選択したフォルダのメールがリスト表示されます。

③ ②で選択しているメールの内容が表示されます。

■「受信メール一覧画面」で表示されるアイコンについて

	未読メール	既読メール
全文取得されている場合		
全文取得され、添付ファイルがある場合		
全文または添付ファイルが取得されていない場合		
添付ファイルが削除されている場合		

3 見たいメールをタップします。

MEMO

- 電話帳にメールアドレスが登録されている場合は、電話帳に登録されている名前が表示されます。ただし、電話帳の名前を変更された場合は、自動的に更新されませんので、W-ZERO3 メールを一度終了させてから再度、起動させてください。
- **メール本文の URL/E メールアドレス / 電話番号を利用する**
  メール本文中の文字列を以下のように認識し、直接電話をかけたり、E メールの作成や電話帳への登録ができます。
  1. URL/E メールアドレス / 電話番号をタップします。
  2. 表示されたメニューから実行したい項目をタップします。

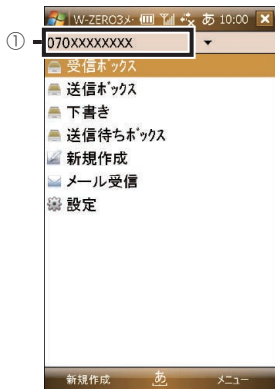
URLと認識する文字列	http://www.xxxx.co.jp など 「http://」や「https://」で始まる半角英数字の文字
Eメールアドレスと認識する文字列	○○○○@△△.pdx.ne.jp など 「@」があり、その前後に1文字以上の半角英数字がある場合
電話番号として認識する文字列	070XXXXXXXX など 0で始まる10～32桁の数字、#、*などの記号 「tel:」または、「TEL:」に続く32桁までの数字、#･*などの記号

アカウントを切り替える

複数のアカウントを作成しているとき、受信メールなどは各アカウントの受信フォルダに入ります。たとえば、Eメール（ウィルコム）アカウントとプロバイダーメールのアカウントの両方を設定している場合、それぞれのアカウントに届いたメールはそれぞれの受信フォルダに入ります。これらのメールを見るときは、アカウントを切り替えて表示します。

1 **初期画面を表示します。**

2 **アカウント名をタップして、アカウントを選択します。**

画面右下の［メニュー］－［アカウント切替］をタップしてもアカウントを切り替えることができます。

① アカウント名が表示されます。

宛先（メールアドレス）を“電話帳”に登録する

受信メールや送信メールのメールアドレス（差出人：/宛先：/Cc：）を“電話帳”に登録し活用できます。

受信メールの送信者（メールアドレス）を“電話帳”に登録する

1 **1件表示画面を表示します。**

2 **登録したいメールアドレスをタップし、表示されたメニューから［電話帳に登録］－［新規登録］をタップします。**

MEMO

- 電話帳に登録する操作は、実際には“連絡先”に登録されます。
- メールアドレスが選択されているとき、画面右下の［メニュー］－［電話帳に登録］－［新規登録］をタップしても登録画面が表示されます。

3 **メールアドレスを登録する項目として電子メール（電子メール2/電子メール3）を選択して、［ok］または画面右下の［決定］をタップします。**

4 **名前の項目に姓名などを入力します。**

電子メール（電子メール2/電子メール3）の項目には、手順**2**で選択したメールアドレスが入っています。

5 **［ok］をタップします。**

確認メッセージが表示されますので［ok］をタップします。
手順**4**で入力した姓や名前で“電話帳”に登録されます。

送信メールの宛先（メールアドレス）を"電話帳"に登録する

1 １件表示画面を表示します。

2 登録したいメールアドレスをタップし、表示されたメニューから [電話帳に登録] − [新規登録] をタップします。

3 これ以降、前記と同様の操作を行い"電話帳"に登録します。

MEMO

- 手順 **2** で [電話帳に登録] − [追加登録] をタップすると追加したい電話帳を選択して登録することができます。

メールの一部／全部を受信する

メールを受信時、メールの一部を受信して、あとで全体を受信することができます。ご購入時の設定は、メール全部（全体）を受信するようになっています。

アカウント設定画面（[動作設定] タブ）(☞ 4-6 ページ）で「受信メッセージをサーバーから削除」にチェックを付けている場合、部分受信をするとサーバーからメールが削除され全部受信ができません。部分受信を行う前に必ず「受信メッセージをサーバーから削除」のチェックを外しておいてください。

メールの一部を受信するように設定する

1 アカウント設定画面（[動作設定] タブ）(☞ 4-6 ページ）を表示します。

2 「受信行数制限設定」にチェックを付け、受信する本文の行数を設定します。
メールの全部を受信するときは、「受信行数制限設定」のチェックを外します（☞ 4-6 ページ）。次のメール受信から、メールの全部を受信します。

MEMO

- 一部を受信したときと全部を受信したときの違いは、受信フォルダなどのリストに表示されるアイコンで区別できます（☞ 4-20 ページ）。
- 一部受信したメール、全部受信したメール共に「受信フォルダ」に入ります。
- 一部受信にしている場合は、設定している受信行数によって、メール全体を受信することがあります。

メールの全部（全体）を受信する

1 全部を受信するメールを表示します。

2 画面右下の [メニュー] − [その他] − [ダウンロード] をタップします。

3 自動的に回線に接続しメール全体を受信します。
受信した後、自動的に回線を切断します。

内蔵ワイヤレス LAN を使ってインターネットに接続した場合

2-16 ページをご覧になり、回線を切断してください。

添付ファイルを見る／保存する／削除する

メールに添付されたファイルを見たり、保存したりすることができます。

添付ファイルを見る

1 **添付ファイルを受信したメールを表示します。**

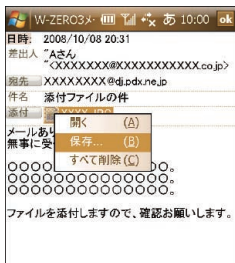
2 **添付ファイルをタップし、表示されたメニューから［開く］をタップします。**
確認メッセージが表示されます。
画面右下の［メニュー］－［添付ファイル］－［開く］をタップしても確認画面が表示されます。

3 **確認画面で［はい］をタップします。**

MEMO

● 添付ファイルが正しく表示されない場合があります。
このようなときは一旦保存（☞下記）してから見るか、1-25 ページをご覧になり、使用していないプログラムを終了してください。
※ファイルによってはすべてのプログラムを終了しても、正しく表示されない場合があります。

添付ファイルを保存する

1 **添付ファイルをタップし、表示されたメニューから［保存］をタップします。**
添付ファイル保存先選択画面が表示されます。
画面右下の［メニュー］－［添付ファイル］－［保存］をタップしても添付ファイル保存先選択画面が表示されます。

2 **ファイルの名前を入力し、保存するフォルダまたは保存する場所を選択します。**

① ファイルの名前を入力します。

② 新規フォルダを作成します。
タップするとフォルダ名を入力する画面が表示されますのでフォルダ名を入力し［ok］をタップします。

③ ファイルを保存するフォルダをタップします。

④ 現在表示中のフォルダ階層より 1 つ上のフォルダ階層へ移動します。

3 **［ok］をタップします。**
ファイルが保存されます。

MEMO

● 保存した添付ファイルは、“ファイルエクスプローラ”から開くことができます。くわしくは 9-9 ページをご覧ください。

4 **表示された画面で［ok］をタップします。**

添付ファイルを削除する

1 **添付ファイルをタップし、表示されたメニューから [すべて削除] をタップします。**

確認画面が表示されます。
画面右下の [メニュー] － [添付ファイル] － [すべて削除] をタップしても確認画面が表示されます。

2 **確認画面で [はい] をタップします。**

メールを返信する／転送する

受信したメールを返信したり、別のメールアドレスに転送したりできます。

メールを返信する

1 **返信するメールを 1 件表示します。**

2 **以下のいずれかの操作を行い、返信画面を表示します。**

- 画面左下の [返信] をタップします。
- 画面右下の [メニュー] － [返信／転送] － [引用返信]、[全員へ返信]、[全員へ引用返信] のいずれかをタップします。

MEMO

- 画面左下の [返信] をタップした場合は、受信メールの本文を引用せずにメールを送ってきた人のみに返信します。
- 画面右下の [メニュー] － [返信／転送] － [引用返信] ：受信メールの本文を引用しメールを送ってきた人のみに返信します。
- 画面右下の [メニュー] － [返信／転送] － [全員へ返信] ：受信メールの本文を引用せずに全員に返信します。
- 画面右下の [メニュー] － [返信／転送] － [全員へ引用返信] ：全員に受信メールの本文を引用し全員に返信します。

3 **返信内容を入力します。**

4 **画面左下の [送信] をタップします。**

正しく送信されるとメッセージが表示されますので [ok] をタップします。
送信が終わると自動的に回線を切断します。

内蔵ワイヤレス LAN を使ってインターネットに接続した場合

2-16 ページをご覧になり、回線を切断してください。

MEMO

- 受信メール本文を引用していない場合でも、返信画面右下の [メニュー] － [その他] － [返信元メッセージ挿入] をタップするとメール本文の最後に返信元メッセージが挿入されます。

メールを転送する

1 **転送するメールを 1 件表示します。**

2 **画面右下の [メニュー] － [返信／転送] － [転送] をタップします。**

3 **宛先を入力します。**

4 **画面左下の [送信] をタップします。**

正しく送信されるとメッセージが表示されますので [ok] をタップします。
送信が終わると自動的に回線を切断します。

内蔵ワイヤレス LAN を使ってインターネットに接続した場合

2-16 ページをご覧になり、回線を切断してください。

メールを未読／既読にする

未読メールを既読メールに、既読メールを未読メールに変更できます。

メールを 1 件だけ未読／既読に変更する

1 受信メール一覧画面などで、未読／既読を変更するメールを選択します。

2 画面右下の［メニュー］－［その他］－［未読にする］または［既読にする］をタップします。

フォルダの中のメールをすべて既読にする

1 「受信ボックス」などでフォルダを選択します。

2 画面右下の［メニュー］－［すべて既読にする］をタップします。

メールを削除する

メールを削除すると、この製品から完全に削除されます。
メールの削除は 1 件表示画面で行えるほか、1 件ずつ削除する方法とチェックを付け複数のメールをまとめて削除する方法、ご自分で作ったフォルダのメールをフォルダごと削除する方法などがあります。

ご注意

- メールを削除すると

以下の方法でメールを削除するとこの製品から削除され、見ることができなくなります。削除するときは、ご注意ください。

メールを 1 件表示画面で削除する

1 1 件表示画面右下の［メニュー］－［削除］をタップします。

2 表示された確認画面で［はい］をタップします。

メールを 1 件だけ削除する

1 受信メール一覧画面などで、削除するメールを選択します。

2 画面右下の［メニュー］－［削除］－［1 件削除］をタップします。

3 表示された確認画面で［はい］をタップします。

手順 **1** で選択したメールのみが削除されます。

MEMO

- 削除するメールをタップしたままにし、表示されたメニューから［削除］を選択しても削除できます。

メールを複数件選択して削除する

1 受信メール一覧画面などで、画面右下の［メニュー］－［削除］－［選択削除］をタップします。

複数のメールを選択できるようになります。

2 削除するメールをタップします。

チェックマーク☑が付きます。
複数のメールを選択することができます。

MEMO

- 削除するメールを選択して、画面左下の［チェック］をタップしてもチェックマーク☑が付きます。
  この手順を繰り返し、削除するメールにチェックを付けても複数のメールを選択することができます。
- チェックを外すときは、☑をタップするか、チェックが付いているメールを選択し、画面左下の［チェック］をタップします。

3 画面右下の［実行］をタップします。

4 表示された確認画面で［はい］をタップします。

手順 **2** で選択した（チェックを付けた）メールが削除されます。

フォルダの中のメールをすべて削除する

1 **受信メール一覧画面などで、画面右下の メニュー ー 削除 ー 全件削除 をタップします。**

2 **表示された確認画面で はい をタップします。**

自分で作ったフォルダとその中のメールをすべて削除する

1 **フォルダ一覧画面で削除するフォルダ（ご自分で作ったフォルダ）を選択します。**

新規フォルダの作成は 4-29 ページをご覧ください。

2 **画面右下の メニュー ー 削除 をタップします。**

3 **表示された確認画面で はい をタップします。**

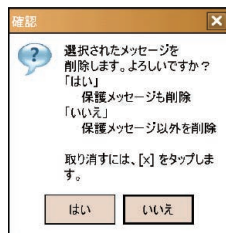
手順 **1** で選択したフォルダとその中に入っているメールがすべて削除されます。

MEMO

- 「受信フォルダ」や「送信フォルダ」などは、削除できません。

保護されたメールの削除について

複数件選択して削除するときやフォルダの中のメールをすべて削除するときに、保護されたメールだけ残せます。削除の操作をすると、以下の確認画面が表示されます。

メールの保護設定については、4-30 ページをご覧ください。

保護されたメールもすべて削除するとき：
はい をタップする

保護されたメール以外すべて削除するとき：
いいえ をタップする

メールの削除を中止するとき：
× をタップする

MEMO

- 1 件表示画面でメールを削除するときは、削除の操作をした後の確認画面で はい をタップするとそのメールを削除し、いいえ をタップするとそのメールの削除を中止します。

サーバーに残っている受信済みメールを削除する

アカウント設定画面（ 動作設定 タブ）（☞ 4-6 ページ）で「受信メッセージをサーバーから削除」のチェックを外しておくと、メールを受信後もサーバーにメールが溜まっていきます。

このようなときは、この製品からサーバーに接続しサーバーに残っている受信済みのメールを削除します。

1 **初期画面で、 設定 をタップします。**

2 **表示された画面で、 サーバーから削除 をタップし、確認画面で はい をタップします。**

インターネットに接続し、サーバーに残っている既読メールを削除します。

3 **表示された画面で ok をタップします。**
自動的に回線を切断します。

内蔵ワイヤレス LAN を使ってインターネットに接続した場合
2-16 ページをご覧になり、回線を切断してください。

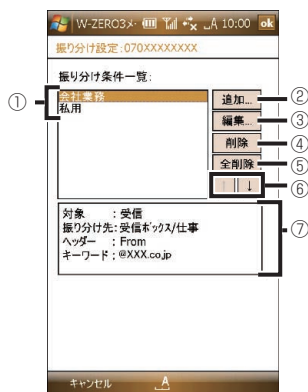
MEMO
- この操作でサーバーから削除されるメールは、受信済みのメールのみです。
まだ、受信していないメールは削除されません。

振り分け条件を設定しメールを振り分ける

振り分け条件を設定し、受信したメールおよび送信済みメールを自動的に指定したフォルダに入れる（振り分ける）ことができます。

メールを自動で振り分ける

送受信したメールを設定した振り分け条件に従って、自動で指定したフォルダに入れる（振り分ける）ことができます。

1 **初期画面で、画面右下の メニュー － その他 － 振り分け設定一覧 をタップします。**
振り分け条件一覧画面が表示されます。

① 振り分け条件を設定した振り分け名が表示されます。リストの上部に表示されている振り分け名が優先されます。

② 振り分けの条件を追加します（☞右記）。

③ 選択している振り分け条件を編集します。

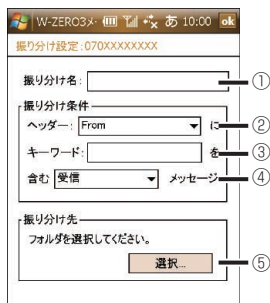
④ 選択している振り分け条件を削除します。

⑤ 振り分け条件をすべて削除します。

⑥ ①のリストで表示されている順番を変更します。振り分け名を選択し、↑ や ↓ をタップし順番を変更します。

⑦ ①で選択している振り分け条件の内容が表示されます。

2 **追加 をタップします。**
振り分け条件設定画面が表示されます。

3 **振り分け名や振り分け条件を設定します。**

① 振り分け条件の名前を入力します。

②「キーワード」欄で入力した文字列を条件とするヘッダーを選択します。

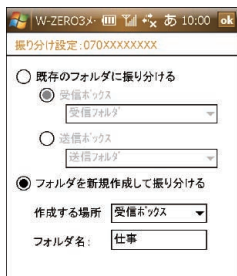
③「ヘッダー」欄で選択した項目に対して、条件として指定する文字列を入力します。

④ 振り分けるメールの対象を選択します。

⑤ 振り分け先を設定します。

4 **選択 をタップします。**

5 「フォルダを新規作成して振り分ける」にチェックを付けて、フォルダを作成する場所を選択し、フォルダ名を入力します。

すでにあるフォルダに振り分ける時は、「既存のフォルダに振り分ける」にチェックを付けて、フォルダを選択します。

MEMO

- 複数のフォルダを選択することはできません。
- 振り分け先として指定するフォルダは、別の振り分け条件でも選択できます。
  たとえば、willcom@xxx.pdx.co.jp の振り分け先に「フォルダ 1」を選択し、sharp@xxx.pdx.co.jp の振り分け先にも「フォルダ 1」を選択できます。
  「フォルダ 1」には、両方から送信されたメールが振り分けられます。

6 ok をタップします。

7 ok をタップします。

振り分け条件一覧画面に戻ります。

8 ok をタップします。

メールを送受信すると、設定した振り分け条件にしたがって振り分けられます。

メールを手動で振り分ける

振り分けしたいメールが保存されているフォルダを選択して、手動で振り分けすることができます。

1 フォルダを選択し、画面右下の メニュー － 振り分け実行 をタップします。

振り分け条件を設定したフォルダにメールが振り分けられます。

MEMO

- 振り分け条件を設定したフォルダの条件を変更して、再度振り分けすることもできます。

設定した振り分け条件を修正する

設定した振り分け条件を編集します。

1 前ページの手順 1 を行い振り分け条件一覧画面を表示し、修正したい振り分け名をタップします。

2 編集 をタップし、修正したい振り分け条件（キーワードなど）を変更します。

3 ok をタップします。

変更した内容を保存し、振り分け条件一覧画面に戻ります。

設定した振り分け条件を削除する

設定した振り分け条件を削除します。

■ 1 つの設定を削除します（1 件削除）

1 前ページの手順 1 を行い振り分け条件一覧画面を表示し、削除したい振り分け名をタップします。

2 削除 をタップします。

3 確認画面で はい をタップします。

手順 1 で選択した振り分け設定が削除されます。

削除されるのは、振り分け設定だけです。振り分けられていたメールは削除されません。

■ すべての設定を削除します（全削除）

1 前ページの手順 1 を行い振り分け条件一覧画面を表示し、 全削除 をタップします。

2 確認画面で はい をタップします。

すべての振り分け設定が削除されます。

削除されるのは、振り分け設定だけです。振り分けられていたメールは削除されません。

メールを整理する

新規にフォルダを作って、メールを関連した仕事別などに整理できます。
新規にフォルダを作成できるのは、「受信ボックス」フォルダと「送信ボックス」フォルダ内のみです。

新規フォルダを作成する

まず、移動するためのフォルダを作成します。

1 フォルダ一覧画面で、画面右下の メニュー － 新規作成 をタップします。

2 フォルダ名を入力し、ok をタップします。
入力した名前のフォルダが、表示されます。

■ メールをまとめて別のフォルダに移動する

1 メール一覧画面で、画面右下の メニュー － その他 － 選択移動 をタップします。

2 移動したいメールをタップします。
複数のメールにチェックを付けることができます。

MEMO
- 移動するメールを選択して画面左下の チェック をタップしてもチェックが付きます。
- チェックを外すときは、✓ をタップするか、チェックが付いているメールを選択して画面左下の チェック をタップします。

3 画面右下の 実行 をタップします。

4 移動先フォルダを選択します。
- 既存のフォルダに移動するときは、「既存のフォルダに移動する」を選択しフォルダを選択します。
- 新規フォルダに移動するときは、「フォルダを新規作成して移動する」を選択しフォルダ名を入力します。

5 ok をタップします。
手順 **4** で選択または新規に作成したフォルダに移動します。

MEMO
- 移動先のフォルダとして、別アカウント内のフォルダを選択することはできません。
- 移動するメールをタップしたままにして、表示されたメニューから 移動 をタップしても移動できます。

■ メールを 1 件だけ別のフォルダに移動する

1 メール一覧画面で、別のフォルダに移動するメールを選択します。

2 画面右下の メニュー － その他 － 1 件移動 をタップします。

3 移動先フォルダを選択します
- 既存のフォルダに移動するときは、「既存のフォルダに移動する」を選択しフォルダを選択します。
- 新規フォルダに移動するときは、「フォルダを新規作成して移動する」を選択しフォルダ名を入力します。

4 ok をタップします。
手順 **3** で選択または新規に作成したフォルダに移動します。

■ メールを全件別のフォルダに移動する

1 メール一覧画面で、画面右下の メニュー － その他 － 全件移動 をタップします。

2 移動先フォルダを選択します
- 既存のフォルダに移動するときは、「既存のフォルダに移動する」を選択しフォルダを選択します。
- 新規フォルダに移動するときは、「フォルダを新規作成して移動する」を選択しフォルダ名を入力します。

3 ok をタップします。
手順 **2** で選択または新規に作成したフォルダに移動します。

フォルダの名前を変更する

1 **フォルダ一覧画面で、名前を変更したいフォルダをタップしたままにし、表示されたメニューから 名前の変更 をタップします。**
フォルダ名の変更画面が表示されます。

MEMO

● 名前を変更したいフォルダを選択し、画面右下の メニュー － 名前の変更 をタップしても名前を変更できます。

2 **名前を変更して ok をタップします。**
「受信フォルダ」や「送信フォルダ」などのフォルダ名は変更できません。

フォルダを削除する

フォルダを削除すると、そのフォルダ内のメールも削除されますのでご注意ください。

1 **削除したいフォルダを選択し、画面右下の メニュー － 削除 をタップします。**
確認画面が表示されます。

2 **はい をタップします。**
「受信フォルダ」や「送信フォルダ」などのフォルダは削除できません。

メールを保護する／保護を解除する

受信したメールや送信したメールは受信フォルダや送信フォルダなどに入り、この製品に保存されます。
アカウントの設定（動作設定 タブ）で保存するメールの件数に制限を設定（☞ 4-6 ページ）した場合、この制限を超えてメールを受信したり送信すると古いメールから削除されます。
この保存メールの件数に制限を設定しているとき、削除したくないメールを保護設定することにより、制限を超えても削除されずに残すことができます。
また、未読のメールも削除されずに残ります。

メールを保護する

1 **メール一覧画面を表示します。**

2 **保護するメールを選択し、画面右下の メニュー － 保護 をタップします。**
保護されたメールのアイコンに が表示されます。

ご注意

● **保護メールと未読メールの件数が制限値を超えたときは**

保護メールと未読メールの件数が保存するメールの制限値（☞ 4-6 ページ）を超えた場合は、メール受信ができなくなりますのでご注意ください。このようなときは、保護メールの中で削除してもよいメールを保護解除してください。

保護を解除する

1 **保護しているメールを選択します。**

2 **画面右下の メニュー － 保護解除 をタップします。**
保護が解除され、メールのアイコンに表示されていた が消えます。

保存メールの制限について

保存メールの制限は「受信ボックス」／「送信ボックス」が対象となり、「受信ボックス」と「送信ボックス」のメールの合計が制限値を超えると、送信した日時が一番古いメールから削除されます。
なお、「送信待ちボックス」、「下書き」は対象外です。

■ 制限値を超えて受信したり送信した場合

制限値を超えてメール受信または送信すると、保護メールと未読メールを除いて送信した日時が一番古いメールから削除されます。
最近受信して「受信ボックス」に入ったメールでも、送られた日時が古いと、そのメールは最近のメールではなく、古いメールとして扱われます。
たとえば、1 週間程度メール受信を行わず今日になって受信したメールでも、送信されたのが 1 週間以上前のメールはその日時（送信された日時）のメールとして扱われます。受信した日時ではなく送信された日時に注意してください。

エクスポート（書き出し）／インポート（読み込み）する

メール本文や添付ファイルを書き出したり（エクスポート）、読み込んだり（インポート）できます。エクスポートやインポートをするとEML形式をサポートしているパソコンのアプリケーションなどとファイルのやり取りができます。

■ メールをまとめてエクスポートする

1 **メール一覧画面で、画面右下の［メニュー］－［その他］－［選択エクスポート］をタップします。**

2 **エクスポートしたいメールをタップします。**
複数のメールにチェックを付けることができます。

MEMO
- エクスポートするメールを選択して画面左下の［チェック］をタップしてもチェックが付きます。
- チェックを外すときは、☑をタップするか、チェックが付いているメールを選択して画面左下の［チェック］をタップします。

3 **画面右下の［実行］をタップします。**

4 **出力先を指定して［ok］をタップします。**
エクスポートが終わるとメッセージが表示されますので［ok］をタップします。

MEMO
- 出力先にmicroSDカードを指定することもできます。

■ メールを1件だけエクスポートする

1 **メール一覧画面で、エクスポートしたいメールを選択します。**

2 **画面右下の［メニュー］－［その他］－［1件エクスポート］をタップします。**

3 **出力先を指定して［ok］をタップします。**
エクスポートが終わるとメッセージが表示されますので［ok］をタップします。

■ メールを全件エクスポートする

1 **メール一覧画面で、画面右下の［メニュー］－［その他］－［全件エクスポート］をタップします。**

2 **出力先を指定して［ok］をタップします。**
エクスポートが終わるとメッセージが表示されますので［ok］をタップします。

■ インポートする

メールの本文（添付ファイルを含む）を読み込みます。

1 **初期画面で、画面右下の［メニュー］－［その他］－［インポート］をタップします。**

2 **インポート先を選択します。**
- 既存のフォルダにインポートするときは、「既存のフォルダにインポートする」を選択しフォルダを選択します。
- 新規フォルダにインポートするときは、「フォルダを新規作成してインポートする」を選択し、作成する場所を選択してフォルダ名を入力します。

3 **［ok］をタップします。**

4 **インポートするデータを選択し、［ok］をタップします。**
インポートが終わるとメッセージが表示されますので［ok］をタップします。

メールの内容を予定表、仕事に登録する

メールの本文を予定表のメモ、または仕事のメモとして登録することができます。

1 **予定表または仕事に登録したいメールを一件表示します。**

2 **画面右下の メニュー － その他 － 予定表に登録 （または 仕事に登録 ）をタップします。**

予定表または仕事の新規入力画面が表示されます。

件名には、選択したメールの件名が入ります。

3 **各項目を設定して ok をタップします。**

4 **表示された画面で ok をタップします。**

MEMO

- 登録するメール本文の中に、「題名」「テーマ」などのタイトルを表す文字があると、「題名」などに続く文字が件名に入力されます。
- メール本文を範囲指定して、選択した部分だけを登録することもできます。
- 手書きメールの手書き画像は登録できません。

W-ZERO3 メールのメニュー

初期画面のメニュー

送受信	受信	メールの受信をする。
	送信	「送信待ちボックス」に保存されているメールを送信する。
	送受信	「送信待ちボックス」に保存されているメールの送信と受信を一度に行う。
アカウント切替		アカウントを複数設定している場合、アカウントを切り替える。
その他	インポート	メールを読み込みする。
	振り分け設定一覧	表示しているアカウントの振り分け設定画面を表示する。
バージョン情報		W-ZERO3 メールのバージョンを表示する。

受信ボックス／送信ボックスのメニュー

新規作成	新しくフォルダを作成する。
名前の変更	選択しているフォルダ名を変更する。
削除	選択しているフォルダを削除する。
並び替え	フォルダを並び替える。
すべて既読にする	選択しているフォルダ内のメールをすべて既読にする。
振り分け実行	設定している条件にしたがって、振り分けを行う。

メール一覧画面のメニュー

返信／転送※1	**引用返信**	本文を引用してメールを返信する。
	全員へ返信	メールを全員に返信する。
	全員へ引用返信	本文を引用してメールを全員に返信する。
	転送	メールを転送する。
再送信※2		選択しているメールを再度送信する。
送信※3		選択しているメールを送信する。
削除	**1 件削除**	選択しているメールを削除する。
	選択削除	メールを複数選択し、削除する。
	全件削除	表示しているフォルダ内のメールをすべて削除する。
保護／保護解除※4		選択しているメールを保護／保護解除する。
並び替え	**差出人**	差出人順で並び替える。
	件名	件名順で並び替える。
	日時	日時順で並び替える。
	未読優先※4	未読優先順で並び替える。
その他※4	**1 件移動**	選択しているメールを別のフォルダに移動する。
	選択移動	メールを複数選択し、別のフォルダに移動する。
	全件移動	表示しているフォルダ内のメールをすべて別のフォルダに移動する。
	1件エクスポート	選択しているメールを書き出しする。
	選択エクスポート	メールを複数選択し、書き出しする。
	全件エクスポート	表示しているフォルダ内のメールをすべて書き出しする。
	未読にする	選択しているメールを未読にする。
	既読にする	選択しているメールを既読にする。
	振り分け設定	表示しているアカウントの振り分け設定画面を表示する。

※1　受信フォルダなどのメール一覧画面で表示されます。
※2　送信フォルダなどのメール一覧画面で表示されます。
※3　送信待ちボックス／下書きのメール一覧画面で表示されます。
※4　受信フォルダなど／送信フォルダなどのメール一覧画面で表示されます。

編集画面のメニュー

アドレス入力※1	電話帳	電話帳を起動し、メールアドレスを引用する。
	メール送信履歴	メール送信履歴画面をリスト表示し、メールアドレスを引用する。
	メール受信履歴	メール受信履歴画面をリスト表示し、メールアドレスを引用する。
絵文字※2		Web 用絵文字入力パッドを表示する。画面右下の 絵文字 をタップすると絵文字入力パッドに切り替わる。 絵文字入力パッドを表示している場合、Web 用絵文字 をタップすると Web 用絵文字入力パッドに切り替わる。
顔文字※2		顔文字入力パッドを表示する。
保存		作成途中のメールを「下書き」に保存する。
編集	コピー	範囲指定している部分をコピーする。
	切り取り	範囲指定している部分を切り取る。
	貼り付け	コピーおよび切り取った部分を貼り付ける。
切り替え	デコラティブメールへ	デコラティブメールの編集画面に切り替える。
	手書きメールへ	手書きメールの編集画面に切り替える。
テキストメールへ※3		テキストメールの編集画面に切り替える。
その他※2	返信元メッセージ挿入	返信時、返信元のメッセージを挿入する。
	添付ファイル挿入	ファイルを添付する。
	添付ファイル削除	添付しているファイルを削除する。
	署名挿入	本文に署名を挿入する。
テンプレート※4	呼出	保存したテンプレートを呼び出す。
	保存	現在作成中のメールをテンプレートとして保存する。
装飾パレット※4		装飾パレットを表示する。
手書きを全消去※5		画像編集エリアの内容をすべて消去する。
元に戻す※5		ひとつ前の状態に戻す。
やり直し※5		直前の操作を繰り返す。

※1　アドレス入力欄にカーソルがあるときに表示されます。
※2　手書きメール（手書き タブ）のときは、表示されません。
※3　デコラティブメール、手書きメールのときに表示されます。
※4　デコラティブメールのときのみ表示されます。
※5　手書きメールの 手書き タブのときのみ表示されます。

1 件表示画面のメニュー

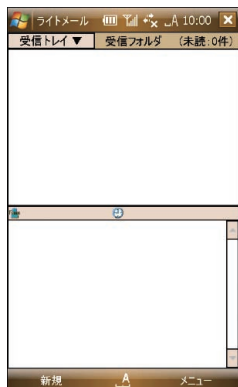
<table>
<tr><td rowspan="4">返信／転送※1</td><td>引用返信</td><td>本文を引用してメールを返信する。</td></tr>
<tr><td>全員へ返信</td><td>メールを全員に返信する。</td></tr>
<tr><td>全員へ引用返信</td><td>本文を引用してメールを全員に返信する。</td></tr>
<tr><td>転送</td><td>メールを転送する。</td></tr>
<tr><td colspan="2">再送信※2</td><td>表示しているメールを再度送信する。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">電話帳に登録</td><td>新規登録</td><td>表示しているメールの宛先を電話帳へ新規に登録する。</td></tr>
<tr><td>追加登録</td><td>表示しているメールの宛先を電話帳へ追加で登録する。</td></tr>
<tr><td colspan="2">削除</td><td>表示しているメールを削除する。</td></tr>
<tr><td colspan="2">保護／保護解除</td><td>表示しているメールを保護／保護解除する。</td></tr>
<tr><td colspan="2">コピー</td><td>範囲指定している部分をコピーする。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">添付ファイル</td><td>開く</td><td>表示しているメールの添付ファイルを開く。</td></tr>
<tr><td>保存</td><td>表示しているメールの添付ファイルを保存する。</td></tr>
<tr><td>すべて削除</td><td>表示しているメールの添付ファイルをすべて削除する。</td></tr>
<tr><td colspan="2">手書き画像保存※3</td><td>表示しているメールの手書き画像を保存する。</td></tr>
<tr><td rowspan="8">その他</td><td>NAVITIME で検索</td><td>NAVITIME を起動する。</td></tr>
<tr><td>移動</td><td>表示しているメールを移動する。</td></tr>
<tr><td>予定表に登録</td><td>表示しているメールの内容を予定表に登録する。</td></tr>
<tr><td>仕事に登録</td><td>表示しているメールの内容を仕事に登録する。</td></tr>
<tr><td>振り分け設定</td><td>振り分け名や振り分け条件を設定する（☞ 4-27 ページ）。</td></tr>
<tr><td>ダウンロード</td><td>一部を受信したメールの全部（全体）を受信する。</td></tr>
<tr><td>ヘッダ表示</td><td>ヘッダ情報を表示する。</td></tr>
<tr><td>簡略表示</td><td>「宛先」、「Cc」、「件名」の各項目 4 行以上になっている場合（画面上の行数が 4 行以上になっている場合）、各項目を 3 行まで表示する。簡略表示 にしている場合、このメニューは すべて表示 になる。すべて表示 をタップすると、各項目がすべて表示される。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">デコラティブメール※4</td><td>ブラウザで表示</td><td>ブラウザでメールを表示する。</td></tr>
<tr><td>テンプレート保存</td><td>表示しているメールをテンプレートとして保存する。</td></tr>
</table>

※1　受信ボックスのときのみ表示されます。
※2　送信ボックスのときのみ表示されます。
※3　手書きメール（手書き タブ）でのみ表示されます。
※4　デコラティブメールを表示しているときのみ表示されます。

ライトメールを作って送る

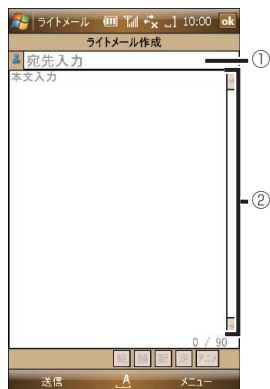
ライトメールを作って送ります。

1 **スタート メニューの“ライトメール”をタップします。**

“ライトメール”が起動します。

MEMO

● ご購入時、ライトメールの画面は2分割されています。これを3分割にして、フォルダを表示することができます（「受信トレイ」／「送信トレイ」のフォルダ部、リスト表示部、ライトメール本文）。表示の切り替えについては、4-42ページをご覧ください。ここでは、2分割画面を例に説明します。

2 **画面左下の 新規 をタップします。**

新規作成画面が表示されます。

① 宛先入力欄

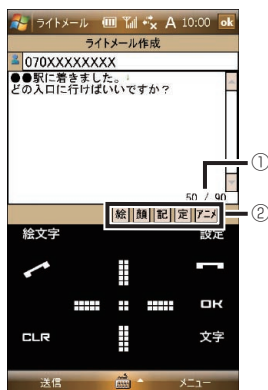
② 本文入力欄

3 **宛先入力欄をタップしてカーソルを表示し、ダイヤルキーなどで電話番号（宛先）を入力します。**

MEMO

● “電話帳”に登録している電話番号やライトメール送信履歴／受信履歴などを宛先として利用できます。また、“電話帳”に電話番号と名前を登録している宛先を引用したときは、宛先入力欄に名前を表示します。これらについては、4-46ページをご覧ください。

4 本文入力欄をタップしてカーソルを表示し、本文を入力します。

入力できる文字数は全角 45 文字（半角 90 文字）です。

① 入力した文字数が表示されます。
分母の 90 は、半角 90 文字のことです。全角 1 文字を入力すると、分子が 2 つ増えます。

② タップすると絵文字などを入力するパッドが表示されます。

絵 ：絵文字が入力できます。
画面右下の Web 用絵文字 をタップすると Web 用絵文字が入力できます。

顔 ：顔文字が入力できます。

記 ：記号が入力できます。

定 ：定型文が入力できます。

アニメ ：アニメーション絵文字が入力できます。
（☞ 4-47 ページ）

5 本文の入力が終わったら、画面左下の 送信 または キーをタップします。

メールが送信されます。送信したメールは送信済フォルダに入ります。

・相手が通話中／電源が入っていない／圏外などのときは、「メール送信に失敗しました 再送信しますか？」と表示されます。この画面で はい をタップすると再送信を行います。再送信を行っても送信されないときは、再度「メール送信に失敗しました 再送信しますか？」と表示されますので、 いいえ をタップし送信待フォルダに入れます。あとでこのメールを再送信する方法については 4-45 ページをご覧ください。

・通話／通信機能を制限（☞ 3-23 ページ）しているときは、ライトメールの送信はできません。

・メールの作成を途中で止めるときは、画面右下の メニュー － 編集中止 をタップします（ ok をタップしても同様の操作になります）。表示されたメッセージで はい をタップすると下書きフォルダに保存されます。ここで いいえ をタップすると作成中のメールは保存されません。

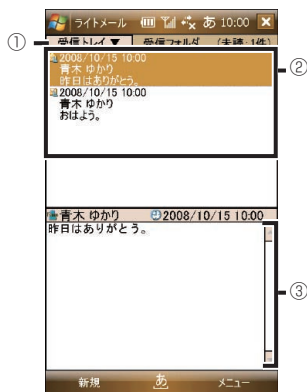
MEMO

- 入力できる宛先（電話番号）は、1 つだけです。複数の相手を宛先にできません。
- ライトメールでは分計発信はできません。
- ライトメールを送信するとご購入時は相手に自分の電話番号を通知するように設定されています。この設定を変える（常に通知しないようにする）には、3-23 ページをご覧になり設定を変更してください。
また、1 回だけ電話番号を通知しないようにするときは、画面右下の メニュー － 184 送信 をタップします。
- ライトメール作成中に電話がかかってきた場合でも、作成中の状態は保持されています。

受信したライトメールを読む

1 **ライトメールを受信すると、着信音が鳴ります。**
また、Today画面（待ち受け画面）に「未読ライトメール：○件」と表示され未読のライトメールがあることが分かります（☞ 1-11 ページ）。

2 **Today画面（待ち受け画面）の「未読ライトメール：○件」をタップして、“ライトメール”を起動します。**

3 **読みたいメールを選択します。**
ライトメールの本文が画面下部に表示されます。

① 受信トレイ▼ などをタップして、フォルダを切り替えます。

② 選んだフォルダ（トレイ）内のメールが表示されます。ここで、読みたいメールを選択します。
：未読メール　　：既読メール

③ ライトメールの本文が表示されます。

4 **別のライトメールを読むときは、別のメールをタップします。**

MEMO

● **メール本文のURL/Eメールアドレス/電話番号を利用する**
メール本文中の文字列を以下のように認識し、直接電話をかけたり、Eメールの作成や電話帳への登録ができます。
1 URL/Eメールアドレス/電話番号をタップします。
2 表示されたメニューから実行したい項目をタップします。

URLと認識する文字列	http://www.xxxx.co.jp など 「http://」や「https://」で始まる半角英数字の文字
Eメールアドレスと認識する文字列	○○○○@△△.pdx.ne.jp など 「@」があり、その前後に1文字以上の半角英数字がある場合
電話番号として認識する文字列	070XXXXXXXX など 0で始まる10～32桁の数字、#、*などの記号 「tel:」または、「TEL:」に続く32桁までの数字、#・*などの記号

作成中のライトメールを下書きとして保存する

作りかけたメールを送信せずにいったん保存し、あとで追加や修正し送信できます。

メールを下書きとして保存する

1 **4-37 ～ 38 ページの手順 1 ～ 4 と同様にメールを作ります。**

2 **画面右下の［メニュー］－［編集中止］をタップします。**

MEMO
- ●［ok］をタップしても同様の操作になります。

3 **表示された確認画面で、［はい］をタップします。**
［いいえ］をタップすると、保存されません。
作りかけていたメールが下書きフォルダに入ります。このメールは送信されずに、下書きメールとして保存されます。
また、［キャンセル］をタップすると、メール作成画面に戻ります。

下書きとして保存しているメールに追加や修正し送信する

1 **下書きフォルダを選択します。**
下書きフォルダに入っているメールが表示されます。

2 **編集するメールをタップし、画面右下の［メニュー］－［編集］をタップします。**

3 **メール本文の追加や修正をします。**

4 **画面左下の［送信］または［✓］キーをタップします。**
メールが送信されます。送信したメールは、送信済フォルダに入ります。

保存できるライトメールの件数

この製品に保存できるライトメールには、次のような制限があります。

保存できる件数
- ・受信ライトメール：最大 200 件まで保存できます。
- ・送信ライトメール：最大 100 件まで保存できます。
  ※送信ライトメールは、送信済みメール、送信待ちメール、下書きメールすべての合計が最大 100 件です。

最大件数を超えて受信したり送信した場合
- ・最大件数を超えて受信すると、保護ライトメール（※）を除いて一番古い既読ライトメールから削除され、既読ライトメールがなくなると一番古い未読ライトメールから自動的に削除されていきます。
  このようなときは、未読メールを読み既読メールにしたり、保護メールの中で削除してもよいメールを保護解除してください。
- ・送信時も最大件数を超えて送信すると、未送信メールと保護ライトメール（※）を除き、一番古いメールから自動的に削除されます。
  ただし、未送信メールが 50 件、保護メールが 50 件など（保存件数が最大で削除されないメールのみの状態）では、新規メールの作成はできません。このようなときは、未送信メールを送信して送信済みのメールにしたり、保護メールの中で削除してもよいメールを保護解除してください。
  ※削除したくないメールがあるときは保護し、削除されないように設定できます。保護の設定については次ページをご覧ください。

ライトメールを保護する／保護を解除する

保存されるライトメールの件数には制限（☞前ページ）があり、この制限を超えてライトメールを受信したり送信すると古いライトメールから削除されます。
削除したくないライトメールは保護設定することにより、削除されずにフォルダに残ります。

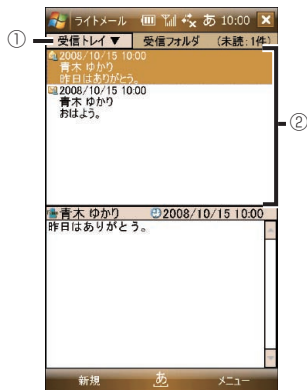
保護できる件数

・送信トレイ：最大 50 件まで保護できます。
・受信トレイ：最大 100 件まで保護できます。

保護する

1 **受信トレイ画面、または送信トレイ画面を表示します。**

2 **保護するライトメールを選択し、画面右下の メニュー － 保護 をタップします。**

保護されたライトメールには、🔒が表示されます。

① 受信トレイ▼ などをタップして、フォルダを切り替えます。

② 保護するライトメールを選択します。

MEMO

● 3 分割画面（次ページ）では、手順 **2** で保護するライトメールを必ず選択してください。手順 **1** の受信トレイや送信トレイなどが選択された状態では、メニュー － 保護 は表示されません。

保護を解除する

1 **保護しているメール（🔒が表示されているメール）を選択します。**

2 **画面右下の メニュー － 保護 をタップします。**

保護が解除され、🔒が消えます。

4 メール

ライトメール

２分割画面と３分割画面を切り替える

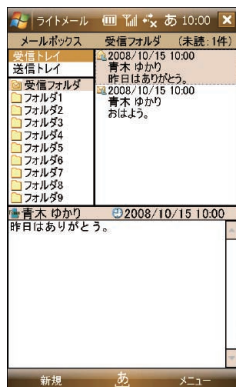
ご購入時、ライトメールの画面は２分割されています。これを３分割にしてフォルダを表示することができます。

1 受信トレイ画面または送信トレイ画面を表示し、画面右下の メニュー − 設定 をタップします。

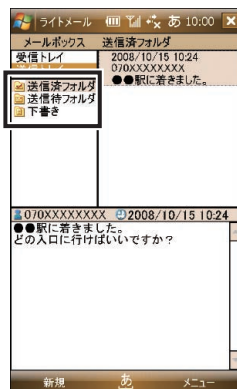
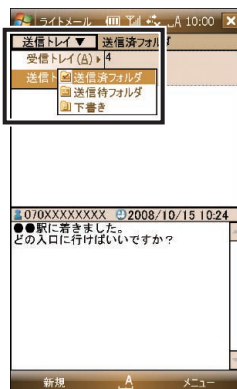
2 その他設定 タブをタップし、「表示設定」の項目を ２分割画面 または ３分割画面 に切り替えます。

3 ok をタップします。
画面が切り替わります。

■ ２分割画面

■ ３分割画面

３分割画面でフォルダを切り替える

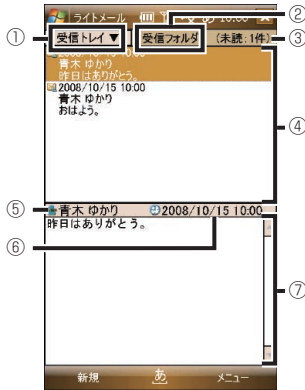
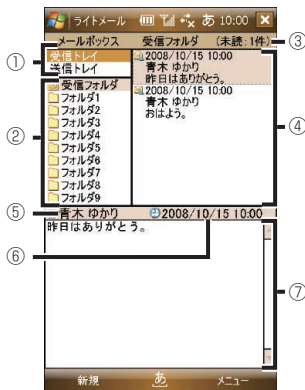
1 ３分割画面で 送信トレイ などをタップし、送信済フォルダ などをタップします。

■ ３分割画面のとき

■ ２分割画面のとき

２分割画面では上記のように表示されます。

ライトメールの画面について

ここでは、ライトメールの画面について説明します。

受信トレイ画面

■ 2分割画面

■ 3分割画面

① 2分割画面：「受信トレイ」／「送信トレイ」の切り替えとフォルダを切り替えます。
 3分割画面：「受信トレイ」と「送信トレイ」を切り替えます。
 切り替え方法は、前ページの「3分割画面でフォルダを切り替える」をご覧ください。

② 2分割画面：前ページの「3分割画面でフォルダを切り替える」で選択したフォルダが表示されます。
 3分割画面：受信トレイ内のフォルダがリスト表示されます。

③ ②で選択しているフォルダ内の未読メール件数が表示されます。

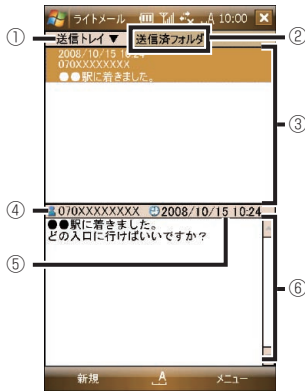
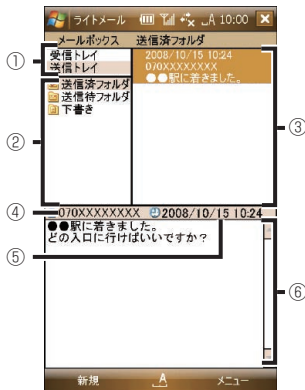
④ ②で選択しているフォルダ内のメールがリスト表示されます。
 リスト表示は、各メールを3行で表示するモードと1行で表示するモードがあります。④でメールを選択しているとき（フォーカスがある状態）、画面右下の［メニュー］－［行数切替］－［1行表示］または［3行表示］を選択し、切り替えます。
 また並び順を受信した順、差出人（電話番号）にできます。［メニュー］－［並び替え］－［受信順］または［差出人順］を選択します。

⑤ 送信者の電話番号が表示されます。
 ・“電話帳”に送信者の電話番号が登録されているときは、その名前が表示されます。
 ・相手が電話番号を通知していないときは、「非通知」と表示されます。
 ・相手が通知できないエリアや電話機からのときは、「通知不可能」と表示されます。
 ・公衆電話からのときは、「公衆電話発信」と表示されます。

⑥ 受信日時が表示されます。

⑦ 受信したライトメールの本文が表示されます。

送信トレイ画面

■ 2 分割画面

■ 3 分割画面

① 2 分割画面：「受信トレイ」／「送信トレイ」の切り替えとフォルダを切り替えます。

3 分割画面：「受信トレイ」と「送信トレイ」を切り替えます。
切り替え方法は、4-42 ページの「3 分割画面でフォルダを切り替える」をご覧ください。

② 2 分割画面：4-42 ページの「3 分割画面でフォルダを切り替える」で選択したフォルダが表示されます。

3 分割画面：送信トレイ内のフォルダがリスト表示されます。

③ ②で選択しているフォルダ内のメールがリスト表示されます。

リスト表示は、各メールを 3 行で表示するモードと 1 行で表示するモードがあります。③でメールを選択しているとき（フォーカスがある状態）、画面右下の［メニュー］－［行数切替］－［1 行表示］または［3 行表示］を選択し、切り替えます。

また並び順を送信した順、宛先（電話番号）にできます。［メニュー］－［並び替え］－［送信順］または［宛先順］を選択します。

④ ③で選択しているメールの宛先（電話番号）が表示されます。

“電話帳”に宛先の電話番号が登録されているときは、その名前が表示されます。

⑤ 送信した日時が表示されます。

下書きメールの場合は、下書きフォルダに保存した日時が表示されます。

送信待メールの場合は、送信できずに送信待フォルダに保存した日時が表示されます。

⑥ ライトメール本文が表示されます。

相手に自分の電話番号を通知する／通知しない

ライトメールを送信したとき、自分の電話番号を通知したり、非通知にしたりできます。
ご購入時は電話番号を通知する設定になっていますので、4-37ページの手順にしたがって操作したときは、自分の電話番号は通知されます（この設定は電話と共通です）。
ここでの操作は、通常、通知になっている状態を一度だけ非通知にするためのものです（非通知になっている状態を一度だけ通知にするときも同様）。常に通知から非通知に変更するときは、3-23ページをご覧ください。

1 ライトメールを作成します（☞4-37ページ）。

2 画面右下の［メニュー］－［184送信］をタップします。
この場合、自分の電話番号を通知せずにライトメールを送信します。

MEMO
- 手順 **2** の［184送信］、［186送信］について
  ［184送信］：相手に自分の電話番号を通知しません。
  ［186送信］：非通知にしているとき、相手に自分の電話番号を通知します。
- ライトメールでは分計発信はできません。

未送信のメールを再送信する

送信を実行したが、相手が話し中やエリア外などでライトメールを送信できなかったときは、未送信メールとして送信待フォルダに残っています。この送信待フォルダに入っているメールをあとで送ることができます。

メールを選択して送信する

1 送信トレイ画面を表示します。

2 送信待フォルダを選択し、送信待フォルダ内のメールを表示します。

3 送信するメールを選択（反転）します。

4 画面右下の［メニュー］－［送信］をタップします。
メールが送信されます。送信したメールは、送信済フォルダに入ります。

MEMO
- 手順 **3** でメールの宛先や本文をタップすると、手順 **4** では画面左下の［送信］をタップしメールを送信します。
- 手順 **3** で送信するメールをタップしたままにして、表示されるメニューから［送信］を選択してもメールが送信されます。

メールを一括送信する

送信待フォルダに入っているメールを一括して送ることができます。

1 送信待フォルダを選択します。

2 画面右下の［メニュー］－［一括送信］をタップします。
メールが順番に送信されます。送信したメールは、送信済フォルダに入ります。

メールを返信する／転送する

メールを返信する

受信したライトメールを返信します。

1 受信トレイ画面を表示し、返信するメールを選択（反転）します。

2 画面右下の［メニュー］－［返信］をタップします。

MEMO
- 返信するメールをタップしたままにして、表示されるメニューから［返信］を選択してもメール作成画面が表示されます。
- 電話帳に電話番号と名前を登録している宛先へ返信したときは、宛先入力欄に名前が表示されます。ただし、宛先入力欄に表示されている名前を編集すると、ライトメールを送信できなくなります。
- 電話帳に登録している名前を入力しても、ライトメールを送信できません。

3 メール作成画面が表示されます。
宛先には手順 **1** で選択したメールの送信者（名前または電話番号）が表示され、本文には、受信したときの本文が表示されています。

4 本文を追加／修正して、画面左下の 送信 をタップします。
メールを送信します。

メールを転送する

受信したライトメールを別の人に転送します。

1 受信トレイ画面を表示し、転送するメールを選択（反転）します。

2 画面右下の メニュー － 転送 をタップします。

MEMO

- 転送するメールをタップしたままにして、表示されるメニューから 転送 を選択してもメール作成画面が表示されます。

3 メール作成画面が表示されます。
本文には、受信メールの本文が表示されています。

4 宛先を入力します。

5 本文を追加／修正して、画面左下の 送信 をタップします。
メールを送信します。

送信時、宛先に受信履歴／送信履歴／電話帳を利用する

ライトメールおよびチャットモード時、受信ライトメールの送信者（電話番号）や一度送信した宛先（電話番号）、"電話帳"に登録している電話番号を宛先に利用できます。

MEMO

- 電話帳に電話番号と名前を登録している宛先を履歴画面から引用、または電話帳から引用したときは、宛先入力欄に名前が表示されます。ただし、宛先入力欄に表示されている名前を編集すると、ライトメールを送信できなくなります。
- 電話帳に登録している名前を入力しても、ライトメールを送信できません。

ライトメールの受信履歴を利用する

受信したライトメールの送信者の電話番号を宛先として利用できます。

1 ライトメール（☞ 4-37 ページ）およびチャットモード（☞ 4-51 ページ）の新規作成画面を表示します。

2 宛先入力欄にカーソルがあることを確認し、画面右下の メニュー － 引用 － ライトメール受信履歴 をタップします。
履歴画面が表示されます。

3 目的の宛先をタップします。
新規作成画面に戻り、宛先（名前または電話番号）が入力されます。
以降ライトメールは 4-37 ページ、チャットモードは 4-51 ページと同様に本文を入力し送信します。

MEMO

- 手順 **2** で、宛先入力欄をタップしたままにして、ポップアップメニューから 引用 － ライトメール受信履歴 をタップしても履歴画面が表示されます。

ライトメールの送信履歴を利用する

一度送信したライトメールの宛先（電話番号）を再度、宛先として利用できます。

1 新規作成画面を表示します。

2 宛先入力欄にカーソルがあることを確認し、画面右下の メニュー － 引用 － ライトメール送信履歴 をタップします。
履歴画面が表示されます。

3 目的の宛先をタップします。
新規作成画面に戻り、宛先（名前または電話番号）が入力されます。
以降、同様にメールを作成し送ります。

“電話帳”を利用する

“電話帳”に登録している電話番号を宛先として利用できます。

1 新規作成画面を表示します。

2 宛先入力欄にカーソルがあることを確認し、画面右下の[メニュー]－[引用]－[電話帳]をタップします。

① 50 音タブをタップして相手を探します。

MEMO

- リスト表示には、電話番号は表示されません。
- 電話帳に多くの人を登録しているときは、50 音タブをタップ、または画面左下の[検索]をタップし、名前の読みなどを入力して目的の相手を探します。

3 電話帳の選択画面で、メールを送信する相手をタップします。

4 電話番号の選択画面が表示されます。

手順 **3** で選択した相手に登録している電話番号が表示されます。

5 目的の電話番号をタップします。

新規作成画面に戻り、宛先が入力されます。
以降、本文を作成し送信します。

電話着信履歴／電話発信履歴を利用する

1 新規作成画面で、宛先入力欄にカーソルがあることを確認し、画面右下の[メニュー]－[引用]－[電話着信履歴]または[電話発信履歴]をタップします。

2 表示された履歴画面で、目的の宛先をタップします。

新規作成画面に戻り、宛先（名前または電話番号）が入力されます。
以降、本文を作成し送信します。

顔文字などの入力や電話帳などから引用する

顔文字などを入力する

この製品に入っている記号、顔文字などを入力できます。

1 本文にカーソルがあることを確認し、画面下部の[顔]などをタップします。

① タップすると顔文字などの入力パッドが表示されます。

2 表示された入力パッドから入力したい文字を 1 回または 2 回タップします。

MEMO

入力を止めるときは

- 絵文字、Web 用絵文字、アニメ絵文字の場合は、画面左下の[閉じる]をタップします。
- 顔文字、記号、定型文の場合は、ダイヤルキーモードの[CLR]キーをタップします。

MEMO

- 手順 **1**（☞前ページ）で画面右下の メニュー − 特殊文字入力 − 顔文字 などをタップしても入力パッドが表示されます。Web 用絵文字を入力するときは、画面下部の 絵 をタップし、表示された画面右下の Web 用絵文字 をタップすると Web 用絵文字の入力ができます。
- コード入力をするときは、画面右下の メニュー − 特殊文字入力 − コード入力 をタップし、表示された画面に区点コード（☞付属の CD-ROM に収録のアプリケーションマニュアル）を入力します。
- 定型文の編集はできません。
- アニメーション絵文字は、アニメーション絵文字対応機種どうしでやり取りできます。
- チャットモードではアニメーション絵文字は、使えません。

電話帳などから引用する

1 **本文にカーソルがあることを確認し、画面右下の メニュー − 引用 − 電話帳 などをタップします。**

2 **表示された選択画面から目的の宛先をタップします。**

3 **引用する項目（名前や電話番号など）をタップすると、この項目が入力されます。**

MEMO

- 手順 **1** で プロフィール を選択すると、自局電話番号または E メールアドレスを引用できます。

ライトメールの電話番号を“電話帳”に登録する

受信メールの送信者（電話番号）や送信したメールの宛先（電話番号）を“電話帳”に登録し活用できます。

受信メールの送信者（電話番号）を“電話帳”に登録する

1 **受信トレイ画面で、送信者（電話番号）をタップしたままにします。**

ポップアップメニューが表示されます。

① 送信者／宛先（電話番号）

2 **表示されたポップアップメニューの 電話帳に登録 − 新規登録 をタップします。**

受信トレイ画面で送信者（電話番号）をタップし、画面右下の メニュー − 電話帳に登録 − 新規登録 をタップしても電話番号の新規登録画面が表示されます。

3 **電話番号を登録する項目として PHS を選択して ok または画面右下の 決定 をタップします。**

4 **名前の項目に姓や名前などを入力します。**

PHS の項目には、手順 **2** で選択した電話番号が入っています。

5 ok をタップします。

手順 **4** で入力した姓や名前で登録されます。

登録が完了するとメッセージが表示されますので ok をタップしてください。

MEMO

- 手順 **2** で［電話帳に登録］－［追加登録］をタップすると、追加したい電話帳を選択して電話番号を登録することができます。

送信メールの宛先（電話番号）を“電話帳”に登録する

1 **送信トレイ画面で､宛先（電話番号）をタップしたままにします。**

ポップアップメニューが表示されます。

2 **ポップアップメニューの［電話帳に登録］－［新規登録］をタップします。**

送信トレイ画面で宛先（電話番号）をタップし、画面右下の［メニュー］－［電話帳に登録］－［新規登録］をタップしても電話番号の新規登録画面が表示されます。

3 **これ以降、前記と同様の操作を行い“電話帳”に登録します。**

MEMO

- 手順 **2** で［電話帳に登録］－［追加登録］をタップすると、追加したい電話帳を選択して電話番号を登録することができます。

ブックマークを引用する

現在設定している Web ブラウザのブックマークを引用することができます。

1 **ライトメールの本文入力時、画面右下の［メニュー］－［引用］－［ブックマーク］をタップします。**

2 **引用するブックマークを選択し、［OK］をタップします。**

MEMO

- Opera Browser および Internet Explorer Mobile 以外の Web ブラウザを設定している場合は、「現在、通常使用するソフトウェアとして設定されているブラウザでは、ブックマークを引用できません」のメッセージが表示され引用できません。

ブックマークに登録する

メール本文中のＵＲＬを Internet Explorer Mobile のブックマーク（お気に入り）に登録することができます。

1 **受信トレイ一覧画面などでお気に入りへ登録する URL が入ったメールを選択します。**

2 **メール本文中の URL をタップし、表示されたメニューから［ブックマークに登録］をタップします。**

Internet Explorer Mobile のお気に入りに登録されます。

登録が終了すると「お気に入りに登録しました」のメッセージが表示されますので ok をタップしてください。

MEMO

- 同じ URL を登録しようとすると､「同じブックマークファイルが存在します上書きしてよろしいですか？」のメッセージが表示されます。

送信者や宛先の電話番号を使って電話をかける

受信メールの送信者（電話番号）や送信メールの宛先（電話番号）を使って、電話をかけられます。

1 **受信トレイ画面、または送信トレイ画面を表示します。**

2 **送信者／宛先（電話番号）をタップしたままにします。**
ポップアップメニューが表示されます。

3 **表示されたメニューから［通話］－［発信］をタップします。**

4 **確認画面で［はい］をタップします。**
電話がかかります。
確認画面で［いいえ］をタップすると、ダイヤル画面になり ✕ をタップすると手順 **1** の画面に戻ります。

MEMO

- 通常の電話をかけるときと同様に、手順 **3** で［発信］の代わりに［184 発信］や［184 分計発信］などを選択できます。

5 **通話を終えるときは、［終話］キーをタップします。**
電話が切れます。

ライトメールを削除する

受信メールや送信済みメールなどを削除できます。メールの削除には、1 件削除、選択削除、全件削除があります。

1 件ずつ削除する／全てのメールを削除する

1 **1 件ずつ削除：**
削除するメールを選択します。
全て削除：
メールを削除するフォルダを選択します。

2 **1 件ずつ削除：**
画面右下の［メニュー］－［削除］－［1 件削除］をタップします。
全て削除：
画面右下の［メニュー］－［削除］－［全件削除］をタップします。

3 **確認画面で［はい］をタップします。**
1 件ずつ削除　：手順 **1** で選択したメールが削除されます。
全て削除　　　：フォルダのメールが全て削除されます。

MEMO

- 1 件ずつ削除する場合は、削除するメールを選択してから、手順 **2** に移ってください。3 分割画面では、フォルダを選択している状態で手順 **2** を行うと［1 件削除］は表示されません。

選択したメールを削除する

1 **受信トレイ画面などでメールを選択した状態にして、画面右下の［メニュー］－［削除］－［選択削除］をタップします。**

2 **確認画面で［ok］をタップします。**

3 **リストから削除するメールをタップします。**
複数のメールを選択できます。
選択を解除するときは、画面右下の［中止］をタップします。

4 画面左下の[実行]をタップします。

5 確認画面で[はい]をタップします。
手順 **3** で選択したメールが削除されます。

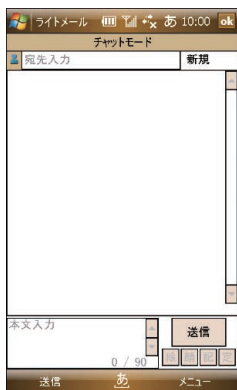
チャットモードでやり取りする

チャットモードでやり取りすると 1 対 1 のチャットをやっているような画面でライトメールができます。

ご注意

- DX メール（ウィルコムのショートメッセージサービス）のチャット通信とは異なります。

チャットモードでメッセージを作成する

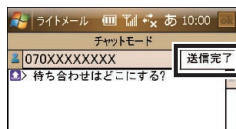
1 受信トレイ画面または送信トレイ画面で画面右下の[メニュー]－[チャット開始]－[新規]をタップします。
チャットモードの新規画面が表示されます。

2 チャット相手の宛先（電話番号）を入力します。
“電話帳”に登録している電話番号やライトメール送信履歴／受信履歴などを宛先として利用できます。これらについては、4-46 ページをご覧ください。

MEMO

- 入力できる宛先（電話番号）は、1 つだけです。複数の相手を宛先にできません。

3 本文入力欄をタップし、本文を入力します。
入力できる文字数は全角 45 文字（半角 90 文字）です。

① 入力した文字数が表示されます。分母の 90 は、半角 90 文字のことです。全角 1 文字を入力すると、2 つ数字が増えます。

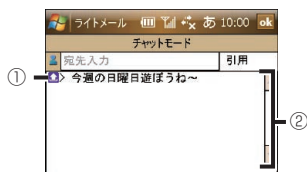
4 本文の入力が終わったら、[送信]ボタンをタップ、または画面左下の[送信]をタップします。
宛先（電話番号）の右側に「送信中」と表示され、文字が点滅します。送信が終了すると「送信完了」と表示されます。
チャットモードでライトメールが送信されます。送信したライトメールは、送信済フォルダに入ります。

5 **チャットモードを止めるときは、画面右下の メニュー － 中止 をタップします（ ok をタップしても同様の操作になります）。**

・相手が通話中／電源が入っていない／圏外などのときは、「再送信しますか？」と表示されます。この画面で はい をタップすると再送信を行います。再送信を行っても送信されないときは、再度「再送信しますか？」と表示されますので、いいえ をタップし送信待フォルダに入れます。あとで再送信する方法については 4-45 ページをご覧ください。

・通話／通信機能を制限（☞ 3-23 ページ）しているときは、チャットモードでの送信はできません。

■ 送信済のメールを確認しながらメッセージを作成する

1 **送信トレイ画面の送信済フォルダで、引用するメールを選択し、画面右下の メニュー － チャット開始 － 引用 をタップします。**

チャットモードの引用画面が表示されます。

① 選択したメールの本文がメッセージとして表示され参考にできます。

② やりとり表示欄

2 **チャット相手の宛先（電話番号）を入力します。**

3 **本文を入力します。**

MEMO

- 引用するメールをタップしたままにし、表示されたメニューから チャット開始 － 引用 をタップしてもチャットモードの引用画面が表示されます。
- 入力できる宛先（電話番号）は、1 つだけです。複数の相手を宛先にできません。

4 **送信 ボタンをタップ、または画面左下の 送信 をタップします。**

チャットモードでライトメールが送信されます。送信したライトメールは、送信済フォルダに入ります。

チャットモードで返信する

1 **受信トレイ画面で返信するメールを選択し、画面右下の メニュー － チャット開始 － 返信 をタップします。**

チャットモードの返信画面が表示されます。（受信したメールの本文がメッセージとして表示されます。）

MEMO

- 返信するメールをタップしたままにし、表示されたメニューから チャット開始 － 返信 をタップしてもチャットモードの返信画面が表示されます。
- 宛先（電話番号）は変更できません。

2 **返信（本）文の入力が終わったら、送信 ボタンをタップ、または画面左下の 送信 をタップします。**

チャットモードでライトメールが送信されます。送信したライトメールは、送信済フォルダに入ります。

チャットモード画面について

① 宛先（電話番号）表示欄

新規画面：相手の宛先（電話番号）を入力します。

引用画面：本文を引用して送信する相手の宛先（電話番号）を入力します。

返信画面：選択したメールの送信者（電話番号）が表示されます。電話帳に登録されている内容によって（「ニックネーム」→「名前」→「電話番号」）の優先順で表示されます。（変更することはできません。）

②現在の状態表示

新規　　：チャットモードの新規画面のとき

引用　　：チャットモードの引用画面のとき

返信　　：チャットモードの返信画面のとき

送信中　：チャットモードで送信中

送信完了：チャットモードで送信したとき

送信失敗：チャットモードで送信に失敗したとき

受信完了：①で表示されている相手から、受信したとき

③ やりとり表示欄

返信／引用画面：選択したメールの本文が表示されます。

以降は以下のように表示されます。

（自分を表すアイコン）：＞メッセージ

（相手を表すアイコン）：＞メッセージ

④ 本文入力欄

①で表示されている相手に送るメッセージを入力します。

⑤ 送信ボタン

①で表示されている宛先（電話番号）に④で入力したメッセージが送信されます。

⑥ 絵文字などの入力ボタン

絵文字などの入力パッドが表示され、記号、顔文字、絵文字などが入力できます（☞4-47 ページ）。

未送信のメールを再送信する

送信を実行したが、相手が話し中やエリア外などで送信できなかったときは、未送信メールとして送信待フォルダに残っています。
この送信待フォルダに入っているメールをあとで送ることができます。

1 送信トレイ画面を表示します。

2 送信待フォルダを選択（反転）し、送信するメールを選択（反転）します。

3 画面右下の メニュー － チャット開始 － 引用 をタップします。

4 チャット相手の宛先（電話番号）を入力し、送信 ボタンをタップ、または画面左下の 送信 をタップします。

MEMO

- チャットモード中に電話がかかってきた場合でも、作成中の状態は保持されています。
- チャットモード中のライトメール受信について
  チャット相手から受信：
  　やりとり表示欄に表示されます。
  チャット相手以外から受信：
  　「新着メールが届きました」のメッセージが表示されます。
- アニメーション絵文字は使えません。

受信したライトメールを振り分ける

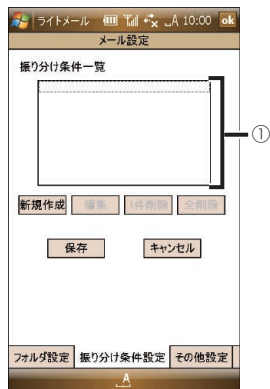
受信したメールを受信フォルダだけでなく、送信者（電話番号）を指定してその送信者（電話番号）のメールを受信フォルダ、またはフォルダ１～９に入れる(振り分ける)ことができます。

振り分けの設定をする

始めに、受信したメールを振り分けるための振り分け条件を設定します。

1 受信トレイ画面または送信トレイ画面を表示します。

2 画面右下の メニュー － 設定 をタップします。
メール設定画面が表示されます。

3 メール設定画面で、振り分け条件設定 タブをタップします。
メール設定画面(振り分け条件設定 タブ)が表示されます。

① すでに設定している条件が表示されます。“電話帳”に電話番号を登録していると、名前が表示されます。

4 新規作成 をタップし、振り分け条件を作成します。

振り分け条件作成画面が表示されます。

①「すべての送信者」または「電話番号」を選択します。

・「電話番号」を選択すると、②に入力した電話番号が対象となり、③で選んだフォルダの中にその電話番号のライトメールが振り分けられます。

・「すべての送信者」を選択すると、すべての送信者が対象となり、③で選んだフォルダの中に送信者すべてのライトメールが入ります。

② 電話番号（送信者）を入力します。この電話番号の人から送信されたメールを振り分けますので、入力する番号を間違えないでください。

③ 振り分け先となるフォルダを選択します（タップして反転します）。選択したフォルダの中に、振り分けられたメールが入ります。

MEMO

- ③で選択できるフォルダは 1 つだけです。複数のフォルダを選択できません。
- ある電話番号の振り分け先に指定したフォルダは、別の電話番号の振り分け先にも選択できます。たとえば、070-XXX-XXXX の振り分け先に「フォルダ 1」を選択し、070-YYY-YYYY の振り分け先にも「フォルダ 1」を選択できます。「フォルダ 1」には、070-XXX-XXXX と 070-YYY-YYYY の両方から送信されたメールが振り分けられます。

5 保存 をタップします。

メール設定画面（振り分け条件設定 タブ）に戻り、手順 **5** で入力した電話番号などがリストに表示されます。

“電話帳”にその電話番号が登録されているときは、その電話番号の人の名前が表示されます。

6 メール設定画面（振り分け条件設定 タブ）で 保存 をタップします。

7 ライトメールを受信します。

作成した振り分け条件にしたがって、受信メールが振り分けられます。

設定した振り分けを修正する

設定した振り分け条件を編集します。

1 メール設定画面（振り分け条件設定 タブ）で、編集したい振り分け設定を選択し、編集 をタップします。

2 表示された画面で、電話番号を編集したり振り分け先を変更するなどして、保存 をタップします。

3 メール設定画面（振り分け条件設定 タブ）で 保存 をタップします。

設定した振り分けを削除する

設定した振り分け条件を削除します。

■ 1 つの設定を削除します（1 件削除）

1 メール設定画面（振り分け条件設定 タブ）で、削除したい振り分け設定を選択し、1 件削除 をタップします。

2 確認画面で はい をタップします。

手順 **1** で選択した振り分け設定が削除されます。

削除されるのは振り分け設定だけです。振り分けられていたメールは削除されません。

■ すべての設定を削除します（全削除）

1 **メール設定画面（振り分け条件設定タブ）で、全削除をタップします。**

2 **確認画面ではいをタップします。**
すべての振り分け設定が削除されます。削除されるのは振り分け設定だけです。振り分けられていたメールは削除されません。

各種設定を行う

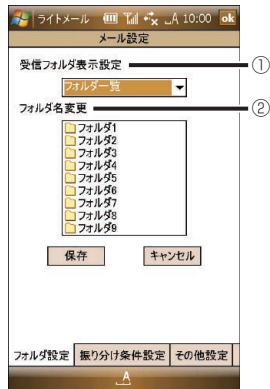
ライトメールの設定を行います。

1 **受信トレイ画面または送信トレイ画面を表示します。**

2 **画面右下のメニュー－設定をタップします。**
設定画面が表示されます。

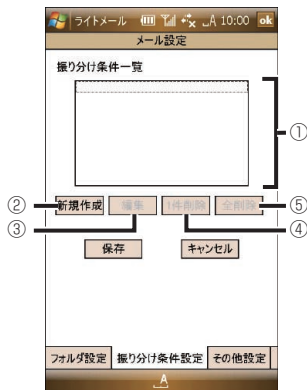
3 **フォルダの設定や振り分けの条件設定などを行います。**

◇フォルダ設定タブ◇

フォルダの表示方法や受信トレイのフォルダ１～９の名前を変更します。

① 受信トレイ画面の表示方法を設定します。
・フォルダ一覧：フォルダリストには、受信フォルダやフォルダ１～９が表示され、フォルダ単位でメールが表示されます。
・全受信メール：受信したメールがすべて表示されます。フォルダリストには、「全受信メール」と表示されます。

② フォルダ名を変更します。
※「受信フォルダ」の名前だけは変更できません。
名前を変更するフォルダをタップします。
フォルダ名変更画面が表示されますので、名前を変更しOKをタップします。
キャンセルをタップすると、フォルダ名は変更されません。
このフォルダ名は、前ページの振り分け条件設定に用意されているフォルダ１～９です。このフォルダ名を変更すると、受信トレイ画面で表示されるフォルダ名や前ページの画面（メール設定画面（振り分け条件設定タブ））に表示されるフォルダ名も変更されます。

◇ 振り分け条件設定 タブ◇

受信したメールを振り分けます。設定方法などの操作については、4-54 ページをご覧ください。

① 設定した振り分け条件（電話番号または名前（※）とフォルダ名）がリスト表示されます。

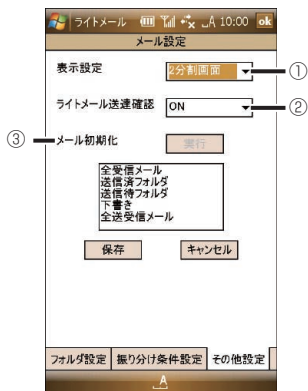
※ “電話帳”に電話番号が登録されているときは、その電話番号の名前が表示されます。

② 新規に振り分けを設定します。くわしくは、4-54 ページをご覧ください。

③ 設定した振り分けを編集します（☞ 4-55 ページ）。

④ 設定した振り分けを 1 件削除します（☞ 4-55 ページ）。

⑤ 設定した振り分けすべてを削除します（☞前ページ）。

◇ その他設定 タブ◇

① 2 分割画面と 3 分割画面を切り替えます（☞ 4-42 ページ）。

② ライトメール送信時に送信済の確認音を鳴らす／鳴らさないを選択します。

・「ON」：確認音を鳴らします。

・「OFF」：確認音は鳴りません。

③ 受信フォルダや送信済フォルダなどに入っているメールを削除します。
フォルダのリストからいずれかのフォルダを選択（反転）し、実行 をタップします。

4 設定が終われば ok をタップします。

ライトメールのメニュー

受信トレイに入っているライトメールのリスト選択時

返信		選択しているライトメールを返信する（☞4-45ページ）。
転送		選択しているライトメールを転送する（☞4-46ページ）。
チャット開始	**新規**	チャットモードの新規画面を表示する（☞4-51ページ）。
	返信	チャットモードの返信画面を表示する（☞4-52ページ）。
並び替え		受信順、差出人順に並び替える（☞4-43ページ）。
行数切替		リストを1行表示または3行表示に切り替える（☞4-43ページ）。
削除	**1件削除**	選択しているライトメールを削除する（☞4-50ページ）。
	選択削除	複数件のライトメールを選択して削除する（☞4-50ページ）。
	全件削除※	選択したフォルダに入っているライトメールをすべて削除する（☞4-50ページ）。
移動		ライトメールを選択し、別のフォルダに移動する。 移動 をタップし、確認画面で ok をタップする。 次に、移動したいライトメールを選択して、画面左下の 実行 をタップする。表示された移動画面で移動先のフォルダをタップし、OK をタップすると、そのフォルダに移動する。
保護		選択しているライトメールを保護／保護解除する（☞4-41ページ）。
設定※		設定画面を表示する（☞4-56ページ）。

※ 2分割画面時に表示されます。

送信トレイに入っているライトメールのリスト選択時

編集		選択しているライトメールを編集する。編集後、送信できる。
送信		選択しているライトメールを送信する。
一括送信※		送信トレイ内の送信待フォルダのメールを一括して送信する（☞4-45ページ）。
チャット開始	**新規**	チャットモードの新規画面を表示する（☞4-51ページ）。
	引用	チャットモードの引用画面を表示する（☞4-52ページ）。
並び替え		送信順、宛先順に並び替える（☞4-44ページ）。
行数切替		リストを1行表示または3行表示に切り替える（☞4-44ページ）。
削除	**1件削除**	選択しているライトメールを削除する（☞4-50ページ）。
	選択削除	複数件のライトメールを選択して削除する（☞4-50ページ）。
	全件削除※	選択したフォルダに入っているライトメールをすべて削除する（☞4-50ページ）。
保護		選択しているライトメールを保護／保護解除する（☞4-41ページ）。
設定※		設定画面を表示する（☞4-56ページ）。

※ 2分割画面時に表示されます。

送信メール／受信メール本文選択時

メール作成		選択している宛先でライトメールを作成する。
通話	発信	表示されている電話番号に電話をかける。
	184発信	電話番号を通知せずに選択している番号に電話をかける。
	186発信	電話番号を通知して選択している番号に電話をかける。
	分計発信	料金分計サービスを利用して電話をかける。料金分計サービスについてくわしくは、3-34ページをご覧ください。
	184分計発信	相手に自分の電話番号を通知せず、料金分計サービスを利用して電話をかける（☞3-34ページ）。
	186分計発信	相手に自分の電話番号を通知して、料金分計サービスを利用して電話をかける（☞3-34ページ）。
チャット開始	新規	チャットモードの新規画面を表示する（☞4-51ページ）。
	引用※1	チャットモードの引用画面を表示する（☞4-52ページ）。
	返信※2	チャットモードの返信画面を表示する。
電話帳に登録	新規登録	電話帳に電話番号などを新規登録する（☞4-48ページ）。
	追加登録	電話帳に電話番号などを追加登録する（☞4-49ページ）。
転送※2		選択しているライトメールを転送する。
編集※1		選択しているライトメールを編集する。編集後、送信できる。
全文コピー		本文をコピーする。コピー後、ライトメール新規作成画面で貼り付けることができる。"電話帳"など他のプログラムでも貼り付けはできるが絵文字などは□などになり貼り付けられない。
削除		選択しているライトメールを削除する。
移動※2		ライトメールを選択し、別のフォルダに移動する。［移動］をタップし、表示された移動画面で移動先のフォルダをタップし、［OK］をタップすると、そのフォルダに移動する。
保護		選択しているライトメールを保護／保護解除する（☞4-41ページ）。

※1　送信メール本文選択時に表示されます。

※2　受信メール本文選択時に表示されます。

メール作成、チャットメール作成時

全文コピー※1		入力している本文すべてをコピーする。
貼り付け※1		コピーしている内容を貼り付ける。
カット※1		選択している内容をカットする。
特殊文字入力※1、※3	記号	記号を入力するパッドを表示する。
	顔文字	顔文字を入力するパッドを表示する。
	絵文字	絵文字入力パッドを表示する。画面右下の［Web用絵文字］をタップするとWeb用絵文字入力パッドを表示する。 Web用絵文字入力パッドを表示している場合、画面右下の［絵文字］をタップすると絵文字入力パッドを表示する。
	コード入力	コードから文字を入力するパッドを表示する（コード表☞付属のCD-ROMに収録のアプリケーションマニュアル）。
	定型文	定型文を入力するパッドを表示する（定型文の編集はできません）。
	アニメ絵文字※1	アニメーション絵文字を入力するパッドを表示する。
引用※2、※3	電話帳	“電話帳”に保存している電話番号を引用する。
	電話着信履歴	かかってきた電話番号（着信履歴）を引用する。
	電話発信履歴	かけた電話番号（発信履歴）を引用する。
	ライトメール受信履歴	受信したライトメールの履歴を引用する。
	ライトメール送信履歴	送信したライトメールの履歴を引用する。
引用※1、※3	電話帳	電話帳に保存しているデータ（名前や電話番号など）を利用する。
	プロフィール	自局電話番号またはメールアドレスを利用する。
	ブックマーク	現在設定しているWebブラウザのブックマークを利用する。
中止※3		チャットメールの作成や編集を中止する。
編集中止		ライトメールの作成や編集を中止する。
184送信		電話番号を通知せずにライトメールを送信する。
186送信		電話番号を通知してライトメールを送信する。

※1 カーソルが本文にあるときに表示されるメニューです。
※2 カーソルが宛先欄にあるときに表示されるメニューです。
※3 チャットメール作成時に表示されるメニューです。

「受信トレイ」、「送信トレイ」選択時（3分割画面に設定時のみ）

チャット開始	新規	チャットモードの新規画面を表示する。
	返信※1	チャットモードの返信画面を表示する。
	引用※2	チャットモードの引用画面を表示する。
一括送信※2		送信トレイ内の送信待フォルダのメールを一括して送信する（☞4-45ページ）。
メール全削除		受信トレイ内の1つのフォルダまたは送信トレイ内の1つのフォルダに入っているライトメールをすべて削除する。
フォルダ名変更※1		受信トレイの中にある「フォルダ1」～「フォルダ9」のフォルダ名を変更する。
表示切替※1		受信トレイの中のフォルダを表示するとき、「全受信メール」表示フォルダを切り替える。
設定		設定画面を表示する（☞4-56ページ）。

※1「受信トレイ」選択時に表示されます。
※2「送信トレイ」選択時に表示されます。

5章　インターネット

Web ブラウザの概要

この製品の Web ブラウザを使って、ホームページの閲覧ができます。
オンラインサインアップを行っている場合、インターネットの接続情報が自動的に設定されていますので、PHS 電話機能を使ってインターネットに接続し、すぐにホームページの閲覧ができます。
この製品で利用できる Web ブラウザには、次の 2 つがあります。

・Internet Explorer Mobile ☞次ページ
・Opera Browser ☞ 5-10 ページ

2 種類の Web ブラウザの違いについて

● Internet Explorer Mobile の特徴は、ActiveSync または Windows Mobile デバイスセンターを使ってパソコンの Internet Explorer と「お気に入り」を同期できることです。
● Opera Browser の特徴は、複数のホームページをタブ画面で切り替えて表示できることです(タブブラウザ)。

	Internet Explorer Mobile	Opera Browser
パソコンの Internet Explorer と「お気に入り」を同期	○	×
複数のホームページをタブ画面で切り替えて表示	×	○

通常使用する Web ブラウザに設定する

この製品には“Internet Explorer Mobile”と“Opera Browser”の 2 つの Web ブラウザが入っています。どちらかを通常使用する Web ブラウザに設定します。

1 “Opera Browser”を起動します。

スタート メニューを表示し “Opera Browser”を選択、または、プログラム画面を表示し “Opera Browser”を選択します。

2 画面右下の ー 設定 ー 詳細設定 をタップします。

設定画面が表示されます。

MEMO
● が表示されていない場合は、 をタップすると が表示されます。

3 「Opera を標準ブラウザに設定」にチェックを付けたり、外したりします。

チェックを付けると、“Opera Browser”が通常使用する Web ブラウザになります。
チェックを外すと、“Internet Explorer Mobile”が通常使用する Web ブラウザになります。

4 設定が終われば、 をタップします。

ホームページを見る（Internet Explorer Mobile）

Internet Explorer Mobileを使って、ホームページの閲覧ができます。
ホームページを見るためには、インターネット接続の設定が必要です。まだ、設定されていない場合は、下記の「接続の準備」をご覧になり設定してください。

接続の準備

ホームページを見る前、インターネットに接続する準備ができているか確認します。

- PHS 電話機能を使ってインターネット接続する場合
  - ・オンラインサインアップ（☞ 2-2 ページ）を行います。（オンラインサインアップを行うことで、接続情報が自動的に設定されています）。
  - ・ご自分で入会しているプロバイダーの情報を使うときは、2-4 ページをご覧になり設定を行ってください。
- 内蔵ワイヤレス LAN を使ってインターネット接続する場合
  - ・2-10 ページをご覧になり設定を行ってください。

MEMO

- Internet Explorer Mobile は、パソコンなどで広く使われている Web ブラウザによる表示と比べて、一部異なる部分や制限があります。
- Internet Explorer Mobile は Flash コンテンツの再生に対応していますがパソコンで広く使われている Web ブラウザによる再生に比べて、一部異なる部分や制限があります。また、場合によっては、Flash の部分を表示できないこともあります。
  また、ホームページにて Internet Explorer Mobile での Flash コンテンツの再生は行わないように設定されている場合があります。

ホームページを見る

1 **“Internet Explorer”を起動します。**

スタート メニューを表示し “Internet Explorer”を選択、または、プログラム画面を表示し “Internet Explorer”を選択します。

① **アドレスバー**

② **移動ボタン**

③ キーワード入力による情報検索ができます。

④ ウィルコム公式サイトは、PHS 電話機能を使って接続する専用サイトです。内蔵ワイヤレス LAN を使って接続することはできません。

2 アドレスバーに URL を入力し、（移動ボタン）をタップします。

接続を開始し、入力した URL のホームページに移動します。
接続が完了すると、タイトルバーに または が表示されます。

- ：PHS 電話機能を使ってインターネットに接続した場合に表示されます。
- ：内蔵ワイヤレス LAN 機能を使ってインターネットに接続した場合に表示されます。

MEMO

- 接続途中で接続を切断するときは、画面左下の 中止 をタップしてから切断してください。
- 「ネットワークへのログオン」画面が表示された場合は、「ユーザー名」を確認し、「パスワード」を入力して、 OK をタップしてください。

ご注意

- **PHS 電話機能を使って通話しているときは**

通話中は、PHS 電話機能を使ってホームページを見ることはできません。電話を切った後、Internet Explorer Mobile を起動してください。

- **ホームページがうまく表示されないときや動作が遅いときは**

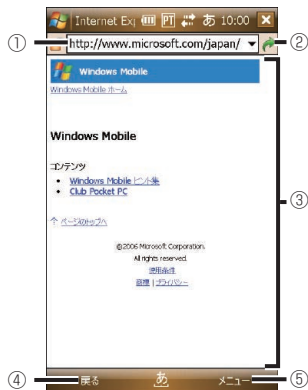
ホームページがうまく表示されないときは、インターネットの一時ファイル（キャッシュ）を削除してください。
キャッシュの削除は、画面右下の メニュー － ツール － オプション － メモリ タブから ファイルを削除 をタップします。

3 ネットワークを切断します。

タイトルバーの をタップし、 切断 をタップします。または、キーをタップします。

内蔵ワイヤレス LAN を使ってインターネットに接続した場合

2-16 ページをご覧になり、回線を切断してください。

Internet Explorer Mobile の画面について

① 閲覧しているホームページの URL が表示されます。
また、閲覧したいホームページの URL を入力し、をタップすると、入力した URL のホームページが閲覧できます。

② タップすると、アドレスバーで指定された URL のホームページへ移動します。

③ リンク先をタップすると、そのホームページへ移動します。

④ 戻る をタップすると直前に表示していたホームページに戻ります。
中止 が表示されているときにタップすると開いているページの表示を中止します。
お気に入り が表示されているときにタップするとお気に入りに登録したリンク先一覧が表示されます。

⑤ タップすると、メニューが表示されます（☞ 5-9 ページ）。

MEMO

- ページを画面に表示する方法を変更することができます。
画面右下の メニュー － 表示 をタップして選択します。
全画面表示を元にもどすときは、画面をタップしたままにし「全画面表示」のチェックを外します。

ネットワークを切断する

1 **タイトルバーの ⇄ をタップし、[切断] をタップします。または、[━] キーをタップします。**

タイトルバーの ⇄ が ⇄x になります。

[━] キーをタップした場合は、Today 画面（待ち受け画面）に戻ります。

内蔵ワイヤレス LAN を使ってインターネットに接続した場合

2-16 ページをご覧になり、回線を切断してください。

ご注意

- **通話中着信の設定をしているときは**

PHS 電話機能を使って通信中（パケット方式）に着信があると通信を切断して着信する設定にしているときは（☞ 3-19 ページ）、通信中（パケット方式）に着信（電話がかかってくる）すると通信が切断されます。ファイルのダウンロードなどを行っている途中でも通信が切断されますので、通信を切断したくないときは 3-19 ページをご覧になり、設定を確認したあと、インターネットに接続してください。

お気に入りを使用する

何度も見たいホームページはお気に入りに登録しておくと、次からそのホームページを閲覧するとき便利です。

またそのホームページを、起動時に接続するページとして設定することができます（☞ 5-8 ページ）。

お気に入りに追加する

1 **お気に入りに追加したいホームページを表示しているときに、画面をタップしたままにします。**

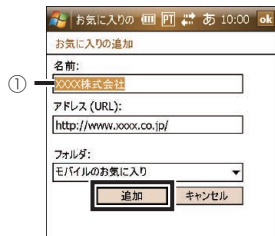
ポップアップメニューが表示されます。

2 **[お気に入りに追加] をタップします。**

お気に入りの追加画面が表示されます。

MEMO

- お気に入りに追加したいホームページを表示しているときに、画面右下の [メニュー] － [お気に入りに追加] をタップしてもお気に入りの追加画面が表示されます。

3 **名前を確認または変更し、[追加] をタップします。**

① タップすると、名前を変更できます。

お気に入りのページを見る

1 **ホームページが表示されている画面をタップしたままにし、ポップアップメニューから [お気に入り] をタップします。**

お気に入り画面が表示されます。

MEMO

- ホームページを表示しているときに、画面左下の [お気に入り] または画面右下の [メニュー] － [お気に入り] をタップしてもお気に入り画面が表示されます。

2 **お気に入り画面の [開く] タブをタップし、目的のページをタップします。**

目的のページが表示されます。

お気に入りにフォルダを追加する

1 **ホームページ表示中、画面右下の [メニュー] － [お気に入り] － [追加／削除] タブをタップし、[新しいフォルダ] をタップします。**

2 **名前を確認または変更し、[追加] をタップします。**

お気に入りから削除する

1 **ホームページ表示中、画面右下の メニュー － お気に入り － 追加／削除 タブをタップし、削除したいお気に入りのページを選択します。**

2 **削除 をタップします。**
削除の確認画面が表示されます。

3 **はい をタップします。**

MEMO

- フォルダを削除するときは、削除したいフォルダを選択して、 削除 をタップします。

履歴を使ってホームページを表示する

一度表示したホームページの URL は履歴として残っています。この履歴を利用して、一度開いたホームページをすぐに表示できます。

1 **ホームページ表示中、 メニュー － ツール － 履歴 をタップします。**
履歴画面が表示されます。

2 **履歴画面でページタイトルのリストから表示したいタイトルをタップします。**
そのページが表示されます。

MEMO

- 履歴画面で画面左上の ページタイトル をタップし表示されたメニューから アドレス をタップすると履歴画面のリストが URL に変わります。
- 履歴を削除する方法は、5-8 ページをご覧ください。

ホームページの画像を保存する／テキストをコピーする

ホームページの画像を保存したり、テキストをコピーしたりできます。

ご注意

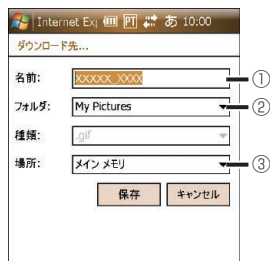
- Web ページの保存はできません。

ホームページの画像を保存する

1 **保存したいホームページの画像をタップしたままにし、ポップアップメニューから イメージの保存 をタップします。**
ダウンロード画面が表示されます。

2 **はい をタップします。**
「My Documents」の下の
「My Pictures」フォルダに保存されます。

MEMO

- **「My Pictures」フォルダ以外に画像を保存したいときは**
  1 ダウンロード画面で 名前を付けて保存 をタップします。
  ダウンロード先画面が表示されます。
  2 名前を確認または変更し、保存するフォルダまたは保存する場所を選択します。

① 画像の名前を入力します。
② 画像を保存するフォルダを選択します。
③ 画像を格納する場所として「メインメモリ」（「My Documents」の下）、または「microSD カード」を選択します。

  3 保存 をタップします。

ホームページのテキストをコピーする

1 **コピーしたいテキストが表示されているホームページの画面をタップしたままにし、ポップアップメニューから［すべてのテキストを選択］をタップします。**

2 **もう一度ホームページの画面をタップしたままにし、［コピー］をタップします。**

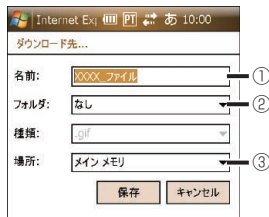
MEMO
- 手順 **1** は、画面右下の［メニュー］－［編集］－［すべてのテキストを選択］をタップしても選択できます。
- 手順 **2** は、画面右下の［メニュー］－［編集］－［コピー］でもコピーできます。

ファイルをダウンロードして保存する

1 **保存するファイルが組み込まれているホームページから［ダウンロード］などをタップして、ファイルをダウンロードします。**

2 **［名前を付けて保存］をタップします。**
ダウンロード先画面が表示されます。

MEMO
- ［はい］をタップすると「My Documents」フォルダに保存されます。

3 **名前を確認または変更し、保存するフォルダまたは保存する場所を選択します。**

① ファイルの名前を確認します。

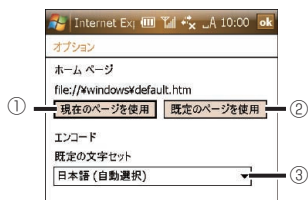
② ファイルを保存するフォルダを選択します。

③ ファイルを格納する場所として「メインメモリ」（「My Documents」の下）、または「microSD カード」を選択します。

4 **［保存］をタップします。**
プログラムファイルなどをダウンロードすると、ダウンロード後、インストールが始まることがあります。このようなときは、画面に表示される内容にしたがって操作してください。

MEMO
- Java アプリケーション（ゲームなど）をダウンロードして楽しむこともできます。

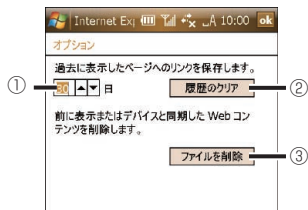
表示しているページをホームページ（起動時のページ）に設定する

画面右下の［メニュー］－［ツール］－［オプション］－［全般］タブで表示しているページを“Internet Explorer Mobile”を起動したときに最初に表示されるページに設定できます。設定が終わったら ok をタップしてください。

① 現在表示中のページが「ホームページ」として設定されます。

② ホームページの設定を初期設定に戻します。

③ 表示言語を設定します。
通常は、日本語（自動選択）にしておいてください。

キャッシュや履歴を削除する

画面右下の［メニュー］－［ツール］－［オプション］－［メモリ］タブでキャッシュの削除や履歴の削除ができます。設定が終わったら ok をタップしてください。

① 履歴を何日間保存するか設定します。

② 履歴を消去します。

③ インターネット一時ファイル（キャッシュ）を削除します。

Cookie やセキュリティの設定をする

画面右下の［メニュー］－［ツール］－［オプション］－［セキュリティ］タブで Cookie の設定や消去、セキュリティの設定ができます。設定が終わったら ok をタップしてください。

① Cookie を許可しない場合はチェックを外します。

② Cookie を消去します。

③ セキュリティ保護のため、チェックを外さないことをお勧めします。

Internet Explorer Mobile のメニュー

縮小		ホームページを縮小して表示します。元の画面に戻すには、画面をタップする。
ホーム		「ホームページ」として設定されているページに戻る。
アドレスバー		アドレスバーにカーソルを移動する。
お気に入り		お気に入りに登録したリンク先一覧（お気に入り画面）を表示する。移動したいリンク先をタップすると、そのホームページへ移動する（☞5-5ページ）。
お気に入りに追加		表示中のホームページをお気に入りに追加する（☞5-5ページ）。
次へ		「戻る」でページを戻したとき、戻す直前に表示していたホームページに進む。
最新の情報に更新		再読み込みを行う。
表示	ズームレベル	表示している文字サイズを変更する。
	一列に表示する	画面の幅と同じ幅に合わせて、コンテンツを表示する。
	画面に合わせる	各コンテンツを小さくして、できるだけ画面の横幅におさまるように表示する。
	表示調整しない	パソコンと同じようなレイアウトになる。縦方向と横方向へスクロールして、見えていない部分を表示する。
	全画面表示	表示範囲を全画面にする。元の画面に戻すには、画面をタップしたままにし、「全画面表示」のチェックを外す。
	画像を表示する	画像を表示する。チェックを外すと画像は表示しない。
編集	切り取り	文字を切り取る。
	コピー	文字をコピーする。
	貼り付け	コピーおよび切り取った文字を貼り付ける。
	すべてのテキストを選択	すべての文字を選択する。
ツール	履歴	過去に表示したリンク先の一覧を表示する。
	リンクを送る	タップすると表示しているホームページのURLを載せた新規メールを作成する。
	プロパティ	表示しているホームページの情報を表示する。
	オプション	オプション設定画面を表示する（☞前ページ）。

ホームページを見る（Opera Browser）

Opera Browser を使って、ホームページの閲覧ができます。
ホームページを見るためには、インターネット接続の設定が必要です。まだ、設定されていない場合は、下記の「接続の準備」をご覧になり設定してください。

接続の準備

ホームページを見る前、インターネットに接続する準備ができているか確認します。

- PHS 電話機能を使ってインターネット接続する場合
  - ・オンラインサインアップ（☞ 2-2 ページ）を行います。（オンラインサインアップを行うことで、接続情報が自動的に設定されています）。
  - ・ご自分で入会しているプロバイダーの情報を使うときは、2-4 ページをご覧になり設定を行ってください。
- 内蔵ワイヤレス LAN を使ってインターネット接続する場合
  - ・2-10 ページをご覧になり設定を行ってください。

MEMO

- Opera Browser は、パソコンなどで広く使われている Web ブラウザによる表示と比べて、一部異なる部分や制限があります。

ホームページを見る

1 **“Opera Browser”を起動します。**

スタート メニューを表示し “Opera Browser” を選択、または、プログラム画面を表示し “Opera Browser” を選択します。
※初回起動時、自動的にインターネットに接続します。

2 **画面右下の をタップします。**

アドレスバーが表示されます。

① アドレスバー

② ウィルコム公式サイトは、PHS 電話機能を使って接続する専用サイトです。内蔵ワイヤレス LAN を使って接続することはできません。

3 アドレスバーをタップします。

4 アドレスバーにURLを入力し、(移動ボタン)をタップします。

接続が完了すると、タイトルバーに または が表示されます。

- ：PHS電話機能を使ってインターネットに接続した場合に表示されます。
- ：内蔵ワイヤレスLAN機能を使ってインターネットに接続した場合に表示されます。

ご注意

- **PHS電話機能を使って通話しているときは**

通話中は、PHS電話機能を使ってホームページを見ることはできません。電話を切った後、Opera Browserを起動してください。

- **ホームページがうまく表示されないときや動作が遅いときは**

ホームページがうまく表示されないときは、Opera Browserのキャッシュを削除してください。
キャッシュの削除は、画面右下の （ が表示されていない場合は、 をタップすると が表示されます。）－設定－プライバシーから
キャッシュを削除をタップし、確認画面でOKをタップします。

ネットワークを切断する

1 画面右下の をタップします。

タイトルバーが表示されます。

2 タイトルバーの をタップし、切断をタップします。または、 キーをタップします。

タイトルバーの が になります。
キーをタップした場合は、Today画面（待ち受け画面）に戻ります。

内蔵ワイヤレスLANを使ってインターネットに接続した場合

2-16ページをご覧になり、回線を切断してください。

ご注意

- **通信中着信の設定をしているときは**

通信中（パケット方式）に着信があると通信を切断して着信する設定にしているときは(☞3-19ページ)、ファイルのダウンロードなどを行っている途中でも着信（電話がかかってくる）によって通信が切断されます。通信を切断したくないときは3-19ページをご覧になり、設定を確認したあとインターネットに接続してください。

6章　ワンセグを見る

ワンセグを見る

この製品では、地上デジタル放送の携帯・移動体向けサービス「ワンセグ」が視聴できます。

MEMO

- 地上デジタル放送およびワンセグは、地上波の UHF 帯の電波を利用して放送されています（アナログテレビの受信はできません)。
- この製品では、ワンセグを視聴するためのプログラムとして StationMobile を使用しています。

地上デジタル放送とワンセグについて

ワンセグは地上デジタル放送の携帯・移動体向けサービスです

ワンセグとは、地上デジタル放送の電波の一部を使用して、携帯電話などの小型機器でもご家庭と同じようにテレビやデータ放送の視聴を可能にした、携帯・移動体向けの地上デジタルテレビサービスです。
地上デジタル放送の 6MHz の帯域を 13 分割して送る日本独自の放送方式によって実現したサービスで、13 分割された 1 つの部分（セグメント）だけで放送されるため「**ワンセグ**」と呼ばれるようになりました。

- ワンセグは、2006 年 4 月 1 日から三大広域圏（都市圏）と 13 の県の放送局で開始され、2006 年 12 月には全国に広がり開始されているサービスです。
  受信料などについて詳しくは、下記のホームページなどを参照してください。

■ 社団法人　デジタル放送推進協会
http://www.dpa.or.jp/

ご利用になる前に

ワンセグをご利用になる前に、次のことをご確認ください。
本ソフトウェアで使用している専用フォントは、本ソフトウェアでのみ使用することを許諾します。

- ワンセグをご利用中は、ボタン操作部や電池カバーの温度が上がるため、長時間直接肌に触れさせたり、紙／布／布団などをかぶせたりしないでください。やけどや故障の原因となります。
- 海外では、放送方式や放送の周波数が異なるため利用できません。
- 自転車やバイク、自動車などの運転中は、利用しないでください。周囲の音が聞こえにくく、映像や音声に気をとられるため、交通事故の原因となります。
  また、歩行中でも周囲の交通に十分ご注意ください。踏切や横断歩道などでは、特にご注意ください。

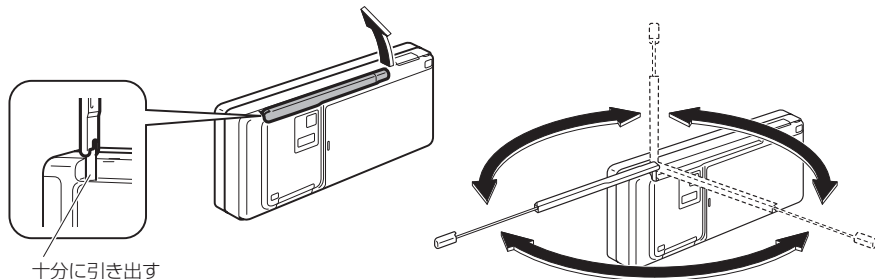
ご注意

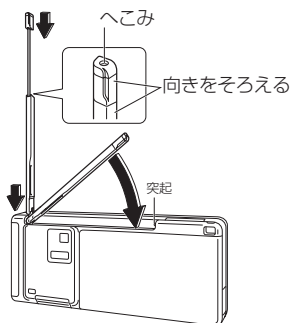
- ワンセグ動作中は、次の機能は停止します。
  Bluetooth、ワイヤレス LAN、W-ZERO3 メール（定期受信）
- ワンセグご利用中は、節電、バックライト、パスワードの各種設定は働きません。
- ワンセグには、録画機能はありません。
- この取扱説明書に記載している画面は、はめ込み合成です。
- この製品は、本体の温度が上がると充電を停止します。ワンセグ視聴中は消費電力が大きいため、本体の温度が上がり、充電を停止することがあります。

MEMO

- 充電池の残量が少ない場合、ワンセグが起動しないことがあります。十分に充電してからご利用ください。

アンテナについて

- アンテナは、引き出してからお使いください。引き出していない場合、受信状況が悪くなります。
- アンテナは十分に引き出すと、360°回転します。受信感度のよい方向に向けてお使いください。

■ 収納するとき

アンテナの向きをそろえたあと、アンテナを下まで収納します。
このあと、アンテナの内側が本体の収納部に沿うように倒し、アンテナ先端のへこみと本体の突起を「カチッ」と音がするまで押し込んでください。

- アンテナの向きを合わせないまま、無理に押し込まないでください。また、完全に収納しないまま持ち運ばないでください。破損の原因となることがあります。

■ 電波について

ワンセグのサービスエリア以外では、本プログラムを楽しむことはできません。
また、放送エリア内であっても電波の受信状況が悪い次のような場所では、本プログラムが正しく利用できないことがあります。

- 放送局から遠い地域または放送局から極端に近い地域
- 山間部やビルの陰
- 移動中の電車や自動車の中
- パソコンやテレビなどの電子機器、高圧線、ネオン、無線局の近くなど
- 線路や高速道路の近くなど
- 地下街、トンネルの中など
- その他、妨害電波が多かったり、電波が遮断されたりする場所

ご注意

- ワンセグは、電波状態によってはブロック形状の画像の乱れが発生したり、無音となるなどデジタル放送特有の現象が発生することがあります。

はじめてワンセグをお使いになるとき

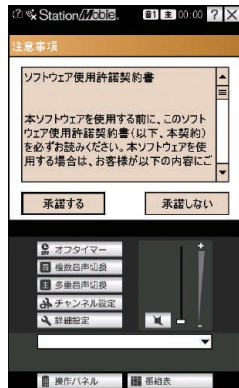
ワンセグをはじめて起動したときは、以下の操作を行い、ソフトウェア使用許諾契約書の承諾やチャンネルの設定などを行ってください。

1 アンテナを引き出します（☞前ページ）。

2 スタート メニューの " プログラム " をタップし、 プログラム画面で " ワンセグ " をタップします。

3 表示されている内容を確認して、 承諾する をタップします。

4 他アプリケーションの終了確認画面が表示されたら はい をタップします。

終了確認画面にチェックが付いているアプリケーションが終了します。終了したくないアプリケーションはチェックを外します。他アプリケーションの終了確認画面が表示されないときは、手順 **5** の画面が表示されます。

MEMO

- 手順 **2** でワンセグキーを押してもワンセグが起動します。
- いいえ をタップすると、他のアプリケーションを終了しないでワンセグを起動します。
  ✕ をタップすると、ワンセグは起動しません。
- 手順 **4** の終了確認画面は、表示しないように設定できます（☞ 6-12 ページ）。

5 メッセージが表示されますので、 ok をタップします。

6 チャンネル設定画面で プリセット をタップします。

7
・地域選択画面で、地域名を選択し OK をタップし、さらに都道府県を選択し OK をタップします。
・地域選択画面に地域がないときは 6-9 ページの手順 **2** ～ 6-10 ページの手順 **5** を行うと、チャンネルスキャンを行った地域のチャンネルが登録されます。

8 メッセージが表示されますので、 OK をタップします。

9 チャンネル設定画面に戻り、手順 **7** で選択した地域の放送局が表示されます。

10 画面右上の OK をタップします。

MEMO

- チャンネルリストは後で変更することができます（☞ 6-9 ページ）。

画面について

ワンセグには、「操作表示モード」、「EPG 表示モード」、「全画面表示モード」の 3 つの表示モードがあります。

操作表示モード	テレビ映像の表示とともに各種設定ボタンが表示されます（☞次ページ）。
EPG 表示モード	テレビ映像の表示とともに電子番組表データが表示されます（☞ 6-7 ページ）。
全画面表示モード	全画面でテレビ映像を表示します（☞ 6-9 ページ）。

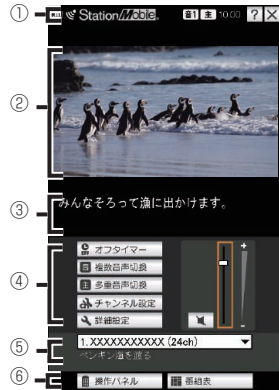
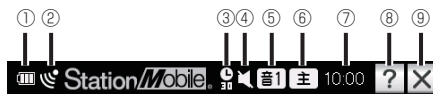
①インフォメーションバー
受信強度や現在の設定状態などが表示されます。（☞下記）

② テレビ映像ビュー
受信しているテレビ映像が表示されます。

③ 字幕ビュー
受信中のテレビ映像に対する字幕が表示されます。

④ データビュー
表示モードによって、「チャンネル操作や各種設定表示」、「電子番組表表示」を切り替えて表示します。

⑤ チャンネルバー
受信しているテレビ映像のチャンネル番号や放送局名が表示されます。また、▼をタップするとチャンネル設定（☞前ページ、6-9 ページ）で登録した放送局名の一覧が表示されます。見たい放送局名をタップするとその放送局のチャンネルに切り替わります。

⑥ モードバー
表示モードを切り替えます。
操作パネル：操作表示モードに切り替えます（☞次ページ）。
番組表：EPG 表示モードに切り替えます（☞ 6-7 ページ）。

■ インフォメーションバーについて

① 充電池残量アイコン

② 受信強度アイコン
放送電波の受信強度をアイコンで表示します。

良好 ――――→ 受信不可

③ オフタイマーアイコン
ワンセグを終了する時間（オフタイマー）をアイコンで表示します（☞ 6-9 ページ）。

④ 消音アイコン
操作表示モードで をタップし音声をオフにしている状態をアイコンで表示します（☞ 6-8 ページ）。

⑤ 複数音声アイコン
複数音声の設定をアイコンで表示します（☞ 6-8 ページ）。

⑥ **多重音声アイコン**
多重音声の設定をアイコンで表示します（☞ 6-8 ページ）。

⑦ **時刻表示**
現在の時刻を表示します。
※時刻はワンセグ放送に含まれる時刻情報をもとにして表示しています。

⑧ **ヘルプボタン**
ヘルプを表示します。

⑨ **終了ボタン**
ワンセグを終了します。

操作表示モードの画面について

テレビ映像の視聴と共に、各種設定などができます。
● 操作表示モードは、縦画面のみです。

① **オフタイマーボタン**
オフタイマーの設定（10 分／ 30 分／ 60 分／ 120 分／ OFF）を切り替えます（☞ 6-9 ページ）。
オフタイマーの設定時間より少し前になると、確認メッセージが表示されます。確認メッセージが表示されたままにすると、しばらくしてワンセグが終了します。確認メッセージで［視聴を継続する］をタップすると視聴を継続します。

② **複数音声切替ボタン**
音声（1 ～ 4）を切り替えます（☞ 6-8 ページ）。
複数の音声が放送されているとき音声を切り替えることができます。

③ **多重音声切替ボタン**
主音声／副音声／主＋副音声を切り替えます（☞ 6-8 ページ）。

④ **チャンネル設定ボタン**
チャンネル設定画面を表示します（☞ 6-9 ページ）。

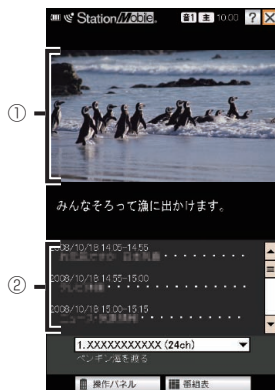
⑤ **詳細設定ボタン**
詳細設定画面を表示します（☞ 6-11 ページ）。

⑥ **消音ボタン**
音声のオン／オフを切り替えます。

⑦ **音量スライダ**
音量を調整します（☞ 6-8 ページ）。

EPG 表示モードの画面について

テレビ映像の視聴と共に、現在表示中の番組および以降の番組表を表示します。
- ●EPG 表示モードは、縦画面のみです。
- ● 番組表 をタップすると、EPG 表示モードになります。

① テレビ映像を表示
② EPG ビュー 受信中の放送局の番組表を表示します。

ワンセグを見る

1 **スタート メニューの " プログラム " をタップし、プログラム画面で " ワンセグ " をタップします。**

2 **他アプリケーションの終了確認画面が表示されたら はい をタップします。**

終了確認画面にチェックが付いているアプリケーションが終了します。終了したくないアプリケーションはチェックを外します。他アプリケーションの終了確認画面が表示されないときは、テレビ画面が表示されます。

MEMO
- いいえ をタップすると、他のアプリケーションを終了しないでワンセグを起動します。 ✕ をタップすると、ワンセグは起動しません。
- 手順 **2** の終了確認画面は、表示しないように設定できます（☞ 6-12 ページ）。
- 横画面で起動した場合、全画面表示になります（☞ 6-9 ページ）。

3 **テレビ画面（操作表示モード）が表示されます。**

4 **カーソル キーの左右をタップしてチャンネルを選局します。**

MEMO
- ダイヤルキーモードに切り替え、ワンタッチ選局キーで選局することもできます（☞ 6-10 ページ）。
- チャンネルバーの右側に「1 ／ 3」などが表示されている場合、そのチャンネルに複数の放送サービスがあることを示します。この場合、ワンタッチ選局キーを繰り返しタップすると放送サービスを選択できます。

5 ワンセグを終了するときは、 ✕ をタップし、確認画面で はい をタップします。

MEMO

- いいえ をタップすると、ワンセグは終了しません。
- **マナーモードのときにヘッドホンやイヤホンを接続して音を聞くときは**
  マナーモード（☞ 3-22 ページ）を「標準」や「サイレント」にしていると、イヤホンマイク端子に接続したヘッドホンやイヤホンからは音が聞こえません。スタート ー 設定 ー 個人用 タブー 電話 ー マナー タブー マナーモード で表示されるマナーモードを次のように設定してください。
  ・モード　　　：オリジナル
  ・システム音　：ON
  ・着信音　　　：OFF
  ・バイブレータ：ON
  伝言メモは、ON ／ OFF どちらでもかまいません。

音量を調整する

テレビを視聴中に音量を調整することができます。

1 **操作表示モード（☞ 6-6 ページ）の音量スライダで調整します。**

① 音声のオン / オフを切り替えることができます。
② 音量スライダを上に移動すると、音量が大きくなり、下に移動すると、音量が小さくなります。 (カーソル)キーの上下をタップしても調整できます。 設定しているシステム音量（☞ 10-21 ページ）を最大音量として調整されます。

MEMO

- システム音量が最小になっていたり、マナーモードになっていたりすると、操作しても音は出ません。

音声を切り替える

多重音声や音声を切り替えることができます。

■ 多重音声の設定を変更する

主音声／副音声／主＋副音声に切り替えることができます。

1 **操作表示モード（☞ 6-6 ページ）の 多重音声切換 をタップします。**
タップすると、主音声→副音声→主＋副音声→主音声に切り替わります。

■ 複数音声の設定を変更する

音声 1 ～ 4 に切り替えることができます。

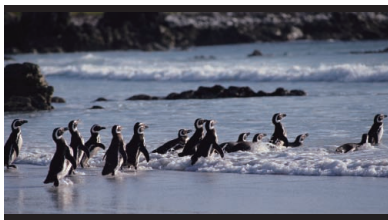
1 **操作表示モード（☞ 6-6 ページ）の 複数音声切換 をタップします。**
タップすると、音声 1 →音声 2 →音声 3 →音声 4 →音声 1 に切り替わります。

MEMO

- 受信されているテレビ映像に、複数音声があるときに、切り替えることができます。複数音声が、音声 3 まであるときは、音声 1 →音声 2 →音声 3 →音声 1 になります。

全画面に切り替える

画面いっぱいにテレビ映像を表示することができます。

1 **画面回転キーを押します。**
横画面になり、テレビ映像が全画面に表示されます。
操作表示モード/EPG表示モードに戻すときは、テレビ画面をタップするか、画面回転キーを押します。

MEMO

- 操作表示モード／EPG 表示モードのテレビ画面をタップしても全画面表示になります。

オフタイマーを設定する

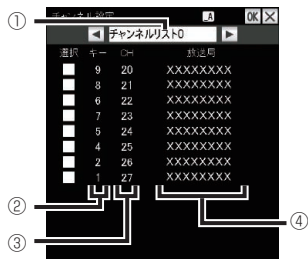
ワンセグをオフするまでの時間を設定することができます。

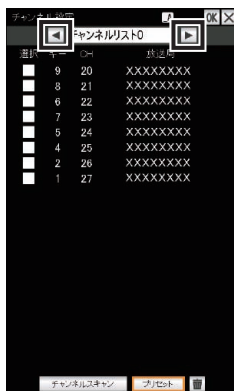
1 **操作表示モード（☞ 6-6 ページ）の オフタイマー をタップします。**
タップすると、OFF → 120 分→ 60 分→ 30 分→ 10 分→ OFF に切り替わります。

インフォメーションバーのアイコン	オフタイマー
表示なし	OFF
10	10 分
30	30 分
60	60 分
120	120 分

チャンネル設定を変更する

ご使用になる地域ごとなど、よくご使用になるチャンネルリストを 10 件まで登録することができます。また、ワンタッチ選局のキーの割り当てを変更することができます。

1 **操作表示モード（☞ 6-6 ページ）の チャンネル設定 をタップします。**
チャンネル設定画面が表示されます。

① 現在表示されているチャンネルリスト名が表示されます。
② ワンタッチ選局キーの割り当てが表示されます。
③ 登録されているチャンネル番号が表示されます。
④ 登録されている放送局名が表示されます。

2 **◀ または ▶ をタップして、新しく登録するチャンネルリストを選択します。**

3 **チャンネルスキャン をタップします。**
あらかじめ登録されている地域から選択するときは、 プリセット をタップします。以降、6-4 ページの手順 **7** から操作します。

4 **確認画面が表示されますので、OK をタップします。**
チャンネルリストの検索が始まります。

5 **「検索が終了しました」と表示されたら、 OK をタップします。**
検索されたチャンネルが表示されます。

6 **画面右上の OK をタップします。**
チャンネルが登録されます。

MEMO

- ワンタッチ選局のキーが重複しているときは、自動的に空いている番号へ割り振られます。
- チャンネル設定は電波環境の良い所で行ってください。
  パソコンやテレビなどの電子機器、ネオン、高圧線などの近く、また、ビルの陰、地下街、トンネル内、放送局から遠く離れている所などでは、電波が妨害されたり、電波が弱くなってチャンネル設定ができにくくなります。
- チャンネル設定はワンセグ放送開始時期や時間帯などにより、正しく設定できない場合があります。
- 移動先でチャンネルリストを登録するときなどは、新たなチャンネルリストに登録してください。登録済みの内容と重なって登録できなかったり、正しく選局できなかったりします。
- 登録済みのチャンネルリストに地域を選択してプリセットすると、登録していた情報は削除されて、選択した地域の情報に置き換わります。

■ チャンネルリストを更新する

ご使用になる場所によって受信できるチャンネルは変化します。
ご使用になる場所が変わったときは、チャンネルを新しく設定（更新）してください。

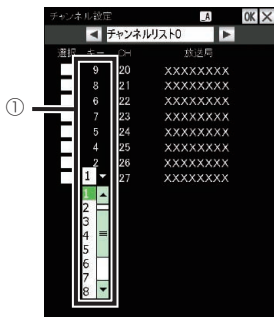
1 **更新するチャンネルリストを選択し、 チャンネルスキャン をタップし、表示された確認画面で OK をタップします。**
チャンネルリストの検索が始まります。

2 **「検索が終了しました」と表示されたら OK をタップします。**

3 **画面右上の OK をタップします。**

■ ワンタッチ選局のキーの割り当てを変更する

1 **ワンタッチ選局のキーの割り当てを変更するチャンネルリストを表示します。**

2 **ワンタッチ選局のキー欄をタップします。**

① キー欄をタップします。

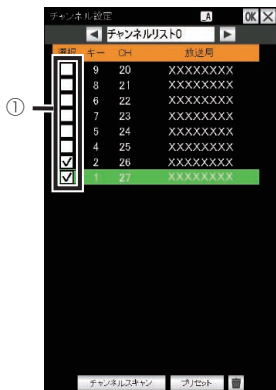
3 **割り当てたい番号をタップします。**

MEMO

- ▼をタップして表示されたチャンネル番号を選択しても入力できます。
- 指定した番号に割り当たっていた放送局は、他の空いている番号へ自動的に割り振られます。

4 **画面右上の OK をタップします。**

■ 不要なチャンネルを削除する

1 削除するチャンネルの選択欄をタップし、チェックを付けます。

① タップしてチェックを付けます。

2 🗑 をタップします。

3 確認画面で、OK をタップします。

4 画面右上の OK をタップします。

■ チャンネルリストの名称を変更する

チャンネルリストの名称を変更することができます。

1 変更するチャンネルリスト名をタップします。

① タップします。

2 変更する名称を入力（最大１０文字）します。

文字入力には、キーボードをお使いください。

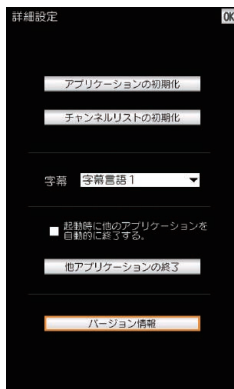
3 画面右上の OK をタップします。

設定を変更する

■ アプリケーションを初期化する

設定している項目や登録しているチャンネルリストなどを初期化することができます。

1 操作表示モード（☞ 6-6 ページ）の 詳細設定 をタップします。

詳細設定画面が表示されます。

2 アプリケーションの初期化 をタップします。

3 確認画面で、OK をタップします。

ワンセグが終了します。

チャンネルリストを初期化する

登録しているチャンネルリストを初期化することができます。

1 操作表示モード（☞ 6-6 ページ）の 詳細設定 をタップします。

2 チャンネルリストの初期化 をタップします。

3 確認画面で、OK をタップします。

字幕の言語を変更する

字幕の第一言語を、字幕言語 1 または字幕言語 2 から選択することができます。

1 操作表示モード（☞ 6-6 ページ）の 詳細設定 をタップします。

2 字幕欄の▼をタップし、「字幕言語 1」または「字幕言語 2」を選択します。

3 設定が終わったら、画面右上の OK をタップします。

起動時に自動的に他のアプリケーションを終了するようにする

ワンセグ起動時に他アプリケーションの終了確認画面を表示しないように設定できます（自動的に、終了確認画面に表示されるアプリケーションを終了します）。

1 操作表示モード（☞ 6-6 ページ）の 詳細設定 をタップします。

2 「起動時に他のアプリケーションを自動的に終了する」のチェックを付けます。

MEMO

- 起動時に他のアプリケーションの終了確認画面が表示されるようにするときは、チェックを外します。

3 確認が終わったら、画面右上の OK をタップします。

起動している他のアプリケーションを終了する

ワンセグ起動時に終了していない、他のアプリケーションを終了します。
ワンセグの映像が乱れたり、画面切り替わりの動作が遅いときなどは、他のアプリケーションを終了してみてください。

1 操作表示モード（☞ 6-6 ページ）の 詳細設定 をタップします。

2 他アプリケーションの終了 をタップします。

バージョン情報を確認する

1 操作表示モード（☞ 6-6 ページ）の 詳細設定 をタップします。

2 バージョン情報 をタップします。
バージョン情報が表示されます。

3 確認が終わったら、バージョン情報ウィンドウをタップし、画面右上の OK をタップします。

7章　映像と音楽

カメラを使用する

静止画（画像）やビデオ（動画）の撮影ができます。ここでは、カメラの基本的な使いかたについて説明します。

- **バーコードなどの読み取りについては、7-13 ページをご覧ください。**
- **名刺の読み取りについては、7-16 ページをご覧ください。**
- **原稿の読み取りについては、7-19 ページをご覧ください。**

カメラをご使用になる前に

この製品は、有効画素数約 200 万画素のカメラを搭載し、静止画（画像）や動画（ビデオ）の撮影ができます。

■ 撮影サイズ／保存形式や保存場所について

撮影した静止画（画像）や動画（ビデオ）は、以下の保存形式で保存されます。

モード	静止画モード（☞次ページ）	ビデオモード（☞ 7-5 ページ）
撮影サイズ	240 × 320 ドット 480 × 640 ドット 960 × 1280 ドット 1200 × 1600 ドット	120 × 160 ドット 240 × 320 ドット
保存形式	JPEG	Windows Media Video（WMV）
保存場所	●本体メモリに保存するときは、「My Documents」フォルダ内の「マイ ピクチャ」フォルダ内に保存されます。 ●microSD カードに保存するときは、「DCIM」フォルダ内に保存されます。	

■ 撮影可能距離

・このカメラの撮影可能距離は、約 10cm ～無限遠です。

■ カメラ撮影中の撮影音について

・カメラ撮影時、シャッター音（静止画撮影時）や撮影開始音（動画撮影時）は常に鳴ります。マナーモードや音量をオフにしていても、撮影時のシャッター音、撮影開始音は鳴ります。

■ ビデオ（動画）撮影中にアラーム時間になると

・ビデオ（動画）撮影中にアラーム時間になると、録画が停止したり、録画終了後に遅れてアラームが鳴ることがあります。

■ 自動終了について

・静止画やビデオ撮影画面で、約 5 分間何も操作しないでいると“カメラ”は自動的に終了します。

MEMO

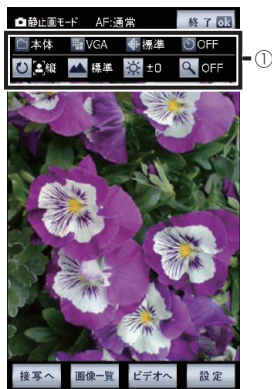
- カメラ起動中は、画面を縦表示から横表示には切り替えられません。
（画面回転キーを押しても切り替わりません）。

■ カメラ利用時のご注意

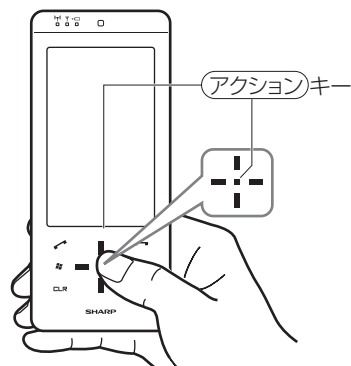
・撮影前に内蔵カメラのレンズカバーが汚れていないかご確認ください。
レンズカバーに指紋や油脂が付くと、ピントが合わなくなります。
柔らかい布などでレンズカバーをきれいにしてください。
・手ぶれにご注意ください。画像がぶれる原因となります。
この製品が動かないようにしっかり持って撮影してください。
・カメラは非常に精密度の高い技術で作られていますが、常時明るく見える画素や暗く見える画素もありますのでご了承ください。
・この製品を温かい場所に長時間置いたあとで、撮影したり画像を保存したときは画質が劣化することがあります。
・カメラ部分に直射日光が長時間あたると、内部のカラーフィルターが変色して、映像が変色することがあります。
・カメラで太陽などの光源を直接見ないようにしてください。

静止画（画像）を撮影する

1 スタート メニューの “プログラム”をタップします。

2 プログラム画面で “カメラ”をタップします。
しばらくすると、静止画モードが表示されます。

① 保存先、撮影サイズ、画質、タイマー撮影／連写、保存する向き、撮影シーン、明るさ、ズームの状態が表示されます。
保存する向き、撮影シーン、明るさ、ズームのアイコンをタップすると設定を変更することができます。ただし、保存中などは変更できません。

MEMO
- 「明るさ」と「撮影シーン」は（カーソル）キーでも切り替えることができます。
  明るさ　：（カーソル）キーの上下をタップします。
  撮影シーン：（カーソル）キーの左右をタップします。
  また、画面下の 設定 をタップして変更することもできます（☞次ページ）。
- ビデオモードになっているときは、画面下の 静止画へ をタップします。

3 画面にレンズからの画像が表示されます。
被写体にレンズを向け、（アクション）キーをタップします。

MEMO
- （アクション）をタップすると、ピントを合わせて撮影します。
  実際に撮影されるまで数秒かかりますので、シャッター音が鳴るまで動かさないようにしてください。

4 撮影した画像が保存されます。
しばらくするとメッセージが消え、再度撮影することができます。

5 カメラを終了するときは、終了 をタップします。

■ 手動でフォーカスをロックする

被写体にレンズを向けているときに をタップすると、フォーカスをロックします。被写体にピントを合わせたままで、構図を変えて撮影するときなどに便利です。
フォーカスのロックを解除するときは、CLR をタップします。また、一度撮影すると、ロックは解除されます。

■ 被写体が近いときは

花を撮影するときなど被写体が近い場合は、画面下の 接写へ をタップして接写モードにしてください。

MEMO
- 画面の上には、オートフォーカスの状態が表示されます
  「AF：通常」通常の撮影モード
  「AF：接写」接写での撮影モード
  「AF：ロック」フォーカスのロック中

静止画モードの設定を変更する

1 **静止画モードで、画面右下の 設定 をタップします。**

静止画モードの設定画面が表示されます。

設定画面で設定された内容は静止画モードの画面上に表示されます。

① 画像を保存する場所として「本体メモリ」、または「microSD カード」を選択します。

② 撮影するシーンを選択します。

③ 撮影するサイズを選択します。

④ 明るさを調整します。

⑤ 画像を保存する向きとして「縦長」、または「横長」を選択します。

⑥ タイマー（5 秒）、連写（5 枚）※または OFF を選択します（☞右記、次ページ）。

⑦ 撮影する画質を設定します。

⑧ チェックを付けると、2 倍ズームで撮影できます。※

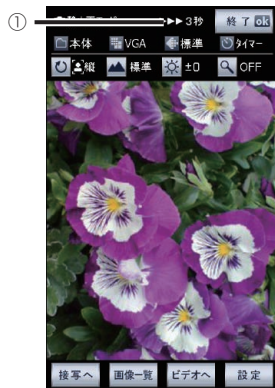
※撮影サイズが 480 × 640 ドット以下のときに、設定できます。

2 **設定が終われば、 ok をタップします。**

タイマーを使う

1 **静止画モードの設定画面で「タイマー撮影／連写」の▼をタップして「タイマー（5 秒）」を選び、 ok をタップします。**

2 **被写体にレンズを向け、（アクション）キーをタップします。**

タイマーが動作し、約 5 秒後に撮影されます。

① 撮影されるまでの時間（秒）が表示されます。

MEMO

- タイマー動作中に（アクション）キーをタップすると、その時点で撮影されます。

連写を使う

1 **静止画モードの設定画面で「タイマー撮影／連写」の▼をタップして「連写（5枚）」を選び、ok をタップします。**

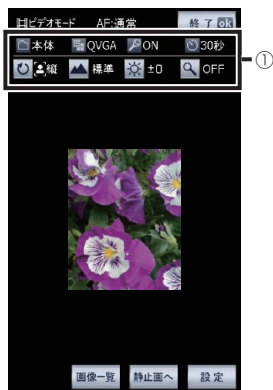
2 **被写体にレンズを向け、(アクション)キーをタップします。**

連続で5枚撮影されます。

ビデオ（動画）を撮影する

1 **スタート メニューの “プログラム” をタップします。**

2 **プログラム画面で “カメラ” をタップします。**

モードを確認し、静止画モードになっているときは、画面下の ビデオへ をタップします。

① 保存先、録画サイズ、オーディオ録音、録画制限時間、保存する向き、撮影シーン、明るさ、ズームの状態が表示されます。
保存する向き、撮影シーン、明るさ、ズームのアイコンをタップすると設定を変更することができます。ただし、ビデオ撮影中や保存中は変更できません。

MEMO

- 「明るさ」と「撮影シーン」は(カーソル)キーでも切り替えることができます。
  明るさ　　：(カーソル)キーの上下をタップします。
  撮影シーン：(カーソル)キーの左右をタップします。
  また、画面下の 設定 をタップして変更することもできます（☞次ページ）。

3 **画面にレンズからの画像が表示されます。**
被写体にレンズを向け、(アクション)キーをタップします。

撮影開始音が鳴り、録画が開始されます。

4 **もう一度、(アクション)キーをタップ、または 停止 をタップして、録画を停止します。**

録画した動画を保存するまでにしばらくかかります。
microSDカードに保存するときや他のプログラムが起動しているときなどは、数分かかることがあります。

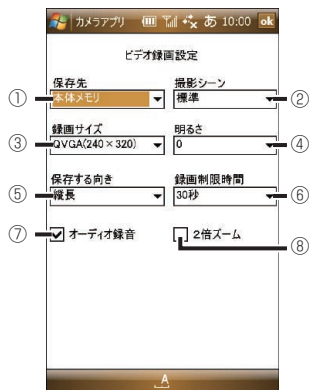
5 **撮影した動画が保存されます。**

しばらくするとメッセージが消え、再度撮影することができます。

6 **カメラを終了するときは、終了 をタップします。**

ビデオモードの設定を変更する

1 **ビデオモードで、画面右下の 設定 をタップします。**

ビデオモードの設定画面が表示されます。
設定画面で設定された内容はビデオモードの画面上に表示されます。

① 動画を保存する場所として「本体メモリ」、または「microSD カード」を選択します。
② 撮影するシーンを選択します。
③ 撮影するサイズを選択します。
④ 明るさを調整します。
⑤ 動画を保存する向きとして「縦長」、または「横長」を選択します。
⑥ 動画の撮影制限時間を「制限なし」、「15 秒」、「30 秒」から選択します。
⑦ チェックを付けると、音声も録音されます。
⑧ チェックを付けると、2 倍ズームで撮影できます。

2 **設定が終われば、 ok をタップします。**

撮影した静止画や動画を見る

撮影した静止画や動画を表示します。

1 **静止画モード、またはビデオモードを表示します。**

2 **画面下の 画像一覧 をタップします。**

“画像とビデオ”（☞次ページ）が起動します。

3 **表示する画像をタップします。**

画像が表示されます。
くわしくは次ページをご覧ください。

画像とビデオ

静止画（画像）の表示や編集、ビデオ（動画）を表示することができます。
ここでは、画像とビデオの基本的な使いかたについて説明します。あわせてヘルプもご覧ください。

静止画や動画を見る

スタート メニューの “プログラム” をタップし、“画像とビデオ” をタップします。

画像とビデオ画面（「マイピクチャ」フォルダに保存された静止画（画像）やビデオ（動画）の一覧）が表示されます。

① タップすると、どのフォルダにある静止画や動画を一覧で表示したいか指定できます。

② タップすると、ファイルやフォルダの並べ替え順の項目が表示されます。
並べ替え順の項目をタップするとその項目を基準に画像や動画が並び替わります。

③ “カメラ” (☞ 7-2 ページ) が起動します。

④ フォルダ内の画像や動画がサムネイル表示されます。

撮影した静止画（画像）を確認する

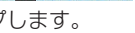
1 確認したい静止画（画像）を選択し、画面左下の 表示 をタップします。

画面全体に拡大され、詳細画面が表示されます。

MEMO

- 確認したい静止画をタップしても画面全体に拡大表示されます。

2 ok をタップすると一覧に戻ります。

撮影した動画（ビデオ）を確認する

1 確認したい “ ” 動画（ビデオ）を選択し、画面左下の 再生 をタップすると Windows Media Player 10 Mobile が起動して再生されます。

Windows Media Player 10 Mobile の操作についてくわしくは、7-22 ページをご覧ください。

画像をスライドショーで表示する

複数の画像を連続して表示するスライドショー表示ができます。

1 画像とビデオ画面右下の メニュー － スライドショーの再生 をタップします。

スライドショーを終了するときは、画面をタップし、スライドショーツールバー（ ）を表示し、 をタップします。
スライドショーツールバーでスライドショーの終了や一時停止（ ）、表示の回転（ ）などの操作ができます。

MEMO

- 縦画面、横画面どちらでスライドショー表示するか設定できます。（☞ 7-10 ページ）

メールに添付して送る

画像やビデオを電子メールの添付ファイルとして送信できます。

1 **画像とビデオ画面で添付ファイルとして送信したい画像またはビデオをタップしたままにします。**

ポップアップメニューが表示されます。

2 **送信 をタップします。**

・**画像を選択しているとき**

「手書きメールを送信」や「W-ZERO3 メールで送信」、「メール(Outlook)」などの選択画面が表示されます。

「手書きメールを送信」を選択すると
画像に手書きのコメントなどをつけて送ることができる手書きメールの新規作成画面が表示されます(☞ 4-15 ページ)。

「W-ZERO3 メールで送信」、「メール(Outlook)」などをタップすると
画像を添付ファイルとしたメールの新規作成画面が表示されます(☞ 4-11 ページ)。

・**ビデオを選択しているとき**

ビデオを添付ファイルとしたメールの新規作成画面が表示されます(☞ 4-11 ページ)。

MEMO

- 添付ファイルとして送信したい画像またはビデオを選択し、画面右下の メニュー − 送信 をタップしても選択した画像またはビデオを添付ファイルとしたメールの新規作成画面が表示されます。
- 「アカウントの選択」画面が表示されたときは、添付して送るアカウントをタップして選択します。

3 **宛先、件名、本文などを入力します。**

画像を「Today」画面の背景に設定する

画像を「Today」画面の背景として設定できます。くわしくは 10-3 ページをご覧ください。

撮影した静止画(画像)を編集する

撮影した画像をトリミング(切り抜き)したり、明るさ／コントラストのレベルを調整するなど編集することができます。

1 **画像とビデオ画面で編集したい画像を選択し、画面左下の 表示 をタップします。**

2 **画面右下の メニュー − 編集 をタップして画像を編集します。**

■ 画像をトリミング(切り抜き)する

1 **画面右下の メニュー − トリミング をタップします。**

2 **切り抜きしたい部分をドラッグします。**

3 **ドラッグした領域内をタップします。**

トリミングをやめるときは、画面右下の メニュー − 元に戻す をタップします。

4 **編集後の画像を保存するときは、画面右下の メニュー − 名前を付けて保存 をタップし、ファイル名を確認し ok をタップします。**

■ 明るさ／コントラストのレベルを調整する

1 **画面右下の メニュー − 自動修正 をタップします。**

明るさ／コントラストのレベル調整をやめるときは、画面右下の メニュー − 元に戻す をタップします。

2 **編集後の画像を保存するときは、画面右下の メニュー − 名前を付けて保存 をタップし、ファイル名を確認し ok をタップします。**

MEMO

- 画面左下の 回転 をタップすると、90 度ずつ画像を回転します。
- 直前の編集操作を元に戻すには、画面右下の メニュー – 元に戻す をタップします。
- すべての編集操作をやめて元に戻すには、画面右下の メニュー – 前回保存したときの状態に戻す をタップします。

画像やビデオを整理する

新規フォルダを作成する

新しくフォルダを作って画像やビデオを整理できます。

1 画像とビデオ画面右下の メニュー – 編集 – 新しいフォルダ をタップします。

新しいフォルダが作成されます。

ファイルやフォルダを移動させる

1 移動させるファイルやフォルダをタップしたままにします。

2 ポップアップメニューから 切り取り をタップします。

MEMO

- 移動させるファイルやフォルダを選択し、画面右下の メニュー – 編集 – 切り取り をタップしても切り取りができます。

3 移動先のフォルダをタップし、フォルダを開きます。

4 メニュー – 編集 – 貼り付け をタップします。

MEMO

- フォルダを移動すると、フォルダ内のファイルは、すべて移動されます。

- **削除するときは**

  上記の手順 **2** で 削除 をタップし、確認画面で はい をタップします。
  動画（ビデオ）ファイルを削除するときに「ファイルの削除エラー」が表示された場合、そのファイルは Windows Media Player 10 Mobile で使用されているため削除できません。
  Windows Media Player 10 Mobile を終了してから(☞ 1-24 ページ)、再度、動画（ビデオ）ファイルを削除してください。

- **ファイルをコピーするときは**

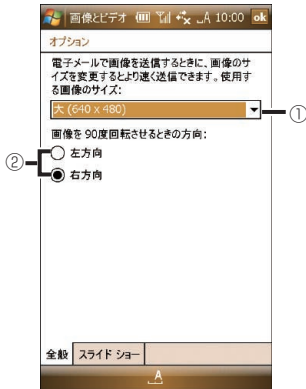
  上記の手順 **2** で コピー をタップします。

- **ファイルの名前を変更するときは**

  1 名前を変更したいファイルを選択し、画面右下の メニュー – ツール – プロパティ をタップします。

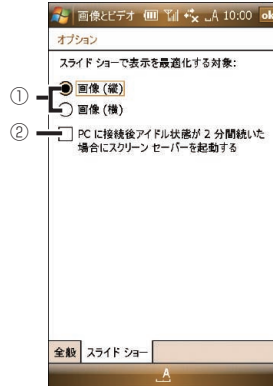
  2 プロパティ画面の「名前」欄の名前を変更し ok をタップします。

メールに添付するときのサイズを設定する

画像とビデオ画面右下の［メニュー］－［ツール］－［オプションの表示］－［全般］タブで、メールに添付するときのサイズの設定や編集画面で画像を回転させる方向の設定ができます。
設定が終わったら ok をタップしてください。

① 電子メールで画像を送信するときの画像のサイズを設定します。

② 画像を 90 度回転（☞ 前ページ）させるときの方向を設定します。

スライドショーの設定をする

画像とビデオ画面右下の［メニュー］－［ツール］－［オプションの表示］－［スライドショー］タブで、スライドショーの設定ができます。
設定が終わったら ok をタップしてください。

① 画像を表示するとき、縦画面にして画像を表示（画像（縦））する、横画面にして画像を表示（画像（横））するを選択します。

② パソコンと接続後、2 分間操作しないと、スライドショーが始まります。

画像とビデオのメニュー

画像とビデオ画面のメニュー

送信		選択した画像またはビデオを添付した新規メールを作成する(☞7-8ページ)。
ビーム		選択した画像またはビデオを別のWS020SHなどに送信する。
連絡先に保存		連絡先の画像情報に選択した画像を設定する。
削除		選択した画像またはビデオを削除する。 画像またはビデオをタップしたままにして、ポップアップメニューから 削除 をタップしても削除ができる。
編集	切り取り	画像またはビデオを切り取る。 画像またはビデオをタップしたままにして、ポップアップメニューから 切り取り をタップしても切り取りができる。
	コピー	画像またはビデオをコピーする。 画像またはビデオをタップしたままにして、ポップアップメニューから コピー をタップしてもコピーができる。
	貼り付け	コピーおよび切り取った画像またはビデオを貼り付ける。
	新しいフォルダ	画像やビデオを整理するための新しいフォルダを作成する(☞7-9ページ)。
スライドショーの再生		画像をスライドショーとして表示する(☞7-7ページ)。
[Today]の背景に設定する		選択した画像をToday画面の背景として設定する(☞7-8、10-3ページ)。
移動		選択したフォルダ階層へ移動します。
ツール	プロパティ	選択した画像またはビデオの情報を表示する。また、名前の変更ができる。
	並べ替え	名　前：名前順で表示する。 日　付：日付順で表示する。 サイズ：サイズ順で表示する。
	オプションの表示	オプション設定画面を表示する(☞前ページ)。
スペースに送信		登録しているWindows Liveスペースに送信する。
Irss		選択した画像を高速赤外線通信でIrss対応機器へ送信する。

詳細画面のメニュー

ズーム		ファイルサイズが大きいとき、タップすると、ナビゲーション用のサブウィンドウを表示して、画像の拡大／縮小、表示領域の移動をする。
スライドショーの再生		画像をスライドショーとして表示する(☞7-7ページ)。
[Today]の背景に設定する		表示している画像をToday画面の背景として設定する(☞7-8、10-3ページ)。
画像のビーム		画像を別のWS020SHなどに送信する。
保存	連絡先に保存	連絡先の画像情報に表示している画像を設定する。
	名前を付けて保存	表示している画像とは別のファイルとして名前を変更して保存する。
編集		編集画面になる(☞7-8ページ)。
プロパティ		選択した画像の情報を表示する。また、名前の変更ができる。
オプション		オプション設定画面を表示する(☞前ページ)。
スペースに送信		登録しているWindows Liveスペースに送信する。
Irss		選択した画像を高速赤外線通信でIrss対応機器へ送信する。

編集画面のメニュー

トリミング	画像を切り抜きする。
自動修正	画像の明るさやコントラストを自動で調整する。
元に戻す	トリミングや自動修正した画像を、元に戻す。
前回保存したときの状態に戻す	トリミングや画像回転などの編集を行った後、変更する前の状態（前回保存したときの状態）に戻す。
名前を付けて保存	表示している画像とは別のファイルとして名前を変更して保存する。

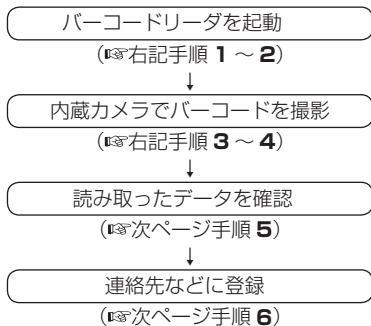
バーコードリーダを利用する

内蔵カメラを使ってバーコード（QR コードやJAN コード）を読み取ることができます。読み取った内容をもとに、連絡先への登録、メール送信、ブックマーク登録などができます。

MEMO

- バーコードのサイズや種類によっては読み取れないことがあります。

バーコードの撮影から登録までの流れ

バーコードリーダを起動
（☞右記手順 **1** ～ **2**）
↓
内蔵カメラでバーコードを撮影
（☞右記手順 **3** ～ **4**）
↓
読み取ったデータを確認
（☞次ページ手順 **5**）
↓
連絡先などに登録
（☞次ページ手順 **6**）

バーコードを読み取る

1 スタート メニューの “プログラム”をタップします。

2 プログラム画面で “バーコードリーダ”をタップします。

3 読み取りエリア（ファインダー）の中央に読み取るバーコードを表示します。
バーコードが正面になるようにして、焦点距離は約 10cm（目安）にします。

4 アクションキーまたは、画面左下の 読み取り をタップします。

MEMO

- バーコードを印刷している紙面が光沢のある用紙などでは読み取れないことがあります。
また、バーコードの周囲に空白部分がない場合も読み取れないことがあります。
- 読み取るときは、ピントが合っていることを確認してからアクションキーまたは、画面左下の 読み取り をタップしてください。
- 読み取りに失敗すると「バーコードを読み取りできませんでした。」と表示されます。ok をタップし、手順 **3** からやり直してください。
- 大きめの横長のバーコードを読み取る場合は、本体を横にしてバーコード全体を読み取りエリアに収めてから撮影してください。

5 読み取ったバーコードが認識され、電話番号やURL、メールアドレスなどが表示されます。

①タップすると手順 **3** に戻ります。

6 画面下のボタンをタップします。

・電話帳に登録：表示している内容を連絡先に登録します。
・メール作成：メールを作成します。
・テキスト保存：表示している内容をテキストデータとして保存します。

※認識したバーコードによって、電話帳に登録は表示されないことがあります。

MEMO

- 電話帳に登録などのボタンは、画面右下のメニューをタップし表示されたメニューから電話帳に登録、メール作成、テキスト保存を選択しても行えます。
- 画面に表示されたメールアドレス、電話番号などをタップするとメニューが表示されます。
  各メニューを選択したときの動作については、次ページをご覧ください。
  メニューを選択したときと手順 **6** でボタンをタップしたときとでは動作が異なります。
- バーコードによっては、手順 **5** で表示される画面のボタンが電話帳に登録、メール連携などになることがあります。
  メール連携をタップするとアカウント選択画面が表示されます。アカウントを選択すると、宛先やタイトルなどが入った新規メール作成画面が表示されます。
- 電話帳に登録する操作は、実際には“連絡先”に登録されます。

■ 電話番号をタップしたとき

ライトメール作成		宛先に電話番号が入ったライトメールの新規作成画面が表示されます。
電話帳に登録	**新規登録**	表示された画面で入力する項目を選択して、決定 をタップすると、電話番号が入った新規作成画面が表示されます。
	追加登録	連絡先のリスト画面が表示され、追加する連絡先をタップします。次に表示された画面で入力する項目を選択して 決定 をタップすると、電話番号が入った編集画面が表示されます。
発信、184発信など		電話をかけます。また184発信を選択すると、電話番号を通知せずに電話をかけます。電話をかけることについては、電話の章をご覧ください。

■ メールアドレスをタップしたとき

電話帳に登録	**新規登録**	表示された画面で入力する項目を選択して、決定 をタップすると、メールアドレスが入った新規作成画面が表示されます。
	追加登録	連絡先のリスト画面が表示され、追加する連絡先をタップします。次に表示された画面で入力する項目を選択して 決定 をタップすると、メールアドレスが入った編集画面が表示されます。
Eメール作成		メールを作成します。

■ URL をタップしたとき

ホームページに接続		インターネットに接続し、そのホームページが表示されます。
ブックマークに登録		ブックマークを登録します。
電話帳に登録	**新規登録**	URLが入った新規作成画面が表示されます。
	追加登録	連絡先のリスト画面が表示され、追加する連絡先をタップすると、URLが入った編集画面が表示されます。

名刺リーダを利用する

内蔵カメラを使って、名刺を撮影すると名前や住所などの文字を読み取って“連絡先”に登録することができます。
知らない間に増えてしまう名刺を、手軽に管理できるようになります。

ご注意

- **名刺の読み取りがうまくできないときは**

  名刺の読み取りには多くのメモリを使用します。読み取りがうまくできないときは、次の手順で、プログラム実行用メモリの空き領域を増やしてください。
  - Today 画面に「実行中のプログラム：X 件」が表示されているときは、「実行中のプログラム：X 件」をタップして、実行中のプログラム一覧から使用していないプログラムを選択して「タスクの終了」をタップします。
  - インターネットを閲覧した際のキャッシュ（前に表示したWEBコンテンツなどの記憶）を削除します。

    Internet Explorer
    ：メニュー － ツール － オプション － メモリ タブから、ファイルを削除 をタップします。

名刺の撮影から登録までの流れ

名刺リーダを起動
（☞下記手順 **1** ～ **2**）
↓
内蔵カメラで名刺を撮影
（☞下記～次ページ手順 **3** ～ **4**）
↓
読み取ったデータを確認
（☞次～ 7-18 ページ手順 **4** ～ **5**）
↓
連絡先などに登録
（☞ 7-18 ページ手順 **5** ～ **8**）

名刺を読み取る

1 **スタート メニューの “プログラム”をタップします。**

2 **プログラム画面で “名刺リーダ”をタップします。**

3 **読み取りエリア（ファインダー）の中央に読み取る名刺を表示します。**
名刺が正面になるようにして、焦点距離は約 10cm(目安)にします。

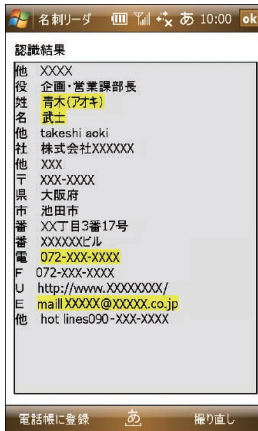
ご注意

- **認識精度がよくないときは**

  名刺を表示しているとき、この製品が斜めになっていないか傾いていないか確認してください。斜めになっていたりすると、認識精度が悪くなります。

4 **(アクション)キーまたは画面左下の [読み取り] をタップします。**

「認識中」と表示され、しばらくすると認識結果が表示されます。

姓や名、電話番号などの認識結果は黄色の背景が付きます。

画面左端の「部」や「姓」などは、認識した文字とデータを登録する“連絡先”の項目の関係を示しています。各項目については、以下の表をご覧ください。

表示項目	連絡先の項目	
U※1	Webページ	
E※2	電子メール	
電※3	勤務先電話	
携※1	携帯電話	
P※1	PHS	
F※1	勤務先FAX	
姓	姓(フリガナ)※6	名前
名	名	
〒※1	郵便番号	勤務先住所
県※1	都道府県	
市※1	市町村	
番※1	番地以下	
住※4	番地	勤務先住所
社※5	勤務先	
部※5	部署	
役※5	役職	
他※5	「メモ」タブ	

※1 この項目が複数ある場合、1つ目だけが“連絡先”の各項目に入り、2つ目以降は「メモ」タブに入ります。

※2 この項目が複数ある場合、最初の3つのメールアドレスが“連絡先”の「電子メール」、「電子メール2」、「電子メール3」に入り、4つ目以降は「メモ」タブに入ります。

※3 この項目が複数ある場合、最初の2つの電話番号が“連絡先”の「勤務先電話」、「勤務先電話2」に入り、3つ目以降は「メモ」タブに入ります。

※4 英字の名刺を認識した場合に表示され、すべて勤務先住所の「番地」に入ります。

※5 この項目が複数ある場合、対応する“連絡先”の項目(「部署」など)に半角スペースで区切られて入ります。

※6 姓にあたる文字を認識したとき、認識した文字(姓)のふりがなも表示します。
ただし、ふりがなは推測によるものであり、必ずしも正しいものではありません。

MEMO

- 認識に失敗したときはメッセージが表示されますので、ok をタップして、もう一度撮影してください。エラーメッセージが表示されたときは ok をタップしてください。

5 読み取ったデータを確認し、画面左下の 電話帳に登録 をタップします。

読み取ったデータが“連絡先”に自動的に入力されます。

MEMO

- 撮り直したいときは、画面右下の 撮り直し をタップします。

6 “連絡先”の編集画面で内容を確認し、ok をタップします。

“連絡先”にデータが登録されます。

7 確認画面で ok をタップします。

8 読み取り画面に戻りますので、複数の名刺を読み取るときは同じ操作を繰り返します。

MEMO

- 名刺の紙質が光沢のある用紙などでは読み取れないことがあります。
- 電話帳に登録する操作は、実際には“連絡先”に登録されます。

ご注意

- **名刺リーダで名刺を読み取るとき、次のような場合には認識ができないまたは認識が悪くなることがあります。**
- 認識できない名刺
  - ・黒地に白文字や濃い色の背景に薄い色の名刺
  - ・手書きや手書き風のフォントを使った名刺
  - ・背景が付いている名刺
  - ・縦書きと横書きが混在している名刺
- 認識が悪くなる名刺
  - ・名前や住所などの文字が薄くコントラストが低い名刺
  - ・非常に小さい文字や斜体の文字がある名刺
  - ・社名などがロゴやロゴ風フォントなどになっている名刺
  - ・表面に光沢のある名刺
  - ・汚れたり折れている名刺

コラムリーダを利用する

内蔵カメラを使って、原稿を撮影すると文字を読み取ることができます。

ご注意

- **原稿の読み取りがうまくできないときは**

  原稿の読み取りには多くのメモリを使用します。読み取りがうまくできないときは、次の手順で、プログラム実行用メモリの空き領域を増やしてください。

  · Today 画面に「実行中のプログラム：X 件」が表示されているときは、「実行中のプログラム：X 件」をタップして、実行中のプログラム一覧から使用していないプログラムを選択して「タスクの終了」をタップします。

  · インターネットを閲覧した際のキャッシュ（前に表示したWEBコンテンツなどの記憶）を削除します。

    Internet Explorer
    ：［メニュー］－［ツール］－［オプション］－［メモリ］タブから、［ファイルを削除］をタップします。

著作権の対象となっている著作物を複製、編集等することは、著作権法上、個人的にまたは家庭内でその複製物や編集物を使用する場合に限って許されています。利用者自身が複製対象物について著作権を有しているか、あるいは複製等について著作権者等から承諾を受けている等の事情がないにもかかわらず、この範囲を超えて複製・編集や複製物・編集物を使用した場合には、著作権を侵害することとなり、著作権者等から損害賠償等を請求されることとなりますので、そのような利用方法は厳重にお控えください。

原稿の撮影から編集までの流れ

コラムリーダを起動
（☞下記手順 **1** ～ **2**）
↓
内蔵カメラで原稿を撮影
（☞下記～次ページ手順 **3** ～ **4**）
↓
読み取る範囲を指定
（☞次ページ手順 **5** ～ **6**）
↓
読み取ったデータを確認
（☞次ページ手順 **6** ～ **7**）
↓
Word Mobile で保存
（☞次ページ手順 **7** ～ **8**）

原稿を読み取る

1 ［スタート］メニューの “プログラム”をタップします。

2 プログラム画面で “コラムリーダ”をタップします。

3 読み取りエリア（ファインダー）の中央に読み取る原稿を表示します。

ご注意

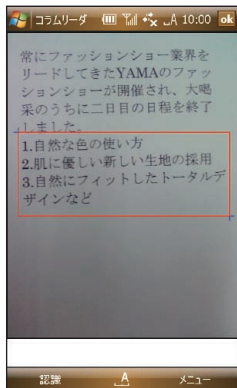
- **認識精度がよくないときは**

  原稿を表示しているとき、この製品が斜めになっていないか傾いていないか確認してください。斜めになっていたりすると、認識精度が悪くなります。

4 (アクション)キーまたは画面左下の[読み取り]をタップします。

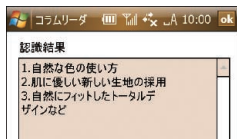
撮影結果が表示されます。

5 文字として認識する範囲の左上を長くタップし、つづいて右下を長くタップして指定します。

指定した範囲が枠で囲まれます。

MEMO

- 指定した範囲の枠を長くタップし、ドラッグすると、枠の大きさを変更することができます。

6 画面左下の[認識]をタップします。

「認識中」と表示され、しばらくすると認識結果が表示されます。

MEMO

- 認識に失敗したときはメッセージが表示されますので、[ok]をタップして、さらに[メニュー]－[再読み込み]をタップして、もう一度撮影してください。
- エラーメッセージが表示されたときは[ok]をタップしてください。コラムリーダが終了しますので、再度、コラムリーダを起動してください。

7 認識したデータを確認し、画面左下の[Word で編集]をタップします。

認識したデータが“Word Mobile”に自動的に入力されます。

MEMO

- 撮り直したいときは、画面右下の[メニュー]－[再読み込み]をタップします。

8 “Word Mobile”の編集画面で内容を確認し、[ok]をタップします。

Word Mobile のテキストファイルとして保存されます。

MEMO

- “Word Mobile”の編集方法については、付属の CD-ROM に収録のアプリケーションマニュアル（☞ 0-38 ページ）をご覧ください。
- 保存されたファイルのファイル名は YYYYMMDD_HHMMSS（たとえば、「20081120_153021」）になり、「My Documents」フォルダ内の「ColumnReader」フォルダの中に保存されます。

ご注意

- **コラムリーダで原稿を読み取るとき、次のような場合には認識ができないまたは認識が悪くなることがあります。**

- 認識できない原稿
  - ・黒地に白文字や濃い色の背景に薄い色の原稿
  - ・手書きや手書き風のフォントを使った原稿
  - ・背景が付いている原稿
  - ・縦書きと横書きが混在している原稿
- 認識が悪くなる原稿
  - ・文字が薄くコントラストが低い原稿
  - ・非常に小さい文字や斜体の文字がある原稿
  - ・社名などがロゴやロゴ風フォントなどになっている原稿
  - ・表面に光沢のある原稿
  - ・汚れたり折れている原稿

コラムリーダのメニュー

■ 撮影結果表示中のメニュー

再読み込み	再度原稿を読み取ります。
範囲再指定	認識する範囲を指定し直します。

■ 認識結果表示中のメニュー

再読み込み	再度原稿を読み取ります。
認識範囲再指定	認識する範囲を指定し直します。
バージョン表示	コラムリーダのバージョンを表示します。

音楽や映像を楽しむ（Windows Media Player 10 Mobile）

この製品やネットワーク上にあるビデオファイル、オーディオファイルを再生できます。

次のファイルを再生できます。
・オーディオファイル
　：MP3形式、Windows Media Audio（wma）形式
・ビデオファイル
　：Windows Media Video（wmv）形式
・ストリーミング
　：Advanced Streaming Format（asf）形式

ご注意

- **ファイルの種類やサイズによっては、再生できないことがあります。**

- **イヤホンマイク使用時は、音量設定に注意してご使用ください。**
  イヤホンマイクなどをご使用になる場合は、音量の設定に十分気をつけて再生してください。
  思わぬ大音量が出て耳を痛める原因となることがあります。
  音量を設定する（☞ 10-21 ページ）をご覧になり、音量を変更してください。

ここでは、Windows Media Player 10 Mobile の基本的な使いかたについて説明します。あわせてヘルプもご覧ください。

MEMO

- **マナーモードのときにヘッドホンやイヤホンを接続して音を聞くときは**
  マナーモード（☞ 3-22 ページ）を「標準」や「サイレント」にしていると、イヤホンマイク端子に接続したヘッドホンやイヤホンからは音が聞こえません。[スタート]－[設定]－[個人用]タブ－[電話]－[マナー]タブ－[マナーモード]で表示されるマナーモードを次のように設定してください。
  ・モード　　　：オリジナル
  ・システム音　：ON
  ・着信音　　　：OFF
  ・バイブレータ：ON
  伝言メモは、ON ／ OFF どちらでもかまいません。

音楽や映像を楽しむには

音楽 CD やインターネットホームページ上の著作権の対象となっている著作物を複製、編集等することは、著作権法上、個人的にまたは家庭内でその複製物や編集物を使用する場合に限って許されています。利用者自身が複製対象物について著作権を有しているか、あるいは複製等について著作権者等から承諾を受けている等の事情がないにもかかわらず、この範囲を超えて複製・編集や複製物・編集物を使用した場合には、著作権を侵害することとなり、著作権者等から損害賠償等を請求されることとなりますので、そのような利用方法は厳重にお控えください。

この製品で音楽や映像を楽しむには、最初にオーディオファイルやビデオファイルなどをこの製品に保存します。パソコンの Windows Media Player 10 と同期するとオーディオファイルなどを同期しこの製品に保存できます（Windows Media Player 10 との同期についてくわしくは、7-26 ページをご覧ください）。
また、すでにお持ちのパソコンなどに再生できるファイルを保存されているときは、microSD カードにそのファイルをコピーしてこの製品に取り付けて再生できます。microSD カードに保存しているファイルを再生するときは、カードを取り付け後、ライブラリの更新（次ページのメモ）を行ってください。

音楽や映像を再生する

オーディオファイルやビデオファイルを選んで再生します。
また、ライブラリによってアーティストやジャンルなどの項目別に自動分類されたフォルダ（アルバム名、アーティスト名、ジャンルなど）の中のファイルを順番に再生します。

1 **スタート メニューの “プログラム”をタップします。**

2 **プログラム画面で “Windows Media”をタップします。**
ライブラリ画面が表示されます。
表示されないときは、画面右下の メニュー － ライブラリ をタップしてください。

MEMO

- **ライブラリの更新**
ファイルが表示されないときはライブラリの更新を行ってください。ライブラリ画面で画面右下の メニュー － ライブラリの更新 をタップします。
microSD カード内のファイルを再生するときは、下記手順 **3** の①を行ってください。

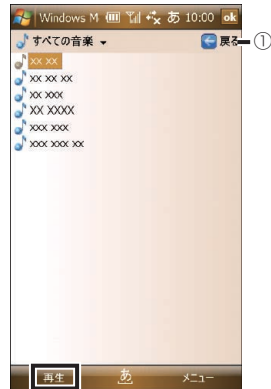
3 **再生したいファイルのカテゴリ（マイミュージック、マイビデオなど）をタップします。**

① microSD カード内のファイルを再生するときなど、タップして切り替えます。

② 動画ファイルはこの中に入ります。

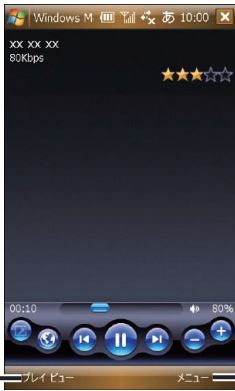
③ カテゴリをタップして再生するファイルやフォルダを表示します。

4 **カテゴリの中のフォルダ（すべての音楽、アーティスト、アルバム、ジャンルなど）をタップして、再生するファイルやフォルダを表示します。**

5 **再生するファイルやフォルダ（すべての曲、アルバム名、アーティスト名、ジャンルなど）を選択し、画面左下の 再生 をタップします。**

① 1 つ前の画面に戻ります。

7 映像と音楽

音楽や映像を楽しむ

再生画面が表示され、再生が始まります。フォルダ（アルバム名､アーティスト名､ジャンルなど）を選択した場合は、フォルダの中のファイルが順番に再生されます。

① プレイビュー画面を表示し、再生順の変更や再生リストからの削除などができます（☞次ページ)。

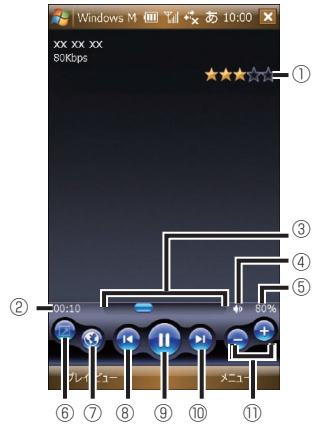
② ランダム再生、連続再生の設定や再生中のファイル情報の表示などができます。

MEMO

- 再生するファイルやフォルダをタップしたままにし､表示されるポップアップメニューから 再生 をタップしても再生できます。
- パソコンなどから転送した新しいファイルがライブラリ画面に表示されない場合は､ライブラリの更新を行ってください。

1 ライブラリ画面右下の メニュー － ライブラリの更新 をタップします。

2 ファイルの追加作業を待って画面右下の 終了 をタップします。

再生画面について

① ☆（評価）をタップして評価を設定します。

② 経過時間または残り時間を表示します（☞ 7-27 ページ)。

③ 再生の進行状況を表示します。

④ 音量のオン・オフを切り替えます。

⑤ 音量を表示します。

⑥ ビデオファイルを再生中にタップすると、全画面で表示します。
元に戻すには、画面のどこかをタップします。

⑦ Windows Media.com のホームページを表示します。
前もって、インターネットに接続するための設定を行ってください。

⑧ 再生中にタップするとファイルの先頭まで戻し再生します。
再生停止時にタップすると、1 つ前のファイルへスキップします。

⑨ ファイルを一時停止します。
一時停止時は ▶ が表示され、タップすると再生を再開します。

⑩ 次のファイルへスキップします。

⑪ システム音量で設定した音量（☞ 10-21 ページ）を 100%として、音量を調整します。
＋ ：音量を上げます。
－ ：音量を下げます。

ランダム再生／連続再生する

順不同に再生する「ランダム再生」や、プレイビュー画面のファイルを表示順にくり返し再生する「連続再生」が行えます。
再生画面やプレイビュー画面で、画面右下の［メニュー］－［ランダム再生／連続再生］－［ランダム再生］または［連続再生］をタップします。

ネットワーク上のファイルを再生する

インターネットやネットワーク上のファイルを再生します。

1 **ライブラリ画面で、画面右下の［メニュー］－［URL を開く］をタップします。**

2 **「URL：」欄にネットワークアドレスを入力し、画面左下の［OK］をタップします。**

プレイビュー画面（再生リスト）について

再生画面左下の［プレイビュー］をタップすると、再生するファイルをリスト表示します。
再生するファイルの順番を変えたり、再生リストからファイルを削除できます。

① 再生するファイルがリスト表示されます。
▶ が再生中のファイルです。

② 選択したファイルを再生リストの上へ移動します。

③ 選択したファイルを再生リストの下へ移動します。

④ ライブラリ画面に切り替えます。
ファイルやフォルダを追加するときは、ライブラリ画面で追加したいファイルやフォルダなどをタップしたままにし、表示されるポップアップメニューから［再生待ちに追加］をタップします。ライブラリ画面に切り替える前のプレイビュー画面の一番下に追加されます。

⑤ 選択したファイルを再生リストから削除します。

⑥ 選択したファイルの情報を表示します。

MEMO

- プレイビュー画面で画面右下の［メニュー］－［プレイビューの消去］をタップすると、再生リストからすべてのファイルを消去します。

再生中に画面を消す

以下の手順でキーボードのキーや（カーソル）キーなどに設定を割り当てると、音楽再生中に画面を消すことができます。

1 **オプション画面（［ボタン］タブ）を表示し（☞ 7-29 ページ）、画面を一番下までスクロールします。**

2 **［切り替え画面］をタップし、［割り当て］をタップします。**

3 **割り当てるキーボードのキーや（カーソル）キーなどをタップし、［ok］をタップします。**
Windows Media Player 10 を起動中に手順 **3** で割り当てたキーを押したり、タップすると画面が消えます。画面を表示するときはいずれかのキーを押したり、タップします。

パソコンで作った再生リストを再生する

ライブラリ画面で「再生リスト」を選択して再生します。
“再生リスト”とは、お気に入りのファイルを集めたリストのことです。
たとえばいろいろなアルバムにあるお気に入りのオーディオファイルを再生リストに登録して、お気に入りの音楽だけを再生できます。
再生リストは、パソコンの Windows Media Player 10 で作成し、同期させてこの製品に取り込みます（☞次ページ）。

Windows Media Player 10と同期する

ActiveSyncをインストールし同期設定（☞8-9ページ）をしていると、パソコンのWindows Media Player 10とこの製品の間で音楽（オーディオ）ファイルを同期できます。まだ、ActiveSyncをインストールしていない場合は、8-3ページをご覧になりインストールしてください。

MEMO

- ActiveSyncをインストールしていても Mediaを設定していないときは8-5ページのメモをご覧になり、設定を行ってください。

1 パソコンでWindows Media Player 10を起動し、同期する音楽ファイルを取り込みます。

すでに、Windows Media Player 10に音楽ファイルを取り込んでいるときは、この手順は必要ありません。

2 パソコンとこの製品を付属のUSBケーブルで接続します。

しばらくするとActiveSyncが起動し、「連絡先」など設定しているプログラムの同期を行います。

3 パソコンでWindows Media Player 10を起動して「同期」タブをクリックします。

4 パソコンで画面左側のリストに音楽ファイルを表示させ、「 同期の開始」をクリックします。

同期が始まります。

5 同期完了後、パソコンからこの製品を取り外します。

Windows Media Player 10の操作についてくわしくは、Windows Media Player 10のヘルプをご覧ください。

MEMO

- Windows Media Player 10と自動的に同期するように設定した場合（8-6ページの手順**16**で「自動」を選択した場合）は、手順**2**を行った後、自動的に同期されます。ただし、音楽ファイル以外にビデオファイルなどすべてのファイルが同期されますのでご注意ください。1度「自動」を選択した後は、必要に応じて同期する項目を選択することができます。くわしくはWindows Media Player 10のヘルプをご覧ください。

ご注意

- **パソコンのOSがWindows ２０００の場合は**

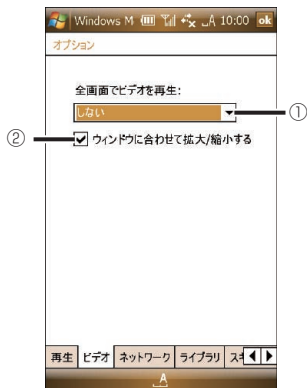
Windows Media Player 9シリーズの「デバイスへ転送」機能を使ってファイルを転送してください。

時間の表示形式、他のプログラムを使用中の再生方法などを設定する

再生画面右下の［メニュー］－［オプション］－［再生］タブで、時間の表示形式を変更したり、他のプログラムを使用中の再生方法の設定ができます。
設定が終わったら ok をタップしてください。

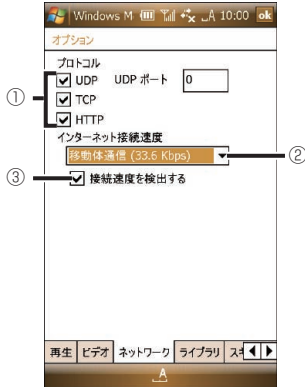
① 再生画面に表示する時間の設定をします。
　経過時間：再生開始からの時間を表示します。
　残り時間：終了までの残り時間を表示します。

ビデオ再生時の画面設定をする

再生画面右下の［メニュー］－［オプション］－［ビデオ］タブで、ビデオ再生時の表示画面の設定ができます。
設定が終わったら ok をタップしてください。

① しない：ビデオを全画面で再生しません。
　サイズ超過時のみ：サイズが超過したビデオのみ全画面で再生します。
　常に：すべてのビデオを全画面で再生します。

② チェックを付けると、縮小表示します。

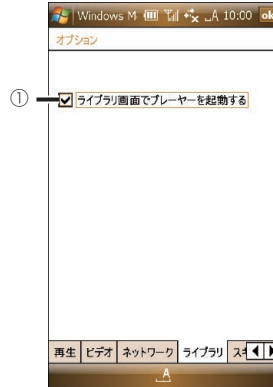
ネットワークプロトコルとインターネット接続速度を設定する

再生画面右下の[メニュー]－[オプション]－[ネットワーク]タブで、ネットワーク上のファイルを再生する（ストリーミング）ときの設定をします。
設定が終わったら ok をタップしてください。

① ストリームを受信するときのプロトコルを指定します。
すべてのプロトコルを選択することをお勧めします。

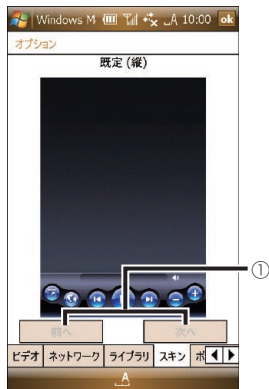
② インターネット接続速度を変更します。

③ 再生が最適化されるように接続速度を自動的に設定させるときチェックを付けます。

起動時に表示させる画面を設定する

再生画面右下の[メニュー]－[オプション]－[ライブラリ]タブで、Windows Media Player 10 Mobile を起動したときの画面を設定します。
設定が終わったら ok をタップしてください。

① チェックを付けると、起動したときにライブラリ画面が表示されます。
再生画面を表示させるときは、チェックを外します。

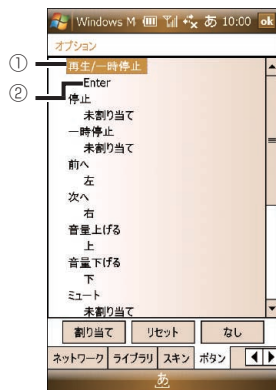
再生画面の外観（スキン）を変更する

再生画面右下の［メニュー］－［オプション］－［スキン］タブで、再生画面の外観（スキン）を設定します。
設定が終わったら［ok］をタップしてください。

① ダウンロードなどにより新しいスキンをこの製品に取り込むと［前へ］または［次へ］をタップして外観（スキン）の変更ができます。

キーボードのキーなどの割り当てを変更する

1 再生画面右下の［メニュー］－［オプション］－［ボタン］タブで、変更したいコントロール名（再生／一時停止など）をタップします。

2 ［割り当て］をタップし、「ボタンの割り当て」画面が表示中に、新しく割り当てるキーボードのキーや（カーソル）キーなどを押したりタップします。

押したりタップしたキーが表示されます。

① コントロール名

② 割り当てたキーを表示します。

MEMO

- キーやボタンの割り当てを元に戻すときは、再度コントロール名をタップして［リセット］をタップします。
- キーやボタンの割り当てをしないときは、コントロール名をタップして［なし］をタップします。
- 一部のボタンやキーには割り当てできないなどの制限があります。

3 設定が終わったら［ok］をタップします。

Windows Media Player 10 Mobile のメニュー

再生画面のメニュー

ライブラリ		ライブラリ画面に切り替わる。
再生／一時停止		再生を開始または一時停止する。
停止		再生を停止する。
ランダム再生／連続再生	ランダム再生	ランダム再生する(☞7-25ページ)。
	連続再生	連続再生する(☞7-25ページ)。
全画面表示		ビデオファイルの再生中にタップすると、全画面表示になる。
オプション		オプション設定画面を表示する(☞7-27～29ページ)。
プロパティ		現在再生中のファイルの情報を表示する。
バージョン情報		バージョン番号など、Windows Media Player 10 Mobileに関する情報を表示する。

プレイビュー画面のメニュー

ライブラリ		ライブラリ画面に切り替わる。
上へ		選択したファイルを再生リストの上へ移動する。
下へ		選択したファイルを再生リストの下へ移動する。
再生リストから削除		選択したファイルを再生リストから削除する。
ランダム再生／連続再生	ランダム再生	再生リストのファイルをランダム再生する(☞7-25ページ)。
	連続再生	再生リストのファイルを連続再生する(☞7-25ページ)。
再生リストの保存		再生リストを保存する。
プレイビューの消去		すべての再生リスト(ファイル)を削除する。
エラーの詳細		再生時にエラーメッセージが表示されたときなどにタップでき、そのエラーの詳細を表示する。
プロパティ		選択したファイルの情報を表示する。

ライブラリ画面のメニュー

再生待ちに追加	プレイビュー再生リストの最後に追加する。
ライブラリから削除	選択したファイルをライブラリから削除する。
プレイビュー	プレイビュー画面に切り替わる。
ライブラリ	ライブラリを切り替える。
ライブラリの更新	ライブラリを更新(新しいファイルを追加)する。
ファイルを開く	マイデバイスの中のフォルダを表示する。フォルダを開きファイルを探せる。
URLを開く	Windows Media.comなどのホームページから、ネットワーク上のファイルを再生する。
プロパティ	選択したファイルの情報を表示する。

8章　パソコンとの連携

パソコンとの連携（ActiveSync/Windows Mobile デバイスセンター）

ActiveSync または Windows Mobile デバイスセンターを使うと、同期やファイルのコピーなど以下のことができます。

・パソコンの Microsoft Outlook とこの製品の予定表や連絡先などのデータを同期します。たとえば、この製品の予定表を外出先で変更してもオフィスのパソコンと同期すると、データを比較し古いデータを新しいデータに更新します。
・この製品とパソコン間でファイルやフォルダをドラッグ＆ドロップでコピーできます（☞ 8-11 ページ）。
・Word Mobile や Excel Mobile のデータとパソコンの Word や Excel のデータを同期します（☞ 8-8、8-9 ページ）。
・パソコンで表示したホームページの URL をこの製品に転送することができます。

ここでは、ActiveSync/Windows Mobile デバイスセンターの基本的な使いかたについて説明します。
設定や使用方法についてくわしくは、ヘルプや、付属の CD-ROM の中にある ActiveSync または Windows Mobile デバイスセンターの Readme.doc をご覧ください。

MEMO

● パソコンの Word や Excel のデータを Word Mobile や Excel Mobile のデータに変換したとき、Word Mobile や Excel Mobile がサポートしていない書式や機能などは反映されません。

連携ソフトとパソコンの OS

パソコンと連携するためのソフト、および連携するパソコンの OS は次の通りです。

連携ソフト	パソコンの OS ※
Windows Mobile デバイスセンター	Windows Vista
ActiveSync	Windows XP/2000

※詳しくは、右記の「動作環境」をご覧ください。

パソコンの動作環境について

■ ActiveSync をインストールするパソコン

OS（ActiveSync と USB モデムドライバ共通）

・Microsoft Windows XP Professional（Service Pack 2）
・Microsoft Windows XP Home（Service Pack 2）
・Microsoft Windows 2000 Professional（Service Pack 4）

※これ以外の OS については、付属の CD-ROM に収録されている「readme.doc」をご覧ください。

アプリケーション

・Microsoft Outlook XP、Microsoft Outlook 2003、
受信トレイ、予定表、連絡先、仕事などと同期するために必要
・Microsoft Internet Explorer 6.0 以降

■ Windows Mobile デバイスセンターをインストールするパソコン（2008 年 5 月現在）

OS

・Windows Vista（Service Pack1）
※現在 Windows Vista をお使いで、Service Pack1 へアップグレードをお考えの場合は、Windows Mobile デバイスセンターをインストールする前に、Service Pack1 へアップグレードしてください。

アプリケーション

・Microsoft Outlook 2007
・Microsoft Outlook XP
・Microsoft Outlook 2003
※受信トレイ、予定表、連絡先、仕事などと同期するために必要。
・Microsoft Internet Explorer

- 次のようなパソコンでの動作は保証できません。
  - ・自作パソコン
  - ・OS をアップグレードしたり入れ替えたパソコン
  - ・ご自分で追加した USB ポートをお使いのとき
  - ・USB ハブなどを経由した接続のとき
  - ・パソコンにこの製品以外の USB 機器が接続されているとき

ActiveSync をインストールする

ActiveSync をインストールする前にお読みください

ActiveSync をインストールする前に、ここに記載していることを確認してください。
確認した後、インストールを行ってください。

① **Outlook をインストールして、使用状態（下記）にしてください。なお、Outlook Express とは同期できません。**
ActiveSync をインストールした後で Outlook をインストール／使用できる状態にしても、すぐには使えません。まず、Outlook をインストールして使用できる状態にしてください。

Outlook を使用状態にする
Outlook インストール後、Outlook の「ツール」メニューの「オプション」をクリックし、「その他」タブをクリックします。「全般」の「Outlook を既定の電子メール、連絡先、予定表のプログラムにする」にチェックを付けた後、Outlook に連絡先や予定表などのデータを入力すると使用状態になります。

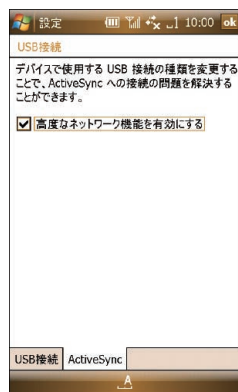
② **ウィルスチェックソフトやファイアウォールソフトなどをインストールしているときは、それらを停止／無効にしてください。**
停止方法などについては、ウィルスチェックソフトやファイアウォールソフトの説明書などをご覧ください。

③ **Intellisync など他の同期ソフトウェアや常駐ソフトウェアをインストールしているときは、それらを停止するかアンインストールしてください。**

④ **Windows Media Player と同期するときは、ActiveSync をインストールする前に Windows Media Player 10 をインストールしてください。**
古いバージョンの Windows Media Player とは同期できませんので、ご注意ください。
パソコンの OS が Windows 2000 の場合は、Windows Media Player 9 シリーズの「デバイスへ転送」機能を使ってファイルを転送してください。

MEMO

- **ActiveSync をアンインストールするには**
［スタート］メニューから「プログラムのアクセスと既定の設定」を選び、「プログラムの追加と削除」画面で「プログラムの変更と削除」をクリックした後、「Microsoft ActiveSync」を選んで［削除］をクリックします。表示される画面の指示に従ってアンインストールします。

1 この製品の通信モードを ActiveSync ができる設定にします。

1 ［スタート］メニューの "設定" をタップし、［接続］タブをタップします。
2 "USB 接続" の［USB 接続］タブで「PC と同期する。(ActiveSync)」を選択します。
3 ［ActiveSync］タブをタップし、「高度なネットワーク機能を有効にする」にチェックが付いていることを確認し、［ok］をタップします。
4 この製品の電源が自動的に切れないように設定しておいてください
(☞ 10-19 ページ)。

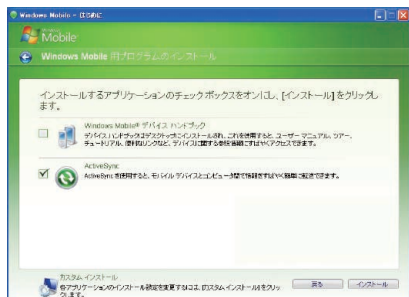
2 付属の CD-ROM をパソコンにセットします。

しばらくすると、次の画面が表示されます。

MEMO

- ここでは、Windows XP の画面で説明しています。Windows 2000 Professional では画面の形状が一部異なりますが、基本的な操作のしかたは同じです。

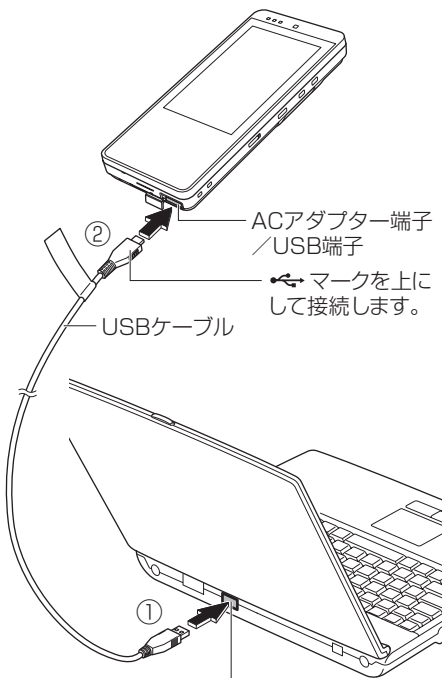
3 「セットアップとインストール」をクリックします。

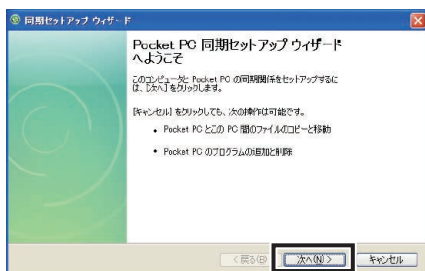
4 表示された画面で、ActiveSync にチェックが付いていることを確認して［インストール］をクリックします。

5 内容をご覧になり［同意する］をクリックします。

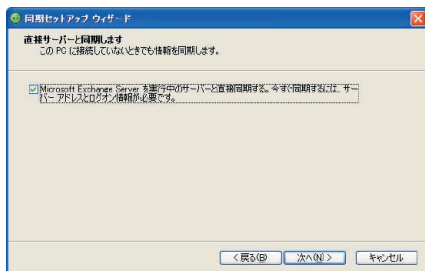
インストールが始まります。

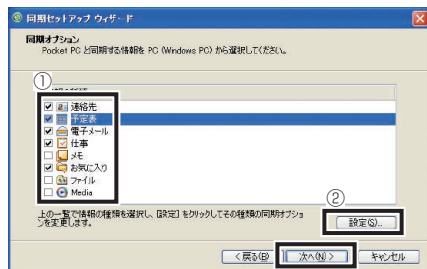
6 インストール終了後、［終了］をクリックします。

7 ①、②の順でパソコンとこの製品を付属の USB ケーブルを使って接続します。

ご注意

- **パソコンと接続するときは、次のことに注意してください**
- 付属の USB ケーブルを使って、パソコンの USB コネクターに直接接続してください。
  付属以外のケーブルや USB ハブ、USB 延長ケーブルを使って接続すると、正しく動作しないことがあります。
- パソコンと接続するときは、充電池の残量が十分であることを確認してください。

8 「Pocket PC 同期セットアップウィザードへようこそ」画面が表示されたら、［次へ］をクリックします。

MEMO

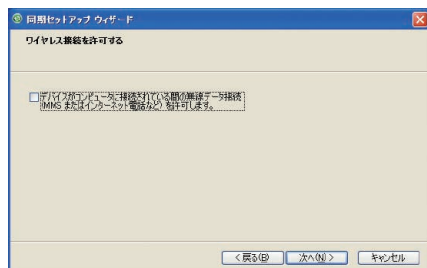
- **お使いのパソコンが Microsoft Exchange Server に接続しているときは**
  手順 **8** の後、「直接サーバーと同期します」画面（下記の画面）が表示されます。
  ・ サーバー情報やログオン情報などをネットワーク管理者にご確認のうえ、画面にしたがって操作してください。

9 Poket PC の名前を入力する画面が表示されたときは、名前を確認し、［次へ］をクリックします。

10 「同期オプション」画面が表示されたら、同期する項目にチェックを付け［次へ］をクリックします。

① 同期する項目にチェックを付けます。

② クリックすると「予定表」、「電子メール」、「お気に入り」、「ファイル」の詳細設定ができます。

MEMO

- 「ファイル」を選択すると「ファイルの同期」メッセージが表示されます。パソコンと同期する場合は、［OK］をクリックしてください。この「ファイル」は、同期するためのものです。パソコンとこの製品のファイルをコピーするときは、ファイルのコピー（☞ 8-11 ページ）を行います。
- Windows Media Player10 と音楽ファイルを同期するときは、Media の項目にチェックを付けセットアップを完了したあと手動で行います。
  Media を選択すると「メディアの同期」画面が表示されます。［OK］をクリックしてください。

11 「ワイヤレス接続を許可する」画面で内容を確認し、［次へ］をクリックします。

12 **「Pocket PC 同期セットアップウィザードの完了」画面が表示されたら、[完了]をクリックします。**
しばらくすると自動的に同期が開始されます。同期が終了すると、「ActiveSync」画面内に「接続完了」が表示されます。
手順**10**で Mediaの項目にチェックを付けていないときは、手順**12**で終了です。
Media の項目にチェックを付けているときは、手順**13**以降を行います。

13 **Windows Media Player 10と同期する場合(手順10でMediaにチェックを付けた場合)は、ActiveSync画面内の Mediaの右横の「セットアップを完了する必要があります」をクリックします。**

14 **表示された確認画面で「はい」をクリックします。**
Windows Media Player 10が起動します。

15 **Windows Media Player 10で「同期」タブをクリックし「同期の設定」をクリックします。**

16 **表示された画面で、「手動」を選択し[完了]をクリックします。**

17 **画面左側のリストに音楽ファイルを表示させ、「同期の開始」をクリックします。**
Windows Media Playerと同期が始まります。
ActiveSyncをインストールできないときや同期できないときは、8-13ページをご覧ください。

MEMO

- 手順**16**で「自動」を選択すると音楽ファイル以外にビデオファイルなどすべてのファイルが自動的にWindows Media Playerと同期しますので、「手動」を選択することをおすすめします。
  1度「自動」を選択した後は、必要に応じて同期する項目を選択することができます。くわしくはWindows Media Player 10のヘルプをご覧ください。
- **ActiveSyncインストール後に Mediaなど同期する項目を変更するときは**
  パソコンとこの製品を接続した状態でActiveSync画面の「ツール」メニューの「オプション」を選択します。
  設定画面が表示されますので項目のチェックを付けたり外したりします。

Windows Mobile デバイスセンターをインストールする

Windows Mobile デバイスセンターをインストールする前にお読みください

デバイスセンターをインストールする前に、ここに記載していることを確認してください。
確認した後、インストールを行ってください。

① **現在Windows Vistaをお使いで、Service Pack1へアップグレードをお考えの場合**
Windows Mobile デバイスセンターをインストールする前に、Service Pack1へアップグレードしてください。

② **Outlookをインストールして、使用状態(☞下記)にしてください。なお、Windowsメールとは同期できません。**
Windows Mobile デバイスセンターをインストールした後でOutlookをインストール/使用できる状態にしても、すぐには使えません。まず、Outlookをインストールして使用できる状態にしてください。

Outlookを使用状態にする
Outlookをインストールした後、Outlookの「ツール」メニューの「オプション」をクリックし、「その他」タブをクリックします。「全般」の「Outlookを既定の電子メール、連絡先、予定表のプログラムにする」にチェックを付けた後、Outlookに連絡先や予定表などのデータを入力すると使用状態になります。

③ ウィルスチェックソフトやファイアウォールソフトなどをインストールしているときは、それらを停止／無効にしてください。
停止方法などについては、ウィルスチェックソフトやファイアウォールソフトの説明書などをご覧ください。

④ Intellisync など他の同期ソフトウェアや常駐ソフトウェアをインストールしているときは、それらを停止するかアンインストールしてください。

1 この製品に付属の CD-ROM をパソコンにセットします。
自動再生画面が表示されたときは「Start.exe の実行」をクリックします。

2 ユーザーアカウント制御画面が表示されるので、［続行］をクリックします。
「Windows Mobile デバイスーはじめに」画面が表示されます。

3 「セットアップとインストール」をクリックします。

4 「Windows Mobile デバイスセンター」にチェックが付いていることを確認して［インストール］をクリックします。
インストールが始まります。

5 インストールが終わったら、［終了］をクリックします。

6 再起動する旨の画面が表示されるので、［今すぐ再起動する］をクリックします。
表示されないときは、次の手順に進みます。

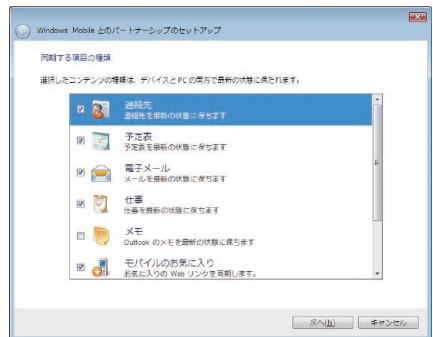
7 再起動後、パソコンとこの製品を付属の USB ケーブルを使って接続します（☞ 8-4 ページ）。
自動的にドライバのインストールが始まります。自動再生画面が表示されたときは、 をクリックして画面を閉じます。

8 ユーザーアカウント画面が表示されたときは、［続行］をクリックします。

9 ソフトウェアのライセンス画面が表示されるので、内容をご覧になり［同意する］をクリックします。

10 次に表示された画面で、［登録しない］、［オンラインで登録する］、［後で登録する］のいずれかをクリックします。

11 「Windows Mobile デバイスセンター」の画面が表示されたら、［デバイスのセットアップ］をクリックします。

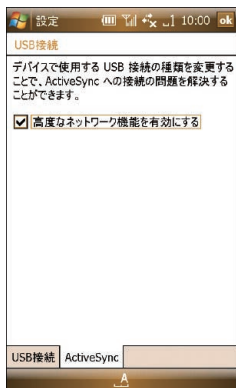
12 表示された画面で、「連絡先」などの項目にチェックを入れ、［次へ］をクリックします。
Outlook をインストールしていないと、「連絡先」などにチェックを入れることはできません。

13 パートナーシップの画面が表示されたら、必要に応じてデバイス名を変更し［セットアップ］をクリックします。

14 セットアップが完了すると、Windows Mobile デバイスセンターの画面に戻り、自動的に同期を行います。

ActiveSync を使って同期する

1 スタート メニューの “設定” をタップします。

2 設定画面で 接続 タブをタップし、 “USB 接続” をタップし、 USB 接続 タブで「PC と同期する。(ActiveSync)」にチェックを付けます。

3 ActiveSync タブをタップし、「高度なネットワーク機能を有効にする」にチェックを付けます。

4 ok をタップします。

ご注意

● **この製品とパソコンを同期するときは**

必ず手順 **1** ～ **4** を行ってください。
手順 **2** の USB 接続の設定が「モデムとして使用する」にチェックが付いていると、同期できません。

5 この製品とパソコンを付属の USB ケーブルで接続します。

自動的に同期が始まります。
この製品とパソコンを接続した状態では、この製品またはパソコンのどちらかのデータが更新されると、同期が始まります。

MEMO

● 手動で同期するときは、次の方法で行います。

パソコン側から同期を実行する

1 ActiveSync の[ファイル]メニューの[同期]をクリック、または[同期]をクリックします。

この製品側から同期を実行する

1 スタート メニューの “プログラム” をタップし、プログラム画面で “ActiveSync” をタップします。

2 画面左下の 同期 をタップします。

● この製品とパソコンを取り外すときは、同期中ではないことを確認してから取り外してください。

Windows Mobile デバイスセンターを使って同期する

1 **この製品とパソコンを付属の USB ケーブルで接続します。**

自動的に同期が始まります。
Windows Mobile デバイスセンターは自動的に起動しませんので、起動しておくことをおすすめします。この製品とパソコンを接続した状態では、この製品またはパソコンのどちらかのデータが更新されると、同期が始まります。

MEMO

- Windows Mobile デバイスセンターの画面左下に、同期の状況が表示されます。
  同期の状況を確認したいときは、Windows Mobile デバイスセンターを起動してから USB ケーブルを接続してください。
- 同期できないときは、いったん Windows Mobile デバイスセンターをアンインストールして、再度インストールしてみてください。

同期をするときの設定を行う

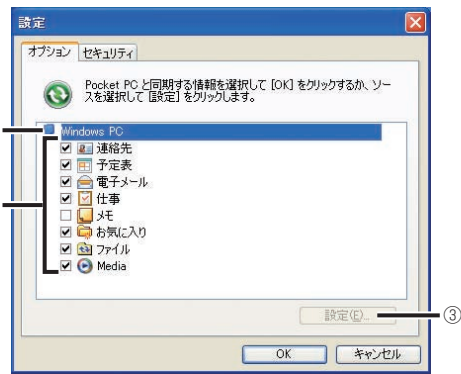
同期を行うときにどのアプリケーションと同期を行うのかを設定できます。

■ ActiveSync の場合

1 **パソコンとこの製品を接続します。**

2 **パソコン側の ActiveSync 画面で、[ツール] メニューの [オプション] をクリックします。**

設定画面が表示されます。

3 **同期に関する設定を行います。**

① 同期するパソコン名（フレンドリ名）が表示されます。
「設定」をクリックするとフレンドリ名の変更やパソコンで設定されている日時をこの製品に同期させることができます。
・パソコンで設定されている日時をこの製品に同期させるときは「接続時に Pocket PC の日時を同期する」にチェックをつけて同期操作を行ってください。

② 同期するアプリケーションにチェックを付けます（チェックを外すと同期されません）。

③「予定表」、「電子メール」、「お気に入り」、「ファイル」の詳細設定ができます。

予定表	：同期する予定の期間を設定します。
電子メール	：同期する期間、メッセージ形式、サイズ、添付ファイルも含めて同期する／しないを設定します。
お気に入り	：同期する URL を選択／削除します。
ファイル	：同期するファイルを設定します。同期フォルダに入れたファイルと連動します。

4 **[OK] をクリックします。**

設定画面に表示される「ファイル」は、ファイルを同期するためのものです。
パソコンに保存しているファイルをこの製品にコピーしたり、この製品のファイルをパソコンにコピーするときは、次ページの方法（ファイルのコピー（ドラッグ＆ドロップ））で行ってください。

■ Windows Mobile デバイスセンターの場合

1 Windows Mobile デバイスセンターを起動します。

Windows Mobile デバイスセンターを起動せずに次の手順を行っても自動的に同期が始まります（ただし、自動的に Windows Mobile デバイスセンターは起動しません）。

2 パソコンとこの製品を接続します。

3 パソコン側の Windows Mobile デバイスセンター画面で、「モバイルデバイスの設定」にマウスポインタを移動し「コンテンツの同期の設定の変更」をクリックします。

設定画面が表示されます。

4 同期に関する設定を行います。

① 同期するアプリケーションにチェックを付けます（チェックを外すと同期されません）。

②「予定表」、「電子メール」、「ファイル」の詳細設定ができます。

予定表　：同期する予定の期間を設定します。

電子メール　：同期する期間、サイズ、添付ファイルも含めて同期する／しないを設定します。

ファイル　：同期するファイルを設定します。同期フォルダに入れたファイルと連動します。

5 ［保存］をクリックします。

上記の（ファイル）は、ファイルを同期するためのものです。
パソコンに保存しているファイルをこの製品にコピーしたり、この製品のファイルをパソコンにコピーするときは、次ページの方法（ファイルのコピー（ドラッグ＆ドロップ））で行ってください。

ファイルをコピーする

パソコンとこの製品の間で相互にファイルをドラッグ＆ドロップでコピーできます。

MEMO

- パソコンからこの製品に Microsoft Excel ファイルや Microsoft Word ファイルをコピーすると外出先等でもファイルの内容を確認できます。

1 パソコンとこの製品を接続します。

2 ActiveSync の場合

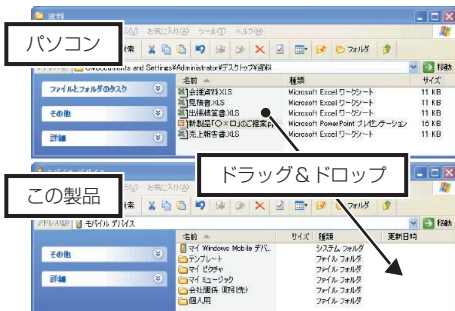
パソコン側の ActiveSync 画面で、[エクスプローラ] をクリックします。
ウィンドウが開き、この製品に保存しているファイルやフォルダが表示されます。

Windows Mobile デバイスセンターの場合

パソコン側の Windows Mobile デバイスセンター画面で、「ファイル管理」にマウスポインタを移動し、「デバイスのコンテンツの参照」をクリックします。
表示された画面で をダブルクリックすると、この製品に保存しているファイルやフォルダが表示されます。

3 パソコンのウィンドウを表示し、パソコンに保存しているファイルやフォルダを表示します。

4 コピーしたいファイルを一方のウィンドウからもう一方のウィンドウにドラッグ＆ドロップします。

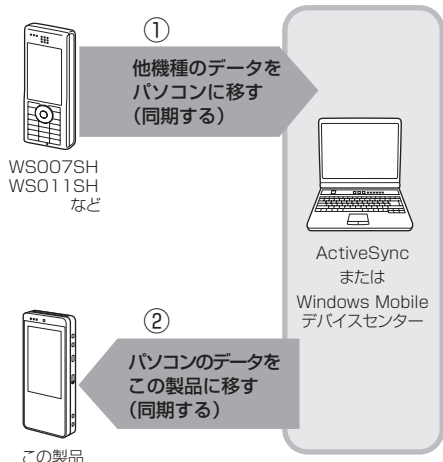
ドラッグ＆ドロップしたファイルがコピーされます。
「ファイルの変換」画面が表示されたら、[OK] をクリックします。

5 ウィンドウ右上の ✕ をクリックしてウィンドウを閉じます。

6 パソコンとこの製品を取り外します。

ご注意

- パソコンからこの製品を取り外すとドラッグ＆ドロップしてもコピーされません。

前に使っていた連絡先などを移す

WS004SH、WS007SH、WS011SH など他機種のデータ（予定表や連絡先など）をこの製品に移すには、ActiveSync または Windows Mobile デバイスセンターの同期を使って行います。「他機種の予定表や連絡先などのデータ」を「パソコンの Microsoft Outlook のデータ」に移したあと、そのパソコンのデータをこの製品に移します。ここでは操作の概要を説明します。

同期によって移行できるデータ

・連絡先	・予定表	・仕事
・メモ	・お気に入り	・電子メール※

※電子メールでデータを移行（同期）できるのは、Outlook のアカウントのみです。オンラインサインアップで取得した E メール（ウィルコム）や W-ZERO3 メール、ご自分で加入しているプロバイダーメール、ライトメールは同期できません。

ご注意

- WS011SH などのバックアップツールを使って作ったバックアップデータをこの製品に移すことはできません。

● **他機種で ActiveSync または Windows Mobile デバイスセンターをインストールされていない方**
下記の手順 **1** 〜 **3** に従って他機種のデータをこの製品に移します。

● **他機種で ActiveSync または Windows Mobile デバイスセンターをインストールしてお使いの方**
下記の手順 **2** 〜 **3** に従って他機種のデータをこの製品に移します。

1 ActiveSync または Windows Mobile デバイスセンターをインストールする(☞ 8-3 〜 8-8 ページ)

①この製品の通信モードを ActiveSync または Windows Mobile デバイスセンターを使ってデータを移す設定にします。
② ActiveSync または Windows Mobile デバイスセンターをインストールします。
・ **ActiveSync の場合**
インストール時、「同期オプション」画面で「連絡先」、「予定表」、「電子メール」、「仕事」、「メモ」、「お気に入り」にチェックを付けます。
・ **Windows Mobile デバイスセンターの場合**
インストール時、「同期する項目の種類」画面で「連絡先」、「予定表」、「電子メール」、「仕事」、「メモ」、「モバイルのお気に入り」にチェックを付けます。

2 ActiveSync または Windows Mobile デバイスセンターを使って他機種のデータをパソコンに移す

①他機種の通信モードを ActiveSync または Windows Mobile デバイスセンターを使ってデータを移す設定にします。
②他機種とパソコンを接続します。
③移したいデータの項目を確認して、他機種のデータをパソコンに移します。
Microsoft Outlook と他機種との間で同期が行われ、Microsoft Outlook と他機種のデータが同じ状態になります。

3 ActiveSync または Windows Mobile デバイスセンターを使ってパソコンのデータをこの製品に移す(☞ 8-8 〜 8-9 ページ)

①この製品の通信モードを ActiveSync または Windows Mobile デバイスセンターを使ってデータを移す設定にします。
②この製品とパソコンを接続します。
③「同期オプション」画面または「同期する項目の種類」画面で移したいデータの項目を確認して、パソコンのデータをこの製品に移します。
Microsoft Outlook とこの製品との間で同期が行われます。この製品に何もデータが入っていない状態では、Microsoft Outlook に移した他機種のデータがこの製品に移ります。

MEMO

● **携帯電話のデータをこの製品に移すときは**
赤外線通信を使って、携帯電話の電話帳などに登録されている住所や電話番号などをこの製品に移すことができます(☞ 8-33 ページ)。

同期ができないときは

パソコンと同期できない、エラーメッセージが表示されるときは、以下の内容をご確認ください。

同期できないときは

USB 接続（ActiveSync タブ）で、「高度なネットワーク機能を有効にする」のチェックを外して接続してみてください（☞下記）。

USB 接続（ActiveSync タブ）で、「高度なネットワーク機能を有効にする」のチェックを外して接続する

8-3、8-6 ページの方法でインストールしたあと接続できないときは、USB 接続（ActiveSync タブ）で、「高度なネットワーク機能を有効にする」のチェックを外して試してください（☞ 8-8 ページ）。

1 パソコンからこの製品を取り外します。

2 この製品の USB 接続（ActiveSync タブ）で、「高度なネットワーク機能を有効にする」のチェックを外し、ok をタップします。

3 パソコンとこの製品を接続します。

4 「Pocket PC 同期セットアップウィザードへようこそ」画面が表示されますので、8-5 ページの手順 8 以降をご覧になり操作します。

「高度なネットワーク機能を有効にする」のチェックを外しても同期できないときは

以下の内容をご確認ください。

こんなときは	ここをお確かめください
● インストール直後、同期できず、エラー（「サポートコード：85010014」）が表示される。	● Microsoft Outlook を起動し、「ヘルプ」メニューー「アプリケーションの自動修復」をクリックします。 自動修復完了後、Windows のプログラムの追加と削除画面で Microsoft ActiveSync を選択し [変更] をクリックします。表示された画面で [次へ] をクリックし、次の画面で「修復」を選択し [次へ] をクリックします。
● 「Outlook を既定の設定にしてください」と表示され同期できない。 ● 「デフォルトのメールクライアントを設定されていないか、現在のメールクライアントがメールを受け取れない状態にあります。Microsoft Outlook を起動してデフォルトのメールクライアントに指定してください。」と表示され同期できない。	● パソコンの“Internet Explorer”を起動し、「ツール」メニューー「インターネットオプション」をクリックし、表示された画面の「プログラム」タブをクリックして「電子メール」の項目を「Microsoft Office Outlook」にします。

こんなときは	ここをお確かめください
● ActiveSync インストール後に Outlook をインストールしたり、Windows Media Player10 をインストールまたは Windows Media Player10 にアップグレードしたときは？	● ActiveSyncの修復を行ってください。修復の方法は、前ページの１つ目の「ここをお確かめください」をご覧ください。
● エラー（「サポートコード：8503001f」）が表示され同期できない。 ●「プロファイル保護がかかっています。プロファイルを作成し直してください。」と表示され同期できない。 ●「電子メールは既に Windows PC と同期しているため同期できません。」と表示され電子メールの同期ができない。 ● エラー（「サポートコード：80072EE2」）が表示され同期できない。	● 現在の同期設定を削除（モバイルデバイスの削除）し、再度、モバイルデバイスを作り直します。 パソコンとこの製品の接続を外して、パソコンとこの製品に設定されているモバイルデバイスを削除してください。削除後、再度同期を行うと新しいモバイルデバイスが設定されます。 以下の方法でモバイルデバイスを削除してください。 パソコン：ActiveSync 画面の「ファイル」メニューの「モバイルデバイスの削除」をクリックして確認画面で [はい] をクリックします。 この製品：プログラム画面で“ActiveSync”をタップし表示された ActiveSync 画面で メニュー － オプション をタップし、オプション画面で 削除 をタップして確認画面で はい をタップします。 パソコンとこの製品の両方のモバイルデバイスを削除した後、USB ケーブルで接続すると「同期セットアップウィザード」画面が表示されますので画面にしたがって操作して同期を行ってください。

どうしても同期ができないときは

Outlook を使える状態にしても同期できないときや前ページの方法でも同期できないときは、Outlook と ActiveSync または Windows Mobile デバイスセンターをいったんアンインストールしてください。その後、再度インストールしてみてください。

データ通信

パソコンとこの製品を付属のUSBケーブルで接続すると、この製品をモデム（パソコンと接続してインターネットに接続したり、メール送受信するための機器）として利用できます。

この製品では、次のデータ通信方式が利用できます。
・4xパケット方式
・2xパケット方式
・1xパケット方式
・64kPIAFS（ベストエフォート）
・64kPIAFS（ギャランティ）
・32kPIAFS
・フレックスチェンジ方式

● **4xパケット方式**

ウィルコムが提供する最大通信速度128kbpsのパケット通信方式です。情報をパケット（小包）に分割して、パケット単位で情報をやりとりする方式です。数分程度電波が弱くなったり途切れたりしても、できるだけ回線を維持し、より信頼性の高い通信環境を実現します。ご利用になるには、ウィルコムの4xパケット方式対応の料金コースにご契約いただき、専用のアクセスポイントに接続してください。

※W-OAMに対応しているエリア内では4xパケット方式通信時、最大204kbpsの通信ができます。

● **1xパケット方式／2xパケット方式**

ウィルコムが提供する最大通信速度32kbps/64kbpsのパケット通信方式です。情報をパケット（小包）に分割して、パケット単位で情報をやりとりする方式です。数分程度電波が弱くなったり途切れたりしても、できるだけ回線を維持し、より信頼性の高い通信環境を実現します。ご利用になるには、ウィルコムの1x／2xパケット方式対応の料金コースにご契約いただき、専用のアクセスポイントに接続してください。

※2xパケット方式を利用するときも1xパケット方式対応の料金コースに契約します。

● **64kPIAFS（ベストエフォート）**

ウィルコムが提供する最大通信速度64kbpsのデータ通信方式です。基地局の利用状況や電波の状況により64kbpsと32kbpsをフレキシブルに選択し、切れにくい通信環境を実現する方式です。

● **64kPIAFS（ギャランティ）**

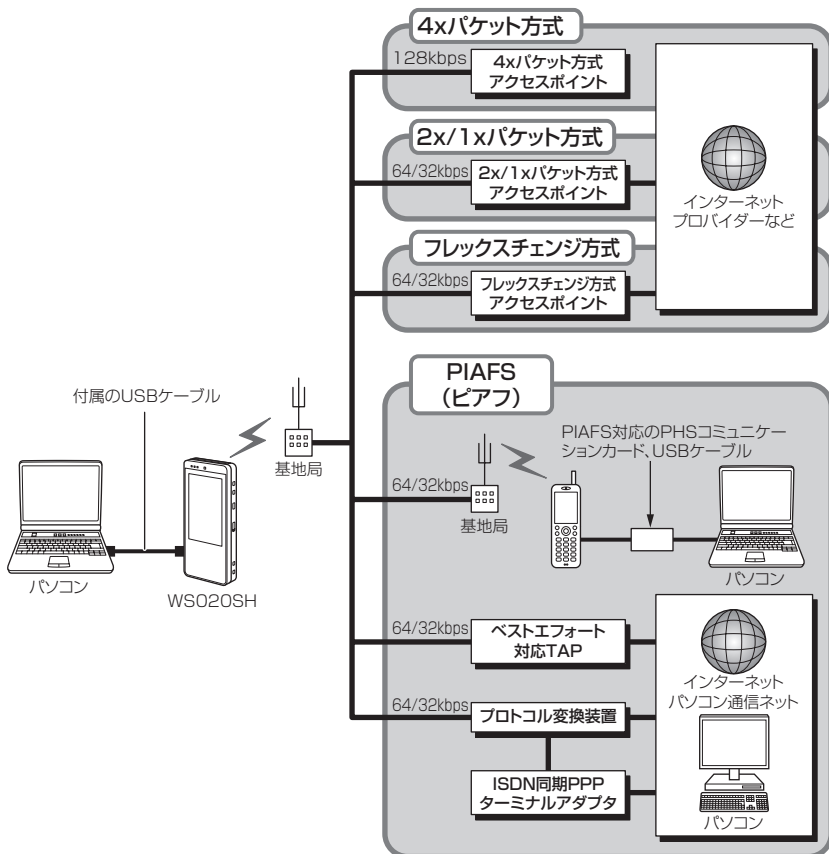
64kbps固定のデータ通信方式です。64kbpsの通信が確保できないときは回線を切断します。

● **32kPIAFS**

PHSの通信標準規格で、最大通信速度32kbpsの通信を行う方式です。

● **フレックスチェンジ方式**

ウィルコムが提供する1xパケット方式／2xパケット方式と64kbps（ベストエフォート）の通信方式を送受信するデータ量や通信状況に応じて自動的に切り替える方式です。スムーズな通信環境を実現できます。

ご利用になるには、ウィルコムのフレックスチェンジ方式専用の料金コースにご契約いただき、専用のアクセスポイントに接続してください。

ウィルコムのデータ通信に関するお問い合わせ窓口

- この製品から　局番なしの **157**（無料）
- 一般加入電話／携帯電話などから **0120-921-157**（無料）

受付時間： 9:00 〜 19:00（日・祝日も受付）　(2008年5月現在)

データ通信の準備

パソコンとこの製品をUSBケーブルで接続する前に次の準備が必要です。

① USBモデムドライバをパソコンへインストールする

パソコンにドライバをインストールする必要があります。

データ通信用のドライバをインストールするパソコンの環境

OS

- Microsoft Windows XP Professional（Service Pack 2）
- Microsoft Windows XP Home（Service Pack 2）
- Microsoft Windows 2000（Service Pack 4）
- Microsoft Windows Vista（Service Pack 1）

その他

- USBポート
- CD-ROMドライブ
- 256色以上のVGAグラフィックスカードまたは互換性のあるビデオグラフィックスアダプタ
- キーボード
- Microsoftマウスまたは互換性のあるポインティングデバイス

ご注意

- **次のようなパソコンでの動作は保証できません。**
  - ・自作パソコン
  - ・OSをアップグレードしたり入れ替えたパソコン
  - ・ご自分で追加したUSBポートをお使いのとき
  - ・USBハブなどを経由した接続のとき
  - ・パソコンにこの製品以外のUSB機器が接続されているとき

■ パソコンのOSがWindows XPの場合

このページから説明している手順にしたがって操作してください。
パソコンのOSがWindows Vistaの場合は、次ページをご覧ください。

1 この製品を設定します。

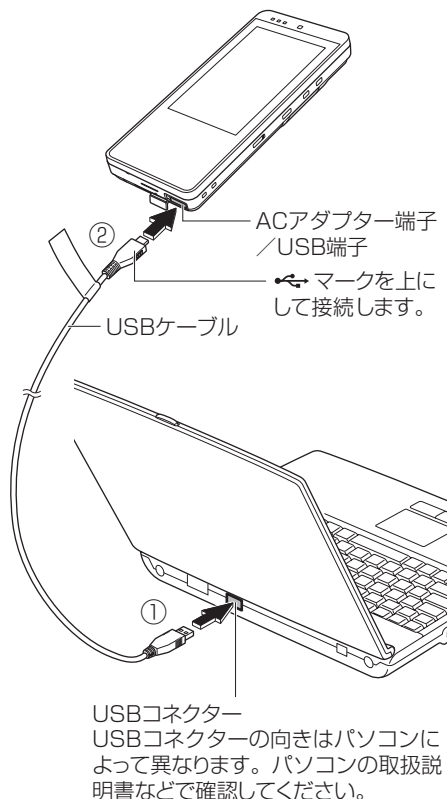
1 スタート メニューの“設定”をタップし、接続 タブをタップします。

2 “USB接続”をタップし、「モデムとして使用する。」にチェックを付けます。

2 パソコンを設定します。

1 付属のCD-ROMをパソコンにセットします。

2 しばらくすると、「Windows Mobileデバイスはじめに」画面が表示されますので、［閉じる］をクリックして画面を閉じます。

3 ①、②の順でパソコンとこの製品を付属のUSBケーブルを使って接続します。

以降は、Microsoft Windows XP Home（Service Pack 2）を例に説明いたします。

4 **パソコンの画面に「新しいハードウェアが見つかりました」と表示され、「新しいハードウェアの検出ウィザードの開始」画面が表示されます。**

「新しいハードウェアの検索ウィザードの開始」画面で、「ソフトウェア検索のため、Windows Update に接続しますか？」と表示されている場合は、「いいえ、今回は接続しません」を選択し、[次へ] をクリックします。

5 **表示された画面で、「一覧または特定の場所からインストールする（詳細）」を選択し、［次へ］をクリックします。**

6 **「次の場所で最適のドライバを検索する」を選択し、「次の場所を含める」にチェックを付けます。**

7 **「次の場所を含める」の入力欄に「D:￥OEM￥USB_Modem_Driver」（CD ドライブが D ドライブの場合の例です。ご使用のパソコンに合わせて設定してください。）を入力し、［次へ］をクリックします。**

8 **下記のような「ハードウェアのインストール」画面で「合格していません」と表示されますが、［続行］をクリックします。**

インストールが始まります。

9 **「新しいハードウェアの検索ウィザードの完了」が表示されたら、［完了］をクリックします。**

続いて、この製品の通信方法をモデムに設定します。次ページの②に進んでください。

■ パソコンの OS が Windows Vista の場合

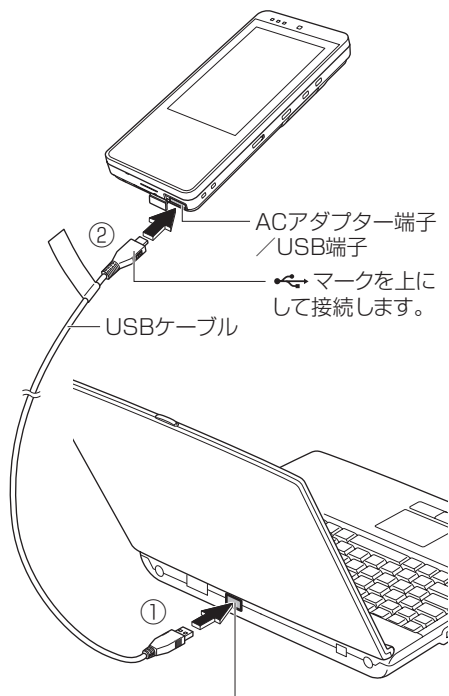
このページから説明している手順にしたがって操作してください。
パソコンの OS が Windows XP の場合は、前ページをご覧ください。

1 **この製品を設定します。**

スタート－設定－接続タブ－USB 接続をタップし、「モデムとして使用する。」を選択します。

2 **付属の CD-ROM をパソコンにセットします。自動的に画面が表示されますので、画面を閉じます。**

3 **①、②の順でパソコンとこの製品を付属の USB ケーブルで接続します。**

ご注意

- **パソコンと接続するときは、次のことに注意してください**
- 付属のUSBケーブルを使って、パソコンのUSBコネクターに直接接続してください。付属以外のケーブルやUSBハブ、USB延長ケーブルを使って接続すると、正しく動作しないことがあります。
- パソコンと接続するときは、充電池の残量が十分であることを確認してください。

4 **パソコンに「新しいハードウェアが見つかりました」画面が表示されたら、「ドライバソフトウェアを検索してインストールします」をクリックして選択します。**

5 **ユーザーアカウント制御画面が表示されたら［続行］をクリックします。**

6 **「新しいハードウェアの検出」画面が表示されたら「オンラインで検索しません」をクリックします。**
表示されないときは、次の手順に進みます。

7 **「ディスクを挿入してください」と表示されたら、［次へ］をクリックします。**

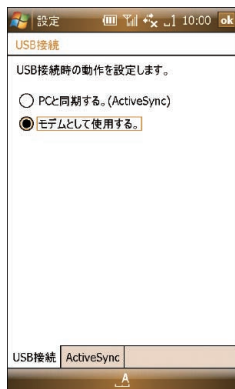
8 **「このドライバソフトウェアをインストールします」をクリックします。**

9 **「このデバイス用のソフトウェアは正常にインストールされました。」と表示されたら、［閉じる］をクリックします。**

②この製品の通信方式をモデムに設定する

1 **スタートメニューの “設定” をタップします。**
設定画面が表示されます。

2 **設定画面（接続タブ）で “USB接続” をタップします。**
USB接続画面が表示されます。

3 **USB接続画面で、「モデムとして使用する。」にチェックを付けます。**

4 **ok をタップし、設定を保存します。**
この製品をデータ通信機器として使用できます。

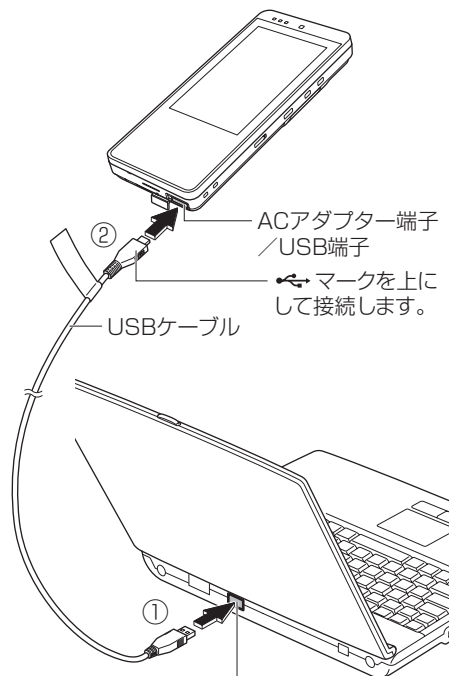
パソコンとこの製品を接続する

ここでは、ドライバをパソコンにインストールしているものとして説明します。

パソコンとこの製品を接続する

付属の USB ケーブルを使ってパソコンとこの製品を接続します。

1 **データ通信ができる設定になっていることを確認します（☞前ページ）。**

2 **パソコンを起動し、下図のように①②の順でこの製品とパソコンを付属の USB ケーブルで接続します。**

ご注意

- **パソコンと接続するときは、次のことに注意してください**
- 付属の USB ケーブルを使って、パソコンの USB コネクターに直接接続してください。
  付属以外のケーブルや USB ハブ、USB 延長ケーブルを使って接続すると、正しく動作しないことがあります。
- パソコンと接続するときは、充電池の残量が十分であることを確認してください。

MEMO

- パソコンとこの製品を取り外すときは、パソコンを起動したまま、**手順 2** の②①の順で USB ケーブルを外します。

データ通信（発信）を行う

この製品に接続しているパソコンからデータの発信などを行います。

ご注意

- **この製品では、データ（着信）通信はできません。**

- **データ通信を利用するときは**

  通話／通信機能の制限および W-SIM ロックを解除してください。（☞ 3-23 〜 3-25 ページ）

■ 準備

データ通信を使ってインターネットに接続する前に、インターネットに接続するための設定（接続アカウント、パスワード、アクセスポイントなど）を行ってください。これらの情報を設定していないと、インターネットなどに接続できません。

1 この製品を接続しているパソコンなどからデータ通信の発信操作を行います。

パソコンなどでアクセスポイントの電話番号を設定するときは、電話番号に続けて次の記号と数字を入力します。

通信方式	電話番号に続けて入力
4x パケット方式／2x パケット方式	##64
1x パケット方式	##61
64kPIAFS（ベストエフォート）	##4 ##42
64kPIAFS（ギャランティ）	##41
32kPIAFS	##3
フレックスチェンジ方式	##7

※ 64kPIAFS と 32kPIAFS の通信方式は、分計発信ができます。
分計発信するときは、電話番号＋記号（##4 や ##3 など）の後に「,01」を追加します（例：03- ×××× - ×××× ##4,01）。

この製品の画面（タイトルバー）上に、通信中であることを示すアイコンが表示されます。

PT：4x パケット方式／ 2x パケット方式／ 1x パケット方式
64BE：64kPIAFS（ベストエフォート）
64GR：64kPIAFS（ギャランティ）
32PF：32kPIAFS
FC：フレックスチェンジ方式

2 パソコンなどからデータ通信を終了する操作を行います。

MEMO

- データ通信を行う前に、この製品に AC アダプターを接続するか、この製品の充電池残量が十分であることを確認してください。
- データ通信を行うためのパソコン側のくわしい設定や操作については、パソコンの説明書などをご覧ください。
- 発信者番号の通知／非通知は、発信者番号通知設定(☞ 3-23 ページ)にしたがいます。
- データ通信をしたときの電話番号は発信履歴に保存されません。

Bluetooth をご利用になる前に

Bluetooth について

Bluetooth とは、10m 以内にあるこの製品同士や Bluetooth 対応機器（パソコンなど）との間をワイヤレスでつなぎ、ケーブルを使用することなく通信できる技術です。
この製品の Bluetooth の仕様は、次のとおりです。

通信方式	Bluetooth 標準規格　Ver. 2.0 準拠
出力	Bluetooth 標準規格 Power Class2
通信距離※1	見通しのよい状態で 10 m以内
対応 Bluetooth プロファイル※2	GAP（Generic Access Profile） SDAP（Service Discovery Application Profile） GOEP（Generic Object Exchange Profile） SPP(Serial Port Profile) HSP(Head Set Profile) DUN-DT(Dial-Up Networking Profile Data terminal) OPP(Object Push Profile) A2DP(Advanced Audio Distribution Profile) AVRCP(Audio/Video Remote Control Profile) HID(Human Interface Device)
使用周波数帯	2.4GHz 帯（2.402GHz ～ 2.480GHz）

※ 1 通信機器間の障害物や電波状況などにより変化します。
※ 2 Bluetooth 対応機器同士の使用目的に応じた仕様のことで、Bluetooth 標準規格で定められています。

Bluetooth でできること

MEMO

● Bluetooth 関連用語について

用語	説明
デバイスアドレス	機器が最初から持つそれぞれ固有のアドレス（12 桁の英数字）です。パスコード入力を行って接続した通信相手に機器情報として送信されます。デバイスアドレスは、変更することができません。
GAP (Generic Access Profile)	機器の接続／認証／暗号化を行うためのプロファイルです。
SDAP (Service Discovery Application Profile)	他の Bluetooth 機器が提供する機能を調べるためのプロファイルです。
GOEP (Generic Object Exchange Profile)	機器間でオブジェクトを転送するためのプロファイルです。
SPP (Serial Port Profile)	仮想的なシリアルケーブル接続を設定してデバイス間を相互に接続するためのプロファイルです。 このプロファイルを使って接続するとき、Bluetooth 画面（COMタブ）でポートを設定する必要があります。くわしくは、この製品のヘルプをご覧ください。
DUN-DT (Dial-Up Networking Profile Data Terminal)	パソコンなどをモデムとして使うためのプロファイルです。この製品をパソコンなどのモデムとして使うことはできません。
OPP (Object Push Profile)	パソコンなどとアドレス帳データ、スケジュールデータなどを送受信するためのプロファイルです。
A2DP (Advanced Audio Distribution Profile)	ヘッドホンなどへ音を転送するためのプロファイルです。
AVRCP (Audio/Video Remote Control Profile)	音声／ビデオをリモート制御するプロファイルです。
OBEX (OBject EXchange)	画像データやアドレス帳データのファイル交換を行うための手順です。
認証パスワード	接続する機器から OBEX 認証の要求があった場合に入力するパスワードです。この製品では、最大 16 桁までの英数字を入力できます。
パスコード	Bluetooth 接続には、接続相手の機器を確認する認証機能があります。Bluetooth 機能搭載機器同士が初めて通信するときは、お互いに接続を許可するために、それぞれ同一の英数字（パスコード）を入力する必要がある場合があります。この製品では、最大 16 桁までの英数字を入力できます。
HSP (HeadSet Profile)	ヘッドセットを接続するためのプロファイルです。
HID (Human Interface Device)	キーボードを接続するためのプロファイルです。

※プロファイルとは、Bluetooth 対応機器同士が通信するための標準プロトコルです。さまざまな使用ケースに応じて定義されています。

■ Bluetooth ご使用時のご注意

- Bluetooth を利用してワイヤレスで接続するには、相手機器も Bluetooth 対応機器であり、同じプロファイルに対応している必要があります。
- この製品同士で通信を行うときの通信距離は、最大 10m です。
- 良好な接続を行うために、次の点にご注意ください。
  - ・他の Bluetooth 機器とは、見通し距離約 10m 以内で接続してください。周囲の環境（壁、家具など）、建物の構造によっては接続可能距離が短くなります。この製品と他の Bluetooth 機器の間に障害物がある場合も、接続可能距離は短くなります。特に、鉄筋コンクリートの建物では、上下の階や左右の部屋など鉄筋の入った壁をはさんで設置した場合、接続できないことがあります。上記接続距離を保証するものではありませんので、ご了承ください。
  - ・他の機器（電気製品／ AV 機器／ OA 機器／デジタルコードレス電話機／ファックスなど）から 2m 以上離れて接続してください（特に電子レンジ使用時は影響を受けやすいため、必ず 3m 以上離れてください）。近づいていると、他の機器の電源が入っているときには、正常に接続できなかったり、テレビやラジオの雑音や受信障害の原因になったりすることがあります（UHF や衛星放送の特定のチャンネルではテレビ画面が乱れることがあります）。
  - ・放送局や無線機などが近く、正常に接続できないときは、接続相手の Bluetooth 機器の場所を変更してください。周囲の電波が強すぎるときは、正常に接続できないことがあります。
- Bluetooth 対応機器の使用する電波帯（2.4GHz 帯）は、さまざまな機器が共有しています。それらの影響によって、通信速度／通信距離が低下したり、通信が切断されることがあります。
- この製品の Bluetooth 機能では、同時に 2 台以上の機器を接続することはできません。

ご注意

- **この製品は、すべての Bluetooth 機器とのワイヤレス接続を保証するものではありません。**
  - ・接続する Bluetooth 機器は、Bluetooth SIG の定める Bluetooth 標準規格に適合し、認証を取得している必要があります。
  - ・接続する Bluetooth 機器が Bluetooth 標準規格に適合していても、相手機器の特性や仕様によっては接続できない、操作方法や表示・動作が異なる、データのやりとりができないなどの現象が発生することがあります。
  - ・音声出力時など、接続機器や通信環境により、雑音が入ることがあります。
  - ・ヘッドセット機器などの使い方については、各機器の取扱説明書を参照してください。
  - ・ワイヤレス通信時のセキュリティとして、Bluetooth の標準仕様に準拠したセキュリティ機能に対応していますが、使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分でない場合が考えられます。Bluetooth によるデータ通信を行う際はご注意ください。
    Bluetooth によるデータ通信時に発生したデータおよび情報の漏洩につきましては、当社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
    USB ケーブルなどが接続されている場合は、Bluetooth 機能を使用できないことがあります。

- **Bluetooth 通信中※の動作について**
  - ・充電池の残量がなくなった場合は、Bluetooth 通信が中断され、電源が切れます。

※ Bluetooth 通信中とは、「パートナーシップの確立中」、「データ送受信中」、「接続相手リストからの探索や接続相手との接続中」のいずれかの状態です。

データを送受信する

この製品同士やBluetooth対応パソコンなどと、ワイヤレスでデータの送受信ができます。

この製品のBluetooth機能を有効（オン）にする

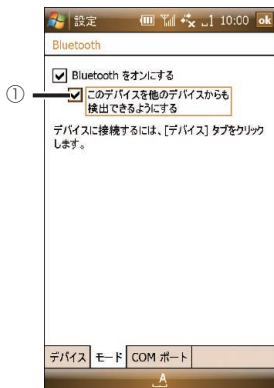
Bluetoothを利用するときは、Bluetooth機能を有効（オン）にする必要があります。
接続する相手機器のBluetooth機能も有効（オン）にしてください。

MEMO

● 内蔵ワイヤレスLANが有効（オン）の場合、Bluetoothを有効（オン）にすることはできません。あらかじめ、内蔵ワイヤレスLANを無効（オフ）にしてください。

1 **スタート メニューの “設定” をタップします。**

2 **接続 タブにある “Bluetooth” をタップします。**
Bluetooth画面が表示されます。

3 **モード タブをタップし、Bluetoothのオンにチェックを付けます。**

① 相手機器からこの製品を検出できるようにチェックを付けます。

MEMO

● 無線ON／OFF画面（☞2-12ページ）で、Bluetoothをオンにすることもできます。

4 **ok をタップします。**

●これまで接続したことのない機器と接続する場合
「パートナーシップを確立する」（☞下記）に進みます。

●以前に接続したことのある機器と接続する場合
「データを送受信する」（☞8-28ページ）に進みます。

パートナーシップを確立する

● Bluetoothを使って相手機器と接続するときは、安全に情報を交換できるようにパートナーシップを確立します。パートナーシップを確立するには、この製品と相手機器に同じパスコード（最大16桁までの英数字）を入力する必要があります。
一度パートナーシップを確立すると、次回からこの操作を行う必要はありません。
● ここでは、この製品を送信側、相手機器を受信側として説明します。受信側の操作についてくわしくは、ご使用の機器の説明書をご覧ください。
● この製品と相手機器が10m以内にあることを確認してください。

1 **スタート メニューの “設定” をタップし、接続 タブにある “Bluetooth” をタップします。**

MEMO

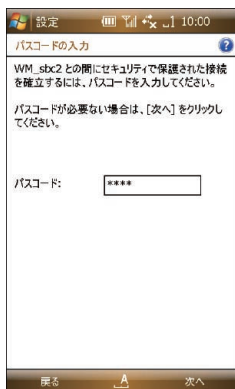
● **受信側の操作**
相手機器のBluetooth機能が有効（オン）になっていることを確認してください。

2 Bluetooth 画面（デバイス タブ）の「新しいデバイスの追加」をタップします。

接続可能な機器が検索され、Bluetooth デバイスの選択画面に表示されます。
この製品同士の場合、「バージョン情報」（☞ 10-18 ページ）にあるデバイス名が表示されます。

3 接続する相手機器を一覧から選び、次へ をタップします。

パスコードの入力画面が表示されます。

4 パスコード（最大 16 桁までの英数字）を入力し、次へ をタップします。

MEMO

- **受信側の操作**
  ① パートナーシップ確立の確認メッセージが表示されますので、メッセージにしたがって操作してください。
  ② パスコードの入力画面が表示されますので、この製品に入力したのと同じパスコードを入力し、［次へ］などを選択してください。
- 受信側のパスコードは、送信側でパスコードを入力してから約 30 秒以内に入力してください。

5 パートナーシップが確立されると、Bluetooth 画面に相手機器の名前が表示されます。

6 相手機器の名前をタップします。

① 相手機器の名前を表示。タップすると表示名を変更することができます。

7 使用するサービスにチェックを付け、保存 をタップします。

相手機器によっては、サービスが表示されない場合もあります。

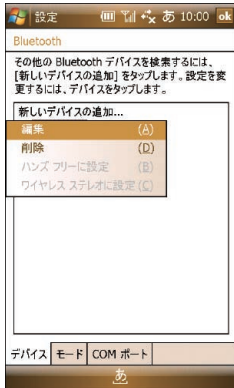
MEMO

- 一度パートナーシップを確立すると、次回から同じ機器と接続する場合、パートナーシップの確立は不要になります。

■ パートナーシップを削除する

使わなくなったパートナーシップは、以下の操作で削除できます。

1 [スタート]メニューの "設定"をタップし、[接続]タブの "Bluetooth"をタップします。

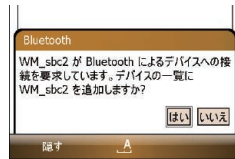
2 Bluetooth画面（[デバイス]タブ）で削除したいパートナーシップをタップしたままにし、表示されたメニューから[削除]をタップします。

3 確認画面で[はい]をタップします。

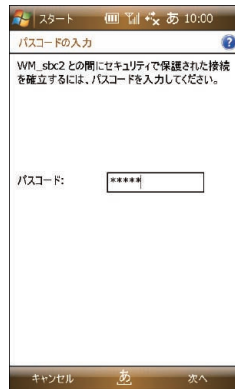
■ Bluetooth対応機器からのパートナーシップ要求に応答する

Bluetooth対応機器からこの製品へのパートナーシップ要求に応答することで、パートナーシップを確立することもできます。

1 この製品のBluetooth機能を有効（オン）にします。

くわしくは8-25ページをご覧ください。

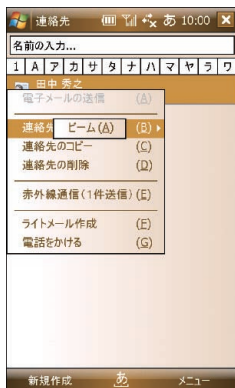
2 パートナーシップの確認メッセージが表示されたら、[はい]をタップします。

パスコードの入力画面が表示されます。

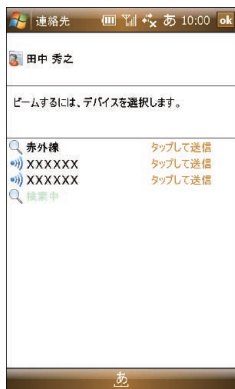
3 相手機器に入力したのと同じパスコードを入力し、[次へ]をタップします。

4 パートナーシップの設定画面が表示されたときは、使用するサービスにチェックを付け、[保存]をタップします。

データを送受信する

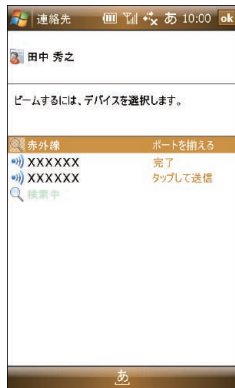
“連絡先”、“電話帳”、“予定表”、“仕事”、“メモ”のデータを、この製品同士やBluetooth対応パソコンなどに送受信できます。
ここでは例として、この製品同士で“連絡先”のデータを送受信する方法を説明します。

1 **送信側：[スタート]メニューの“連絡先”をタップします。**

2 **送信側：送信するデータをタップしたままにして、表示されたメニューから[連絡先の送信]－[ビーム]をタップします。**

「ビームするには、デバイスを選択します。」と画面に表示されます。

3 **送信側：送信する相手機器の「タップして送信」をタップします。**

4 **受信側：確認メッセージ（××を保存しますか？）が表示されますので、[はい]をタップします。**

受信したデータが連絡先一覧に保存（表示）されます。

5 **送信側：送信が終わると、「タップして送信」が「完了」に変わります。**

6 **送信側：[ok]をタップします。**

“連絡先”の一覧画面に戻ります。

ワイヤレスで音楽／音声を出力する

Bluetooth対応ヘッドホンなどを使ってワイヤレスで音楽を聴くことができます。
ヘッドホンの設定や操作方法については、ご使用のヘッドホンの説明書をご覧ください。

MEMO

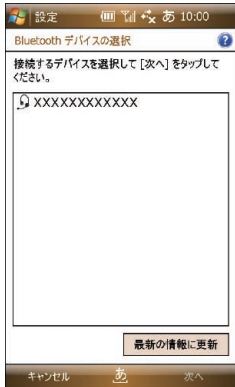
- ヘッドホンを使って録音することはできません。

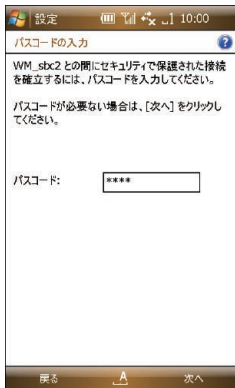
この製品のBluetooth機能を有効（オン）にする

くわしくは、「この製品のBluetooth機能を有効（オン）にする」（☞8-25ページ）をご覧ください。

パートナーシップを確立する

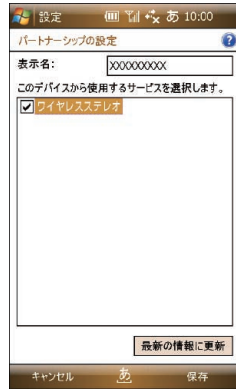
1 「パートナーシップを確立する」(☞8-25 ページ)の手順 **1**、**2** の操作をします。

2 Bluetooth デバイスの選択画面でヘッドホンの名前をタップし、次へ をタップします。

パスコードの入力画面が表示されます。

3 ヘッドホンのパスコードを入力し、次へ をタップします。

パスコードについては、ご使用のヘッドホンの説明書をご覧ください。

4 パートナーシップが確立すると、パートナーシップの設定画面にヘッドホンの名前が表示されます。

5 ヘッドホンの名前をタップします。

6 使用するサービスの一覧で「ワイヤレスステレオ」にチェックを付け、保存 をタップします。

MEMO

- 一度パートナーシップを確立すると、次回から同じ機器と接続する場合、パートナーシップの確立は不要になります。この場合は、次の手順で接続ができます。
  1. 接続するヘッドホンの電源をオンにします。
  2. この製品の Bluetooth 機能を有効(オン)にします(☞8-25 ページ)。
  3. デバイス タブをタップして、Bluetooth 画面(デバイス タブ)を表示します。
  4. Bluetooth 画面(デバイス タブ)にヘッドホンの名前が表示されたら、その名前をタップしたままにして、表示されたメニューから ワイヤレスステレオに設定 をタップします。

  ※接続するときは、ヘッドホンの電源がオンになっていること(手順 **1**)を確認してください。また、ヘッドホンの設定や操作方法は、ヘッドホンの説明書などをご覧ください。

ワイヤレスで電話を受ける

Bluetooth 対応ヘッドセットを使って、ワイヤレスで電話を受けることができます。

■ ヘッドセットを使えるように設定する

1 **この製品の Bluetooth 機能を有効にしたあと、デバイス タブを表示します。**

2 **ヘッドセット側を認識可能な状態にします。**

3 **8-26 ページの手順 2 ~ 4 をご覧になり、パートナーシップを確立します。**

4 **ヘッドセットの機種名をタップし、「ハンズフリー」にチェックを付けて 保存 をタップします。**

MEMO

- ヘッドセットを使って、電話をかけることはできません。

■ 電話がかかってきたら

1 **ヘッドセットのボタンを押します。**
ヘッドセットで受けとれない場合は、[受話] をタップして、本体で電話を受けたあと、ヘッドセットのボタンを押します。以降、ヘッドセットで通話ができます。

2 **通話が終わったら、ヘッドセットのボタンを押します。**
終話できない場合は、本体の [終話] をタップします。

MEMO

- 通話するためのヘッドセットのボタン名称は、ご使用のヘッドセットの説明書をご覧ください。
- ヘッドセットで通話中、本体の 通話切替 をタップすると本体で通話ができるようになります。本体で通話中に、ヘッドセットのボタンを押すと、ヘッドセットで通話ができるようになります。

ワイヤレスでデータ通信を行う

この製品を Bluetooth 対応パソコンなどと接続して、Bluetooth 対応パソコンなどをモデムとして利用できます。
この製品をモデムとして使うことはできません。

1 **この製品の Bluetooth 機能を有効(オン)にします (☞ 8-25 ページ)。**

2 **8-25 ~ 8-26 ページの手順 1 ~ 4 をご覧になり、パートナーシップを確立します。**

3 **パートナーシップが確立されると、この製品の Bluetooth 画面に相手機器(Bluetooth 対応パソコンなど)の名前が表示されます。**

MEMO

- 一度パートナーシップを確立すると、次回から同じ機器を接続する場合、パートナーシップの確立は不要になります。

4 **相手機器(Bluetooth 対応パソコンなど)と接続します。**

①この製品単体でネットワークを接続している場合は、タイトルバーの [接続] をタップし、切断 をタップしてネットワーク接続を切断します。

② Bluetooth 対応パソコンなどでダイヤルアップ接続を実行します(事前にパソコンなどでダイヤルアップ接続する設定をしてください)。

※ダイヤルアップ接続の方法については、お使いのパソコンやパソコンに接続している Bluetooth アダプタなどの説明書をご覧ください。

赤外線通信をする

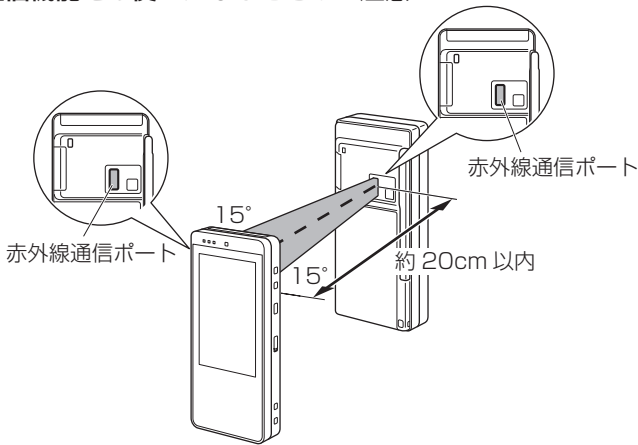
この製品と別の WS020SH や赤外線通信機能を搭載した Windows Mobile 端末などとデータの送信や受信ができます。

	プログラム	起動時のメニューの名称（送信方法）	送信相手
① (次ページ)	予定表、電話帳、連絡先、仕事、メモ、ファイル (※ 1)	ビーム	Windows Mobile 搭載機（WS020SH を含む）
② (8-33 ページ)	電話帳、連絡先	赤外線通信	携帯電話
③ (8-34 ページ)	画像とビデオ (※ 2)	IrSS(※ 2)	IrSS 対応機器
④ (8-34 ページ)	データ交換（※ 3）	赤外線送信、赤外線受信	WS020SH

※ 1：Word Mobile ファイル、Excel Mobile ファイル、動画ファイル、静止画ファイルなど
※ 2：“画像とビデオ”で表示する JPEG 形式の静止画ファイルが対象となります。
※ 3：この製品に保存している自分の名前や住所などの個人情報を他の WS020SH に送信します。

MEMO

- この製品の赤外線通信機能は、IrDA® の規格に準拠しています。
- IrSS とは、IrSimple1.0 準拠の片方向の通信機能（Home Application Profile）のことです。

■ 赤外線通信機能をお使いになるときのご注意

- 受信側と送信側の機器の赤外線通信ポートが約 20cm 以内に向き合うようにしてください。
- データの送受信が終わるまでは、お互いの赤外線通信ポートを向かい合わせたままにして、動かさないでください。
- 直射日光が当たっている場所や蛍光灯の真下、赤外線装置の近くでは、これらの影響によって正常に通信できない場合があります。
- 赤外線通信ポートが汚れていると通信できにくくなります。汚れているときは、傷つかないように柔らかい布で軽く拭きとってください。
- 赤外線通信中は消費電力が大きくなります。充電池の残量が十分にあることを確認するか、AC アダプターを接続してから赤外線通信を行ってください。
- 赤外線通信中に充電池残量がなくなった場合、警告メッセージが表示されずに電源オフになることがあります。
- すべての赤外線通信機器とのデータ通信を保証するものではありません。また、赤外線通信機器によっては、送受信できないデータがあります。

データを受信するための準備（受信側の設定）

赤外線通信を使ってこの製品でデータを受信するとき、受信側の設定が必要になります。以下の方法で受信できる状態にしてください。

1 スタートメニューの“設定”をタップし、接続タブをタップして、“ビーム”をタップします。

2 「すべての着信ビームを受信する」にチェックを付け ok をタップします。

赤外線機能で受信できる状態になります。

データを受信するとき、受信側はToday画面（待ち受け画面）にしておくことをおすすめします。

MEMO

- 赤外線通信を行っていないときも、「すべての着信ビームを受信する」にチェックを付けたままにしておくと、充電池の消耗が早くなります。赤外線通信を行わないときは、チェックを外すことをおすすめします。

予定表などのデータやファイルを送受信する（①の方法）

ここでは例として、この製品と他のWS020SHの間でファイルを送受信する方法を説明します。予定表／連絡先／電話帳／仕事／メモのデータも同じようにして送受信できます。

1 受信側：データ受信ができる状態にします（☞左記）。

2 送信側：スタートメニューの“プログラム”をタップします。

3 送信側：プログラム画面の“ファイルエクスプローラ”をタップして、送信するファイルを選びます。

4 送信側：画面右下のメニュー－ファイルをビームするをタップします。

「ビームするには、デバイスを選択します。」と画面に表示されます。

5 送信側：赤外線の「タップして送信」をタップします。

MEMO

- 「赤外線」の部分には、相手機器の名前が表示されることもあります。

6 受信側：確認メッセージが表示されますので、はいをタップします。

データが受信されます。

7 受信側：「保存しますか？」と表示されたら、画面左下のはいをタップします。

8 送信側：送信が終わったら、ok をタップします。

元の画面に戻ります。

携帯電話と“連絡先”のデータを送受信する（②の方法）

“連絡先”のデータと携帯電話の電話帳などに登録している住所や電話番号などのデータを送受信することができます。お使いの携帯電話の説明書もあわせてご覧ください。
電話帳からも同様の操作で送受信できます。
※すべての携帯電話とのデータ通信を保証するものではありません。

MEMO

- 携帯電話と送受信できるデータは“連絡先”、“電話帳”です。“予定表”、“仕事”、“メモ”などのデータは送受信できません。
  連絡先のデータを受信すると電話帳からもそのデータを表示できます。
- **認証コードについて**
  全件データの送受信には、認証コードの入力が必要になります。認証コードは赤外線通信のための専用のパスワードです。送信側・受信側で同じ数字を入力します。

携帯電話に“連絡先”のデータを送信する

“連絡先”のデータが携帯電話や PHS 端末の電話帳などに登録されます。
データは 1 件ずつ送信する方法と、全件まとめて送信する方法があります。

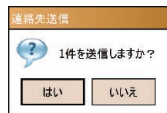
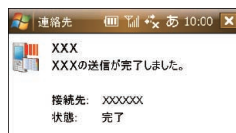
■ データを 1 件ずつ送信する

1 **送信側：[スタート] メニューの “連絡先”をタップして、送信する“連絡先”のデータを一覧画面で選びます。**

2 **送信側：画面右下の [メニュー] – [赤外線通信] – [1 件送信] をタップします。**

3 **受信側：赤外線通信でデータを受信できる状態にします。**

4 **送信側：確認画面で [はい] をタップします。**

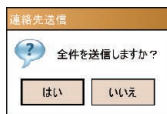
選択したデータが送信されます。

5 **送信側：送信が終わると、「送信が完了しました」と表示されます。**

■ データを全件送信する

受信側は、赤外線通信でデータを受信できる状態にしておきます。

1 **送信側：[スタート] メニューの “連絡先”をタップします。**

2 **送信側：画面右下の [メニュー] – [赤外線通信] – [全件送信] をタップします。**

3 **送信側：確認画面で [はい] をタップします。**

認証コードの入力画面が表示されます。

4 **送信側：認証コード（4 桁の数字）を入力して、[OK] をタップします。**

5 **受信側：送信側と同じ認証コードを入力します。**

機種によっては、認証コードの前に暗証番号の入力が必要です。
受信側で入力した認証コードと一致すると、送信が開始されます。

MEMO

- 全件送信の場合、データ交換（☞次ページ）のときに送信する情報（自分の名前／住所／電話番号など）も送信されます。

携帯電話のデータを受信する

携帯電話の電話帳などに登録されている住所や電話番号などのデータを受信します。
受信したデータはこの製品の“連絡先”に登録されます。
登録されたデータは電話帳からも表示できます。

1 **送信側：携帯電話でデータを送信します。**

2 **受信側：確認画面で はい をタップします。**
データが“連絡先”に登録されます。
「××を連絡先に保存しますか？」と表示された場合は、画面左下の はい をタップします。

JPEG 形式の静止画を高速赤外線通信で送信する（③の方法）

“画像とビデオ”で表示される JPEG 形式の静止画を IrSS 対応機器に送信できます。

MEMO

- IrSS は片方向通信のため、受信側が受信待ち状態になっていなくても送信します。このため、受信側が受け取れない場合でも送信側は正常に終了します。

1 **送信側： スタート メニューの “プログラム”をタップします。**

2 **送信側：プログラム画面の “画像とビデオ”をタップして、送信する静止画を選びます。**

3 **受信側：高速赤外線通信で受信できる状態にします。**

4 **送信側：画面右下の メニュー － IrSS をタップします。**

5 **送信側：確認画面で はい をタップします。**
選択したデータが送信されます。

データ交換（④の方法）

この製品に保存している自分の名前／住所／電話番号などの情報を他の WS020SH に送信したり、相手の名前／住所／電話番号などの情報を受信します。

■ 準備

はじめてデータ交換を行うときは、自分の名前／住所／電話番号などの情報を入力する必要があります。

1 **プログラム画面を表示し、 “データ交換”をタップします。**

2 **表示された画面で、 赤外線 送信 をタップします。**

3 **個人情報を入力する画面が表示されますので、名前、住所、電話番号などを入力します。**

MEMO

- 画面右下の 情報取得 をタップするとオーナー情報（☞ 10-4 ページ）が入力されます。

4 **情報を入力した後、 ok をタップします。**
入力した個人情報が表示されます。

MEMO

- 個人情報を修正するときは、画面右下の プロフィールを編集 をタップします。修正・変更後、 ok をタップします。

5 **ここでは送信しないので、 ok をタップします。**

データを交換する

1 送信側：送信する自分の情報を保存していることを確認します。保存していないときは、前ページの準備をご覧になり保存してください。

2 受信側：プログラム画面を表示して "データ交換" をタップし、表示された画面で、赤外線 受信 をタップします。

3 送信側：プログラム画面を表示して "データ交換" をタップし、表示された画面で、赤外線 送信 をタップします。

相手を見つけて、情報を送信します。

4 受信側：確認画面が表示されますので、はい をタップします。さらに「XX を連絡先に保存しますか？」と表示された場合は、画面左下の はい をタップします。

データが受信されます。

5 送信と受信が終わると、送信側と受信側の両方とも表示された画面で ok をタップします。

送信側の情報が受信側の連絡先に保存されます。

USB ホストとして使う

この製品は、USB ホスト機能を持っています。USB メモリや USB キーボードなどと接続して利用することができます。
USB 周辺機器を接続する場合は、別途 USB ホストケーブルが必要です。

ご注意

- **USB 機器を接続するときは**

次の手順で接続してください。手順が違う場合、周辺機器が認識できないことがあります。
①周辺機器を USB ホストケーブルに接続する。
②周辺機器と接続した USB ホストケーブルをこの製品に接続する。

- **USB 機器を取り外す前に**

インターネットやメールの送受信など、通信しているときに USB 機器を取り外さないでください。通信が切断されることがあります。

- **USB 機器を認識しないときは**

一度、この製品側のケーブルを抜いてから再度接続してみてください。

遠隔的にパソコンの操作を行う（リモートデスクトップモバイル）

リモートデスクトップモバイルは、USB ケーブル（ActiveSync、Windows Mobile デバイスセンター）やワイヤレス LAN を経由してこの製品上でパソコンの画面を表示するものです。

遠隔的にパソコンの操作を行う

1 **スタート メニューの “プログラム”をタップします。**

2 **プログラム画面で “リモートデスクトップモバイル”をタップします。**

リモートデスクトップモバイルの状態表示画面が表示されます。

3 **接続に必要な情報を入力します。**

① IP アドレスまたは接続するパソコンの名前を入力します。

② パソコンに設定しているユーザー名を入力します。

③ パソコンに設定しているパスワードを入力します。

④ 接続するパソコンのドメインを入力します。

⑤ 入力したパスワードを保存するときは、チェックを付けます。

4 **画面左下の 接続 をタップします。**

MEMO

- 画面右下の オプション をタップすると、表示や音声の設定ができます。

9 章　その他の機能

バックアップする（Sprite Backup）

バックアップは、この製品に保存しているデータ（☞下記「バックアップできないデータ」以外のデータ）を1つのファイル（バックアップファイル）として microSD カードまたは本体にバックアップします。
microSD カードを取り付けているときは自動的に microSD カードにバックアップし、microSD カードを取り付けていないときは本体メモリにバックアップします。
また、microSD カードまたは本体にバックアップしたファイルを本体に復元します。

バックアップ／復元には「基本モード」と「拡張モード」の2つのモードがあり、目的によって使い分けができます。

・「基本モード」は、この製品に保存しているデータ（☞下記「バックアップできないデータ」以外のデータ）をバックアップします。また、一番新しいバックアップファイルを復元します。
・「拡張モード」は、指定したフォルダやファイルだけをバックアップします。また、複数のバックアップファイルがあるとき、バックアップファイルを選択して復元できます。

●バックアップできないデータ

以下のデータはバックアップできません。
・PIN コード
・パスワード

●Sprite Backup の動作やバックアップファイルの保存に必要な空き容量

<u>Sprite Backup 動作用</u>
本体メモリに約 10MB の空きが必要です。

<u>microSD カードにバックアップファイルを保存するとき</u>
「データ記憶用の使用領域（使用している容量）」＋「約 5MB」の空き容量が必要です（データ記憶用の使用領域は、［スタート］－［設定］－［システム］タブ－［メモリ］をタップして表示されるメモリ画面（［メイン］タブ）で確認できます）。

<u>本体メモリにバックアップファイルを保存するとき</u>
Sprite Backup 動作用のメモリ（約 10MB）＋「データ記憶用の使用領域（使用している容量）」＋「約 5MB」の空き容量が必要です。

※設定（☞ 9-6 ページ）によってはデータを圧縮してバックアップファイルを作れますが、保存しているデータによって圧縮率が変わるため左記の空き容量を確保することをおすすめします。

●復元について

復元は、本体メモリにバックアップファイル内のファイルを上書きします。
本体メモリに同じファイル名のファイルがある場合は、バックアップファイル内のファイルに置き換わります。
※バックアップした後に画像ファイルや Word Mobile などのファイルを本体に保存するとバックアップファイル内にないファイルが存在し、復元を行ってもそのファイルは本体メモリに残ります。

ご注意

● バックアップや復元を行う前に

・すべてのプログラム（ホームページ閲覧、連絡先などのデータ入力など）を終了してください。
・AC アダプターを接続してください。
・この製品にカードリーダなどの USB 機器を接続しているときは、すべての USB 機器を取り外してください。
・アラームなど自動的に起動する設定は解除してください。

● 本体の動作が不安定な状態でバックアップを行わないでください

・不安定な状態でバックアップすると壊れたファイルをバックアップすることがあります。
このバックアップファイルを復元すると不安定な状態を復元することになります。

● 次のデータは復元できないことがあります

・著作権情報付き音楽データ
・プロテクトがかかっているデータやプログラム

● バックアップ中や復元中には、次のことを行わないでください

・プログラムの起動や通信（ワイヤレス LAN、PHS 電話機能、赤外線通信、Bluetooth）など、この製品を操作しないでください。中途半端な状態のデータをバックアップすることがあります。
・復元中に復元を中止（キャンセル）しないでください。中止したときは、システムが不安定な状態になりますので、いったん、完全消去（フォーマット）した後、再度、復元してください。

● W-SIM（PHS）とワイヤレス LAN の設定について

バックアップ後や復元後、無線 ON/OFF 画面（☞ 2-12 ページ）の W-SIM（PHS）は「ON」になり、内蔵ワイヤレス LAN は「OFF」になります。バックアップ前や復元前の状態と異なる場合は、無線 ON/OFF 画面を表示して設定を変更してください。

「基本モード」でバックアップする

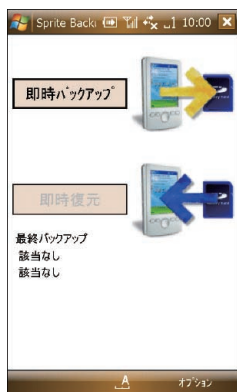
この製品に保存している全データをバックアップします。

1 **本体に microSD カードを取り付けます（☞ 1-46 ページ）。**

MEMO

● PIN コードを設定している場合は、PIN ロックの設定を解除してください(☞ 3-25 ページ)。

2 **スタート メニューの “プログラム” をタップし、プログラム画面で “Sprite Backup” をタップします。**

Sprite Backup が起動し、基本モード画面が表示されます。
拡張モード画面が表示されたときは、オプション － 基本モードへ切り替え をタップします。

3 **即時バックアップ をタップします。**

MEMO

● microSD カードを取り付けていないときは、即時バックアップ をタップすると手順 **4** の前に確認画面が表示されますので、はい をタップします。

4 **表示されたパスワード入力画面で、パスワード（半角英数字 6 文字以上 15 文字以下）を入力します。確認の入力欄にも同じパスワードを入力し、画面左下の OK をタップします。**

このパスワードはバックアップファイル用のパスワードで、バックアップファイルごとに設定できます。

MEMO

● パスワードは、バックアップファイルを復元するときに必要になります（☞次ページ、9-5 ページ）。入力したパスワードは忘れないようにしてください。

5 **表示された確認画面の内容をご覧になり、画面左下の OK をタップします。**

6 **自動的にリセットが行われ、バックアップが始まります。**

7 **バックアップ終了後、自動的にリセットが行われます。**

8 **しばらくすると Today 画面が表示されます。さらにしばらくすると「バックアップが完了しました。」の画面が表示されます。**

9 **OK をタップすると、一連の動作が終了します。**

レポート表示 をタップするとバックアップの作業内容が表示されます。
本体のデータは、１つのバックアップファイルとして microSD カードに保存されます。microSD カードを取り付けていないときは、本体メモリに保存されます。
１つ目のバックアップファイル名は、Backup_YYYY-MM-DD となります。
たとえば、2007 年 10 月 17 日にバックアップを行うと、
「Backup_2007-10-17」となります。
同じ日にバックアップを行うと、

「Backup_2007-10-17_1」となり「_1」が付きます。さらにバックアップを行うと、「Backup_2007-10-17_2」となり最後の数字が増えていきます。

MEMO

- バックアップ時、バックアップファイルを圧縮する／しない、暗号化する／しないなどを設定できます。各種設定については、9-6 ページをご覧ください。

「基本モード」でバックアップしたデータを復元する

「基本モード」でバックアップした一番新しいバックアップファイルを復元します。
すでに複数のバックアップファイルがあり、この中から 1 つのバックアップファイルを指定して復元する場合は、「「拡張モード」で復元する」(☞次ページ）をご覧ください。

1 バックアップファイルを保存している microSD カードを本体に取り付けます。
本体に保存しているバックアップファイルを復元するときは、手順 **2** からはじめます。

2 スタート メニューの “プログラム”をタップし、プログラム画面で “Sprite Backup”をタップします。
Sprite Backup が起動し、基本モード画面が表示されます。
拡張モード画面が表示されたときは、オプション － 基本モードへ切り替え をタップします。

3 即時復元 をタップします。

4 パスワード入力画面で、バックアップ時に入力したパスワードを入力し、画面左下の OK をタップします。

5 表示された確認画面の内容をご覧になり、OK をタップします。

6 自動的にリセットが行われ、復元が始まります。

7 復元完了後、自動的にリセットが行われます。

8 しばらくすると Today 画面が表示されます。さらにしばらくすると「復元が完了しました。」の画面が表示されます。

9 OK をタップすると、一連の動作が終了します。
レポート表示 をタップすると復元の作業内容が表示されます。

MEMO

- **復元前と復元後のデータについて**
  - ・連絡先や予定表、設定（一部除く）などのデータは、バックアップファイルの内容に置き換わります。
  - ・画像ファイルや Word Mobile、Excel Mobile などのファイルは、復元するファイルと同じファイル名があるときは上書きし、同じファイル名がないときは、そのまま残ります。9-2 ページの「復元について」もご覧ください。

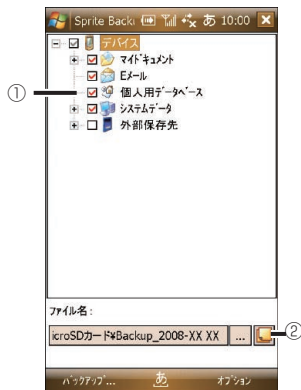
「拡張モード」でバックアップする

「拡張モード」は、指定したフォルダやファイルだけをバックアップします。

1 本体に microSD カードを取り付けます。

2 スタート メニューの “プログラム”をタップし、プログラム画面で “Sprite Backup”をタップします。
Sprite Backup が起動します。
基本モード画面が表示されたときは、オプション － 拡張モードへ切り替え をタップします。
メッセージが表示されますので、OK をタップします。

3 **拡張モード画面で、バックアップするフォルダやファイルにチェックを付け[...]をタップします。**

[+]をタップするとその下の階層にあるフォルダが表示されます。

①チェックを付けた項目をバックアップします。

②タップすると、バックアップファイルの説明（コメント）を入力できます。

MEMO

- 「E メール」フォルダは、メール（Outlook）のデータです。W-ZERO3 メールのデータは選択できません。

4 **「名前」欄に、ファイル名を入力します。**
また、必要に応じて場所（My Documents（本体）または microSD カードの選択）、フォルダの選択、バックアップファイルの説明を入力して画面左下の[OK]をタップします。

5 **拡張モード画面が表示されたら、画面左下の[バックアップ]をタップします。**

6 **表示されたパスワード入力画面で、パスワード（半角英数字 6 文字以上 15 文字以下）を入力します。確認の入力欄にも同じパスワードを入力し、[OK]をタップします。**

このパスワードはバックアップファイル用のパスワードで、バックアップファイルごとに設定できます。

MEMO

- パスワードは、バックアップファイルを復元するときに必要になります。入力したパスワードは忘れないようにしてください。

7 **以下、9-3 ページの手順 5 以降と同様にしてバックアップを行います。**

「拡張モード」で復元する

バックアップファイルが複数ある場合、この方法でバックアップファイルを選択し復元します。

1 **バックアップファイルを保存している microSD カードを本体に取り付けます。**

本体に保存しているバックアップファイルを復元するときは、手順 **2** からはじめます。

2 **Sprite Backup 画面（「拡張」モード）を表示し、画面右下の[オプション] − [復元]をタップします。**

3 **[...]をタップします。**

4 **表示された画面で、バックアップファイルを選択し画面左下の[OK]をタップします。**

MEMO

- リストには、microSD カードと本体に保存しているバックアップファイルの両方が表示されます。

5 **表示された画面で、パスワードを入力して OK をタップします。**
入力するパスワードは、バックアップを行ったときに入力したパスワードです。

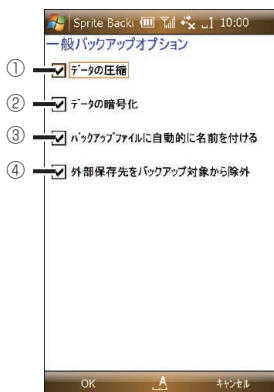
6 **Sprite Backup 画面（「拡張」モード）に戻りますので、画面左下の 復元 をタップします。**

7 **以下、9-4 ページの手順 5 以降と同様にして復元を行います。**
復元前と復元後のデータについては、9-4 ページ手順 **9** の下のメモをご覧ください。

バックアップ時の設定を行う

バックアップ時、圧縮や暗号化してバックアップファイルを作ったり、自動的にバックアップファイル名を付ける設定などができます。

■ 一般バックアップオプション

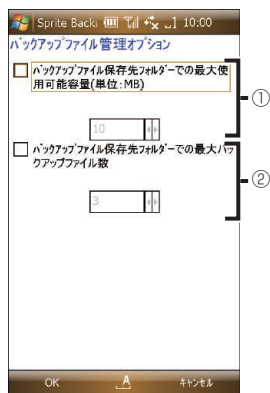
拡張モード画面で、 オプション － バックアップ・オプション － 一般バックアップオプション をタップします。

① **データの圧縮**
圧縮してバックアップファイルを作ります。

② **データの暗号化**
バックアップファイルを暗号化します。
※このチェックは外さないようにしてください。

③ **バックアップファイルに自動的に名前を付ける**
バックアップ時、自動的にファイル名（「Backup_YYYY-MM-DD）を付けます。（たとえば、2007 年 10 月 17 日にバックアップを行うと、「Backup_2007-10-17」となります。同じ日にバックアップを行うと、「Backup_2007-10-17_1」となり「_1」が付きます。さらにバックアップを行うと、「Backup_2007-10-17_2」となり最後の数字が増えていきます。）

④ **外部保存先をバックアップ対象から除外**
バックアップファイルに外部保存先を除外する／しないを設定します。

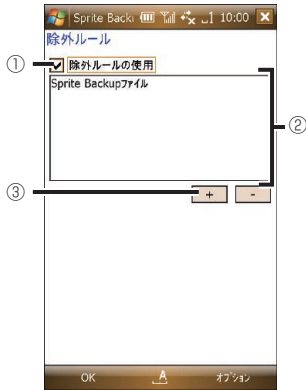
■ バックアップファイル管理

オプション － バックアップ・オプション － バックアップファイル管理 をタップします。

① 保存先フォルダの容量の上限を設定します。バックアップ実行時、新規ファイル作成のために十分な空きスペースがない場合には、日付が一番古いファイルから削除し、充分な空き容量が確保できてからバックアップを実行します。

② バックアップファイル数の上限を設定します。フォルダ内のファイル数が最大になっているときは、日付の一番古いファイルを削除し新しいファイルを保存します。

■ 除外ルール

バックアップ時、除外ルールのリストに表示されているファイルをバックアップしないようにします。

オプション – バックアップ・オプション – 除外ルール をタップします。

①「除外ルールの使用」にチェックを付けます。

② ③で入力したファイル名などが表示されます。

③ + をタップして表示された画面で除外するファイル名などを入力し、画面左下の OK をタップします。

ファイル名を入力するとき、「¥temp」など階層（ディレクトリ）も入力します。

MEMO

- 除外ルールのリストにある「Sprite Backup ファイル」は、Sprite Backup でバックアップしたファイルのことです。
- プログラムなど（*.EXE、*.DLL）を除外するときは、除外ルール画面の オプション – 除外プログラム（*.EXE、*.DLL） をタップします。
- 除外ルールのリストにあるファイルなどを外すときは、項目を選択し、 – をタップします。
  「Sprite Backup ファイル」を外したあと、再度、リストに入れる場合は オプション – 除外 Sprite Backup ファイル をタップします。

拡張モードのオプションのメニュー

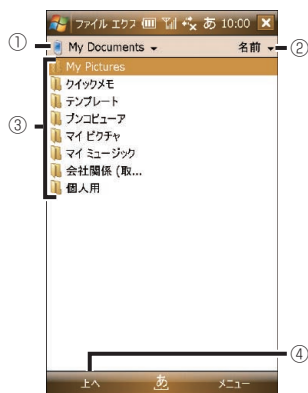
復元	拡張モードで復元を行う。
バックアップオプション	バックアップ時、データの圧縮や暗号化などの設定を行う(☞ 9-6 ページ)。
バックアップ履歴表示	バックアップを行った履歴を表示する。
登録する	ネットワーク接続中に、オプション－登録するをタップし、表示された画面で名前やメールアドレスなどを入力して画面左下の OK をタップすると、Sprite Software 社に登録が行なわれます。登録後、Sprite Software 社から各種情報が送られてきます。
バージョン情報	バージョンを表示する。
ヘルプ	ヘルプを表示する。
基本モードへ切り替え	基本モードへ切り替える（☞ 9-3 ページ)。
終了	Sprite Backup を終了する。

ファイルを管理する（ファイルエクスプローラ）

ファイルエクスプローラを使うと新規にフォルダを作成したり、ファイルのコピーやフォルダを移動させるなど、ファイルの管理ができます。ここでは、ファイルエクスプローラの基本的な使いかたについて説明します。あわせてヘルプもご覧ください。フォルダやファイルをコピー・移動する方法については1-49ページをご覧ください。

ファイルエクスプローラの使いかた

1 **スタート メニューの “プログラム”をタップします。**

2 **プログラム画面の “ファイルエクスプローラ”をタップします。**
ファイルエクスプローラの画面が表示され、「My Documents」などのファイルとフォルダの一覧が表示されます。

① タップすると現在表示中のフォルダ階層より、上のフォルダ階層へ移動できます。

② タップすると、ファイルやフォルダの並べ替え順の項目が表示されます。
並べ替え順の項目をタップするとその項目を基準にデータが並び替わります。

③ フォルダをタップすると、フォルダ内のファイル一覧が表示されます。ファイルをタップすると、そのプログラムが起動してファイルを開きます。

④ 現在表示中のフォルダ階層より、1つ上のフォルダ階層へ移動します。

ご注意

- **Windowsのシステムファイルは削除しないでください**

ファイルエクスプローラを使うとWindowsのシステムファイルなどが見られますが、誤って削除したりすると正常に動作しなくなる恐れがあります。

MEMO

- ファイルをタップしてもそのファイルが開かないときは、プログラムを起動して、そのプログラムからファイルを開いてみてください。

ファイルをメールに添付して送る

1 **送信したいファイルをタップしたままにします。**
ポップアップメニューが表示されます。

2 **送信 をタップします。**
「アカウントの選択」画面が表示されたときは、添付して送るアカウントをタップして選択します。
ファイルを添付したメールの送信メッセージ作成画面が表示されます。

MEMO

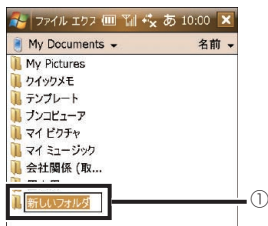
- 送信したいファイルを選択し、画面右下の メニュー － 送信 をタップしても同じ操作が行えます。

3 **宛先、件名、本文などを入力します。**

新規フォルダを作成する

ここでは「My Documents」フォルダの下に新しくフォルダを作ります。
別の階層にフォルダを作成するときは、「My Documents ▼」をタップし、フォルダを選んでください。

1 **ファイルエクスプローラ画面で「My Documents」フォルダを開きます。**

2 **画面右下の メニュー － 新しいフォルダ をタップします。**
新しいフォルダが作成され、フォルダ名の入力状態になります。

① 新しくフォルダが作成されます。

MEMO
- ファイルやフォルダのない空白部分をタップしたままにし、ポップアップメニューから 新しいフォルダ をタップしても新しいフォルダが作成されます。

3 **フォルダ名を入力します。**

フォルダやファイルの名前を変更する

1 **名前を変更するファイルやフォルダをタップしたままにします。**

2 **ポップアップメニューから 名前の変更 をタップします。**

MEMO
- 名前を変更するフォルダやファイルを選択し、画面右下の メニュー － 名前の変更 をタップしても名前の変更ができます。

3 **名前を変更します。**

MEMO
- 名前の変更をやめるときは、画面右下の メニュー － 編集 － 元に戻す 名前の変更 をタップして、元に戻します。

フォルダやファイルを削除する

1 **削除するファイルやフォルダをタップしたままにします。**

2 **ポップアップメニューから 削除 をタップします。**
削除の確認画面が表示されます。

MEMO
- 削除するフォルダやファイルを選択し、画面右下の メニュー － 削除 をタップしても削除の確認画面が表示されます。

3 **はい をタップします。**

ご注意

- **削除の取り消しはできません。**
よく確認してから削除してください。

- **フォルダの削除には注意してください。**
フォルダの削除を実行すると、フォルダ内のファイルやフォルダはすべて削除されます。

- **ファイルを開いていると削除できません。**
エラーが表示され削除できないときは、そのファイルがプログラムから開かれていることが考えられます。
関連するプログラムを終了（☞ 1-25 ページ）した後、削除してください。

フォルダやファイルを移動・コピーする

1-49 ページをご覧ください。

ファイルエクスプローラのメニュー

移動	My Documents	「My Documents」のファイルとフォルダの一覧を表示する。
	マイデバイス	「マイデバイス」のファイルとフォルダの一覧を表示する。
	フォルダ	フォルダの階層を選択する。
	パスを開く	ネットワークに接続しているときパスを指定してネットワーク上の共有フォルダを開く。※指定したパスの履歴が残ります。履歴の編集はできません。
最新の情報に更新		最新の状態に更新する。
すべてのファイルを表示		すべてのファイルを表示する。
並べ替え		ファイルやフォルダの並べ替え順の項目を選択する。
送信		タップすると選択しているファイルを添付したメッセージ作成画面を表示する(☞9-9ページ)。
ファイルをビームする		選択したファイルを赤外線通信またはBluetoothで別のWS020SHなどに送信する。
新しいフォルダ		新しいフォルダを作成する(☞前ページ)。
名前の変更		フォルダやファイルの名前を変更する(☞前ページ)。
削除		フォルダやファイルを削除する(☞前ページ)。
編集	元に戻す	フォルダやファイルのコピー、名前の変更、移動の操作を元に戻す。
	切り取り	フォルダやファイルを切り取る(☞1-49ページ)。
	コピー	フォルダやファイルをコピーする(☞1-49ページ)。
	貼り付け	コピーおよび切り取ったフォルダやファイルを貼り付ける(☞1-49ページ)。
	ショートカットの貼り付け	コピーしたフォルダやファイルのショートカットを貼り付ける。
	すべて選択	すべてのフォルダやファイルを選択する。

Java™ アプリ

この製品には、Java アプリケーションを実行するための Java 実行環境「JBlend™」が搭載されています。
ゲームなどの Java アプリケーションを、インターネットからダウンロードしたり、パソコンや microSD カードからコピーして、この製品で利用できます。ダウンロード後、インストールしてください。インストールの方法はダウンロード先などを確認してください。

MEMO

- この実行環境は、「J2ME CLDC-1.1 MIDP-2.0」に準拠しています。
- 画面右下の メニュー － アプリケーション － 削除 などでアプリケーションを削除するとアプリケーションを起動することはできませんが、元のファイル（インターネットなどからダウンロードしたファイル）はメモリに残っています。
- 本体メモリなどの容量を空けるときや不用になったときは、ダウンロードしたファイルもファイルエクスプローラを起動して削除します（ファイルによっては有料のものもありますので、削除にはご注意ください）。ダウンロードしたファイルを削除し再度インストールする場合は、ファイルを再度ダウンロードしてください。

Java アプリケーションを起動する

1 **スタート メニューの “プログラム”をタップし、“Java（™）アプリ”をタップします。**
Java アプリケーションの一覧画面が表示されます。

2 **起動したい Java アプリケーションにすばやく 2 回タップします。**
Java アプリケーションが起動されます。
使用方法は、Java アプリケーションのヘルプなどをご覧ください。

Java™ アプリのメニュー

アプリケーション	削除	選択しているJavaアプリケーションを削除する。
	すべて削除	表示されているJavaアプリケーションを全て削除する。
	パーミッション	ネットワークに接続する前に確認画面を出す／出さないなどを設定する。
	情報	選択しているJavaアプリケーションのファイル情報などを表示する。
Java設定		Javaアプリケーションの使用中、常にバックライトを点灯するか設定する。
Java情報		バージョン情報を表示する。
終了		Java™アプリ（Java実行環境）を終了する。

10章　設定

使用環境を設定する（個人用 タブ）10-2

使用環境を設定する（システム タブ）10-11

使用環境を設定する（個人用タブ）

着信音や待ち受け画面（Today 画面）など、使いやすいようにこの製品の環境を設定します。
スタート メニューの “設定” − 個人用 タブをタップすると、個人用タブの設定画面が表示されます。
それぞれの設定について、あわせてヘルプもご覧ください。

待ち受け画面（Today 画面）を設定する

壁紙などを設定して、自分だけの待ち受け画面（Today 画面）を作成できます。

1 スタート メニューの “設定” をタップして “Today” をタップします。

2 Today 画面に関する設定を行います。

◇ デザイン タブ◇

① Today 画面の背景にするテーマを選択します。

② 写真など、テーマ以外を背景にするときは、チェックを付けてから 参照 をタップして画像ファイルを選択します。

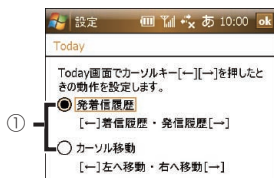
◇ アイテム タブ◇

① Today 画面に表示するアイテムにチェックを付けます。

② Today 画面に表示するアイテムの順番を変更します（「日付」の順番は変更できません）。

③「時計」または「仕事」、「予定表」にチェックを付けた場合、タップすると表示する内容の詳細を設定できます（☞次ページ）。

④この製品ではこの機能に対応しておりません。

◇ カーソルキー タブ◇

① Today 画面（待ち受け画面）で カーソル キーの左右をタップしたときの動作を設定します。

3 設定が終われば、ok をタップします。

画像を「Today」画面の背景に設定する

この製品に保存している画像を「Today」画面の背景として設定できます。

1 **画像とビデオ画面で、「Today」画面の背景として設定したい画像をタップしたままにして表示されたメニューから [[Today] の背景に設定する] をタップします。**

「[Today] の背景に設定する」画面が表示されます。

MEMO

- 「Today」画面の背景として設定したい画像を選択し、画面右下の [メニュー] − [[Today] の背景に設定する] をタップしても「[Today] の背景に設定する」画面が表示されます。

2 **背景にするときの透過レベルを設定します。**

透過レベルのパーセントを低くするほど、くっきりした画像になります。

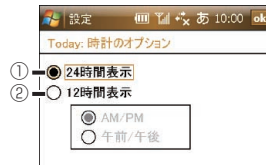
3 **設定が終われば、[ok] をタップします。**

MEMO

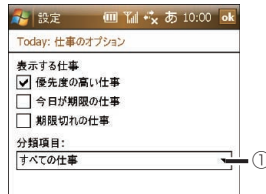
- 「Today」画面の背景の設定をやめるときは、[デザイン] タブ（☞前ページ）の「この画像を背景に使用する」のチェックをはずします。

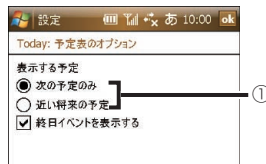
Today 画面に表示する「時計」、「仕事」、「予定表」の内容を設定する

[アイテム] タブ画面で「時計」または「仕事」、「予定表」をタップしてから、[オプション] をタップして設定します。

◇時計◇

① 24 時間表示で時刻を表示します

② 12 時間表示で時刻を表示します。
12 時間表示に設定した時は、「AM/PM」と「午前 / 午後」を選択できます。

◇仕事◇

① 仕事を分類しているとき、分類項目を選択します（☞付属の CD-ROM に収録のアプリケーションマニュアル）。

◇予定表◇

①「次の予定」だけ表示するのか、「近い将来の予定」まで表示するのか、どちらかを選択します。

10 設定 個人用

オーナー情報を設定する

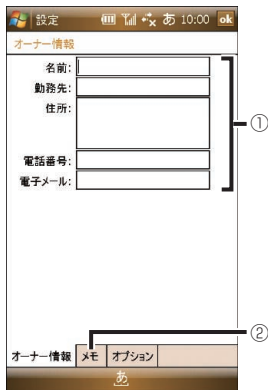
オーナー情報を入力します。

1 **スタート メニューの “設定” をタップします。**

2 **個人用 タブにある “オーナー情報” をタップします。**

オーナー情報の設定画面が表示されます。

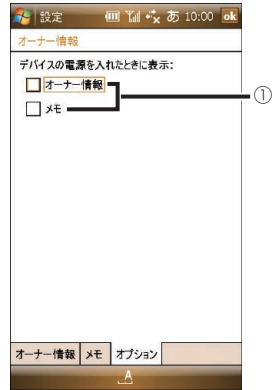
3 **オーナー情報に関する設定をします。**

◇ オーナー情報 タブ◇

① 名前、勤務先、住所、電話番号、電子メールなどを入力します。

② タップするとメモを追加できます。

MEMO

- オーナー情報に入力した内容はデータ交換（☞ 8-34 ページ）に利用できます。

◇ オプション タブ◇

① チェックを付けるとこの製品の電源を入れたときに、オーナー情報やメモの内容が「マイ インフォ」画面として表示されます。

（マイ インフォ画面をタップすると、Today 画面が表示されます。）

4 **設定が終われば、ok をタップします。**

キーを設定する

この製品のキーに割り当てるプログラムや機能を設定します。

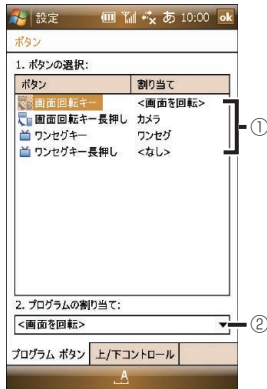
1 **スタートメニューの“設定”をタップします。**

2 **個人用タブにある“ボタン”をタップします。**

ボタン設定画面が表示されます。

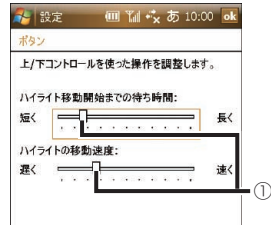
3 **キーに割り当てるプログラムやキー操作などを設定します。**

◇プログラムボタンタブ◇

「1. ボタンの選択」から設定／変更したいキーを選択し、「2. プログラムの割り当て」で割り当てるプログラムを選択します。

① 各キーと割り当てられているプログラムが表示されます。

② キーに割り当てるプログラムを選びます。

◇上／下コントロールタブ◇

（カーソル）キーをタップしたときスクロールを開始するまでの時間や移動速度、ならびに、キー入力時のリピートを開始するまでの時間やリピート速度を変更します。

① つまみをドラッグして調整します。
ただし、「ハイライトの移動速度」を左端の「遅く」に設定すると（カーソル）キーの上下をタップし続けてもハイライトは移動しなくなりますのでご注意ください。

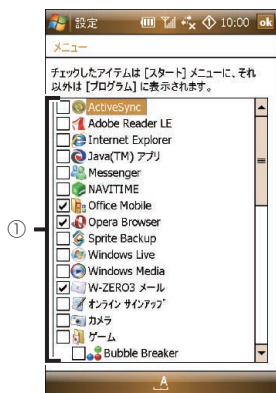
4 **設定が終われば、ok をタップします。**

スタートメニューを設定する

スタートメニューに表示するプログラムを設定します。

1 **スタートメニューの"設定"をタップします。**

2 **個人用タブにある"メニュー"をタップします。**
メニュー設定画面が表示されます。

3 **スタートメニューに表示したいプログラムなどにチェックを付けます（7つまで）。**

① チェックを付けたアイテムは、スタートメニュー（☞ 1-24ページ）に表示されます。
チェックを付けていないアイテムは、プログラム画面（☞ 1-17ページ）に表示されます。

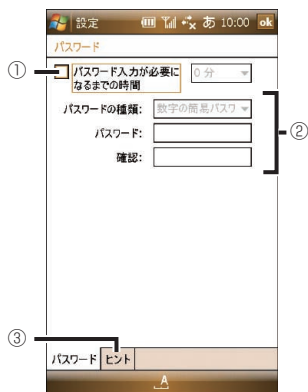
4 **設定が終われば、ok をタップします。**

他人が使えないようにロックする

電源を入れたときにパスワードの入力画面を表示して、この製品を他人が使えないようにロックします。

1 **スタートメニューの"設定"をタップします。**

2 **個人用タブにある"ロック"をタップします。**
パスワード設定画面が表示されます

3 **パスワードなどを設定します。**

① チェックを付けると、設定した時間が経過すると、パスワードの入力画面が表示されます。

② パスワードの種類を設定します。
- 数字の簡易パスワードの場合、4桁以上の数字を入力します。
- 強力な英数字のパスワードの場合、英字（大文字および小文字）、数字、区切り記号（/、：など）の3種類を含んだ7文字以上を入力します。

③ 強力な英数字のパスワードを設定しているとき、パスワードを忘れたときにヒントになる言葉を入力します。パスワードを5回間違えると入力したヒントが表示されます。

4 **設定が終われば、** **をタップします。**

5 確認画面で、はい をタップします。

ご注意

● パスワードは忘れないようにしてください

● 登録したパスワードを忘れると、この製品は使えなくなります。
パスワードは控えておいてください。

● パスワードを忘れてしまったときは、完全消去（フォーマット）（☞ 11-6 ページ）が必要になります。完全消去をすると、この製品に入っているデータなどはすべて消去されます。

● キーロック中はパスワードの入力ができません

キーロックを解除してからパスワードを入力してください。

MEMO

● パスワードを設定すると、パスワード画面を表示するときもパスワードの入力が必要です。

単語登録（Microsoft IME）や文字入力の設定をする

日本語入力システムとして Microsoft IME を使っている場合に、よく使う単語を登録します。
また、入力方法の設定や手書き入力の詳細設定などをします。
ケータイShoin をお使いの場合は、日本語入力システムを切り替える（☞ 10-12 ページ）および日本語入力システム(ケータイShoin)の設定（☞ 10-12 ページ）と単語登録をする（☞ 10-14 ページ）をご覧ください。

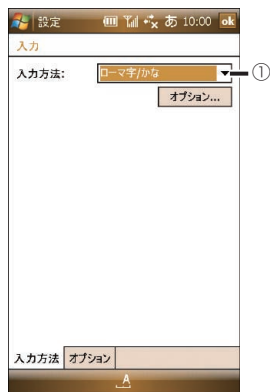
1 スタート メニューの “設定” をタップします。

2 個人用 タブにある “入力” をタップします。

入力設定画面が表示されます。

3 よく使う単語の登録や手書き入力の詳細設定などをします。

◇ 入力方法 タブ◇

単語の登録と手書き入力パネルの設定をします。

① オプションを設定したい入力パネルを選択し、オプション をタップして設定します。

それぞれの入力方法から、以下のオプションが設定できます。

ひらがな／カタカナ
単語の登録（☞次ページ）

ローマ字／かな
単語の登録（☞次ページ）

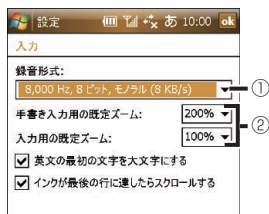
手書き検索
「左手」（手書き入力枠が左になる）設定

手書き入力
- 「左手」（手書き入力枠が左端になる）設定
- 「3 つの入力ボックス」（手書き入力枠が 3 つになる）設定
- 「タイムアウトを使用」（手書きした文字が設定した秒数で消える）設定
- 「タイムアウト値」（手書きした文字が消える秒数を入力）設定

MEMO

● 手書き入力の設定についてくわしくは 1-37 ページをご覧ください。

◇オプションタブ◇

録音形式や入力の詳細設定をします。これらの設定は、録音やメモなどのプログラムに適用されます。

① 録音形式を選びます。

② 手書き入力と、キー入力のズームを設定します。

MEMO

● 手書き入力のズームを大きくすると、手書きエリアに表示される罫線の幅が変わり、大きい文字が手書きできるようになります。

4 設定が終われば、ok をタップします。

よく使う単語を辞書に登録する

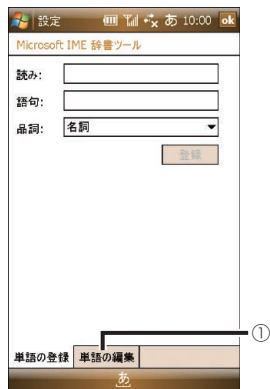
よく使う単語を辞書に登録します。

1 スタートメニューの "設定" をタップします。

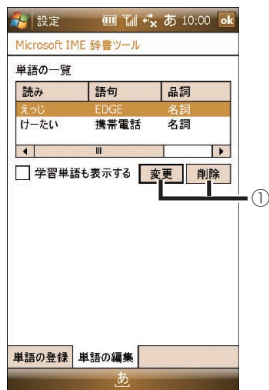
2 個人用タブにある "入力" をタップします。

入力設定画面が表示されます。

3 「入力方法」欄で▼をタップして「ひらがな／カタカナ」または「ローマ字／かな」を選択し、オプションをタップします。

辞書登録画面が表示されます。

① 登録している単語の一覧を表示します。

4 読み、変換後の語句を入力し、その品詞を設定して、登録をタップします。

5 登録した単語を変更／削除する場合は、単語の編集 タブをタップします。

①変更／削除する単語を一覧から選び、変更 ／ 削除 をタップします。

MEMO

- この製品には、変換した語を記憶する学習機能があります。
  学習された語は、次回の変換で優先的に表示されます。
  変換ミスなどで誤った語が学習されてしまったときなどは、「学習単語も表示する」にチェックを付けて一覧に表示し、変更や削除をします。

6 設定が終われば、ok をタップします。

音と通知を設定する

アラームや画面のタップ音の設定などをします。

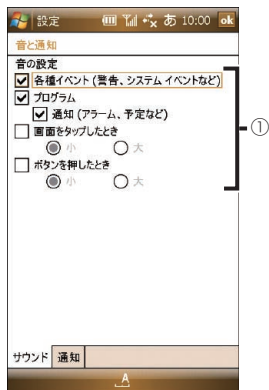
1 スタート メニューの “設定” をタップします。

2 個人用 タブにある “音と通知” をタップします。

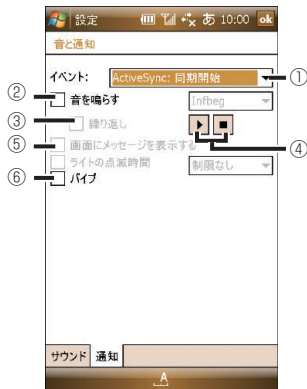
音と通知設定画面が表示されます。

3 音や通知に関する設定をします。

◇ サウンド タブ◇

“予定表” や “仕事” で設定したアラームや画面のタップ音を鳴らす／鳴らさないなどを設定します。

①チェックを付けると、その操作（イベント）をしたときに音がでます。

◇通知タブ◇

各種イベントを通知する方法にチェックを付けて設定します。
イベントによっては設定ができない項目があります。

① 設定するイベントを選びます。
② チェックを付けて▼をタップして、鳴らす音を選択します。
③ 通知時に設定した音を繰り返し鳴らします。
④ 選択した音を再生／停止します。
⑤ アラームや接続の確立などの通知時にメッセージを表示します。
⑥ 振動で通知します。

4 設定が終われば、ok をタップします。

MEMO

- サウンドタブで「プログラム」の「通知（アラーム、予定など）」のチェックを外している場合、通知タブで「音を鳴らす」にチェックを付けていても音は鳴りません。サウンドタブでは、「通知（アラーム、予定など）」のチェックは付けておいてください。

使用環境を設定する（システムタブ）

エラー報告や日本語入力システムなど、システムに関する設定をします。
スタート メニューの “設定” － システム タブをタップすると、システムタブの設定画面が表示されます。
それぞれの設定について、あわせてヘルプもご覧ください。

ファームウェアのバージョン情報を確認する

1 スタート メニューの “設定” をタップして、システム タブをタップします。

2 “WS020SH 情報” をタップします。

ファームウェアのバージョン情報が表示されます。

3 確認が終われば、ok をタップします。

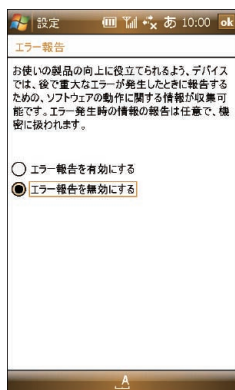
エラー報告をする／しないを設定する

この製品を使っているときに発生したエラー内容を、マイクロソフト株式会社に報告する／しないを設定します。

1 スタート メニューの “設定” をタップして、システム タブをタップします。

2 “エラー報告” をタップします。

エラー報告画面が表示されます。

3 「エラー報告を有効にする」、または「エラー報告を無効にする」をタップします。

4 設定が終われば、ok をタップします。

日本語入力システムを切り替える

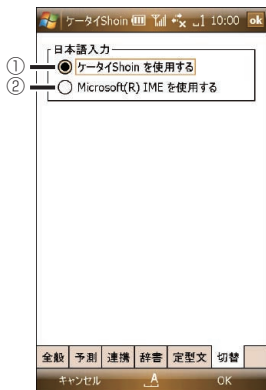
1 スタート メニューの “設定”を タップして、システム タブをタップします。

2 “ケータイShoin”をタップして、切替 タブをタップします。

ケータイShoin環境設定画面が表示されます。

3 日本語入力システムを切り替えます。

- 日本語入力システムを切り替えないで終了するときは、OK をタップします。
- 日本語入力システムを切り替えたときは、確認画面が表示されますので、OK をタップします。

再起動され、日本語入力システムが切り替わります。

① 日本語入力にケータイ Shoin を使用します。

② 日本語入力に Microsoft IME を使用します。

ご注意

- Microsoft IME を使って文字入力をするとき、ダイヤルキーは、数字入力（固定）になります。

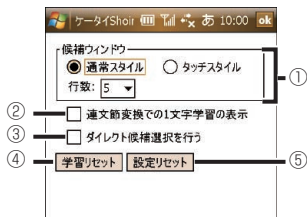
日本語入力システム（ケータイ Shoin）の設定

日本語入力システム（ケータイ Shoin）の変換候補に表示される文字種の設定、よく使う単語の登録、定型文の追加などをします。

1 スタート メニューの “設定”を タップして、システム タブをタップします。

2 “ケータイShoin”をタップします。

ケータイShoin環境設定画面が表示されます。

◇全般 タブ◇

① 候補ウインドウの行数および「通常スタイル」/「タッチスタイル」を選びます。

通常スタイル：通常の候補ウインドウが表示されます。

タッチスタイル：タッチ操作に適した候補ウインドウが表示されます。

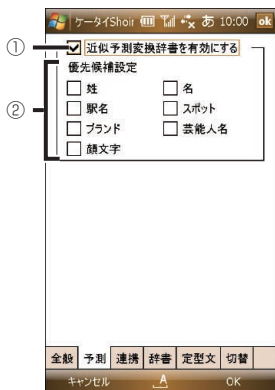
② チェックを付けると、1 字入力したときに、変換で学習した語や、ユーザ辞書に登録した単語が変換候補として表示されます。

③ チェックを付けると、ダイヤルキーで候補ウィンドウの変換候補の選択ができるようになります。

④ 変換で学習した語が削除されます。

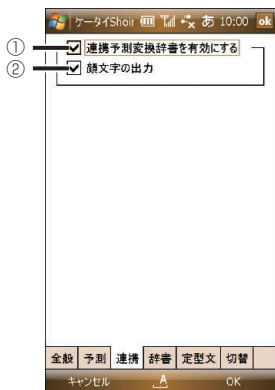
⑤ ケータイ Shoin の設定を標準状態に戻します。

◇予測タブ◇

近似予測変換辞書の設定をします。

① チェックを付けると、ひらがなを入力するたびに、入力した文字から始まる変換候補が表示されます。

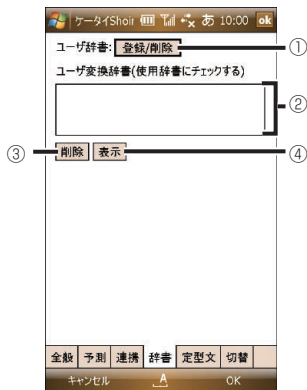
② チェックを付けた項目が、優先的に変換候補として表示されます。

◇連携タブ◇

連携予測変換の設定をします。

① チェックを付けると、確定した文字から推測される変換候補が表示されます。

② チェックを付けると、連携予測変換で顔文字が表示されます（確定した語が感情を表す語の場合）。

◇辞書タブ◇

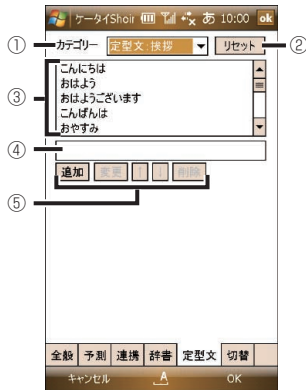
よく使う単語をユーザ辞書に登録します。
単語登録については、「単語を登録する」（☞次ページ）をご覧ください。

① 単語をユーザ辞書に登録する画面が表示されます。くわしくは次ページ「単語を登録する」をご覧ください。

② ①で登録したユーザ変換辞書が表示されます。
使用するユーザ変換辞書にチェックを付けると、選択したユーザ変換辞書が使用できます。

③ ②で選択したユーザ変換辞書を削除します。

④ ②で選択したユーザ変換辞書を表示します。

◇定型文タブ◇

定型文の設定をします。

① 編集する定型文のカテゴリーを選択します。

② 定型文と顔文字を標準状態に戻します。

③ 登録されている定型文が表示されます。定型文を選択すると、選択した定型文が④に表示されます。

④ 追加／変更／順番変更／削除する定型文を入力（表示）します。

⑤ 追加 ：④に入力した単語を定型文に追加します。

変更 ：定型文を変更します。変更する定型文を③のリストから選択し、④で変更後、変更をタップします。

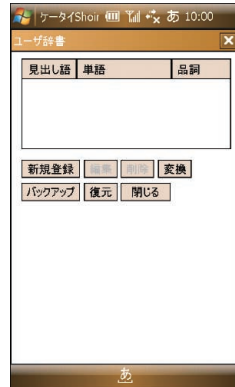
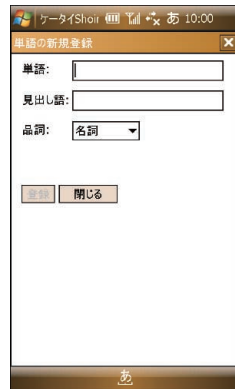
↑ ↓ ：③のリストに表示させる順番を変更します。定型文を選択し、↑や↓をタップし順番を変更します。

削除 ：④に入力（表示）した単語を定型文から削除します。

3 **設定／確認が終われば、ok をタップします。**
設定を変更したり、単語登録を行ったときは、必ず設定画面を閉じてください。設定画面を閉じないと変更や登録が有効になりません。

単語を登録する

よく使う単語を辞書に登録します。

1 **10-12～13ページの手順1～2と同様にして、辞書タブをタップし、登録／削除をタップします。**
ユーザ辞書の設定画面が表示されます。

2 **新規登録をタップします。**
単語の新規登録画面が表示されます。

3 **単語、見出し語、その品詞を設定して、登録をタップします。**

4 **ok をタップします。**
続けて単語を登録するときは、手順3～4を繰り返します。

5 **閉じるをタップします。**
ユーザ辞書の設定画面に戻ります。

6 **登録した単語に間違いがないか確認します。**

- 修正するときは
  1. 修正する単語を選択し、[編集]をタップします。
  2. 修正が終了したら[決定]をタップします。
- 削除するときは
  1. 削除する単語を選択し、[削除]をタップします。

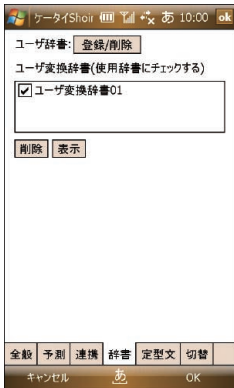
7 **[変換]をタップします。**

登録した単語がすべてユーザ変換辞書に変換されます。

8 **ok をタップします。**

9 **[閉じる]をタップします。**

ユーザ辞書の設定画面が表示され、登録したユーザ変換辞書が表示されます。

10 **使用するユーザ変換辞書にチェックを付けます。**

MEMO

- ユーザ変換辞書を選択し、[削除]をタップすると選択したユーザ変換辞書が削除されます。
- ユーザ変換辞書を選択し、[表示]をタップすると、ユーザ変換辞書に登録された単語が表示されます。

11 **設定が終われば、ok をタップします。**

■ 単語をバックアップする

登録した単語を microSD カードにバックアップすることができます。

バックアップするときは、あらかじめ microSD カードをこの製品に取り付けておいてください(1-46 ページ)。

1 **前ページの「単語を登録する」の手順 1 ～ 5 と同様にして、バックアップする単語を登録します。**

2 **ユーザ辞書の設定画面で[バックアップ]をタップします。**

microSD カードに単語がバックアップされます。

3 **ok をタップします。**

■ バックアップした単語を復元する

microSD カードにバックアップした単語を復元することができます。

復元するときは、あらかじめバックアップを行った microSD カードをこの製品に取り付けておいてください(1-46 ページ)。

1 **ユーザ辞書の設定画面で[復元]をタップします。**

開く画面が表示されます。

2 **復元するファイルをタップします。**

バックアップした単語が復元され、ユーザ辞書画面が表示されます。

3 **[変換]をタップします。**

復元した単語がすべてユーザ変換辞書に変換されます。

4 **ok をタップします。**

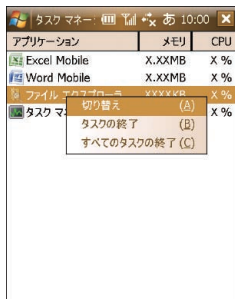
以降前記の手順 **9** ～ **11** をご覧になり、単語の登録を行ってください。

プログラムを切り替える／終了する

実行しているプログラムの切り替えや終了をしたりできます。

1 スタート メニューの “設定” をタップして、システム タブをタップします。

2 “タスクマネージャ” をタップします。
タスクマネージャ画面が表示されます。

3 目的のプログラムをタップしたままにして、表示されたメニューをタップします。
- 選択したプログラムに切り替えるときは、切り替え をタップします。
- 選択したプログラムを終了するときは、タスクの終了 をタップします。
- すべてのプログラムを終了するときは、すべてのタスクの終了 をタップします。

MEMO
- 終了したいプログラムを選択し、画面左下の タスクの終了 をタップしても、プログラムが終了します。
- 画面右下の メニュー をタップし、表示されるメニューからも、プログラムの切り替えや、すべてのタスクを終了させることができます。また、アプリケーションとプロセスの表示の切り替えや、並べ替えなどもできます。

4 プログラムの切り替えや終了が終われば、✕ をタップします。

バックライトを減光（最小輝度）するまでの時間を設定する

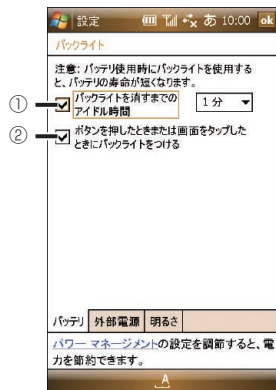
画面のバックライトを減光（最小輝度）するまでの時間を設定します。

1 スタート メニューの “設定” をタップして、システム タブをタップします。

2 “バックライト” をタップします。
バックライト設定画面が表示されます。

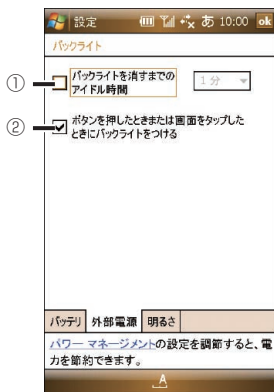
3 バックライトに関する設定をします。

◇ バッテリ タブ◇

充電池を使っている（AC アダプターを接続していない）ときの設定をします。

① チェックを付けると最後の操作から設定した時間が経過すると画面のバックライトが最小輝度になります。アイドル時間を変更するときは▼をタップします。

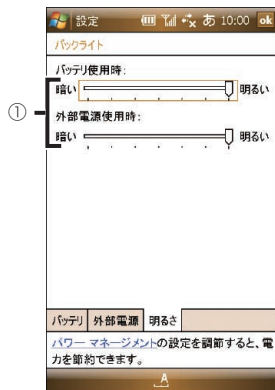
② チェックを付けるとキーを押したり、画面をタップしたらバックライトが最小輝度から設定した輝度に戻ります。

◇外部電源タブ◇

ACアダプターを接続しているときの設定をします。

① チェックを付けると最後の操作から設定した時間が経過すると画面のバックライトが最小輝度になります。

② チェックを付けるとキーを押したり、画面をタップしたらバックライトが最小輝度から設定した輝度に戻ります。

◇明るさタブ◇

バックライトの明るさを設定します。
充電池使用時、ACアダプター（外部電源）使用時それぞれの明るさを設定できます。

① スライダーを左端に移動すると、バックライトは消灯します。

MEMO

- バックライトの明るさを左端以外にすると、キーボードのバックライトも点灯します。ただし、バックライトの明るさは調節できません。

4 **設定が終われば、をタップします。**

バージョン情報などを確認する

CPU やメモリ容量など、この製品に関するバージョン情報を確認できます。

1 **スタート メニューの “設定” をタップして、システム タブをタップします。**

2 **“バージョン情報” をタップします。**

3 **バージョン情報やこの製品の名前を確認します。**

◇ バージョン タブ◇

この製品のバージョン情報を確認できます。

◇ デバイス ID タブ◇

この製品の名前を設定します。
パソコンと同期を行ったときなど、ここで設定したデバイス名がパソコン側の画面に表示されます。

◇ 著作権 タブ◇

この製品の著作権について確認できます。

4 **確認／設定が終われば、ok をタップします。**

パワーマネージメントを設定する

充電池の残量確認や節電状態（画面の電源をオフ）するまでの時間などを設定します。

1 **スタート メニューの “設定” をタップして、システム タブをタップします。**

2 **“パワーマネージメント” をタップします。**

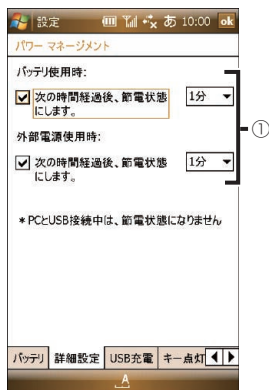
パワーマネージメント設定画面が表示されます。

3 **充電池の残量の確認や、パワーマネージメントの設定をします。**

◇ バッテリ タブ◇

充電池（バッテリ）の残量を確認できます。

◇詳細設定タブ◇

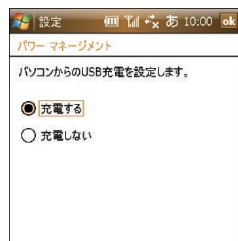
最後の操作から一定時間が経過すると、節電状態（画面の電源をオフ）にするように設定します。
節電状態になっても、電話着信／ライトメール受信時などは自動的に電源が入ります（☞ 1-26 ページ）。
バッテリ（充電池）使用時と外部電源使用時（AC アダプター接続時）を別々に設定します。

① チェックを付けると最後の操作から設定した時間が経過すると節電状態（画面の電源をオフ）になります。経過時間を変更するときは▼をタップします。

ご注意

- **以下のときは、設定した時間が経過しても節電状態になりません。**
  - ・通話中／インターネットなどで通信中
  - ・付属の USB ケーブルを使ってパソコンと接続中
  - ・Windows Media Player 10 Mobile で再生中
  - ・コミック＆ブンコビューアの自動表示中
  - ・ワイヤレス LAN 機能がオン（有効）の場合

  など

◇USB 充電タブ◇

パソコンから電源の供給を受けるように設定できます。
「充電する」にチェックを付け、付属の USB ケーブルを使ってパソコンと接続しているとき、パソコンから電源が供給されます（以下 1 つ目のメモの条件を満たしていることが必要です）。
充電中は、タイトルバーに USB が表示されます。
ただし、この製品の使用状況（ワンセグ視聴中やインターネットに接続中、内蔵ワイヤレス LAN 使用中など）によっては、充電池が消耗していくこともあります。

MEMO

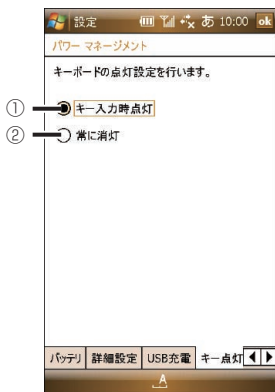
- USB 充電を受けるためには、以下の条件が必要です。
  - ・パソコンに ActiveSync/Windows Mobile デバイスセンターまたはモデムドライバをインストールし、付属の USB ケーブルを使ってこの製品とパソコンを接続できる状態にしておきます。
  - ・パソコンの電源が入っている状態（ただし、パソコンがスタンバイ状態になったときやパソコンの電源を切っている状態などでは充電されません）
  - ・この製品の電源が入っている状態（ただし、充電池残量がまったくない状態や USB ケーブルを接続した後、この製品の電源を切った場合は充電されません）
- パソコンから充電中でも充電ランプは点灯しません。

ご注意

- **パソコンによっては動作が不安定になることがあります**

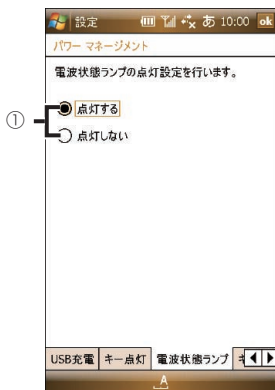
  このようなときは「充電しない」にチェックを付けてください。

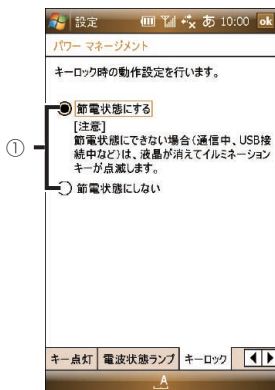
◇キー点灯タブ◇

キーボードのバックライトの設定をします。

① キーボードのバックライトが消灯しているとき、キーボードのキーを押すと点灯します。
ただし、最後の操作からしばらくするとキーボードのバックライトは消灯します。

② キーボードのバックライトは、常に消灯します。

◇電波状態ランプタブ◇

電波状態を示すランプを点灯する／しないを設定します。電波状態ランプの色で電波強度がわかります。

① ランプで電波強度を表示する／しないを設定します。ランプの色は電波強度によって変わります。

◇キーロックタブ◇

① キーロック時に節電状態（画面の電源をオフ）にする / しないを設定します。

4 **設定が終われば、をタップします。**

プログラムを削除する

追加したプログラムを削除します。

1 **すべてのプログラムを終了します。**
プログラムの終了については、1-25ページをご覧ください。

2 **スタート メニューの “設定” をタップして、システム タブをタップします。**

3 **“プログラムの削除” をタップします。**
プログラムの削除設定画面が表示されます。

① 削除可能なプログラムが表示されます。

4 **削除するプログラムを選択し、削除 をタップします。**

5 **確認画面で、はい をタップします。**

MEMO

- 連絡先や予定表などのプログラムは削除できません（ただし、デ辞蔵 Mobile、NAVITIME は削除できます）。

音量を設定する

システムの音量やイヤホンマイク端子に取り付けたイヤホンマイク出力時の音量などを設定します。

1 **スタート メニューの “設定” をタップします。**

2 **システム タブにある “ボリューム” をタップします。**
ボリューム設定画面が表示されます。

3 **システムの音量やイヤホンマイク出力時の音量などを設定します。**

◇ 基本設定 タブ◇

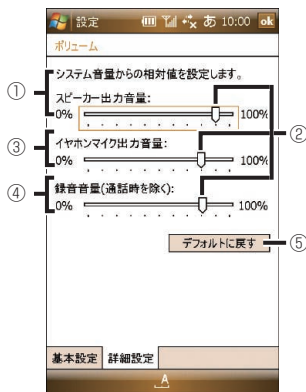
システムの音量を設定します。

① つまみをドラッグして調節します。

10 設定

システム

◇詳細設定タブ◇

スピーカー、イヤホンマイクや録音時の音量設定をします。

① スピーカー(☞1-2ページ)の出力音量を調節します。

② つまみをドラッグして調節します。

③ イヤホンマイク端子に取り付けたイヤホンマイクの出力音量を調節します。

④ 録音音量を調節します。
ただし、伝言メモへの録音音量は調節できません。

⑤ タップすると、各種音量の設定が初期値に戻ります。

4 **設定が終われば、ok をタップします。**

メモリを確認する

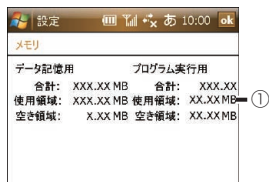
メモリの使用状況を確認できます。

1 **スタート メニューの “設定” をタップして、システム タブをタップします。**

2 **“メモリ” をタップします。**
メモリ設定画面が表示されます。

3 **メモリの使用状況を確認します。**

◇メインタブ◇

メモリの使用領域や空き領域を確認できます。

① 実行中のプログラムをすべて終了してもシステムが使用領域を使います。

◇メモリカードタブ◇

装着しているメモリカードの使用領域／空き領域を確認できます。

4 **確認が終われば、ok をタップします。**

スライド／近接センサー／カーソル入力方向／キータッチ振動の設定をする

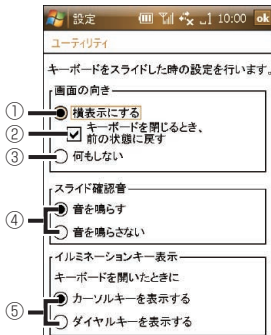
1 スタート メニューの “設定” をタップして、システム タブをタップします。

2 “ユーティリティ” をタップします。

ユーティリティ設定画面が表示されます。

3 キーボードを開いたときの設定や近接センサーの設定をします。

◇スライド タブ◇

キーボードを開いたときの設定をします。

① 画面（表示）を横に切り替えます。

② チェックを付けると、キーボードを閉じたとき、画面を元に戻します。

③ 画面を切り替えません。

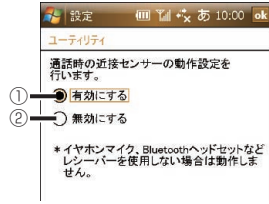
④ キーボードをスライドさせたとき、音を鳴らす／鳴らさないを設定します。

⑤ キーボードを開いたとき、カーソルキーを表示するか、ダイヤルキーを表示するか設定します。
ただし、キーボードを閉じたときは、常にカーソルキーを表示します。

MEMO

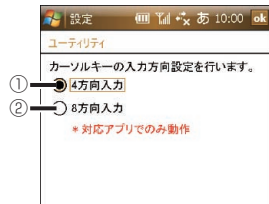
- キーボードを閉じた状態で表示する画面の向きは“画面”で設定します（☞ 10-26 ページ）。

◇近接センサー タブ◇

近接センサーの設定をします。

① 近接センサーの設定（通話中に顔などを近づけるとキーロック状態になり、離すとキーロックが解除される）を有効にします。

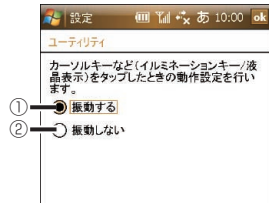
② 近接センサーの設定を無効にします。

◇カーソル入力方向 タブ◇

イルミネーションキーのカーソルの移動方向を設定します。

① (カーソル)キーを上下左右に動くようにします。

② (カーソル)キーを上下左右と斜め４方向に動くようにします。
※対応アプリケーションのみで動作します。

◇キータッチ振動 タブ◇

キーをタッチしたときの設定をします。

① タッチしたとき振動します。

② タッチしても振動しません。

4 設定が終われば、ok をタップします。

地域を設定する

この製品で使う数値の表示形式を変更できます。

1 **スタート メニューの "設定" をタップして、システム タブをタップします。**

2 **"地域" をタップします。**
地域設定画面が表示されます。

3 **各タブで数値の表示形式などを設定します。**

MEMO

- 地域を変更し ok をタップすると、「再起動してください」と表示されます。このときは、リセット（☞ 11-2 ページ）を行ってください。
- 地域を日本に選択したとき、時刻表示は 24 時間制になります。
時刻 タブで時刻の形式を「tt hh:mm:ss」や「tt h:mm:ss」を選択すると 12 時間制になりますが、タイトルバーに表示される時間には AM や PM は表示されません。「H:mm:ss」「HH:mm:ss」を選択して 24 時間制にすることをおすすめします。

4 **設定が終われば、ok をタップします。**

時計を設定する

現在地と訪問先の時刻の設定やタイトルバーに時計を表示するかを設定します。

1 **スタート メニューの "設定" をタップして、システム タブをタップします。**

2 **"時計とアラーム" をタップします。**
時計とアラーム設定画面が表示されます。

3 **時刻の設定やタイトルバーに時計を表示するかを設定します。**

◇時刻 タブ◇

現在地と訪問先の日付や時刻を設定します。

① ▼をタップして現在地を選択します。

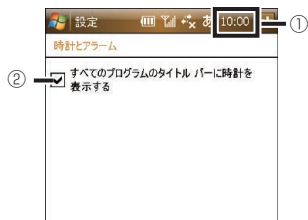
② 変更したい時：分：秒をタップしてから▲や▼で時刻を設定します。

③ ▼をタップして、表示されたカレンダーから設定する日付をタップします。
カレンダーで月を変えるときは◀▶をタップします。

MEMO

- 画面の時分秒のいずれかをタップすると時刻は止まったように見えますが、「訪問先」（灰色になっている時分秒）の時刻で分かるように時刻は進んでいます。このため、変更する時刻の秒を「00」にして、時報に合わせて ok をタップしても実際の時刻と合わなくなります。
正確に時刻を合わせるためには、時報などに合わせて、変更する秒を「00」にしてください。
また、ActiveSync と同期するとパソコンと時刻を合わせることができます（☞ 8-9 ページ）。

◇ その他 タブ◇

時刻 タブで設定した時刻をすべてのプログラムで、タイトルバーに表示するかしないかを設定します。

①	タイトルバーの時計表示
②	チェックを付けるとタイトルバーに時刻が表示されます。

4 **設定が終われば、ok をタップします。**

アラームを設定する

決まった時間に音を鳴らしたり、画面にメッセージを表示できます。

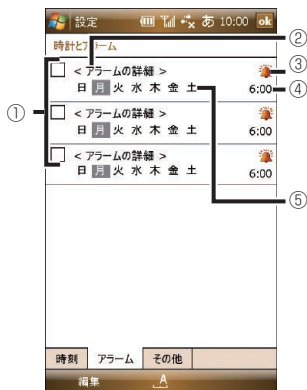
1 **スタート メニューの “設定” をタップして、システム タブをタップします。**

2 **“時計とアラーム” をタップします。**

時計とアラーム設定画面が表示されます。

3 **アラーム タブをタップします。**

◇ アラーム タブ◇

決まった時刻に通知するアラームを設定します。

①	有効にするアラームにチェックを付けます。
②	タップしてアラームに表示されるメッセージを入力します。
③	タップすると、アラーム音の種類や充電ランプを点滅する／しないなどを設定する画面が表示されます。ok をタップするとこの画面に戻ります。
④	時刻をタップして、表示された画面でアラーム時刻を設定します。ok をタップするとこの画面に戻ります。
⑤	アラームを設定する曜日をタップします（設定した曜日は反転します）。

MEMO

- 音と通知設定画面（☞ 10-9 ページ）で、「通知（アラーム、予定など）」にチェックを付けていないと音は鳴りません。
- “予定表” や “仕事” で設定したアラーム音の種類などを設定するときは、10-10 ページをご覧ください。

4 **設定が終われば、ok をタップします。**

microSD カードに保存するときにファイルを暗号化する

1 スタート メニューの “設定” をタップして、 システム タブをタップします。

2 “暗号化” をタップします。

「メモリカード内のファイルを暗号化する」にチェックを付けると、microSD カードにファイルを保存するときに、ファイルを暗号化して保存します。

ご注意

- **この機能をお使いになるときは、十分ご注意ください。**

  暗号化したファイルは、別の WS020SH やパソコンなど別の機器で開いたり編集などはできません。また、同じ WS020SH でも、本体を完全消去（フォーマット）（☞ 11-6 ページ）した場合、開いたり編集などはできなくなります。

3 設定が終われば、 ok をタップします。

画面の設定をする

画面表示の方向や文字のサイズの設定ができます。

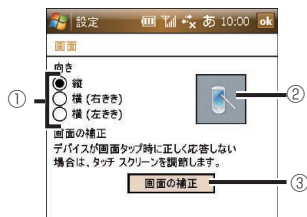
1 スタート メニューの “設定” をタップして、 システム タブをタップします。

2 “画面” をタップします。

画面設定画面が表示されます。

3 画面に関する設定をします。

◇ 全般 タブ◇

画面の向きを設定したり、タッチスクリーンの調節をしたりします。

① 画面の向きを設定します。

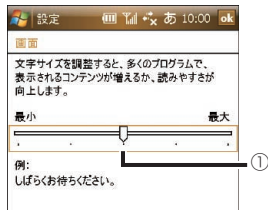
② 選択した画面の向きが表示されます。

③ 画面をタップした位置と反応する位置がずれているときは、タップして画面の補正をします。

MEMO

- キーボードの開閉時に画面の向きを切り替える設定もできます（☞ 10-23 ページ）。

◇ 文字サイズ タブ◇

文字サイズの設定をします。

① つまみをドラッグして設定します。

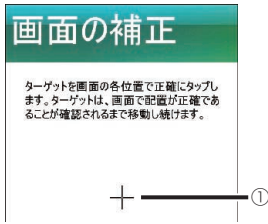
4 設定が終われば、 ok をタップします。

画面の補正をする

スタイラスでタップした位置が画面の位置とずれているときは、画面の補正をします。

1 **「画面の設定をする」（前ページ）手順 1 ～ 2 を操作します。**

2 **画面の補正 をタップします。**
画面の補正画面が表示されます。

3 **画面の十字マークの中心に少し長くタップします。**

① タップすると十字マークが移動します。同様にタップし、以後、同じ操作を繰り返します。

ご注意

- **タップするときは、イルミネーションキーに触れないでください。**
  正しく画面の補正ができないことがあります。

4 **画面の補正が終了すると、画面設定画面に戻ります。**

証明書を確認する

個人の身元を証明する個人証明書や、接続先のサーバーを識別する証明書を確認できます。

1 **スタート メニューの “設定” をタップして、システム タブをタップします。**

2 **“証明書” をタップします。**
証明書の管理画面が表示されます。

3 **証明書を確認します。**
各タブで証明書の内容を確認します。

4 **確認が終われば、ok をタップします。**

MEMO

- 証明書についてくわしくは、ヘルプをご覧ください。

11章　付録

異常が起きたとき

異常が起きたときは、まず「困ったときは」(☞ 11-27 ページ）を参照してください。
「困ったときは」をご覧になっても症状が改善されず、データが正常に表示されない、画面タップやキー操作が正しくはたらかない、など異常状態のときは、AC アダプターを接続し、10 分～ 20 分程度充電したあと、次の対処方法を順に試してみてください。

① リセット（再起動）	データが正常に表示されないときや、画面タップやキー操作が正しく動作しないときなどに試してみてください。	☞下記
② フルリセット	リセット（①）をしても正常に動作しないときなどに、試してみてください。	☞次ページ
③ 完全消去（フォーマット）	リセット（①）やフルリセット（②）をしても動作しないときや、全データを消去するときなどに行います。	☞ 11-6 ページ

①リセット（再起動）する

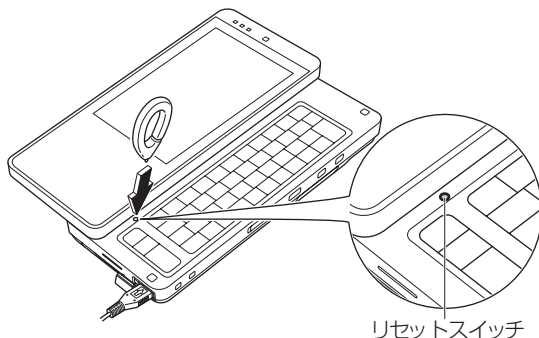
データが正常に表示されない、画面タップやキー操作が正しくはたらかない、などのときにリセット操作を試してみてください。リセット操作を行うと編集中のデータは失われますが、保存しているデータは失われません。

ご注意

- 手順にしたがって操作をするときは、本体側面を持ち画面に指が触れないようにしてください。

1 **すべてのアプリケーションを終了し、電源を切ります（☞ 1-9 ページ）。**
動作しない場合には、手順 **2** に進んでください。

2 **この製品に USB ケーブルや microSD カードなどを取り付けているときは、AC アダプター以外すべて取り外します。**

3 **リセットスイッチをスタイラスで押します。**
リセットスイッチは、誤って押すのを防ぐために真上からは押しにくい構造となっています。若干斜めから押すようにしてください。
リセットされます。

4 **自動的に電源が入り、しばらくすると Today 画面（待ち受け画面）が表示されます。**

電源が入らないときは、充電池ぶたがきっちり取り付けられているか確認し、充電してください。また、充電池を入れ直してください。
Today 画面（待ち受け画面）表示後は、時刻が合っているか確認してください。

②フルリセットする

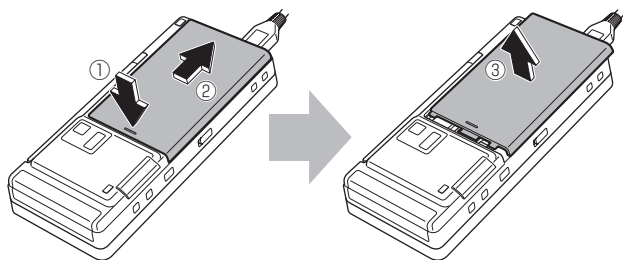
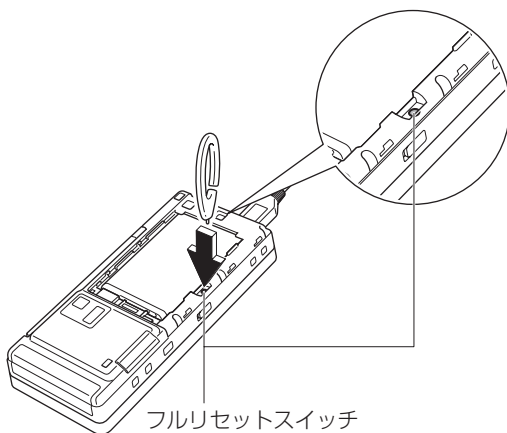
リセット（再起動）（☞前ページ）しても正常に動作しないときは、次の方法でフルリセットしてください。この方法も編集中のデータは失われますが、保存しているデータは失われません。

1 **すべてのアプリケーションを終了し、電源を切ります（☞ 1-9 ページ）。**
動作しない場合には、手順 **2** に進んでください。

2 **この製品に USB ケーブルや microSD カードなどを取り付けているときは、AC アダプター以外すべて取り外します。**

3 **裏側の充電池ぶたを取り外します。**

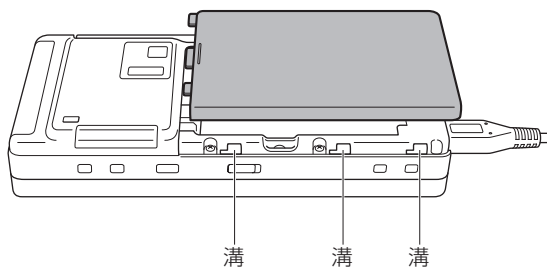
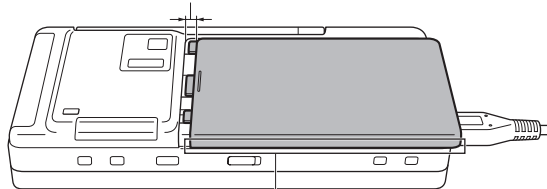
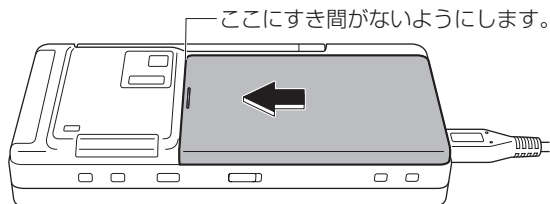
1 矢印の方向に押し（①）ながら、スライドします（②）。

2 持ち上げて取り外します（③）。

4 **約 15 秒待って、フルリセットスイッチをスタイラスで押します。**
フルリセットされます。

5 **充電池ぶたを取り付けます。**
充電池ぶたはきっちりと取り付けてください。充電池ぶたをきっちりと取り付けていないと電源が入りません。

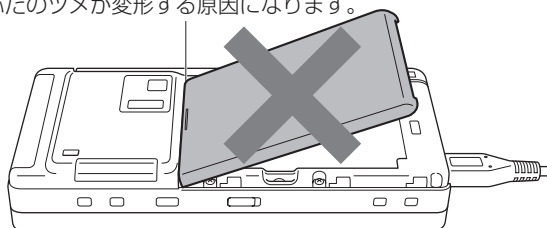
1 充電池ぶたの裏の小さな突起が電池収納部の溝に合うようにして、本体とすき間を3mm 程度あけて充電池ぶたを本体にのせます。

2 充電池ぶたをそのまま矢印方向にスライドさせて取り付けます。

充電池ぶたは、本体とすき間がないようにきっちりと取り付けてください。充電池ぶたをきっちりと取り付けていないと電源が入りません。
また、すき間があいたまま使用すると、充電池ぶたのツメが変形し、充電池ぶたが外れやすくなる原因となります。

ご注意

● 誤った取り付けかた

ツメを先にはめ込まないでください。

ツメを先にはめ込んで上から押さえると、
充電池ぶたのツメが変形する原因になります。

6 電源キーを約 2 ～ 3 秒間押して電源を入れます。

電源が入らないときは、充電してください。

7 しばらくすると、Today 画面（待ち受け画面）が表示されます。

③完全消去する（フォーマット）

11-2～5ページの①と②を行っても正常に動作しないときなどは、本体の全データを消去してフォーマットします。

ご注意

- **データがすべて消去されます。**

  ご購入後に入力したデータや設定、追加したプログラムなどがすべて消去されます (デ辞蔵 Mobile の辞書データも消去されます)。
- デ辞蔵 Mobile の辞書データは、付属の CD-ROM を使ってインストールすることができます（☞下記）。

1 **すべてのアプリケーションを終了し、電源を切ります（☞ 1-9 ページ）。**
動作しない場合には、手順 **2** に進んでください。

2 **この製品に USB ケーブルや microSD カードなどを取り付けているときは、すべて取り外します。**

3 **裏側の充電池ぶたを取り外します（☞ 11-3 ページの手順 3）。**

4 **約 15 秒待って、フルリセットスイッチをスタイラスで押します（☞ 11-4 ページの手順 4）。**

5 **充電池ぶたを取り付けます（☞ 11-4 ページの手順 5）。**
さらに AC アダプターを接続します。

6 **本体を表にして、キーボードを開きます。**

7 **[Fn] キーと [F] キーの両方を押したままで、電源キーを長く（約 2 ～ 3 秒）押します。**
しばらくすると本体が起動し、メンテナンスメニュー画面が表示されます。

8 **[1] キーを押します（「フォーマット」を選択します）。**

9 **確認画面が表示されたら、[Enter] キーをタップします。**
完全消去が始まりますので、終わるまで待ちます。
終了後はセットアップ画面が表示されますので、画面の指示に従ってセットアップを行います。

MEMO

- セットアップの途中で画面の補正を行う画面が表示されます。画面の補正については 10-27 ページをご覧ください。
- スタートメニューから再度オンラインサインアップを行ってください（☞ 2-2 ページ）。
- **デ辞蔵 Mobile の辞書データを再インストールする**

  次の手順で、再インストール手順を表示してインストールしてください。

  ① 付属の CD-ROM をパソコンにセットします。

  ② ［その他のツール］をクリックします。

  ③ ［デ辞蔵 Mobile- ディスクからインストール］をクリックします。

  ④ ［デ辞蔵 Mobile- 内蔵辞書の再インストール方法］をダブルクリックして、表示された内容にしたがってインストールしてください。

充電池について

充電池を安全にお使いいただくために、「安全にお使いいただくために」(☞ 0-12 ページ)をよくお読みください。

使用できる充電池

リチウムイオン充電池：EA-BL16
※ EA-BL16 以外の充電池は使用しないでください。
※充電池のシールは、剥がさないでください。
※落下など衝撃を与えた充電池は使用しないでください。

MEMO

- 電源を切った状態や節電状態で満充電になるまでに、通常、常温 25℃で約 3.5 時間かかります(充電池の残量や周囲温度によって変わります)。
  また、工場出荷時からの時間の経過により、ご購入直後の充電時間は変わります。
- 充電池は、ご使用にならなくても自然に放電します。充電池の消耗によるトラブルを避けるために、長期間ご使用にならなかったときは、ご使用になる前に充電されることをおすすめします。

充電する

この製品に充電池を取り付け、AC アダプターを接続して充電します(☞ 1-7 ページ)。
使用しながら充電を行った場合、充電が完了するまで長い時間がかかるため、充電するときは電源を切るか節電状態にすることをおすすめします。
充電中に温かくなることがありますが、故障ではありません。
また、本体の温度によっては、安全のため一時的に充電を停止することがあります(このような場合は、充電ランプがオレンジ色と黄緑色とが交互に点灯します)。

残量を確認する

充電池の残量は、タイトルバーの充電池残量のアイコンで確認することができます(☞ 1-15 ページ)。
パワーマネージメント画面(バッテリ タブ)でも確認できます(☞ 10-18 ページ)。

充電池の交換について

充電池は繰り返し使用するうちに劣化し、使用できる時間が短くなってきます。満充電しても使用できる時間が極端に短くなったときは、充電池の寿命ですので、交換してください。

MEMO

- この製品は、リチウムイオン電池を使用しています。
  リチウムイオン電池はリサイクル可能な貴重な資源です。リサイクルは、お近くのモバイル・リサイクル・ネットワークのマークのあるお店で行っています。リサイクルのときは、次のことにご注意ください。
  火災・感電の原因となります。
  ・ショートさせない　・分解しない

充電池を交換する

1 この製品の電源を切ります（☞ 1-9 ページ）。
また、USB ケーブルを接続しているときは、取り外します。

2 表示が消えたことを確認してから、裏返します。

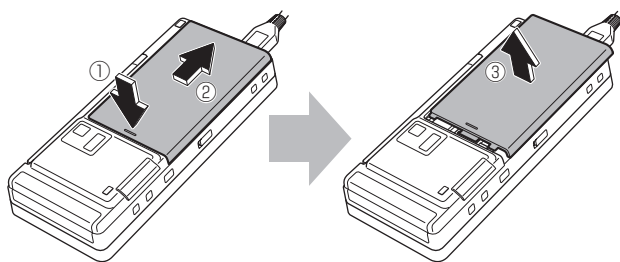
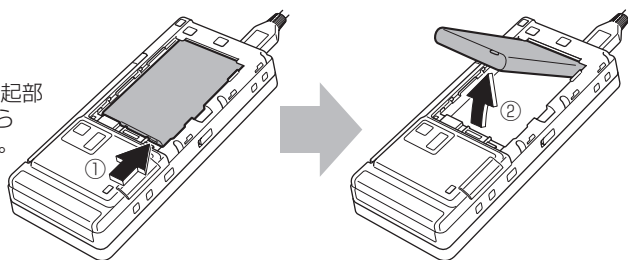
3 AC アダプターを接続します（☞ 1-7 ページ）。

4 裏側の充電池ぶたを取り外します。

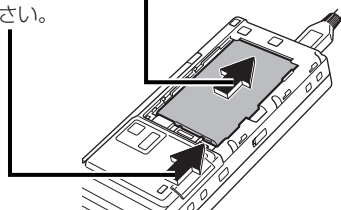
1 矢印の方向に押し（①）ながら、スライドします（②）。

2 持ち上げて取り外します（③）。

5 消耗した充電池を持ち上げて取り外します。

ご注意

- 充電池は端子面と金属などの導電性物が接触しないようにしてください。ショートの原因になります。

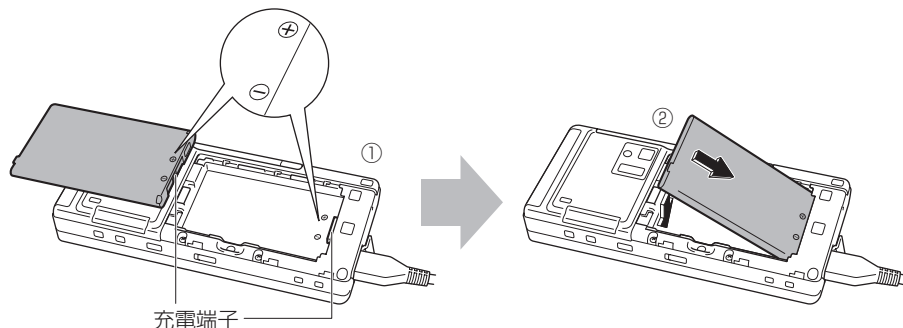
MEMO

- 充電池が取り外しにくいときは右図のように充電池を矢印の方向に押しながら、充電池の突起部を押して持ち上げてください。

6 充電池を取り付ける。

1 充電池と本体の⊕ ⊖の表示を合わせる（①）。

2 上から充電池を奥に押しながら、しっかりと装着する（②）。

ご注意

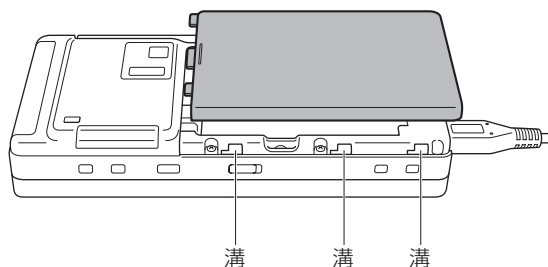
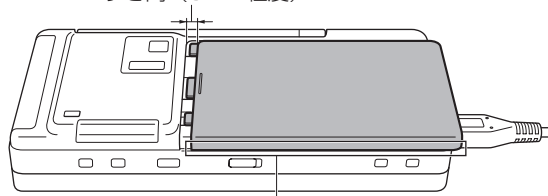
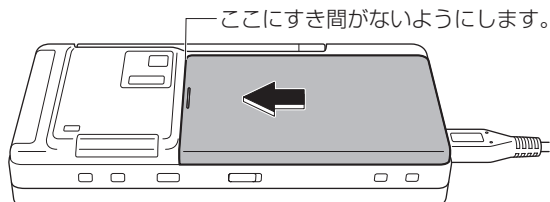
- **充電端子に金属片や鉛筆の芯などの導電性の物が触れないようにしてください。ショートによる火災や故障の原因になります。**

7 充電池ぶたを取り付けます。

充電池ぶたはきっちりと取り付けてください。充電池ぶたをきっちりと取り付けていないと電源が入りません。

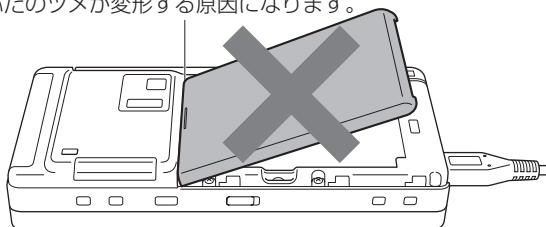
1 充電池ぶたの裏の小さな突起が電池収納部の溝に合うようにして、本体とすき間を3mm 程度あけて充電池ぶたを本体にのせます。

2 充電池ぶたをそのまま矢印方向にスライドさせて取り付けます。

充電池ぶたは、本体とすき間がないようにきっちりと取り付けてください。充電池ぶたをきっちりと取り付けていないと電源が入りません。
また、すき間があいたまま使用すると、充電池ぶたのツメが変形し、充電池ぶたが外れやすくなる原因となります。

ご注意

● **誤った取り付けかた**

ツメを先にはめ込まないでください。

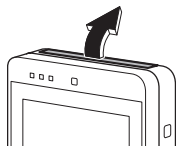
ツメを先にはめ込んで上から押さえると、
充電池ぶたのツメが変形する原因になります。

8 電源キーを約 2 ～ 3 秒間押します。電源が入らないときは手順 1 からやり直してください。

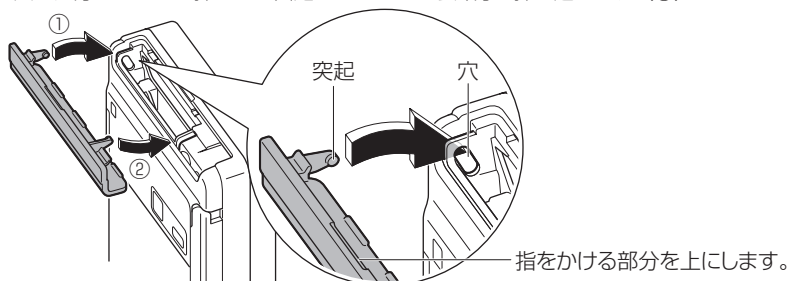
電源が入ります。
交換した充電池を充電するときは、いったん AC アダプターを取り外し、再度、AC アダプターを取り付けてください。

W-SIM を取り外す／取り付ける

1 この製品の電源を切ります（☞ 1-9 ページ）。

2 この製品に USB ケーブルや microSD カードなどを取り付けているときは、すべて取り外します。

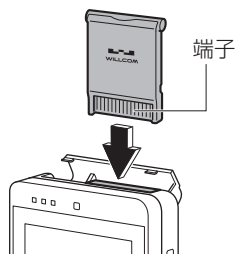
3 W-SIM のスロットのカバーを開きます。

MEMO

- W-SIM のカバーは、一定以上の力を加えると外れることがあります。
  カバーが外れたときは、次のように取り付けてください。
  1 カバーの片方の突起と本体の穴が一致するように入れます（①）。
  2 入れた方のカバーを押さえて固定しながら、もう片方を押し込みます（②）。

4 W-SIM を取り外します。または、取り付けます。

取り外す

W-SIM を指で押し込み、スロットから外れたカードを抜き取ります。

取り付ける

端子を見えるようにして端子側から W-SIM を取り付けます。指先で押し込むように取り付けてください。

5 スロットのカバーを閉じます。

※上記の方法で正常に動作しない場合は、フルリセットを行ってください（☞ 11-3 ページ）。

絵文字一覧

入力できるWeb用絵文字、絵文字、アニメーション絵文字をそれぞれ一覧にしています。区点コードを使って入力できる文字や記号については、アプリケーションマニュアルをご覧ください。

Web用絵文字

絵文字一覧

超 超
も もじ
会 会 会議
緊 緊 緊急
残 残 残業
出 出 出張
遅 遅 遅刻
秘 秘 秘密
休 休 休み
IN
OUT
OK
NG
D De Dea Dear Dear Dear
オ オハ オハヨ オハヨウ
オヤ
ハッ
バイト

ローマ字→かな変換表

行										
あ行	あ	い	う	え	お	ぁ	ぃ	ぅ	ぇ	ぉ
	a	i yi	u wu whu	e	o	la xa	li xi lyi xyi	lu xu	le xe lye xye	lo xo
							いぇ			
							ye			
						うぁ	うぃ		うぇ	うぉ
						wha	whi wi		whe we	who
か行	か	き	く	け	こ	きゃ	きぃ	きゅ	きぇ	きょ
	ka ca	ki	ku cu qu	ke	ko co	kya	kyi	kyu	kye	kyo
	ヵ			ヶ		くゃ		くゅ		くょ
	lka xka			lke xke		qya		qyu		qyo
						くぁ	くぃ	くぅ	くぇ	くぉ
						qwa qa kwa	qwi qi qyi	qwu	qwe qe qye	qwo qo
	が	ぎ	ぐ	げ	ご	ぎゃ	ぎぃ	ぎゅ	ぎぇ	ぎょ
	ga	gi	gu	ge	go	gya	gyi	gyu	gye	gyo
						ぐぁ	ぐぃ	ぐぅ	ぐぇ	ぐぉ
						gwa	gwi	gwu	gwe	gwo
さ行	さ	し	す	せ	そ	しゃ	しぃ	しゅ	しぇ	しょ
	sa	si ci shi	su	se ce	so	sya sha	syi	syu shu	sye she	syo sho
						すぁ	すぃ	すぅ	すぇ	すぉ
						swa	swi	swu	swe	swo
	ざ	じ	ず	ぜ	ぞ	じゃ	じぃ	じゅ	じぇ	じょ
	za	zi ji	zu	ze	zo	zya ja jya	zyi jyi	zyu ju jyu	zye je jye	zyo jo jyo
た行	た	ち	つ	て	と	ちゃ	ちぃ	ちゅ	ちぇ	ちょ
	ta	ti chi	tu tsu	te	to	tya cha cya	tyi cyi	tyu chu cyu	tye che cye	tyo cho cyo
			っ			つぁ	つぃ		つぇ	つぉ
			ltu xtu ltsu			tsa	tsi		tse	tso
						てゃ	てぃ	てゅ	てぇ	てょ
						tha	thi	thu	the	tho
						とぁ	とぃ	とぅ	とぇ	とぉ
						twa	twi	twu	twe	two

	だ	ぢ	づ	で	ど	ぢゃ	ぢぃ	ぢゅ	ぢぇ	ぢょ
	da	di	du	de	do	dya	dyi	dyu	dye	dyo
						でゃ	でぃ	でゅ	でぇ	でょ
						dha	dhi	dhu	dhe	dho
						どぁ	どぃ	どぅ	どぇ	どぉ
						dwa	dwi	dwu	dwe	dwo
な行	な	に	ぬ	ね	の	にゃ	にぃ	にゅ	にぇ	にょ
	na	ni	nu	ne	no	nya	nyi	nyu	nye	nyo
は行	は	ひ	ふ	へ	ほ	ひゃ	ひぃ	ひゅ	ひぇ	ひょ
	ha	hi	hu fu	he	ho	hya	hyi	hyu	hye	hyo
						ふゃ		ふゅ		ふょ
						fya		fyu		fyo
						ふぁ	ふぃ	ふぅ	ふぇ	ふぉ
						fwa fa	fwi fi fyi	fwu	fwe fe fye	fwo fo
	ば	び	ぶ	べ	ぼ	びゃ	びぃ	びゅ	びぇ	びょ
	ba	bi	bu	be	bo	bya	byi	byu	bye	byo
						ヴぁ	ヴぃ	ヴ	ヴぇ	ヴぉ
						va	vi	vu	ve	vo
						ヴゃ	ヴぃ	ヴゅ	ヴぇ	ヴょ
						vya	vyi	vyu	vye	vyo
	ぱ	ぴ	ぷ	ぺ	ぽ	ぴゃ	ぴぃ	ぴゅ	ぴぇ	ぴょ
	pa	pi	pu	pe	po	pya	pyi	pyu	pye	pyo
ま行	ま	み	む	め	も	みゃ	みぃ	みゅ	みぇ	みょ
	ma	mi	mu	me	mo	mya	myi	myu	mye	myo
や行	や		ゆ		よ	ゃ		ゅ		ょ
	ya		yu		yo	lya xya		lyu xyu		lyo xyo
ら行	ら	り	る	れ	ろ	りゃ	りぃ	りゅ	りぇ	りょ
	ra	ri	ru	re	ro	rya	ryi	ryu	rye	ryo
わ行	わ				を	ん				
	wa				wo	n nn				
	ゎ									
	lwa xwa									

●撥音（はつおん）の入力

- "ん、ン" の次に母音または "Y" がくるときや "ん、ン" で終わるとき "N" を２回入力する
  ほんやく→ HONNYAKU
  はんい→ HANNI
  ほん→ HONN
- 上記以外のとき
  ほんき→ HONKI

●促音の入力

"N" と "Y" 以外の子音を重ねる
けっか→ KEKKA
トップ→ TOPPU

仕様について

本体

形名	WS020SH
OS	Microsoft® Windows Mobile® 6.1 Classic 日本語版
CPU	Marvell® PXA270 プロセッサ 520MHz
本体メモリ	Flashメモリ256MB(本体システム領域等含む) SDRAM 128MB(ワークエリア)
表示部	480×800 ドット　3型　65,536色 モバイルASV液晶(バックライト付き)
通信機能	PHS(W-OAM対応W-SIM)
赤外線通信	IrDA®1.2方式/IrMC™1.1方式/IrSS™対応 ※1
内蔵ワイヤレスLAN	IEEE802.11b/g準拠
Bluetooth	Bluetooth® 2.0
内蔵カメラ	有効画素数:約200万画素(オートフォーカス付)
カードスロット	microSD™カードスロット×1、W-SIMスロット×1
接続端子	USB端子(microABコネクター)/ ACアダプター端子、イヤホンマイク端子(平型)
電源	DC 3.7V　充電池:リチウムイオン充電池(EA-BL16)
消費電力	W-SIM(装着時):3.3W W-SIM(取外時):3.3W
使用温度	0～40℃
外形寸法	(高さ)約116mm×(幅)約50mm×(厚さ)約17.9mm (キーボード収納時、最薄部)
質量	約135g(充電池含む)
付属品	W-SIM(※2)、充電池(EA-BL16)、USBケーブル、 ACアダプター(EA-84)、スタイラス、ハンドストラップ、 『かんたん操作ガイド』、『取扱説明書』、CD-ROM、保証書
プログラム	電話、W-ZERO3メール、メール、ライトメール、Opera Browser、Internet Explorer Mobile、予定表、連絡先、仕事、電話帳、ワンセグ(StationMobile)、メモ(クイックメモ)、Excel Mobile、PowerPoint Mobile、Word Mobile、OneNote Mobile、Windows Media Player 10 Mobile、画像とビデオ、名刺リーダ、電卓、ゲーム、Sprite Backup、ホームメニュー、Adobe Reader LE、ActiveSync、コミック&ブンコビューア、JBlend(Java™アプリ)、Messenger、Windows Live、カメラ、データ交換、NAVITIME、バーコードリーダ、デ辞蔵 Mobile、コラムリーダ、その他
連続待受時間 ※3	約420時間(電波状態ランプ消灯時) 約250時間(電波状態ランプ点灯時)
連続通話時間 ※3	約6時間

※1　すべての赤外線通信機器とデータ通信を保証するものではありません。
※2　W-SIMは、箱に入っています。
本体のみの販売の場合には、W-SIMは同梱されておりません。
※3　使用環境、機能の設定状況等により通話時間・待受時間は変動します。

充電池（EA-BL16）

公称電圧	3.7V
公称容量	1150mAh
充電時間	満充電になるまでの時間:約3.5時間（常温25℃、電源を切った状態や節電状態での目安）
使用温度	0～40℃
充電温度	5～35℃
充放電回数	約500回

AC アダプター（EA-84）

入力	100V-240V 50/60Hz
出力	DC 5V 1A

・This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (http://www.openssl.org/).

OpenSSL License

・This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com). This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Original SSLeay License

さくいん

：付属の Getting Started CD に収録されているアプリケーションマニュアルのページ数

ABC（A ～ C）

DEFGHIJKL（D ～ L）

MN（M ～ N）

OPQR（O ～ R）

STU（S ～ U）

VWXYZ（V ～ Z）

け

こ

さ

し

す

せ

そ

た

ち

つ

て

と

に

ね

は

ゆ

よ

ら

り

る

れ

ろ

わ

困ったときは

この製品を使っていて、『使いかたが分からないとき』や『困ったときは』、ここに書いている内容をご覧ください。
“ActiveSync”については 8-13 ページもご覧ください。

電話

電話がかからない

	参照ページ
市外局番からダイヤルしていますか？	3-2
電波の状態が悪くなっていませんか？電波状態のアイコンがやになる場所に移動してください。	1-3、1-14
通話／通信機能が制限されていませんか？	3-23
W-SIM が確実に取り付けられていますか？ W-SIM を一度取り外して、再度取り付けてみてください。	11-11

着信音が鳴らない

	参照ページ
着信音の音量を確認してください。	3-16、10-21
マナーモードを解除してください。	3-22
安全運転モードを解除してください。	3-22

着信音の設定ができない

	参照ページ
着信音として設定できるのは、WAVEファイルとMIDIファイルです（ファイルサイズは、6MB 以下）。この製品では MP3 ファイルを着信音として設定できません。	3-17
パソコンに保存している MIDI ファイルや WAVE ファイルを着信音として利用したいときは、ファイルエクスプローラーを使ってこの製品にコピーしてください。 Windows Media Player の同期を利用した場合、MIDI ファイルや WAVE ファイルは WMA ファイルに変換され、着信音に設定できなくなります。	3-17

電話がかかってこない

	参照ページ
着信拒否の設定をしていませんか？	3-29
電波状態の良い場所に移動してください。	1-3、1-14
着信転送サービスを利用していませんか？	3-34
電源を切っていませんか？	1-8 ～ 9
インターネットに接続していませんか？ タイトルバーにアイコンが表示されていると、インターネットに接続中です。接続を切ってください。設定によって、通信中でも着信することができます。	5-5、5-11、 3-19
タイトルバーに、、が表示されていると着信しません。	

相手の声が聞き取りにくい、雑音が入る

	参照ページ
受話音量を確認してください。	3-10
電波状態の良い場所に移動してください。	1-3、1-14
周囲が高いビルに囲まれている場所ではありませんか？見通しのよい場所に移動してください。	

電話が切れる

	参照ページ
近接センサーの設定はオンになっていますか？	10-23
電波状態の良い場所に移動してください。	
周囲が高いビルに囲まれている場所ではありませんか？見通しのよい場所に移動してください。	

本体

電源が入らない

	参照ページ
充電池ぶたが閉まっているか確認してください。	11-4、11-9
充電池が消耗していませんか？	1-15、10-18
イルミネーション切替／電源キーをすぐ離すと電源は入りません。イルミネーション切替／電源キーは約２～３秒押してください。	1-8
電源が入りそうで入らないときは、充電池が消耗しています。ＡＣアダプターを使って充電してください。	1-7
長時間使用しなかったときなど充電池が過放電の状態になっている場合は、しばらく充電しても本体の電源が入らないことがあります。 いったん、ＡＣアダプターを取り外してからリセットをして、再度充電してください。	1-8、11-2
キーロック中になっていませんか？	1-6

急に電源が切れた

	参照ページ
パワーマネージメントを設定していると、節電状態になり画面の電源が切れます。	10-19
充電池が消耗すると電源が切れます。すぐにＡＣアダプターを接続して充電してください。	1-7
強い静電気や電気的なノイズなどを受けたときに、電源が切れることがあります。	

W-SIM の抜き差しをしたら動作しなくなった

	参照ページ
リセットしてください。 リセットしても正常に動作しないときは、フルリセットを試してみてください。	11-2、11-3

節電状態にならない

	参照ページ
通信中や内蔵のワイヤレス LAN がオンになっているときなど、使用している機能によって節電状態にならないことがあります。	10-19

イルミネーションキーが点滅している

	参照ページ
キーロックされている場合、何かしらの機能がはたらいていることを示します。 通信中や内蔵のワイヤレス LAN をオンにしているなど、節電状態にならないときにキーロックすると、画面の表示が消えてイルミネーションキーが点滅します。 キーロックを解除して、はたらいている機能を終了してください。	

充電ランプが点灯しない／点滅する

	参照ページ
充電池ぶたが閉まっているか確認してください。	11-4、11-9
充電池が取り付けられているか確認してください。 充電池がない状態で充電池ぶたを取り付けてＡＣアダプターを接続すると、充電ランプが点滅します。	11-4、11-9
次の順で確認してみてください。いずれの場合も、充電ランプが点灯したときは 10 分程度充電してください。 ①いったんＡＣアダプターを取り外して、再度ＡＣアダプターを接続してください（点灯しないときは②へ）。 ②ＡＣアダプターを接続した状態でリセットしてください（点灯しないときは③へ）。 ③ＡＣアダプターを接続した状態でフルリセットしてください。	1-7、11-2、11-3
オレンジ色と黄緑色が交互に点灯しているときは、安全のため一時的に充電が停止しています。	1-7

所定の充電時間以上充電しても充電ランプが消灯しない

	参照ページ
長時間使用しなかったときなど充電池が過放電の状態になっている場合は、所定の充電時間以上充電しても充電ランプが黄緑色にならないことがあります。いったん、ＡＣアダプターを取り外してからリセットをして、再度充電してください。	1-7、11-2
指定の周囲温度（5 ～ 35℃）で充電してください。	1-7
満充電後、そのままにしておくと、充電池を消耗し、また充電がはじまる場合があります。	

画面が暗い

	参照ページ
バックライトの明るさの設定が暗くなっていませんか？	10-17

画面が明るくなるだけで何も表示されない

	参照ページ
充電池が消耗していませんか？	1-15、10-18
リセットしてみてください。	11-2

データが正常に表示されない／表示がおかしい

	参照ページ
リセット、フルリセット、フォーマットを順に試してみてください。	11-2

画面の縦横切り替えなどが遅い

	参照ページ
使っていないプログラムを終了してください。	1-25

設定したパスワードの文字数と表示されている文字数が異なる

	参照ページ
メール（Outlook）の場合、パスワードの表示欄に「*」が複数表示されます。「*」の数は、設定した文字数とは一致しないことがあります。	

充電池の消耗が早い

	参照ページ
内蔵のワイヤレスLANがオンになっていたり、使用していないプログラムが起動していたりしませんか？	かんたん操作ガイド
充電池が寿命の可能性があります。	11-7

ACアダプターからピーと音がする

	参照ページ
故障ではありません。 ＡＣアダプターの性質上、充電時に小さくピーと音が鳴ることがあります。	

「シュルシュル」という音がする

	参照ページ
静かな場所では、「シュルシュル」という音が聞こえる場合があります。これは構成回路の動作音であり、故障ではありません。	

アラームが通知されない

	参照ページ
設定画面の システム タブ - ボリューム で、音量を確認してください。	10-21
マナーモードを解除してください。	3-22
安全運転モードを解除してください。	3-22
設定画面の 音と通知 - サウンド タブで、「プログラム」や「通知（アラーム、予定など）」のチェックが外れていませんか？	10-9
設定画面の 音と通知 - 通知 タブ - イベント欄「アラーム」で、「音を鳴らす」のチェックが外れていませんか？	10-9
画面下側に、「ネットワーク検出」や「バッテリ残量」の通知画面が表示されているときは、アラームは通知されません。	

Windows Media Player 10 Mobileで音がでない

	参照ページ
設定画面の システム タブ - ボリューム で、音量を確認してください。	10-21
マナーモードを解除してください。	3-22
安全運転モードを解除してください。	3-22

すべてのキーがはたらかない

	参照ページ
キーロックにしていませんか？	1-6
リモートロックにしていませんか？	3-25
リセット、フルリセット、フォーマットを順に試してみてください。	11-2

ダイヤルキーで文字変換ができない

	参照ページ
Microsoft IMEを使っていませんか？ Microsoft IMEの場合、文字変換（漢字変換など）はできません。文字変換するときはケータイshoin(for w-zero3)をお使いください。	

microSDカードを認識しない

	参照ページ
奥までしっかりと装着していることを確認してください。	1-46
表裏が逆になっていませんか？	1-47
いったんカードを取り外し、リセットをしてから、再度カードを装着してください。	1-48、11-2、1-46

「このプログラムはビジー状態にあるか、ユーザーからの応答を待っている・・・」というメッセージ（画面）が表示された

	参照ページ
タスクの終了 をタップして、プログラム終了してください。	1-25

メモリの空き領域が少ない

	参照ページ
使用していないプログラムを終了してください。	1-25
インターネットのキャッシュを削除してください。	5-8

メモリー不足の画面が表示された

	参照ページ
使っていないプログラムを終了してください。	1-25

他の機種から電話帳などを転送できない

	参照ページ
W-SIMを使っている機種は、「電話帳転送」を行ってください。	3-32
この製品はMicrosoft Outlookと同期できます。お使いの機種がOutlookと同期できる場合は、その機種とOutlookを同期したのちこの製品と同期することで転送することができます。	8-2
他のWS020SHやWS011SHに転送するときは、赤外線通信を使って送ることができます。	8-31

Excel MobileやWord Mobileで作ったファイルをWS007SHなどで開くことができない

	参照ページ
WS007SH/WS004SH/WS003SHにデータを送付する場合などは、テンプレートを使用してファイルを作成してください。 テンプレート選択方法 1 Excel MobileまたはWord Mobileの一覧画面を表示します。 2 画面上部の すべてのフォルダ をタップし、テンプレート をタップします。 3 Excel Mobileでは「空白の97-2003ブック」を選択し、Word Mobileでは「Word97-2003文書」を選択します。 4 データを入力し保存します。	

11

付録

困ったときは

プログラムの終了はどのようにするの？

	参照ページ
OK や × をタップしただけでは、終了しないプログラムがあります。タスクの終了で終了してください。	1-25

ＡＣアダプターやこの製品が温かくなる

	参照ページ
故障ではありません。 ＡＣアダプター使用中や充電中は、ＡＣアダプターやこの製品は温かくなります。 また、ワンセグ視聴中やワイヤレスＬＡＮを使用しているときも温かくなります。	1-7、11-7

名刺や文字原稿の読み取りがうまくできない

	参照ページ
名刺や文字原稿の読み取りには多くのメモリを使用します。読み取りがうまくできないときは、プログラム実行用メモリの空き容量を増やしてください。	7-16

名刺や文字原稿の認識精度がよくない

	参照ページ
名刺や文字原稿を撮影するときに、この製品が斜めになっていないか、傾いていないか確認してください。斜めになっていたりすると、認識精度が悪くなります。	7--16

インターネット

インターネットに接続できない

	参照ページ
プロバイダーのアクセスポイントの電話番号が合っているか確認してください。	2-5
ユーザー名／パスワードが合っているか確認してください。 特に、大文字と小文字、全角と半角、数字のゼロ（0）と英字のオー（O）、数字の 1 と英字のエル（l）などを間違えていないか、よく確認してください。	2-6
サーバーアドレスなどが合っているか確認してください。	2-6
オンラインサインアップを行うと、「センタ名称設定」（ユーザー名、パスワード、電話番号）が自動的に登録されます。 この「センタ名称設定」を使ってインターネットに接続している場合、「センタ名称設定」を削除したり内容を変更するとインターネットに接続できなくなります。 「センタ名称設定」を削除したり内容を変更していないか確認してください。 削除したときは、再度、オンラインサインアップを行うと「センタ名称設定」が自動的に登録されます。 内容を変更したときは、変更した「センタ名称設定」を削除してからオンラインサインアップを行います（「センタ名称設定」が自動的に登録されます）。	2-3、2-18
電波状態の良い場所に移動してください。	1-3、1-14
ダイヤルルールを使用する設定になっていませんか？ この製品ではダイヤルルールは使用しません。設定を行うと通信ができなくなります。	2-5
加入しているプロバイダーの情報を設定している場合、「モデムの選択」欄は「W-SIM」を選択してください。 「W-SIM」以外のものを選択しても接続できません。	2-5
通話中は、PHS 電話機能を使ってインターネットに接続することはできません。電話を切ってから接続してください。	5-4

「不明なダイヤル先」やエラーメッセージが表示されてインターネットに接続できない

	参照ページ
「ダイヤルルールを使用する」にチェックが付いていませんか？	2-5

Windows Live を使用後、切断しても自動的にインターネットに接続する

	参照ページ
Windows Live にサインインしたままになっていませんか。サインインしたままでネットワークを切断しても自動的に再接続します。Windows Live を使用後はサインアウトした後に、インターネットの接続を切ってください。	

ホームページが表示できない

	参照ページ
サーバーアドレス（DNS サーバー）の設定をまちがえていないか確認してください。	2-6
この製品で表示できないホームページの可能性があります。	

ホームページがうまく表示されなかったり動作が遅い

	参照ページ
ブラウザのキャッシュ（一時ファイル）が影響している可能性があります。キャッシュ（一時ファイル）を削除してみてください。	5-8

オンラインサインアップの情報を消してしまった

	参照ページ
再度オンラインサインアップをしてください。メールアドレスなど、前と同じ情報が設定されます。	2-2

メール

メールの送信や受信ができない

	参照ページ
メールアドレス、ユーザー名、パスワード、メールサーバーなどが合っているか確認してください。	4-4
プロバイダーのアクセスポイントの電話番号が合っているか確認してください。	2-5
オンラインサインアップを行うと、「センタ名称設定」（ユーザー名、パスワード、電話番号）が自動的に登録されます。 この「センタ名称設定」を使ってメールの送受信をしている場合、「センタ名称設定」を削除したり内容を変更するとメールの送受信ができなくなります。 「センタ名称設定」を削除したり内容を変更していないか確認してください。 削除したときは、再度、オンラインサインアップを行うと「センタ名称設定」が自動的に登録されます。 内容を変更したときは、変更した「センタ名称設定」を削除してからオンラインサインアップを行います（「センタ名称設定」が自動的に登録されます）。	2-5、2-18
メール（Outlook）の場合、設定によっては「送信トレイ」に入ったままになっています。画面右下の [メニュー] - [送受信] を行ってみてください。	
保存するメールの件数を制限している場合、保護メールと未読メールの件数が制限値を超えていませんか？	4-30

メールの自動受信ができない

	参照ページ
インターネットに接続中ではありませんか？	4-18
パソコンと同期中ではありませんか？	
通話中ではありませんか？	
電波状態が弱いかエリア外ではありませんか？	

「センターに E メールが有ります」と表示されている

	参照ページ
通話中などの理由で、メールの自動受信ができていません。 手動で受信してください。	4-18

ライトメールの送信ができない

	参照ページ
宛先となる電話番号をまちがえていませんか？	
ライトメールは、ライトメール対応電話機にのみ送信できます。	
相手が電源を切っている、エリア外、話し中などになっていませんか？	
通信／通話機能を制限していませんか？	3-23
送信待ちフォルダに入っていませんか？ 時間をおいて送信してください。	4-38、4-45

メールが途中で切れている／添付ファイルが受信できない

	参照ページ
メールの一部しか受信していません。メールの全部（全体）を受信してください。	4-22

メールの全部（全体）が受信できない

	参照ページ
W-ZERO3 メールの場合、受信行数制限を設定していませんか？「受信行数制限設定」のチェックを外してください。また、「受信メッセージをサーバーから削除」にチェックを付けて受信行数制限を設定している場合、指定した行数を受信したあと、サーバから削除されて全文が受信できなくなります。受信行数制限を設定するときは、「受信メッセージをサーバーから削除」のチェックを外してください。	4-6、4-22

件名が文字化けしている（メール（Outlook）の場合）

	参照ページ
メール（Outlook）の場合、件名が全角で 19 文字以上になると文字化けすることがあります。 件名は、全角 18 文字（半角 36 文字）までにしてお使いください。	

メールが文字化けしている

	参照ページ
メール（Outlook）では、長文のメールの場合、文字化けすることがあります。 改行を入れて文章を区切ったり、文章を短くしてください。	
絵文字は、他の記号などに置き換わることがあります。 受信したメールの種類によっては、添付ファイルとして受信します（添付ファイルの内容は表示できません）。	

オンラインサインアップの情報を消してしまった

	参照ページ
再度オンラインサインアップをしてください。メールアドレスなど、前と同じ情報が設定されます。	2-2

着信音が鳴り続ける／バイブレータが止まらない

	参照ページ
再生回数を設定していませんか？ 呼び出し時間に変更してください。	3-22

ワンセグ

映像が映らない／途切れる

	参照ページ
チャンネル設定はしていますか？	6-4、6-9
窓際など電波状態の良い場所に移動してください。	

受信できるはずの放送局が登録されない

	参照ページ
場所を変えてチャンネルスキャンを行ってください。 電波の届きにくい地域や、遮へい物のある場所ではスキャンが正常にできない場合があります。	6-10

音が出ない

	参照ページ
音量を確認してください。	6-8
マナーモードを解除してください。	3-22
安全運転モードを解除してください。	3-22

パソコンとの同期

接続／同期ができない

	参照ページ
パソコンに Outlook がインストールされているか確認してください。	8-3
パソコンのウイルスチェックソフトやファイアウォールソフトを停止してください。	8-3、8-7
付属の USB ケーブルが正しく接続されているか確認してください。	8-4
ActiveSync の接続設定を確認してください。 1パソコンの ActiveSync を起動します。 2[ファイル] − [接続の設定] で「USB 接続を有効にする」にチェックが付いているか確認してください。	
接続方法を変えてみてください。	8-13

ActiveSync を使って同期をしているが、予定表やメールの一部が同期できない。

	参照ページ
予定表やメールなどでは同期する期間やサイズに制限をかけることができます。 この製品とパソコンを接続した状態で、ActiveSyncの[ツール]メニュー − [オプション] をクリックし、設定画面を表示します。設定画面で、[予定表] または [電子メール] を選択し [設定] をクリックします。 同期設定画面が表示されますので、期間やサイズなどを設定します。	

同期がうまく取れなくなった

	参照ページ
起動しているプログラムをすべて終了してから操作してみてください。	
この製品をリセットし、パソコンを再起動してからもう一度接続してください。 同期中に接続／切断を繰り返したり、USB ケーブルを取り外したりすると、正しく接続できなくなることがあります。	

アフターサービスについて

保証について

①この製品には保証書がついています。

・保証書は販売店にて所定事項を記入してお渡しいたしますので、内容をよくお読みのうえ大切に保存してください。

②保証期間は、お買いあげの日から 1 年間です。

・保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

③保証期間後の修理は…

・修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。

補修用性能部品の保有期間

・当社は、この製品の補修用性能部品を、製造打切後 5 年保有しています。
・補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるときは

① 「困ったときは」（☞ 11-27 ページ）をよくお読みのうえ、もう一度お調べください。
② それでも異常があるときは使用をやめて、下記のシャープドキュメントシステム株式会社、またはウィルコムサービスセンターにお申し付けください。ご自分での修理はしないでください。
③ 故障・修理のときは、本体のデータや追加ソフトウェアは消去されます。

修理に関するお問い合わせ先

● シャープドキュメントシステム株式会社

大阪フィールドサポートセンター

住所　　　　：大阪市平野区加美南 3 丁目 7 番 19 号
ナビダイヤル　：0570-081010
受付時間　　　：月～金（午前 9 時～午後 5 時 40 分）
※全国どこからでも一律料金でご利用いただけます。
※ IP 電話・PHS からはご利用いただけません。06-6794-9708 へおかけください。

● ウィルコムサービスセンター

ウィルコムの電話から.........................（局番なしの）116
一般加入電話・携帯電話などから......0120-921-156
受付時間　9：00 ～ 19：00（日・祝日を除く）

操作方法などわからないときは

Step1 この取扱説明書の「さくいん」（☞11-21ページ）や「もくじ」（☞0-4ページ）を使って説明を探す

Step2 この製品のホームページにある「Q&A」を探す

http://wssupport.sharp.co.jp/qa/

Step3 シャープ「お客様相談センター」へ問い合わせる

0120-606-512

受付時間 ／ 月曜～土曜：午前9時～午後6時
（日・祝日および年末・年始、当社の休業日は除く）

株式会社ウィルコムのサービスに関するお問い合わせはウィルコムサービスセンターへ

ご利用のお申し込み・お問い合わせ（無料）

ウィルコムの電話から ……………………………（局番なしの） **116**
一般加入電話・携帯電話などから …………… **0120-921-156**
受付時間 ／ 9:00～19:00（日・祝日を除く）

データ通信に関するお問い合わせ（無料）

ウィルコムの電話から ……………………………（局番なしの） **157**
一般加入電話・携帯電話などから …………… **0120-921-157**
受付時間 ／ 9:00～19:00（日・祝日も受付）

ホームページもご覧ください

http://www.willcom-inc.com/

シャープ株式会社

本　　　　社　〒545-8522　大阪市阿倍野区長池町22番22号
情報通信事業本部　〒639-1186　奈良県大和郡山市美濃庄町492

08F30T（TINSJ1425YCZZ）①